

カルマのない時代

輪廻のサイクルを抜け出よう

NO TIME FOR KARMA

Stepping off the Wheel of Pain and Struggle

パクストン・ロビー著

ローン・J・ジェンセン編

Paxton Robey

P. O. Box 118

Carson, NM 87517

USA

シェアウェア

この本は著作権で保護されています。ただし、著者は興味のある人にコピー、電子スキャンする許可を与えます。もしくは、その他に興味のある人々とシェアする目的でこの本全体を複製産する場合、以下の簡単なルールに従うこと。

- この本は営利目的で販売することは許可されない。ただし、複製と製本の費用のみ請求できるものとする。
- タイトルページとこのページを含む本全体を複製すること。抜粋なし。雑誌や他の定期刊行物でレビューする場合を除いて、抜粋をしないこと。また、ニュースレターを含む定期刊行物や出版物の中でレビューした際は、著者にコピーを送ること。
- 所有する複製が何度も複製されて判読できなくなった場合、著者のウェブサイトから新しいコピーをダウンロードすること。
- 原稿のコピーは、ワールドワイドウェブから以下のアドレスで入手可能。 <http://www.paxtonrobey.com>
- 複製した会社は、顧客の注文に備えて、マスターコピーを手元に置いておくこと。

この作品をシェアしてくれてありがとう！

質問やコメントがあれば、以下のアドレスに送ってください。

info@paxtonrobey

SHAREWARE

This book is copyrighted. However, the author grants permission to any interested party to photocopy, electronically scan, or otherwise reproduce this entire book for the purpose of sharing it with other interested parties, provided a few simple rules are followed :

- The book may not be sold for a profit. The only charges should be the actual cost of reproduction and binding.

- Reproduce the entire book, including the title page and this page. No excerpts please, unless for review in magazines or other periodicals. If reviewed in a periodical, including newsletters, a copy of the published review should be sent to the author.
- If the copy you possess has been photocopied so many times that it is becoming illegible, please download a new copy from the author's web site before copying it again.
- Copies of the manuscript may be obtained from the World Wide Web at <http://www.paxtonrobey.com>
- Duplicating companies are encouraged to keep a "master" copy on hand so customers may order copies from you.

Thanks for sharing this work with others!

Questions or comments?

info@paxtonrobey.com

著者の序文

数か月前、私はラム・ダス（※Ram Dass、アメリカの有名なスピリチュアルティーチャー）のトークをオクラホマシティ聞きました。彼はパット・ロードガスト *Pat Rodegast* がチャネルした非物質的友人エマニュエル（※1987年のチャネリング文書『エマニュエルブック』のメッセージソース）について話していました。その時、観衆の一人から、どのようにしてエマニュエルの情報の信ぴょう性を知ると尋ねられ、ラムダスはこう答えました。「彼の話には同意できるからです。他にどのような方法があるのでしょうか？」。

人生の基盤となるスピリチュアルな洞察や哲学を解明しようとするとき、私たちの内面のガイダンスは、今日、耳にするさまざまなメッセージの有効性を測定する上で、唯一の物差しです。私たちの長老が過去の知的分析や、実用主義に基づく歴史的・法的優先順位をいかに高く評価しようと、それはハートの問題とは無関係です。

内面のガイダンスは、他者の価値観への依存から解放します。内面のガイダンスは、世間に受け入れられた規範への依存から解放します。内面のガイダンスは、個人としての私たちに力を与えるものです。

社会のいかなるセグメントも、イエス・キリストの特徴を自由かつパワフルに描く準備ができていません。悟りを得るための自助グループは、いまだかつて存在しません。あなたが世界に流されてしまうのではなく、世界の中で自立して生きるなら、新しい価値観や信念の情報ソースを発見しなくてはなりません。しかし、その「新しい情報ソース」とは、今も今までも、常にスピリチュアルな探求者にとって利用可能なものです。グルは、私たちを瞑想に誘うことで、「ソース」に導きます。彼は言います。「心を鎮め、あなたが神であることを知ってください」。

驚くべきことに、今日の私たちの惑星には、慣れ親しんだ権威者の教えを自ら放棄する準備ができている人が何百万人もいます。彼らは、この惑星で奇跡を可能にするスピリチュアルな方法と真実を受け入れる準備ができています。そして、日常生活の中に、より高い次元の気づきを統合する準備ができています。

高次の気づきは言葉を持たないため、言葉にすると歪みが生じます。その洞察が生まれた瞬間から、解析され、制限され、割引かれ、人間的になり、大部分を言い換えられているのです。この本に何らかの価値があるとすれば、この地球にいるあなたという存在について考え、興味を持ってもらうことです。ひょっとして、あなたは自分の物語を、自らの言葉で表現したくなるかも知れません。決して自分のストーリーを「真実」と捉えないで下さい。けれども、あなたが自分の物語を紡ぎ、仲間と共有するならば、最終的に私たち全員が驚くべき自由と平和、喜び、そして悟りの境地に達するでしょう。あなたの言葉の力を過小評価しないでください。

話し言葉を聞くのと、書き言葉を読むのには違いがあります。私の場合、もっぱら文章を読むよりも、話者の録音テープを聞く方が好きです。私は、映画は本より優れていると考える人間の一人なのです。話者の解釈やエネルギーも、メッセージの一部です。一方、動画や話者のエネルギーが、メッセージ本来の意味を逸らしたり、無効にすると考える人もいます。そのような人たちにとっては、書き言葉を読む方が、好きなように抑揚をつけて、メッセージを自分のものにすることができます。

私にとっては、話すことは自分の考えを明らかにする方法でもあるので、誰かに話しかけている間、私は多くの間（ま）を取る傾向があります。そのようにして、直感的に受け取るアイデアを理解するのです。私は難解な概念を、ばかばかしいまでに単純化して説明するのが好きです

。究極の真実とは、もっともシンプルなことなのです。半分しか理解できていないのに、限られた知性とスピリチュアルな知識で分析し、意味を与えようとすると、物事は非常に複雑になります。ですから、私はこの地球を小学校たとえて説明し、どのように機能するかという話を作りました。

私は、マスターたちの言葉や難解な教えを自由に言い換えます。この本の中では、聖書や『奇跡のコース』の言葉も引用しました。私はたとえ自分が真実を知っていたとしても、それを完全に言語化することはできないと信じます。中国の古いことわざにもあるように、「知る者は語らず、語る者は知らず」なのです。自分が話すときにも、その教えを頭の片隅に置いておきます。

私の作り話を、親切かつ寛大に見てください。何事も文字通りに受け取らないでください。これはあなたの真実ではなく、私の真実です。あなたは自分の真実に合うように、自分のためのストーリーを作り上げてください。

謝辞

私がこの本を書き上げることができたのは、これまでにさまざまなスピーカーの話を聞いたり、ワークショップに参加したり、本を読んだり、テープを聞いたりして、スピリチュアルな概念、少なくとも、とりとめのない考えに少々の興味を引くには十分なほどのボキャブラリーを得たおかげです。

私の神話を語る「言葉」を与えてくれた、以下の人々に感謝します。リチャード・バック Richard Bach、ヨハネ・プロジェクト Johanne Blodget、ジャック・ボーランド Jack Boland、エリック・バターワース Eric Butterworth、ケン・キャリー Ken Carey、ラム・ダス Ram Dass、ウェイン・ダイアー Wayne Dyer、フォスター・マクレラン Foster McClellan、ハリー・マックナイト Harry McKnight、レイモンド・ムーディ Raymond Moody、シグ・ポールソン Sig Paulson、ハロルド・シャーマン Harold Sherman、パトリシア・サン Patricia Sun、ホセ・シルバ Jose Silva、ゲイリー・シモンズ Gary Simmons、ビル・ウィリアムズ Bill Williams。

私が本を書くべきだと感じるようになったのは数年前のことですが、最初は抵抗がありました。本を書くより、話すのが好きだったからです。私は何かのアイデアやコンセプトを理解する必要がある時、それについて話をすると、考えがより明確になります。話すことは私の瞑想であり、見えない領域につながる方法なのです。私は本当にそう信じていました。ドナルド下田氏（※リチャード・バックの小説『幻想』の登場人物）は、「幸福へ向かう道の中で、私たちは自分がこの人生を選んだということを学ぶのです」と話しました。私の幸福とは、話すことです。

本が書かれることになっているなら、ヘルパーが必要だと私は宇宙に伝えました。ですから、ダラスでのワークショップを終えた直後に、参加者だったルナから本を書くサポートをしたいと言う手紙をもらった時にも、さして驚きませんでした。ありがとう、宇宙！

ルナは魔法のような人でした。仕事のあらゆるステップで、彼女は自分のガイダンスに従い、信じられないほど簡単、かつスムーズに向上させてくれました。ありがとう、ルナ！

編集者のローンと私は、このプロジェクトを援助してくれたラリー・ドッシーとサンドラ・インガーマンに感謝します。彼らは著者の観点から、出版ゲームのインとアウトを教えてくれました。彼らなしでは、私たちの作業にこれほどの喜びを得られなかったでしょう。それから、シンシア・スティボルトに感謝します。彼女は、信じられないほどの芸術をこの次元に生み出しているだけでなく、素晴らしい方法で他の人々をサポートし、刺激を与えています。

私の兄妹、リックとベスは、食器棚が空っぽになった私の胃袋を満たし、完全にノンジャッジで、ありとあらゆる方法でサポートしてくれました。私が自滅の危機に瀕しているときに、私を救い出してくれたのは、スピリチュアルティーチャーであるキャロル・パリッシュ・ハーランでした。世界最大のネットワークであるアン・スミスは、常に私たちのそばにいてくれました。グレートスピリットとコミュニケーションするためにスウェットロッドに連れて行ってくれたのは、隣人であるジェイクとキャシーのウォーカー夫妻です。すべてを聞き、すべてを知ってくれたモナ・ヘイルに、特別な感謝を捧げます。パム・コックスに感謝します。他にも私が感謝を捧げるべき何十もの人々が存在します。彼らと与えてくれた無条件のスピリチュアルなサポートに、心からの感謝を捧げます。

そしてもちろん、私の最大のサポーターは妻のアンです。『奇跡のコース』に書かれた「あなたは正しくなりたいですか、それとも幸せになりたいですか？」という言葉は、私たちの関係に真の喜びをもたらしました。

Paxton Robey,

Carson, New Mexico,

January 1993 and January 1998

カルマのない時代

NO TIME FOR KARMA

はじめに

神とは何だろう？

第1章 アーススクール

人生は何のため？大きな全体像について / 地球：強化合宿スクール / 地球最大のショー / 神は善きもの？ / 教師を選ぶ：権威者かマスターか / アーススクールの構造 / 10年生 / 11年生 / 12年生 / 地球の知識は使えない

第2章 宇宙の法則

因果界 / 悪に手向かうなかれ / エデンの園の作り方 / 意識は現実を作る / 行動はクリエイティブではない / 信頼：形而上学ムーブメントが恐れる言葉 / スピリチュアルな正直さ / 祈り / 欲しくないものを作る考えを手放そう / 信頼は関係を良くも悪くもする / 対等の存在として神と対話する / 創造のプロセスを観察する / 創造のテクニック / 個人のブロックをはずす / 何を作るべきか / スピリットとのコミュニケーション

第3章 最優先指令

宇宙における孤立主義 / アーススクールの転校生 / 自分を過小評価しないで / 平均的な意識 / サポートグループの重要性 / 修正するべきか否か、それが問題だ / 寓話 / 比喩としての聖書 / 十戒 / 拡大された視点 / 奉仕への道 / 大したことではありません

第4章 救いの計画

アーススクール卒業生の帰還 / 瞬間の悟り vs 進化的な悟り / 人間の墮落 / 司祭と預言者 / 道、グル、奉仕 / 道としての聖書 / 西洋の道 / 『奇跡のコース』と呼ばれる道 / 道としての幸福 / 真の教えは常にシンプルで心を落ち着かせる / おめでとう！あなたは悟りの資格があります

第5章 喜びに従う

ライトワーカーとは誰でしょう / 百合の花咲く草原を考えてください / 親たちは至福の子どもを認めない / ライトワーカーは、それでも喜びを選ぶ / 自我の分離の恐怖 / 制限するには、より多くのエネルギーが必要 / セルフエンパワメントは正常です / サイキックな記憶とビジョン / ドラマはおなじみ（安全）、祝福は道（恐怖） / 信頼、再び宇宙に修正させる / ドラマの終わりを受け入れる / パターンメーカー：自分のことをしてください！

第6章 カルマ

「グラウンドホッグデー」 / カルマの負債 / カルマと恐れと罪悪感 / 私のカルマの道 / 罪人からヒーラーへ / 罪とは閉ざされた視界 / 修正ではなく癒す / 身体・習慣・嗜好、すべてはカルマ / 罪悪感は知覚のエラー / カルマなしで生きよう / イン

スタントカルマに気をつけて / カルマは良い教師ですが、もっと簡単な方法があります

第7章 ヒーリング

病気の原因 / 死についての言葉 / 密なテレパシープールでの癒し / 癒しと自我 / 癒しとカルマ / 癒しは時間を節約する / 痛みとは成長であり、魂が癒しを求めているサイン / 「大きな全体像」を思い出す / 癒しとサイキック能力 / 神聖な場所 / サイキック・カウンセリング / サイキックな洞察 / 食事を祝福する

第8章 人間関係

個人的な責任 / セルフヒーリング / 力を手渡す / 人間関係に正直であること / 愛する人への懸念 / ソウルメイト / セクシュアリティ / 怒りと葛藤 / すべての関係には終わりがある / 子どもと親 / 宇宙的な関係

未来予報

水瓶座のエネルギー / 終末論的予測について / 覚えておきたいこと / 水瓶座のエネルギーの特徴 / 宇宙文明連合 / テクノロジー / テレパシーコミュニケーション / 水瓶座時代の教育 / 経済 / ヒーリング / 政治 / あなたの作る現実が、あなたの未来となる / 魚座的な現状のエネルギー

はじめに

Introduction

プラネットアースへようこそ！

21世紀の始まりが近づき、私たちは魚座の時代から水瓶座の時代へと横断する準備をしながら、集合としての人類のマインドが、平和や調和、スピリチュアリティに大きく開かれているのを感じます。かつては神秘主義またはSFと考えられていたことが、個人にとって身近な現実になりつつあります。

ベストセラーのランキングに、古代の秘密の教え、マスターへの道、アセンション、奇跡について書かれた本が並ぶ世界を生きているのは、どのように感じますか。悟りについての永遠の秘密を探り、宇宙と私たちの意識的な共創造をマスターするチャンスに恵まれているのは、どのように感じますか。水瓶座の時代の夜明けには、この惑星の住民に何かが起こります。そして起きることは決してランダムな偶然ではなく、目的があります。水瓶座の時代には、誰もが預言者、ヨギ、マスターたちの秘密に精通します。これを習得する人もいます。他の人よりも早く情報を得た人は、地球を癒し、浄化し、新しい時代を切り開くための案内役になりたいと願うでしょう。

このような話題に関心を持つ私たちは、「地球を救う」委員会の使者として、目的を果たすために地球にやって来ました。その目的とは、私たち一人一人の個人的なスケジュールに従って、徐々に明らかになります。自分がここでどのような機能を持ち、使命（遊び、楽しい活動）の深さや広さはどの程度かなどについて、臨死体験またはその他の変容体験を通じて、瞬時の洞察を少しずつ得ていくのです。けれども、惑星を癒すための役割が何であれ、それとは別に、現実とは何であり、どのように機能するかについて基本的な概念を学ばなければなりません。もしあなたが水の上を歩いたり、物理法則を超越する技を行おうとするなら、それは必須です。そして、それがこの本の主題です。

あなたはこの素晴らしく混乱していて、刺激的で恐ろしい場所に到着した時、自分が誰であるか忘れてしまうことを知っていました。しかし、少しでも思い出せれば、失われていた記憶は簡単に素早く戻ります。心配しないでください。あなたは（少なくとも宇宙的な意味では）正常であり、これまでずっと夢見てきたように、人類への大切な贈り物を運ぶことができる存在です。そのような目的は、非常に勇敢です。たとえ時々自分を疑うことがあっても、あなたが自分

と惑星を癒し、力づけるという夢は満たされます。なにしろ、あなたをメッセンジャーとしてここに送った存在は、失敗したことがないのです。あなたもうまくいくでしょう。どうかリラックスして、変化の旅をお楽しみください。😊

まず最初に、簡単に背景を説明することから始めましょう。

私たちの社会が形而上学的な視点（通常の物理世界以外の視点）に寛容になったのは、ごく最近です。今日、オプラ・ウィンフリー（※Oprah Winfrey、スピリチュアルな視点を持つことで知られる米テレビ司会者）と公共放送サービス（※Public Broadcast Service、アメリカのテレビ局）に見られる多くのものは、かつてはタブーでした。

体外離脱体験、臨死体験、アストラル界、オーラ、スピリチュアルヒエラルキー（※アセンデッドマスター、大天使などの総称）などについて何か知っているなら、仕事を失うか、社会の特定のセグメントから追放された時代がありました。セーラム魔女裁判（※17世紀末アメリカで200名近くの村人が魔女として告発された事件）を覚えていますか？。けれども、人類の歴史を振り返ると、興味深いことに古代の秘密を教え伝えてきたのは、秘密結社やミステリースクール、ノストラダムスやマイスター・エックハルト（※神との合一を説いた中世ドイツ神秘主義者）のような人々でした。

ここにやって来る誰もが、自分には宇宙的な目的（大好きなこと）があるという感覚を持っています。それは人生におけるいくつかの出来事や経験を通じて、徐々に理解されるようになります。これを読んでいるあなたも、私と同じように、そのような経験を重ねてきたと思います。私自身は、何事も割り引いて考え、合理化する傾向があるのですが、振り返ってみれば、小さな洞察と目覚めの一つひとつが非常に重要であったことは明らかです。まるで私が特定の方向に向かって行くように、適切に配置され、タイミングが設定されていたように感じるのです。

この章では、私自身に起きた、そのような重要な瞬間のエピソードをシェアしたいと思いません。目覚めのプロセスにおいては、私たち一人一人が独自に、精妙で明らかな啓示を経験する一方、誰にも共通する点もたくさんあります。この共通性のために、私たちの目的は非現実的ではなく、正常なものと認識されるのです。他の人の話を聞くことは、私たちに安心感をもたらすと同時に、彼らの選択を無条件に認める能力を高めます。

私が個人的な経験をシェアするもう1つの理由は、それが読者の直感的なつながりを強化し、ガイダンス検証の基礎を与えると思うからです。これらのストーリーを読めば、宇宙の「秘密」とは、検証可能な科学が解明できる範囲を明らかに越えたものだと感じるでしょう。だからこそ、直感的な信頼が必要なのです。科学ではUFOが存在し、何百万もの人々が視覚的またはその他の方法で遭遇したことを証明できません。物理学者は水は液体だと言いますが、イエスはそれが固体であることを示しました。

私が自分の気づきから学んだのは、私（そしておそらく私たち全員）は、木を切り、水を運ぶためだけにここに来たのではないということです。

私がスピリットからの、非常に力強く、紛れもないメッセージを受け取ったのは、10歳か11歳の頃だったと思います。それは何時間か前に教会で起きたことを伝えるものでした。私は自分の宗教的な背景をととても幸運に思います。私の一族、祖父母、叔母、叔父、いとこ、私の両親と兄弟姉妹が通っていたのは、悪魔の所業や罪悪感を教え込むタイプの教会ではありませんでした。そこで行われる説教は、もっぱら道徳的な問題や善行などについてでした。つまり非常に無害なものだったのです。しかし、その日曜日は、別の教会から招かれていました。彼は私が今まで聞いたどの説教者よりも大声で、私にとってまったくなじみのないトピック、地獄の業火と、怒れる神が与える永劫の罰について話していました。

教会から家に帰る途中、母は私たちが聞いたことを、説明または合理化しようと試みました。このことは、神が私の敵であるかも知れないと感じた最初の出来事であり、私は車の中ですべての脳細胞を動員して、これまでの自分の行いから人生に起こり得るあらゆる可能性を分析していました。

家に到着すると、私はそのまま庭に残り、新しく知ったばかりの恐ろしい教えについて熟考していました。頭の中で声が聞こえた時、私は自分がどこにいたかを正確に覚えています。古いレンガ作りの焼却炉とワイヤーフェンスを通り過ぎ、キッチンの窓から20ヤード程度離れた位置にいました。

「それはあなたには当てはまりません。神を怒らせるために、あなたができることは何もありません。あなたはいつでも大丈夫です」。

その声は、説教者のように断定的ではなく、とても穏やかに聞こえました。何かを強調するのではなく、ただ事実だけを述べている口調でした。その声は、神が私の味方であると知っていて、私もそのことを知っていました。私はキッチンの勝手口に向かって歩きながら、生きている限り、神や死後の世界を恐れることはないという気づきを得ました。それは私のライフワークに力を与えると同時に、人生の重要な瞬間でしたが、その当時の私には、ほとんど言及する価値がないと思われました。私はその意味に気づいたのは、何年もあとのことです。それは、企業の世界で「成功する」ことが私の人生の目的ではないと気づいた頃です。

私たちの最初の子どもは1968年に生まれましたが、ちょうどその頃、私はサイキック現象に魅了されていました。スピリチュアルな理由からでなく、単純に興味深かったのです。私はクレアボヤンス、テレパシー、来世リーディング、過去世リーディング、ヒーリング、テレポーテーションなどのトピックを、常にチェックしていました。あらゆる情報を読み、観察する中で、数々のサイキックや超心理学者と一緒に時間を過ごす機会もありました。

しかし、通常の人間に可能な範囲を越えてコミュニケーションできる人たちと過ごすうちに、やがて自分に欲求不満を感じるようになりました。いつまで経っても、直接体験しているのは彼らであって、私ではないからです。彼らの語るストーリーや、行うヒーリング、彼らが「コンタクト」した存在の、まさにその顔が浮かび上がって見える現象には畏敬の念を感じましたが、いずれにしても間接的でしかありません。説教者と預言者の違いは、直接体験と知識があるかどうかです。私は知らせを伝える人ではなく、預言者になりたいと思いました。

1973年に、私は「シルバメソッド」を受講しました。サイキック能力を養成する40時間の集中講座です。ここでは私だけでなく他の誰もが、たった一週間のトレーニングでサイキック能力を働かせる方法を習得しました。シルバのインストラクターが言ったように、「もしコースの最終日にあなたが自分をサイキックだと思えないなら、受講料は全額返金します。一切無条件です」。コースは全7回で、席代さえ払えば、実質、好きなだけ何度でも繰り返すことができました。

お金を返してくれと言う人は聞いたことがありません。そして私は、自分がサイキックになったかどうかを疑問に思ったことはありません。

それから私は、他の次元の「ガイド」と定期的にミーティングを重ねるようになりました。彼らは地球という惑星のシステムについて話し、地球に関する出来事の「映画」を見せ、並行現実や他次元について話してくれました。それから、今ではない別の時代、つまり過去や未来を見せてくれました。彼らは「時間のない時代」や、「すべてが同時に起きている時代」も見せました。思考によって瞬時に創造された宇宙を見せてもらいました。宇宙の生まれた原因と、その原因となった創造のエネルギーソースを見せました。彼らは私に客観的な現実などないことを見せました。すべての創造の背後には愛があり、害を及ぼすことができないことを見せました。彼らは私にすべての預言者とすべてのマスターティーチャーが伝えた啓示が、歴史を通じて、本当に有効であることを見せました。そして、私たちにとってこの星で唯一価値がある啓示とは、私たち一人一人が個別に、内的に持つものだと言いました。その他にもまだまだあります。

私は水瓶座の時代が地球に何をもちたかを見ました。喜びに従うなら、地上にエデンの園が復活することを見ました。善または悪の勢力が勝利するかどうかは質問にすら及ばないことを見ました。善悪を含む二元性のすべての表現は、地球という学び場の教員が、私たちが個別化した神であると示すために作った幻想であることを見ました。

私の理解を超えた範囲を見て、感じ、私が同化できるよりも多くの愛を受け入れても、どこか不満がありました。私はまだニュースキャスターだったのです。目を閉じれば、「大きな全体像」を見て、感じ、知ることができます。しかし、私はまだこの肉体につながっていました（それは間違いではなく、私を安心させるためなのですが）。

私は難しい質問に対する答えを得ることができました。地球上の生命の明らかな不公平の中にも完璧さを見ました。目を閉じていれば…。しかし現実の世界に戻ると、「大きな全体像」は急速に力を失っていくように思えました。物質的な欠乏、対立や議論、不正を目撃するたびに、私たちの意識は、地球に課された宇宙的な計画から、自己中心的な人の非難へと素早く転換してしまいます。

しかし、突然、驚くべきことが起こりました。私の人生が作動し始めたのです。完璧に作動し始めました！

当時、私は大手航空会社で働いていました。私はエンジニアで、ボーイング707艦隊（と言うと、私の年齢が知れます）作業チームのリーダーでした。スムーズで快適なフライトを確保するのが私の仕事であり、メンテナンスによるフライトの遅延やキャンセルは責任重大です。非常に競争が激しく、ストレスも多い仕事でした。しかし、ある時突然、理由もなく、そのストレスから私は解放されました。それから5か月の間、文字通り、私には一切の仕事がなかったのです。何もしなかったにも関わらず、会社からは何一つ不満がないように大事にされました。その5か月間、707艦隊は、私のいた航空会社だけでなく、米国中のすべての航空会社の中で最高のパフォーマンスを見せました。私は毎日オフィスに出社して、コーヒーを飲んだり、たくさんおしゃべりをして過ごしていました。すべてのプレッシャーがオフでした。仕事だけでなく、生活のすべての面が素晴らしいものになったのです。5か月の調和は自宅にももたらされ、車は完全に走り、私は驚くほど健康になりました。平和で、楽しく、至る所すべてが天国でした。

私自身の人生が順調だったことに加えて、私がともに過ごす他の人の人生も素晴らしいものになりました。たとえば、風邪を引いた人が私の元にやって来て、数分間私と話すと、その人の体調はすっかり良くなりました。この現象に最初に気付いたのは私の秘書で、それを実験するために人々を私の元に連れて来るようになりました。私は彼女から説明を聞くまで、何が起きているのかわかっていませんでした。ある時、彼女が連れてきた女性が私の机の横の椅子に据わって数週間経過すると、その後、癌が寛解しました。医者が言うには、その兆候すらないとのことでした。

以前、私が加わっていたスピリチュアル研究グループの友人は、私についてこう言いました。「あなたはいつも平和ですね。常に瞑想をしていますか？」。私はこう答えました。「いいえ、瞑想は全然しません。私自身が瞑想だからです」。その時の私にはそう感じたのです。ついに私のスピリチュアルの旅は終わりです。私は多くの人々が探しているものを見つけたのです。私は、人間が肉体にいながら悟りの境地に入ることができる証拠でした。これ以上、学ぶことはありません。完成しました。終了です。フィン。そして、風船は破裂したのです。

夢は私にとって、いつも便利で意味のあるものです。私は奇妙な夢を見ました。それは鮮やかで、複雑な詳細がありました。私がざっと説明されたのは、過去5か月の私の人生は、私が作り出したものではないということでした。それは、「彼ら」によって作られたものでした。私はこの生涯のうちに、「彼ら」の助けなしで、そのような人生を実現するのに十分な理解を得ることができると伝えられました。私は、何かを与えるために、与えられただけだったのです。それから、「彼ら」は休暇にでかけると言いました。私は自分次第で人生をコントロールする方法を学び、存在の自然で普遍的な状態（つまりすべてのプレッシャーがオフになり、平和、至福、調和、喜びに満ちた状態）を示すだろうと言われました。それを地球上で不自然な状態（不安、疑い、罪悪感、無力）に暮らす人々に伝えるだろうとも。

私が垣間見たのは、この惑星にいる間に、覚醒した状態を得るためのコツでした。けれども、そのコツをつかめば、ひょっとして、その状態を容易に実現できるほど熟達し、他の人を目覚めさせることができるかも知れません。実際、私はこの地球にいる何万もの宇宙使節が、あと数年の内にすべてのプレッシャーをオフにする方法を習得するだろうと聞かされています。私たちは自分へのプレッシャーを除去する方法を学ぶことで、地球にかかる圧力も取り除くことができます。内面の平和を学ぶことで、この惑星にも平和をもたらすのです。私たちは自分が癒されることで、惑星を癒します。平和のために戦うことはできないと、「彼ら」は言います。それは矛盾しています。まるで短い夢の間に天国から地獄へと行くようなものです。すべてはさかさまで、やがてすべてが地獄になります。しかし、それこそが学びなのです！私は、これまでに経験したすべてのコントロール、すべての抵抗、すべての執着の問題がわかりました。私が誰かに力を手渡すたびに、彼らは私を与えた力を行使していました。愛、平和、幸福を妨げる私の中のすべてのブロックが、目の前に示されました。

マスターの道は自ら道案内をする旅路であり、アセンションは私たち一人一人が建てた階段を昇る旅です。そこには、犠牲も償いもありません。神の王国で私たちの居場所を取り戻すという決定だけがあります。宇宙における自然の状態に戻り、それに逆らう分離、闘争、自己中心のゲームを放棄する意志が必要です。

マスターティーチャーたちは、私たちのために自分が作業することはできないと、常に知っていました。彼らは私たちの前例に過ぎません。今度は私たちの番です。私たちは今ここで、自

分のための人生を生きています。私たちは地球上のすべての生命にテレパシーでつながっています。自由意志において前例に学ぶことを選択するすべての人にです。

私たちの仕事は、潜在意識のクローゼット隠れていた宇宙的思考の欠片を思い出すこと、そして、幸せになることです。

神とは何だろう？

By What Authority...

少し以前のこと、ワークショップが終わったあと、ある女性からこう尋ねられました。「神とは何ですか?」。すっかり遅い時間で、みんな家に帰る準備をしていたので、私は「よくわからない」とだけ答えました。

あとから振り返ると、自分が不親切だったと感じました。「四次元及び五次元的な現実はさておき、神を三次元的現実において完全に把握するのは、私の理解をはるかに超えている」と答えれば、彼女の旅路の役に立ったかも知れません。

神とは何かという問いは、宗教的または哲学的指導者が、しばしば語ります。現時点の私たちの進化の段階では、「神ではないもの」に注意することが、より有意義です。多くの人にとって、特に愛情深い父親を持たなければ尚更、父なる神と自分の関係を想像することは困難です。裁く神はもちろん、たとえ寛容な神であっても、自分が神との関係に値すると信じられません。

聖書によると、神は自分の似姿に人を造りました。しかし、多くの人がそれを反転させ、神に人間のイメージを投影し、少なくとも私たちが知る人間と同様の特性を持つ存在だと信じています。

神は迷いません。神は苦勞しません。神は物事が思い通りに進んでいないときに動揺する自我も持っていません。神は人に腹を立てません。神は不寛容ではありません。神は男性でも女性

でもなく、両性具有でもありません。神は原則です。それは性格や自我に左右されません。神とは永遠の愛、創造性、思いやり、すべてのソースです。神は原則ですから、気分を害することはありません。そして彼/それが作り出したすべては、無限の喜びによって作られています。私たちもそうです。

神を説明しようとする、きちんと理解していない概念や決まり文句に頼ることになります。私たちは、物事を説明する際には、十分な知識と調査が必要だと信じるように訓練されています。しかし、神については真実ではありません。よくある決まり文句も、十分に真実を表していません。神は愛であり、神はすべてであり、そして全知で全能です。しかし、これらのフレーズをよく理解しようとするほど、多くの人々がまだその状態に達していないことがわかります。私たちの理解を超えるのは、「神は無条件の愛です」というフレーズです。無条件とは理解しにくい言葉ですが、神の抱擁の外側でできることは何一つないという意味です。私たちがこれまでに経験した罪で、神によって正当化されないものは何一つありません。時々、気分が落ち込むのは、真の（宇宙的）理解に基づいて状況を眺めていないからです。これらの概念を理解するようになると、私たちは自分自身と惑星を癒し、仲間を解放する方法がわかります。よく出来ていますよね。

あなたと私は、もしかして実現不可能かも知れない高尚な目標に向かって邁進することに価値を感じるタイプで、その目的を信じて生きて来たかも知れません。たとえば地球上に平和を達成することや、きれいな緑の惑星になるまで浄化すること、その他のスピリチュアルな知識を実現することです。それから、ルーク・スカイウォーカーやプリンセス・レイアの姿をした、宇宙的なミッションを持つ「惑星遷移チーム」に遭遇することを想像する人もいますでしょう。

もちろん、これらの目的や想像は、記録された史実や実践的な理論とは相容れないと私たちは知っています。どれほど歴史を遡っても、人類が一つの部族として平和に暮らした前例はありません。これからの世界でも、人間、植物、ガイアの生命が脅かされる可能性を覆す証拠は、何一つありません。この三次元の現実には、人間は単なる人間以上の存在であり、互いに従属するかわりに誰もが自分でコントロールできるという考えをサポートするドキュメンタリーはありません。しかし、それに関わらず、私たちの想像は決して根拠を全く持たないものではないことを示す未来のヴィジョンを、私は何度も見てきました。利他主義と壮大なビジョンは、これまで惑星に起きたいかなる政治的、軍事的、産業的革命よりもパワフルに花開く直前なのです。

水瓶座の時代がやって来ます。占星術では12正座の時代が26000年ごとに一巡りすると言われますが、26000年前の記録はありません。しかし私たちには、ある種の歴史があります。時間の始まりを語る神話や伝説です。そこには洪水やアトランティスの沈没、エデンの園について書かれています。神々と女神が地球を歩き回った時や、人類が善と悪の意味を知る前の時代についてもです。

この本で私は、あなたがこの地球にいる理由は、あなたが信じている、もしくは想像するより、はるかに壮大だということをあなたに伝えたいと思っています。今から40年以内に私たちの故郷の一部から汚染が完全に除去され、40年もかからないうちに、家の玄関は鍵なしで建築されるようになります。いくつかの場所では、自分の仲間に対して何らかのバリエードを作る必要性を感じなくなります。人々はまったくの見知らぬ人を、親しい友人と同じくらい信頼するようになります。私たちは実際に「惑星全体で一つの家族」になるための家を作成しているのです。

プロセスはすでに始まっています。ゆっくりですが、進行中です。

第1章

アーススクール

EARTH SCHOOL

これは、『カルマのない時代：No Time for Karma』の第1章です。

個人の自由、闘争の終焉、転生、形而上学、チャネリング、ヒーリングについて書かれています。

私たちは、超自然的現象とはじめて目撃するときのワクワクするような瞬間や、人生の舵を失うような恐ろしい瞬間、そのような魔法の瞬間に出会う以前には、今とは違った人生観を持っていました。

私たちが自分の育った環境から受け継いだ「普通」の生活とは、筏に乗っているようなものです。夏の太陽の下、心地よく漂っているように感じる時もありますが、試合終了の号令を待ちわびながら、疲れ果てるまで必死に水をかき続けている時もあります。この惑星の典型的な住民は、人生に起きる無数の出来事を、無関係でランダムで、予測不能な偶然と考えます。私たちは、翌日はおろか一瞬先すら予想できず、常に警戒している必要があります。どれほどよく訓練を受けている人にとっても、人生はギャンブルのようなものであり、私たちの行く手には度々ブービートラップが置かれます。賢い人が保険を買い、シートベルトを締めるのは、用心して道を進むためなのです。

この惑星の人々は、生存競争や権力に関係ない種類の知識を学ぶ時間がありません。世界中の有名な研究所や大学、企業は、永遠や奇跡といった非現実なことを学ぶカリキュラムには敬意を払いません。しかし、遅かれ早かれ、「通常」の生活とは明らかに無関係なものが、私たちの近視的な人生観を打ち破り、別の世界を垣間見せるでしょう。

私たちは、地球上で数千回、そして他の場所ではもっと多くの人生を経過して、ようやく原因と結果の関係を認識します。目に見える現実が唯一の現実ではないという認識を得るのです。少なくとも現在の段階では、知性では答えられない疑問があります。そして、直感は私たちの意思決定プロセスに大きな役割を果たすことができます。

地球が学校であることを理解すると、あらゆる秘密が明らかになります。私たちの町にある普通の学校と同様に、ここには教師と生徒がいて、その他にも、教育委員会、管理人、PTAがいます。合格するまで何度も同じ学年を繰り返す生徒と、根気よくその面倒を見る先生もいれば、飛び級をする人もいます。卒業式には、誰もが宇宙的な輝きに満ちた帽子とガウンを身に纏い、誇らしげに微笑みます。

一旦、目覚めの臨界点を超えると、私たちは二度と地球が与えるものに完全には満足しなくなります。「大きな全体像」について深く学ぶようになり、やがて地球という学校の驚くべき公平さと、利便性、有用性に気づき、完全に受け入れるのです。真のマスターたちは、五感からの情報だけに頼る人生は危険で、不正や苦痛に満ちていると、慈悲の心をもって理解しています。注意を向けるべき感覚は、その他にもあります。

今から何年も前のこと、私は人生で、ある一つのフェーズを経験していました。私は「ブッダフェイス」と名付けていますが、仏教の教えに夢中になっていたのです。私はブッダの教えを書いた本を何冊も読みました。その中には、本当に味わいのある物語がありました。ブッダの弟子にある熱心な10代の少年がいて、毎日マスターのところにやって来ては、ともに時間を過ごしていました。ある日、少年の村と隣の村が戦争になり、彼は戦地に駆り出されました。戦いは激しくなり、野原には多くの死者や動物の死体が横たわり、血と死は常に身近なものでした。少年は、友人が亡くなっているのを見つけると、恐怖に怯え、動けなくなってしまいました。そ

して、絶望の中でこう叫びました。「ブッダ様、私を救ってください」。ブッダは、彼の嘆きを聞きつけると、戦場の端に現れました。全身は黄金色に輝き、いつも通り穏やかで、美しい表情をたたえていました。彼はうずくまる弟子の元に歩み寄ると、優しく微笑み、彼が落ち着きを取り戻すまで、そばにいました。

この話を讀んだ私は、ブッダが鈍感で思いやりのないモンスターだと感じました。戦場では、実際に人々が危険にさらされ、痛みが生じ、命が失われているのです。もしブッダに私と同じくらいの鋭さがあれば、彼は動揺したでしょう。彼は自分の力を使って、戦争を止めるために地方自治体の権威者を説得しに出かけたかも知れません。そのような行いは、神の意志に背くものであると。

しかし、彼はそうしませんでした。実際のところ、彼はいかなる形でも悪に抵抗したことはないのです。私はイエスが「悪に手向かってはなりません」と言ったのも、本気ではなかったと思います。

もちろん、みなさんのご想像の通り、学ぶべきなのはブッダではなく私のほうでした。

私はこの惑星で表面上起きていることではなく、実際に起こっていることを見る準備ができていました。

人生は何のため？大きなビジョンについて

Why Life? Seeing The Big Picture

この学校では、学校外の生活が永遠に続きます。ビッグバンから150億年が経ちましたが、「大きな全体像」に比べれば、ほんの砂粒に過ぎません。私たちは、五感を使って自分の真実を判断することに慣れていて、地球という惑星が教室であることを忘れていています。ここは、宇宙に何百万もある教室の一つです。地球は、目に見えない宇宙はもちろん、目に見える宇宙の中でも、ごく小さな部分でしかありません。

時間と空間の外で、私たちはみな、平等で完全に目覚めています。そして、それぞれが神の個別化した側面であり、神と神の創造物のすべてだということを、完全に理解しています。しかし、地球にやって来ると、私たちは、少なくとも一時的には、神との一体感を忘れてしまいます。けれども、面白いことに、私たちは必要なすべての知識は自分の内側にあると、おぼろげながら認識していますよね。あらゆるすべての答えを知る「ハイヤーセルフ」や「スピリット」という概念は、日常会話の中にも巧みに入り込んでいます。何か答えが必要な時、私たちは内面の対話を始めるか、深く沈黙します。つまりそれは、私たちがすべての答えを持つという証拠なのです。

記憶喪失の状態、私たちは宇宙と、そこにおける自分の居場所を理解しようとします。そして、使えるツールを全て使って、人間関係の問題、豊かさとその欠如、惑星を覆う危機に対処します。現実とおぼしきものに、哲学的・形而上学的な光を照らして理解を促すため、私はたとえ話を使って説明します。私たちのスピリチュアルの成長を、小学校での教育のように考えると、非常にわかりやすくなるのです。

英語という言語はスピリチュアルとは言い難く、それは経済貿易と商業を促進するために作られたものです。したがって、私たちが話したい種類の概念を説明するのにふさわしい言葉や表現が含まれていません。適切な訳語を持たない場合、比喩を使用したり、相手にとって意味の通じる言葉で説明すると便利ですよ。さあ、この学校の比喩をとことんまで説明しましょう。

地球：強化学習スクール

Earth: A Fast Track School

地球での教えは、小学校での教育に似ています。そこで学ぶのは、自分に自信をもったり、互いに仲良くすることだけです。私たちが「惑星全体で一つの家族」というイメージを持てるようになるまで、一体、いくつの学年があるのか、誰にもわかりません。この「アーススクール」を修了するまでに、線形時間でどれくらいかかるのかも、詳細はわかりません。

なぜなら、この過程にいる魂のまだ半分も卒業していないからです。しかし、平均すると、卒業までには1億年分の進化が必要だと推定できます。オールドソウルと呼ばれる人たちは、すべての学年を修了していないのですから、学習者としては遅いことを意味します。

この惑星は、偉大なレスンプランに沿った学校と見なさない限り、その機能を完全に理解することはできません。ここには特別に訓練された教師がいて、明確なスケジュールがあります。地球上のすべての人は、スピリチュアルな理解のレベルに応じた学年に振り分けられています。普通の公立学校と同様、生徒の学習進度に即した授業が組み立てられています。信じられないことですが、実は、誰の人生（学年）にも、ランダムな偶然はありません。時間割には勉強、試験、休み時間、長期休暇などが含まれていて、途中で学年を変えるチャンスもあります。この仕組みに従えば、誰もが進化できるようになっているのです。

魂がアーススクールに入学する理由はただ一つ、その利便性のためです。この学校は、目覚めに特化した非常にスピーディな学習コースを提供します。それは通常、痛みと闘いの道になります。地球上での80年の寿命は、宇宙の他の場所の、心地よく快適な学校で学ぶ1万年の授業よりも多くのことを学べます。かんたんな授業ばかりだと、せっかちで熱心な学習者にとってはためにならない可能性もあるのです。人生のすべてが素晴らしい時、人は何と言いますか？「神さま、私はすべてが順調です。のんびりカウチポテトでもしましょう！」。一方、彼らが宇宙に助けを求めるときには、何と言いますか？「神さま、一体、どうしてこんなことになったのか教えてください。豊かさとヒーリングに関する本が必要です。私はすべてを知りたいのです。私はマスターになりたい！」。人々がこのような要求をするのは、自分が傷ついた時だけです。痛みがいかに有効に作用するか、おわかりですか？一部の学生は難易度の高い授業を避け、同じ学年で何千回もの人生を過ごします。彼らはスクールカウンセラーに、こう言います。「わかりました。私はその簡単なコースを履修しますが、もう少しやさしいほうがいいです。代数の試験を出さない先生がいいです。最終試験も要りません」。スクールカウンセラーは答えます。「そうリクエストする方は非常に多いんですよ」。

そうかと思えば、しびれを切らして、校門の前で待ちかまえている生徒もいます。「すみません、これは先日作ってもらった素晴らしいスケジュールなのですが、前回と同じように見えます。同じものをコピーしたのではないですか？せっかくですが、私はさらに1万回も人生を行う

気はないのです。もっとスピリチュアルな学びにフォーカスできるようにしてください。お金や遊びに夢中になったり、人をジャッジする人生は、これまで何回も経験して、専門家になれるくらいですよ。私は毎回カントリークラブの会長になっているんです。もうそれは要りません。ですから、今回はがんに苦しむ人生をお願いできますか？あと、白血病の子どもも。私は”神よ、どうして私にこのような苦しみを与えたのですか？”と問いかける人生を経験したいのです。あと人生を3回ほど生きれば、すべてのカリキュラムを修了できるでしょうか？エイズでも戦争でも、何でもいいです。あなたが私にくれる課題は何でもやります。お願いします。私の友達はみんな卒業していて、永遠の幸せを生きているんです。ニルヴァーナ・ランドのジェットコースターに乗って、楽しく暮らしているんですよ。私には、それを見ることは出来ても、まだ行くことは出来ません。あと少し強い痛みがあれば、私は目覚めるでしょう。私が宇宙とのつながりを忘れたり、ビジョンを曇らせる度に、お尻を蹴飛ばして苦境に立たせてください。よろしく申し上げます。この一生が終わったら、5000回の人生をまとめたよりも進化を遂げていたいんです。このゲームを続けることに、すっかり疲れました」。

アーススクールに入学するすべての魂は、前もって地球との契約を結んでいます。肉体に転生したあとは、その契約を忘れてしまいましたが、それは問題ではありません。私たちは誰もが自分の目的に合わせて、教員や授業のタイミング、人生への影響などを選びます。あくまでも目的に合ったイベントを自分で選ぶので、決して悲劇ではありません。それぞれの出来事は、魂のレベルアップに最適なように慎重に設計されているのです。そして、そこに関わる魂たちが要求した場合にのみ、実際に起こります。偶然はなく、間違いでもありません。宇宙が不親切だとか、神が存在しないわけでもありません。それは単なる教育システムなのです。このカリキュラムは、アーススクールの低学年でもっとも役立ち、高学年になると徐々に必要なくなります。

完全に目覚めた存在にとって、人生に起きる不幸なドラマは、宇宙のエネルギーのアンバランスであり、キリストのバイブレーションの中の不規則性から生まれます。白血病、レイプ、がん、殺人、汚染、児童虐待や戦争などは、宇宙の自然な状態ではありません。それはある意味で「便利な学習ツール」なのですが、こんなことはたくさんだと言うときがやって来ます。それが水瓶座の時代です。黄道十二宮の各時代の中でも、もっとも快適な環境で、適切な成長と学習を行える唯一の時代です。

地球最大のショー

The Greatest Show on Earth

あなたが「普通の」人間であれば、三次元の時間と空間が、この世に存在するすべてだと信じています（少なくとも人生の99%は、そこに焦点を当てて過ごします）。アーススクールでの学習を効果的に行うためには、すべてが現実であると信じる必要があるのです。単なる幻想だと知っていたら、私たちは何も学ばないでしょう。注意して授業を聞いたり、慌てて宿題をやることがなくなるからです。ですから、12年生の終わりに全体像が明らかにされるまで、すべては視聴覚トレーニング映像だということを知らずに過ごします。私たちは誰もが幻想の達人として、学校のシステムを現実だと思い込むのです。ご説明しましょう。

幸いなことに、私たちの社会は、幻想と現実の違いを理解するのに役立つ実践的な例があります。そうです、映画館です。そこでは巨大なスクリーン、リアルサウンドシステム、そして複数のプロジェクターが臨場感を盛り上げます。映画館で、あなたをどのような気分になるかを思い出してください。「ランボー」や「沈黙の戦艦」などの映画では、血や内臓がスクリーンに登場します。私たちは自分の悲鳴を聞きます。私たちは恐怖が完璧であることを要求します。周りの人の話し声が聞こえたら、腹が立ちます。ムードが台無しですからね。プロジェクターが完全に機能しない場合、どうなるでしょうか？ 劇場が十分に暗転しなかったり、音量が適切でない場合はどうでしょう。つまり、何らかのシステムの不具合で、完全な生理学的反応を生み出すには不十分な環境でも、心臓がドキドキし、手に汗握るような恐怖を覚えるのでしょうか？ 映画の臨場感に完全に浸れなかったら、どう思いますか？ 「お金を返してください！」と言いますよね。

平和な気分に浸りたい人なら、そのような映画を見に行かないでしょう。けれども、私たちは平和愛好家ではありません。刺激を求める冒険家です。それは偶然にも、地球と太陽系が作られた理由でもあります。私たちは喜んで劇場に行き、恐怖を味わうために6ドル払います。映画が終われば、自分だったら絶対こんなことはしないなどと軽口を言いますよね。けれども実際の私たちは、経験を自分で選んでいるのです。私たちはここで、劇場のスクリーンに上映されるスト

ーリーを自分の人生に投影するだけでなく、わざわざ入場料まで支払っています。これは幻想だと誰かが言えば、私たちは腹を立てます。

映画を見ているときは、興奮がピークに達します。戦車が丘を越えてやって来て、村人は塹壕の中にいます。そのとき、観客席の誰かが立ち上がって、「心配しないでください。それは幻想です！」と叫んだら、館内はざわつき、「黙って座れ！ 誰か案内係を呼んで、その人を連れ出してくれ！」と言う声が上がරでしょう。楽しい時間を過ごしているときに、わざわざ幻想だとは知りたくないのです。けれども、戦車が爆破されたあと、死んだはずの俳優がスクリーンから出てきて、すべてが幻想だとあなたに告げたらどうしますか？ まったく人生は、映画のようなものに過ぎません。

人間の生み出した技術すら、2時間ほどの十分な臨場感を作り出すのですから、宇宙の技術をもってすれば、どうでしょうか？ 神のトリック撮影のほうが、ハリウッドの特撮技術より優れていると知っていますか？ この惑星は、立体ホログラムですか、それともリアルですか？ 映画が終われば、エンドクレジットはすぐに始まりますか？ 観客席のライトは点灯しますか？ スクリーンに実際に血がついているのを見つけたことはありますか？ 俳優は、実際に死んだのでしょうか？ ニュースには、確かにこのような見出しが出るかも知れません。「25人の俳優がOk牧場で殺害」。けれども、実際には死んでいません。翌週、彼らは別の映画に出演します。

私たちはみな、何千回も殺されており、率直に言えば、たいした問題でもありません。宇宙的な眼から見れば、私たちは最終的に悲劇を気にしないのです。なぜなら、神が愛であることが真実であり、愛は悲劇を許さないからです。アーススクールのシステムは、ハリウッドとまったく同じように機能します。地球は非常によく計画された、技術的に正しい幻想です。あまりに完璧に作られているので、映画は上映開始から始まり、上映後に終わるように思えます。時間が線形だと考える人は、映画全体がその枠外で撮影されていることに気づきません。編集したあとが見つければ、わざわざお金を払って観に行かないでしょう。

さて、人々が5~10ドルを払って、「ランボー」のような映画を見に行くなら、一生分のドラマを生きるためには、一体いくら支払う必要があると思いますか？ おそらく、かなり高価になるでしょうね。それでも彼らが喜んで支払うのは、新入生オリエンテーションで、スクールカウン

セラーからこんな話を聞くからです。「この学校で取得する学位は、他に類を見ないほどの大きな自由と理解力を保証します」と。そしてみんなは、アーススクールに入学を決めました。なぜならここでのドラマは、スピリチュアルな成長を促す強力なモチベーションになるとわかっているからです。

神は善きもの？

Is God Too Good To Be True?

スピリチュアルな探求者が、旅路のはじめの頃に理解しづらいと感じるのは、神はあやまちを許さないということです。神は愛であり、愛は、あやまちや間違いとは相容れないものです。後の章で改めて説明しますが、ここで話題にするのは、地球で起きるすべてのあやまちについて、あなたが抱く信念とジャッジメントです。この本を読み終えてもなお、神はあやまちを許すと信じるなら、それは仕方ありません。あなたの信念に従ってください。

ラム・ダスは、飢えた人々について彼のグルの見解を紹介しています。グルは涙を浮かべ、彼はこう言ったそうです。「すべてが完璧だとわかりますか？」。そう、悪臭さえも完璧なのです。つまり私が言いたいのは、ここでは私たちが現在の思考力で理解するよりも、はるかに多くのことが起きているということです。もう少し説明しましょう。

古い概念としての神は、あやまちが起きるのを防ぐ力がありません。ですから、私たちはよりパワフルで（そしてもっと愛に満ちた）概念を必要とします。アーススクールでは、どの学年も必須で、それぞれの生徒にやるべき課題があります。アラブ諸国は、アボリジニやウォール街の人々が闘うのと同じく、自分たちにとって「正しい」方法で戦う必要があります。私たちは、誰もが自分のレッスンを学んでいるからです。もし、あなたが小学4年生を受け持つ教員になりたいなら、その学年特有の性質や機能を理解しなくてははいけません。アーススクール4年生のカリキュラムには、神や他の人との距離感に関するレッスンが含まれます。4年生の生徒は、他の生徒たちと対立して、自分が正しく相手が無知であることを証明しようとしています。場合によっては、個

人または国家レベルでけんかをします。それは間違いではないのです。彼らは単に4年生だからです。もちろんあなたは、もう4年生は卒業すると決めています。4年生の先生になりたいとも、おそらくは思わないでしょう。

スピリチュアルな価値を理解しない人々を救うことを放棄すると、心の中で葛藤が起こります。家族や友人を救い、世界の悪を倒すことは自分の「義務」であると信じる人が多くいます。勇気を出してください。もっと良い方法があります。マスターティーチャーたちが教えた道です。その方法こそはあなたの家族、友達、そして惑星に救いをもたらすものであり、しかもストレスフリーで、楽しく、刺激的です。気分を高揚させ、私たちに力とエネルギーを与えます。

教師を選ぶ - 権威者かマスターか

We Choose Our Teachers - Authority Figures or Masters

この学校には、教員のタイプが2種類に別れます。水の上を歩いたり、死者を復活させたりして平和に暮らすタイプと、世俗的なルールに従って生きるタイプです。後者のタイプの教員は、人生で常に「正しく」あることを最大の美德とします。多くはストレスにまつわる病気にかかり、罪悪感と欲求不満を抱えて亡くなります。そして、前者のタイプの教員は、マスターティーチャーとして知られます。このグループには、イエス、ブッダ、クリシュナ、その他何百という名もなき目覚めた存在がいます。マスターティーチャーは、スピリチュアルの教えによって生き、自我の影響にほとんどとらわれません。後者は、意志決定において知性と「良い判断力」に依存し、スピリチュアルな直感を信じません。私は後者のタイプの人たちを、「権威者」と名付けました。あなたもよく知っているでしょう。あなたを育て、教え、訓練し、あなたを形作り、「正しい」信念体系を植え付けた人たちです。

人間は、自分が知覚できないものを、現実の定義から除外する傾向があります。私たちの注意は日常生活に向けられていますから、大人として数年間の責任を負うと、明確でないものは知覚すらできなくなってしまう。

幼い頃、私たちは、無制限に夢見ることの愚かさをまだ教えられていませんでした。若い心には、すべてが可能でした。制限、重さ、責任、罪悪感、「～すべき」「～すべからず」などの考え、冷たく厳しい人生の現実、後付けで学習されたものです。これらの喜ばしくない信念は、権威者を通じて、地球上のすべての人に教えられています。

権威者の視点は、教育を受けた責任ある大人の視点です。彼らにとって現実的な真実とは、五感を通じて得た情報だけであり、それを目や耳から収集し、メンタルデータバンクに貯蔵します。情報は、本などを通じて間接的に得ることも出来ます。そして必要に応じて保存されたデータをソートし、もっとも有利な解決策を取り出すのです。したがって、すべての解決策は過去の事実の繰り返しです。彼らの中にはプロセスを繰り返すのが得意で、権威者であることに秀でた人もいます。そして、非常にゆっくりですが、地球は進歩しています。まだ戦争は終わらず、非人道的なシステムも廃止されていませんが、いくつかの改善は適宜施されているように見えます。

私たちの身の回りにいる権威者たちは、スパルタ教育の学校、または知識人のための学校で勉強しました。彼らは、私たちに人生の事実を教えてください。人生を生きるのがいかに難しいかを教えてください。彼らは言います。「古株のナンバーワンに気をつけて、状況に応じて、防御的または攻撃的になりなさい」と。また彼らは、労働倫理や、経済的・政治的・社会的な不平等と不正について教えます。それによって私たちは社会で前進する方法を学び、問題解決と批判的思想のスキルを身につけます。自分とは異なる性別が持つ固有の欠点についても学びます。

もし五感によって得た情報によってのみ構成される現実が存在するなら、人生をインテリジェントなアプローチで眺めるのは理に適っています。しかしそこにおいて、愛に満ちた全能の神は存在しないこととなります。愛に満ちた全能の神が存在しているなら、戦争、白血病、児童虐待、飢餓などが、この世にはびこるはずがないからです。

権威者とマスターティーチャーのどちらに従うかを決める場合、権威者によくある悪い評判に注意してください（議員だけに当てはまることではありません）。権威者は、その独断的な意見で知られています。彼らは「正しい」行動規範と、心臓発作、その他のストレス合併症で有名

です。経済的または他の状況が「制御を超えて」、自分の期待に満たなかった場合、時には建物から飛び降りることも知られています。

なぜ私たちは、権威者を信じるのですか？なぜ私たちは、彼ら同様、限定的な信念を多かれ少なかれ持っているのですか？なぜマスターティーチャーの教えは、権威者の意見と対照的なのですか？マスターティーチャーは言います。私たちは幼子のようになるべきであり、明日の心配を何もせず、野に咲く百合の花のように、一身に心を尽くして信頼すべきであると。彼らはまた、国家や仕事、生活を守りなさいとも教えません。

『奇跡のコース』は、攻撃も防御もしないようと言います。私たちの立場を、決して他の人に正当化しないようと言います。人でも国家でも、他者との関係で警戒状態を維持するより、内なる平和を維持するほうが大事だと言います。

マスターティーチャーの視点は、五感を通じた客観的現実に基づきません。彼らは「私が見るものは何も意味しません」、「私の目の前には過去しかありません」などと不合理なことを言います。そして、権威者が特に混乱するのは、次のような言葉です。「私の無防備さは、私の安全を守ります」。「悪に手向かってはなりません」。マスターティーチャーは、私たちが悪や不正に抵抗するために自分のエネルギーを費やさないなら、もっとも進化した権威者が描いた目的を達成するだろうと言いました。その目的とは、自分自身や惑星を癒し、平和と緑に満ちたエデンの園を築くことです。しかし、マスターティーチャーは言います。抵抗（修正）によって平和を生み出す試みが、かつて成功した試しはないと。自分自身を癒す前に、自分以外の何かを癒そうとしても無駄なのです。なぜなら世界には、自分の外には何もないからです。マスターティーチャーの言葉はどれも、権威者の合理的な思考とは一致しません。西洋の教育システムは、分析し、合理化し、改善する能力を持つ知性に、究極の価値を置いてきました。そして社会経済システムのさまざまな不備を調整することで、この惑星を正そうとします。『奇跡のコース』は、すべての分析は自我に属すると言っています。そして、すべての修正は、人類ではなく聖霊に属していると書かれています。

私たちは、愛する人とこの惑星について心配するべきですか、それとも常に安心しているべきですか？どちらがより役に立ちますか？間違いや不正を修正する必要がありますか？または

、ただスピリットに任せればいいのでしょうか？ それとも、活動家や平和主義者に？ もしくは、神が私たちを通じて働くなら、神の名において世界の悪を正すのがいいですか？

一体、誰が正しいのでしょうか？ 答えに驚くかもしれませんが、彼らは両方とも正しいのです（まあ、実際には善悪というものはないのです。後で説明します）。それは視点の違いでしかありません。この本では、マスターティーチャーの言葉の妥当性を探ります。そして、マスターが私たちと惑星のために達成した道だけが、誰もが待ち望む癒しにつながるという可能性を見ていきます。

権威者の道も、もちろん魂の成長に非常に役立ちますが、進みがひどく遅いです。そして、この道がカルマと呼ばれています。マスターティーチャーが教えた道は、エンパワーメントと啓蒙に満ち、楽しく最高に便利です。あなたが楽しくない人間関係に疲れ、肉体的・金銭的にも限界を感じているなら、宣言をする準備ができたのかも知れません。

あなたにはカルマのための時間はない、と。

カルマの道を放棄し、喜びや楽しみや興奮、そして心の平安をもたらす道へシフトするには、ソロモン王の助言に従わねばなりません。

「あなたが何を得るにしても、悟りを得よ」（箴言4:7）。

アーススクールの構造

The Structure of Earth School

地球に生命が存在する理由を理解しましょう。地球が学校であるということを理解しましょう。決して終わることの生命の大きな全体像を理解しましょう、そうすれば、地上の天国を作るために十分な知識を得ることができます。想像してください。すべての抵抗がなくなり、闘争も勝利もない状態を。

アーススクールのシステムの機能を理解し、世界に流されるのではなく、世界の中で意識的に生きることを選ぶとき、これまで望んだすべては、あなたにもものになります。私たちはみな、マスターティーチャーになるのです。この惑星の進化の規模から言えば、今日、地球に転生した個人の90%は低学年で、スピリチュアル的には暗闇の中をさまよっています。彼らは、原因と結果の関係や、それが生まれるプロセスを少しも理解していません。彼らはみな、自分が犠牲者だと信じています。もし、経験を通じて実地の知恵をつけることができれば、少しは状況をコントロールできるようになるかも知れません。しかし、彼らは自分のいる状況は決して偶然ではないということは信じないでしょう。すべては特定の教育目的があり、それに沿って自分で作成したものだと考えたことすらありません。

私たちは誰もが、地球上の他のすべての人につながっていて、だからこそ人を撃つのは間違いなのだとは彼らは理解しません。正当な理由（愛国心や自衛など）があれば、彼らの現実認識に逆らわないのです。すべての存在が互いにつながることなく、個々に切り離されているのであれば、自分の利益だけを追求し、他人や社会のシステムを不正だと決めつけるのは、ごく自然です。

とりあえず、アーススクール10年生以下の学びをひとまとめにさせてもらいましょう。彼らは、今日、地球上の平均的な意識レベルである「メロドラマ意識」を生きる生徒たちです。魂は、進化の過程の大部分の時間を、このレベルで費やします。家に還るまでの道のりで、もっとも長い箇所です。

学年に分けて考えることは、一見、分離に基づく概念に思えるかも知れませんが、これは決して、ある学年が他の学年より優れていることを意味しません。確かに学年が上がれば、自我のつまづきによる失敗を避けられる程度には十分賢くなります。けれども、教員の経験がある人ならご存知のように、もっとも頭の固かった新入生が、めきめきと成績を上げ、教科担任がこれまでに取得したより多くの資格や博士号を持つこともあります。トータルで考えれば、学年とは非常に一時的な状態なのです。

10年生

The Tenth Grade

たとえ話を続けましょう。ここではアーススクール10年生について見ていきます。10年生のみんなは、地球上の平均的な意識をはるかに超えた生徒たちですが、まだ「悟り」には達していません。10年生になるまでに、その下の学年で学ぶすべてのことを習得しました。10年生にとって大事な勉強は、脳と関係しています。10年生は、非常に知的な学年です。この学校では、一つの知性が育つまで、およそ800万年から1000万年かかります。それだけ長く転生を繰り返しただけでも、たいしたものです。10年生のみんなは、しばしば天才と呼ばれます。地球上の職業では、経済学者、教育者、将軍、政治家として働くことが多く、両親がそうだったと言う人もいるかもしれません。非常にはっきりした意見を持っているので、生徒として教えるのは難しい子たちです。論理的に納得しない限り、彼らはレッスンを受け入れません。

地球上でもっともよく知られた権威者は、ほとんどが10年生です。彼らはとても頭がよく、なぜサウジアラビアに5000人もの兵士を配置する必要があったのかを、きわめて合理的に説明することが出来ます。彼らは理解力に長け、あらゆる問題の答えを言えますが、株式市場が暴落したときに、窓から飛び出すのもこの学年の人です。彼らの多くは良い人物で、何百万年もかけて知性を進化させてきましたが、必ずしも幸せではありません。非常に知的であり、同時に心からハッピーな人を、あなたは何人知っていますか？彼らは、議論に忙し過ぎるのです。

彼らは他の権威者を説き伏せることができなかつたときに、喪失感を感じます。彼らは、自分の五感こそが本物だと信じているのです。その感覚を通じてすべての情報を取り入れ、データバンクに保存し、答えが必要なときに取り出します。ある人は、あなたにこう言います。「あなたは共和党员になるべきです。それには確かな理由があります」。また、別の人はこう言います。「あなたが民主党になるべきです。それには確かな理由があります」。どちらの人も自分のデータバンクに保存されている情報に基づいて話しているのですが、実際、彼らが手にするのは、地球上で利用可能なデータの100分の1にも達していません。そのように限定的な情報しか持たない人が、真に正しい決定をすることができると思いますか？

知識人は、知性で遊ぶことを楽しみます。彼らは、私たちが新しいスキルを獲得したり、新しいおもちゃを見つけたときと同じように、新しい知識に興奮します。その気持ちはわかるので

すが、知性によって内なる平和がもたらされる保証はありません。彼らのマインドは常に誰かと競争しているので、ひとときの平和を見つけることはできても、週末の間、釣り竿をぶらさげて湖のほとりに静かに座るのは難しいでしょう。彼らは、何かアイデアを得ると、飛び上がって興奮します。「これからブレインストームをします。すぐにオフィスに行きましょう!」。そのような人生は、知性の消費です。宇宙は絶えず摂動と変化を繰り返し、一秒前と同じものは何もありません。すべてを学ぼうとしても、ある瞬間の事実は、次の瞬間には時代遅れになります。永遠に情報を更新しなければなりません。それは何回か転生を重ねてもいいほどには楽しいゲームですが、永久に行うようなものではありません。しかし、知識人は心の平安を得ることには、たいして興味がないのです。彼らの目標は、世俗的な知識の獲得とマインドへの刺激であり、地球上の知的エリートと呼ばれることを何より重要視します。

アーススクールのすべての生徒たちは、学年や理解のレベルに関係なく、お互いの解放と自由のために貢献しています。偉大な知性が、研究室で壊滅的な病気の治療法を発見するとき、私たちは驚嘆しますし、エンジニアや科学者が、私たちの生活を容易にするデバイスを作ってくれるのはありがたいことです。進化のどの地点にいても、誰かが限界を越え、人生の障壁を破るのを見ると、それはいつでもインスピレーションとなります。私たちは学びながら、共有します。共有しながら、成長します。そして、成長しながら、自分自身と人類を自由にします。

この学校の生徒たちは、誰もが天才になる可能性を秘めています。目覚めの道が始まった人は低学年を修了し、次の学年に上がります。これを読んでいるあなたも、間違いなく地球上の「ライトワーカー」のひとりであり、インテリジェントな存在です。悟りの道は、インテリジェントであることが必須条件です。しかし、知性至上主義に巻き込まれそうなときは、一時停止し、よく考えてください。それは刺激的ではありますが、平和や喜び、人間としての経験を超越するような感覚を決してもたらしません。

知性至上主義は惑星が抱えるジレンマに焦点を当てるので、「あなたの目を、fに神に向ける」という教えは完全に無視します。それは、あなたが内なる平安を達成し、癒しの能力を引き出すことを遅らせます。

線形時間で考えれば、10年生は全体の道のりの9割まで修了したと言っても過言ではありませんが、二極性の統合という課題については、半分も終わっていません。彼らは左脳が非常に発達しているので、人生で機能する能力の半分しか使っていないのです。彼らにとっては知性が王様であり、最終的には研究室で活躍するのに十分な学力を身につけることが目標です。

けれども、長いこと10年生をやっている人は、やがて自分の中の優先順位が変化することに気づきます。ある時点で、人は言われた通りのことをするだけの存在ではないと気づくのです。もちろん、彼らは何が正しく、何が間違っているかについて、よく「知っている」と思っています。にも関わらず、何か足りないように思え、それを取得すべく、急いで次の学年へ進みたくなります。もしくは、全人類を正そうとすることに疲れ果て、ついに実現不可能だと確信します。そのようにして自分の戦いをあきらめたとき、無意識のうちに、宇宙が彼らを次の学年に連れて行きます。

11年生

The Eleventh Grade

アーススクール11年生では、思いやりを学びます。10年生の学びを修了し、11年生として地球に戻って来ると、知識人だった頃とは正反対の位置にいる自分を発見します。ご存知のように、それがカルマのやり方です。私たちはしばしば、以前の人生とは、逆の立場として戻って来きます。宇宙はそのようにバランスを取るのです。11年生は直感的な側面を発達させており、世間ではなく、自分が正しいと思うことに従って人生を送ります。彼らはとても繊細で、実用性をあまり考えません。そのため論理的な立場からは、批判的に受け止められます。

11年生の生徒たちは、戦争に行くような愚かなことを絶対に拒否します。1960年代には、彼らはスクールバスに住むフラワーチルドレンでした。彼らは花を運び、壁に虹を描くことで、世界をより良い場所にすることができると信じていました。完全に非論理的な世代です。彼らは、断固たる意見を持つ当時の知識人からは厄介に思われていました。「もう少し責任感を持って、きちんと就職してくれればいいのだが」。しかし11年生のみんなにとって、就職は優先順位が低

かったのです。彼らの父親の多くは10年生でしたが、彼らの意見にはあまり賛同できなかったのです。「ハーバード大学に行き、大企業に就職しなさい」。息子たちの答えはこうでした。「お父さん、僕は大学に行く時間がないんだ。人々が川にごみを捨てるから、プロテストしなくちゃ！」

11年生には、大きな野望があります。地球上で戦争を終わらせ、環境汚染をなくし、ホームレスに住まいを提供し、がんの治療法を発見し、アフリカの飢餓を癒したいと願います。それは、知的なコミュニティの言葉とは大きく異なりました。「まずは大学に通って、食い扶持を見つけるんだ」。その意見は非常に論理的ですが、思いやりに満ちているわけではありません。

11年生に上がると、意識が左脳から右脳に移行するので、少々非合理的なことも言います。「私はサンショウオを保存します」。「熱帯雨林を救います」。どちらも実現は容易ではありません。しかし、彼らにとってそれは問題ではなく、人々への思いやりを第一に共感から行動するのです。彼らがこの惑星に来たのは、惑星家族の意識を高めるためです。ですから、彼らは国際協力と国際協調の必要性を提起し、大きな貢献をしています。しかし、その過程で、彼らの心はすり減ります。人間関係にも多くのストレスを感じます。毎日忙しく、瞑想して心の平安を保つ時間が少ないのです。

環境保護主義者や、活動家を見てください。ニューエイジコミュニティは、まさに地球的な啓蒙活動の縮図です。そこに携わる人は仕事を愛し、自分は本当に幸せだと主張します。お金が足りなかったり、体が少々痛いのは、決して自分のせいではないと考えます。彼らはクリスタルを使い、ヒーリングワークに従事し、スワミと呼ばれる誰かの足元に座るのが大好きです。しかし、彼らはこの惑星を包む悲劇に焦点を合わせているので、地球での暮らしが平和とは思えず、喜びもそれほど感じません。むしろ地球が汚染され、熱帯雨林が姿を消したり、すべてのイルカがいなくなったり、気温上昇によって南極の氷が溶けたりすることを、いつも心配しています。

人生には、目に見える以上のものがあると気づくと、私たちは慈悲に満ちた存在に自然と引き寄せられます。そのような人々は、私たちが体現できる最高の意識を具現化した存在だからです。「私は彼らのメンバーになりたい。彼らのグループに参加します」。「私は反核派になります」。11年生は、地球人の善良さを一身に表現します。私やあなたは10年生を終え、11年生での

学びも熟知しています。しかし、マスターの学位が授与される前には、まだ学ぶべきことがあるのです。

すべてのマスターティーチャーは何と言いましたか？ 天の王国に入るには、悪に手向わないことです。抵抗しながら悟りを得る確率がどれくらいあるか知っていますか？ それは抵抗したマスターの人数と同じ、つまりゼロです。彼らはすべて愛と光のために存在します。彼らには不安もなく、11年生のように常に何かを恐れているわけでもありません。

思いやりは、道の終わりではありません。思いやりを持つことは、目覚めているのと同じではありません。アーススクールは、完璧に機能しています。ここでは、何かを修正する必要はありません。もしあなたが肉体を持ち、知性と思いやりを持っていても、悟りには至りません。まだ学校にいます。学年にも間違いはありません。あなたにとってベストの結果がもたらされるよう、うまく調整されているのです。最終的に、すべての学年を卒業させること。それが私たちの仕事であり、それが悟りです。

宇宙の法則では、あなたが癒しを与えるなら、あなた自身が癒されていなければなりません。平和を与えたいなら、あなた自身が平和でなければなりません。世界に喜びを与えたいなら、あなたが喜びに満ちている必要があります。持たないギフトは贈れないのです。傷ついた11年生が、他の人を幸せすることはできません。

11年生から12年生の間には、生徒が何百万人もいます。成長の道のりとして地球を利用する人は、通常、どの学年もスキップしません。ある学年から別の学年に進級するためには、一般的には、向こう側に渡ります。11年生の学びでは、知性も盲目的な思いやりも、私たちが家に帰る道のりには至らないことがわかりました。次の学年があるのです。

12年生

The Twelfth Grade

12年生になるまでに、生徒たちは目覚めについての学びをほぼすべて終えています。みんな天才です。すでに知性の道を終えているからです。自分のインテリジェンスを認識するのは楽しいかもしれませんが、決して天国の扉は開かないとわかっています。そこで今度は直感的な側面を発達させ、「バランスの取れた」存在になりました。道のりを楽にするにはそのほうがよいと思ったのですが、それでもまだ、なぜ人生にはがらくたがあるのか、なぜこの惑星には多くのあやまちがあるのか不思議に思います。次のステップの準備はいいですか。この学年を終えると、みんな地球を卒業します。

11年生の終わりに、次の学年に移行する準備ができると、それは明確にわかります。あきらめる用意ができるからです。「私は一生懸命に戦争を止めようと努力してきましたが、どうやら終わりがありません。これ以上はもうできません」。そして、あきらめるという、まさにその過程を通じて、私たちは12年生になります。

家父長制が支配するこの男性的な惑星では、あきらめることは失敗にも等しいと考えられています。人生を切り開くために、自分よりも大きな力と智慧に屈するのは心地いいことではありません。

すっかり卒業したつもりには、一体、自分は何のために地球にいるのかと疑問に思う人もいます。実は、そのような人たちは移行チームのメンバーで、生徒全体の卒業プロセスを促進しているのです。惑星移行チームのメンバーだと宣言する人は、12年生以外にも数多くいます。しかし実際、ほとんどの人は自分の方法を知性化・合理化し、自分の方法にこだわり過ぎて客観的になることができません。真の移行チームのメンバーは、多くの場合、自分では気づいていません。彼らは、ただ家に帰りただけです。自分が家に帰る道を見つける途中で、この惑星を癒すのです。

自己啓発にいそしんだ後、自分がついに解放されたと宣言したときのことを覚えていますか。あなたは自分自身に、多大なエネルギーを感じたはずですが、しかし、そのような感覚があるのは、あなたがまだ道を習得していないことの証明です。本当に自分が自由だと知ると、ただ自分

自身でいることに平和を感じます。地球を卒業するには、そのように客観的な状態（内なる平和を体得した状態）でなければなりません。成長体験の途上では、平和の理論は頭の中にあるに過ぎません。その段階では、まだ赤ちゃんをあやすガラガラとケージが必要です。

12年生の生徒は、これまでの人生を統合しています。過去の転生に戻り、そこでの有益な経験を現在に意識的に適応させるのです。それは司祭、僧侶、殉教者などとして生きた人生や、地中海の浜辺をサンダルで歩いた日々の詳細を思い出すことではありません。そのすべての人生を実際に生きたとしても、詳細は関係ないのです。重要なのは、その人生で得た気づきです。かつて自分が達成したことや、吸収した感情は、12年生用の便利なツールになります。

しかし、これは混乱を招くこともあります。これまでの人生を統合するとは、経験を寄せ集めることです。したがって、あるときは知性の道に、またあるときは不幸なドラマの道に陥ります。つまり、これまでに行ったすべてのステップを何度も繰り返すのです。何百万年もの間持っていた習慣を壊すのは容易ではありませんが、自分はすべての答えを知ったと感じるような輝きの瞬間もたくさんあります。

そのようなことがわかってくると、私たちはつい、人々を修正したくなります。10年生の習慣を完全に落とし切れていないのです。もしくは12年生になっても、私たちはときどきメロドラマに真剣になります。以前と違うのは、昔ほど強いこだわりを持たないことです。「私をおいて、他に神があってはならない」という言葉があります。知性、またはドラマが私たちの神（思考を支配するもの）である場合、人生はあっと言う間に行き止まります。

12年生の生徒たちは、たとえ成長を逆行しているときでも、自分を見つめる十分な意識を持っています。彼らは、すでに意識的に生きているからです。そして、自分が偶然によって生きていることを、徐々に信じなくなります。そのかわりに、人生の目的を見つめるようになります。彼らは、自分の神性を見るようになります。今や、たった一つのアファメーションが、10年生と11年生が考えつくすべての解決策よりも、多くの問題を解決すると知っています。彼らはカルマのレッスンを手放し、ただ神／人／自己として佇みます。

道路を横切って向こう側の歩道に渡る際には、知性は直感より便利です。知性なしでは、完全に地球で暮らすことはできません。しかし知性だけでは、全く創造性がありません。知性は、

直感とは異なり、前例がない未知のものに手を伸ばしたり、そこから答えを引き出したりすることができません。そこで彼らはようやく、答えは知性の中にはないと気づくのです。そして答えは、盲目的な思いやりの中にもありません。あなたが私と同じであれば、答えがどこにも見つからない欲求不満を経験したことがあるでしょう。その時、宇宙は立ち上がり、拍手を送ります。「これから数年、この人が混乱したままでいるか見てみましょう。しばらくすれば、彼らは頭から抜け出すでしょう」。

地球の知識は使えない

Earthly Knowledge Won't Cut It

自分は何でも知っていると思うのは、学習が遅れた人です。宇宙は彼が目覚めるのを待つしかありません。そのような考えは、私たちのエゴのボタンを押します。なぜなら、人間の価値は知識の量に比例すると権威者たちに教えられてきたからです。しかし私たちは、最終的に満足と刺激をもたらすのは、これまでに学んだ知識の量ではないとわかります。私たちがつながる知識の量なのです。

学習とは直線的で知性指向のタスクだと、地球の人々は考えます。しかし、直線的に何かを行うことは、直感的に行うことに比べて極めて理解が遅くなります。この惑星の左脳タイプの人種は、アインシュタインとモーツァルトが直線的ではない場所からヒントを得たことを、決して理解しません。

スピリチュアルな生徒にとって、学習や知識は、決してネガティブな言葉ではありません。ただ、それを得る方法をシフトさせたいのです。時間と苦勞の伴う方法から、ストレスのないものへと。マスターティーチャーは、いつも言いました。「完全な理解を得るには、自分が何かを知っていると公言するのをやめることです。そのとき、得られる知識の量に比べれば、今の時点では何も知らないに等しい」。グルは、新しい弟子にこう告げます。「座って、静かにしてください」。そして、次にこう言います。「心を落ち着かせ、あなたが神であると知ってください」。つまり神とはあなたであって、空のかなたにいる老人ではないということです。『奇跡のコー

ス』には、このような言葉があります。「マインドが癒されている人は、自ら計画を立てません。自分のものではない智慧に耳を傾け、受け取った計画を実行するだけです。その時が来るまでは待ちます」。

この地球上で、見たり、聞いたり、読んだり、感じたりするすべてのものは、慈悲深く、友好的な宇宙と調和しています。しかし、そのことを完全に認識できる存在は、ごく少数です。このことを理解するには、宇宙の創造の法則を理解しなければなりません。

第2章

宇宙の法則

COSMIC LAW

地球は、宇宙の法則の枠組みの中で機能しています。アーススクール卒業が近づく頃には、私たちは宇宙を支配する法則を深く理解するようになります。いくつか前の転生では、そのような法則が存在することすら知りませんでした。この法則を熟知すると、それを使って望む現実を創造することができるようになります。

宇宙の法則には、個人的な偏見はありません。宇宙は、誰が自分の利益のために法則を利用し、誰が破壊的に使用しているかを知りません。原子力と同じです。人類の利益のためにもなりますし、人類を破壊するためにも使用できます。核分裂の原理そのものは公平ですから、違いを生み出すのは、使う側の意図と理解のレベルです。しかし、理解を得たマインドが発揮する力は、原子力よりはるかに大きくなります。それは死者を蘇らせ、水面を歩き、すべての抵抗がなくなる空間を作り出すのです。

私は宇宙の法則を無個性の原則として話していますが、宇宙には愛と思いやりが欠けているということではありません。理由はあとでわかりますが、真実の愛と慈悲は、揺るぎない法則にこそ基づいているのです。

宇宙とそのルールは、いかなる人格も持たない純粋な原則として見なされなければなりません。私たちが神との共依存関係を避け、自立した力を持つ存在になるためです。神が人格ではなく原則であるならば、気に入ってもらえるよう注意を引こうとしても意味がありません。もし、神に人格があれば、自分の好みや判断で人に恩恵を与えたり、差し控えたりするでしょう。けれども、原則はそのようには働きません。創造の原則に助けを求めて祈っても、「贈り物」や「癒し」を与えてくれることはありません。しかし、それは常にそこにあり、私たちに自らを明らかにし、いかに力を使えばいいかを教えてくれます。

重力を考えてください。あなたが窓の外に飛び出せば、地上に落下します。落下する途中であなたが重力について考えようが考えまいが、地球は気にしません。重力は人間味がないのです。「彼女はいい人だから、下に落とさないようにしよう」とは言いません。

因果界

The Causal Plane

ここでのルールは非常に単純であることを覚えておきましょう。この地球が学校として設立されたとき、現実の平面は因果律で制御されることが決定されました。秘教的な教えを学んだ人は、他の平面についてもご存知だと思います。物質界の他に、精神界、感情界、そしてアストラル界などが含まれます。因果界は、精神界と感情界のすぐ上にあります。このため、思考と感情を組み合わせると、物質界に（症状として）はっきりと現れます。これは、デール・カーネギー（※Dale Carnegie、ビジネスコーチ書で有名なアメリカの作家）や、その他のビジネスコーチが長年にわたって教えてきたプロセスとまったく同じです。試したことがある人なら誰でも、実際に機能することを知っています。あなたが望むものをマインドでイメージし、感情的なエネルギーを加えると、あなたの現実に現れるのです。

この創造のプロセスをスピリチュアルな観点から考察したものが、古代ミステリースクールの教えです。あなたは今、かつて真理の探求者、またはオカルト組織が知っていたのと同じくらい多くを知っています。思考が外側の世界に出現する！それがこのシステムの仕組みです。ルールを聞いたことがある人もいるでしょうけれど、意識的に適用することを忘れがちです。

悪に手向かうなかれ

Resist Not Evil

マスターティーチャーは、私たちの生活がどれほど複雑であるかを理解していないように思えます。しかし、彼らの人生からわかる証拠によると、彼らの方法は地球が抱えるすべての問題を解決する唯一の可能性だと気づきます。マスターが何を言い、何を言わなかったのかに注意してください。彼らは、悟りを求めるなら大学の学位を取得しなさいとは言いませんでした。私たちを脅かすものを圧倒するために軍隊を配置しなさいとも言いませんでした。大義を支持する信者を集めなさいとも言いませんでした。彼らが言ったのは、「あなた方のために、互いに祈りな

さい」ということです。それは単純すぎると思うかも知れません。「あなたは私の夫を理解していません。祈りは役に立ちません。ハンマーで彼の頭を殴って目覚めさせる必要があります！」。イエスは何と言いましたか？彼はもう一方の頬を向けるように言いましたよね。「はい、でも、私がもう一方の頬を向けたら、私は終わりです」。「男らしく立ち上がる必要があるのです。ジョン・ウェインのように！」。イエスはこうも言いました。「悪に手向かってはなりません」。それでも、私たちの多くは思いやりある善良な人物であるため、悪に抵抗して人生を過ごします。

少し考えてみましょう。マインドの思考と肉体が抱える感情によって現実ができていながら、反戦を唱えることで何が起きるのでしょうか？

私には、反原発を主張する友人が何人かいます。そのうちの1人は反核キャンペーンに非常に優れていて、放射線やけどを負った子どもたちのポスターを収集しています。写真はとてもグラフィックであり、誰もそれを直視することができません。彼は放射能病にかかった子どもの写真も使います。殺人がもっとも恐ろしい犯罪だと信じて反殺人を唱える人は、「殺人とはもっとも恐ろしく酷いものだ」という感情的な怒りに裏打ちされたイメージを持っています。創造の法則が働くとき、それは現実になります。簡単に言えば、私たちが強く抵抗するものは何でも、それを現実化させてしまうのです。重力の法則が公平であるように、創造の法則もまた然りです。

エデンの園の作り方

How to Create the Garden of Eden

宇宙は、私たちが心に留めている欲望と恐怖を区別しません。あなたは地球上でウェイショウワー（※道を示す人）であることを自覚してください。エデンの園を望む場合、またはすべての人が自由になることを望む場合、どのようにして作り出せばいいのでしょうか？

10年生は知性に信念を置き、議論を通じて作り出そうとします。彼らは多くの興奮と、いくつかの良い戦争を生み出します。11年生は、有害なものすべてに反対します。その意味で彼らは、地球上でもっとも強力な害を及ぼすと言えます。12年生ではじめて、マインドの中の思考が外

側の現実映し出されることを本当に理解します。このレベルの生徒はすべてをキリストの視点から眺めるようになり、思いやりと理解のレベルにも変化が生じます。彼らは犠牲者ではなく、あらゆるものを作り出し、再生し、癒す存在だと気づきます。

地球に緑を増やしたいなら、反茶色を唱えるべきでしょうか？ まったくそうではありません。平均的な人は、この違いを理解しません。しかし、スピリチュアルな考え方ができるようになると、そこに明らかな因果関係を見ることができます。エデンの園を作り出す人と、人類の進歩を阻み、自らの目的に専念する人との違いは簡単にわかります。環境保護を訴える人の主張が、公害防止からすべての浄化へとシフトするにつれ、彼らは驚くほど強力になります。マインドは、物理平面に存在するいかなるものよりもパワフルに現実を創造するのです。

地球上で私たちが持つ創造の力は驚異的です。物理平面における法則の働き方を理解する上で、信じられないほどの進歩がありました。「平和を視覚化しよう」と書かれた車のバンパーステッカーもそうです。否定的な立場から肯定的な立場へとシフトするとき、私たちは地球上で真の救世主となります。大げさに聞こえますか？ しかし、原因と結果の関係を理解すると、そうなるのです。戦争を止めようとすれば、地獄が生まれます。平和を可視化することで、天国が生まれます。

意識は現実を作る

Consciousness Creates Reality

常にダイレクトに、あなたが作成したいと思うものを考えてください。あなたは地球上の創造力の50億分の1であり、50億が念頭に置いたものは何であれ、地球上に出現します。なぜ独裁政権は崩壊するのでしょうか？ なぜ人々はガラス瓶とアルミ缶を別の袋に入れて収集するのでしょうか？ なぜベルリンの壁は崩壊したのでしょうか？ これらの出来事は、知識人が議論によってもたらされましたか？ 絶対に違います。

地球を癒す上で、瞑想は非常に大きな役割を担います。それは、すべての知識人と盲目的な思いやりを信じる人々を合わせたよりも多くのことをします。瞑想によって、因果界に関わるこ

とができます。世界中のあらゆるグルが、身体をリラックスさせる方法を教えているのは興味深いと思いませんか？「ここで深呼吸をして、少しヨガをしてみましょう」と、彼らは言います。「ワクワクしてやろうぜ！」とは言いません。彼らは言います。「リラックスして、平和に、心を静めましょう。あなたの目をまっすぐ神に向けて、集中してください」。今、あなたは地球にどのような姿を望みますか？あなたが反対するものではなく、あなたが望むものをイメージしてください。宇宙の法則は公平であり、何を視覚化するかは問題ではありません。宇宙は「それは悪い考えなので、実現させないことにします」とは、決して言いません。

12月31日のワールドヒーリング瞑想（※1986年に行われたイベント）に、数百万人の人々が参加するとき、ベルリンの壁が崩れました。その崩壊の理由は、多くの人が知りません。その理由をピーター・ジェニングス（※米ABCネットのニュースキャスター）が、イブニングニュースで伝えたことは一度もありません。それは純粋に、私たちの意識が変化したために起こったのです。

何百万人も瞑想者は、自分が何をしているかを知っていたでしょうか？彼らはマインドの力による創造の法則を理解していましたか？いいえ、そうではありません。彼らは、意識を合わせることによって生まれる相乗効果については知りませんでした。しかし、彼らは瞑想が良いことだと感じていました。ですから、彼らは集まり、祈りました。平和がこの地球に君臨し、調和がとどまるように。彼らは誰かの間違いを修正しようとしたかも知れませんが、それは問題ではありません。なぜなら、ある日、彼らはすべて同じ方向に引っ張られ、地球のエネルギーをシフトさせたからです。それが平和への道を切り開きました。

地球にシフトを起こすには、何人の人間が必要ですか？世界平和ときれいな空気を生み出すために、視覚化に費やすべき日数はどれくらいでしょうか？マスターティーチャーは、からし種ほどの信仰があれば、1%の時間で十分だと言っています。世界に住む人々のランダムな思考は、人類や惑星にほとんど害を与えません。50億人がランダムな思考に従事している、つまり考えていることがばらばらな場合は、問題にならないのです。ある方法に従えば救われると考える人と、別の方法で救われると考える人がいるなら、どちらの方向に引っ張られるでしょう。誰もが別の方向に引かれれば、どちらにも進みません。けれども、50億の人口のうち、ほんの一握りでも同じ方向を向くなら、すべての人類が溺れる前に良い知らせを広めることができます。それが宇宙の法則です。

私たちは常に、意識の中にすべての変化の原因を求める必要があります。全世界にテレビ中継して地球を救おうと訴えれば、世界はもっと平和になると考えるかも知れませんが、そのような方法で何かを伝えてもうまくいきません。なぜなら現実を作り出すのは、いつでも私たちの信念体系だからです。

行動はクリエイティブではない

Behavior is Not Creative

成長が進むと、行動が直接何かの原因になるのではないと理解するようになります。私たちはこの惑星で生まれた瞬間から、行動を中心にプログラミングされています。私たちの行為が他の誰かに危害を与えたとして権威者に叱られるとき、罪悪感が生まれます。何か間違っただけの行いをすれば、手を叩かれます。言語を習得するプロセスで、肉体的な欲求を訴える言葉の次に学ぶのが、「いいえ」です。「これをしてはだめ」、「あれをしないで」、「やめてください」、「しないでください!」。けれども、行動に意味があると言ったマスターティーチャーは存在しません。彼らは、この惑星の創造力の源が行為にあるのではないと理解していました。

意識を使って現実を作り出すことを知ったあとでも、たびたび気が散ります。どのように思考を働かせたら望む変化が得られるのかわからないと、絶望的になります。そして欲求不満から、必死に何かを行います。そのようにして永続的な幸せを作ろうとしても、常に失敗します。

私たちは、五感が表す現実こそが真実だと信じるように訓練されています。建設中の建物を見て「創造」が進んでいると信じるのは、何も無い更地に創造の力を感じるよりも簡単です。けれども、それが本当なら、イエスは水上を歩く前に、水を固体として「創造」しなければならなかったでしょう。意識そのものが、この平面上の現実です。行動は、それに続く自然な結果です。

建築家が頭の中で考えることができなかった建造物は、地上に存在しません。イエスは決して橋を架けず、サイババは戦争を終結させませんでした。惑星に大いなる移行期をもたらしま

した。私たちはいつも、偉大なスピリチュアルティーチャーたちが教えてきた方法で創造したいと思っています。

私は行動が悪い、無関係だと言っているのではありません。この惑星で、行動は必須であり、行いは私たちの本質です。行うことは、私たちの探求と遊び心であり、人生のダンスの一部です。しかし、それは物事の原因ではありません。原因と結果を区別する智慧が必要です。私たちは意識を通じて、私たちの宇宙を創造する方法を知る必要があります。そうすれば、自分の行動を通じてダンスすることができるのです。

信頼：形而上学ムーブメントが恐れる言葉

"Trust" - The Most Feared Word In The Metaphysical Movement

ユニティチャーチ、マインドサイエンス、クリスチャンサイエンス、およびいくつかの自己啓発グループが提供するアフメーションを研究したことがあるなら、現実を生み出すのは私たちの信念であって、変更する必要があるのはそれだけだと理解します。世界で間違いが発生した場合、修正する必要があるのは私たちの信念であり、間違いそのものではないのです。

私の大好きな作家、エメット・フォックス（※Emmet Fox、ニューソート系のディヴァイン・サイエンス教会設立者）は、そのプロセスについて非常にはっきりと話しています。彼は著書の中で、こう言いました。私たちの信念体系は非常に強力なので、10ドル紙幣が自分のものだとして固く信じるなら、ニューヨークの42丁目とブロードウェイの交差点に2週間置き去りにしても、あとで見つけることができます。

私はこのレッスンを自分で学ぶことにしました。私を常に悩ませてきたのは、財産を保護するために必要なエネルギーと、錠前と鍵の概念でしたから、ぜひ、エメット・フォックスの理論を試したいと思いました。そこで手始めに、自分の車が自分に属するものだと強く信じることにしました。他の誰も私から奪うことができませんから、ドアもロックしませんでした。すると、非常に短い時間で私の車は盗まれました。宇宙は、私の学びを助けようとしていました。私はすでに意識的に生きる決心をしていたので、車がなくなると気付いても、怒ったり、わめいたり

することはありませんでした。かわりに静かに座って、自分が何を考え、何を作り出したのかを自分に問いかけて、問題を理解しようと思いました。

私はすぐに、自分の資産を守る必要はないという宣言が少し自己中心的だったことに気づきました。私は自分の財産が神に守られていると6人の人々に話しましたが、警察に電話するには、そのうちの1人の電話を借りる必要がありました。私が間違いを突き止めてから数時間以内に、警察から電話があり、車は無事返却されました。

それから何日か後のある夜、真夜中近くに仕事から帰宅し、家の前に車を止めると、タイヤがパンクしました。疲れていたため、タイヤ交換は翌朝に回しました。しかし、翌朝起きると、再び車がなくなっていました。前の晩を思い出すと、家に着いた時点でガソリンはほぼ空でした。さて、車泥棒は、私の家から数ブロック離れた地点でガソリンを使い果たしていました。つまり、数ブロック先で盗まれた車は見つかったのですが、彼らは車を盗むために、わざわざタイヤを交換していたのです！結局、私が自分の信念を理解するまでに車は全部で3回盗まれましたが、毎回、盗まれる前よりも良い状態で返却されました。

スピリチュアルな正直さ

Spiritual Honesty

意識が高まると、一種のスピリチュアルな正直さが育ちます。私たちは、自分でブロックを作り、望みを達成するのを妨げてきたことを認めるようになるのです。

自分でうっかり不要なものを作り出してしまったと認めるときのスピリチュアルな正直さと、世間でいう正直さには大きな違いがあります。権威者たちは、人が間違いを犯すと信じています。彼らの考える正直さとは、「お互い正直になろう。悪いのはあなたの方だ」ということです。彼らはあやまちに対する罰として、罪悪感を課そうとします。しかし、真のスピリチュアル探求者は、大きな全体像を見ます。彼らは宇宙に間違いはなく、すべての信念と経験が宇宙意識を築くための基礎だと信じています。

自分自身に喜びをもたらす方法は、グルに教わるのではなく、自ら学ぶ必要があります。スピリチュアルな正直さは、学びのプロセスを認めることです。それが成長だからです。成長する

には、機能しなくなったものを削除し、機能しているものに置き換える必要があります。罪悪感はありません。ただ整理しているだけです。

アン・ランダース（※Ann Landers、アメリカのコラムニスト。新聞の人生相談で有名）は、こう言いました。「良い判断は経験に基づきます。その経験は悪い判断によってもたらされます」。つまり、人生の何も間違いではないのです。私たちが学ぶべきことがあるだけです。

祈り

Prayer

祈りは、あらゆる目覚めの道に不可欠な要素です。私たちにとって自然の状態である神聖さに戻るには、あたかもすでに、その状態に戻っているかのように機能する必要があります。テレパシーによるコミュニケーションと、無限との揺るぎないつながりは、とても自然な状態です。すべてのマスターティーチャーは、この特性を利用しなさいと伝えています。テレパシーでスピリットに話しかけるのは、ワンネスを信じるのと同じです。

「求めなさい、そうすれば与えられる」と、イエスは言いました。それは本当ですが、現実を作るために、宇宙が特別な好意を示すことはありません。祈りは常に叶えられますが、基本的には、私たちの現在の信念体系に逆らわない方法になります。あなたが制限や欠乏を信じるなら、宇宙が示すのは欠乏を埋める金額ではなく、その信念を変える方法です。「なんてこった、破産した！お金を送ってください！」と言えば、手形や借金が増えます。宇宙の考えはこうです。

「私たちは、あなたがお金を持っていないことに対して責任がありません。私たちは、あなたから何も奪ったことがなく、あなたに何も与えることができません。あなたが貧困を生み出したのは、あなたが抱いてきた考えの結果です」。

欲しくないものを作る考えを手放そう

Releasing Thoughts That Create What We Don't Want

私たちは一人一人が、パワフルな無限のクリエイターです。その人こそが、明らかな不足を作り出し張本人です。予期せぬ領収書だとしても、手元にあのはそのためです。宇宙に繁栄と豊かさを求めたのに、なぜ違うものが出現したのでしょうか？ 貧困を生み出したのは、領収書に対する私たちの精神的および感情的な反応です。宇宙は単にこう言っています。「これを見てください！この領収書は偶然ではありません。あなたの祈りへの答えです！」。

自宅の郵便受けに請求書を見つけたら、自分の反応を非常に注意深く見守ってください。以前は他の人や経済の窮状を非難していたとしても、これからは自分の生活に対して100%の責任を負いたいからです。なぜなら今や、私たちは自分が現実を創造することを理解しています。「ああ、神様、お金が足りない」と言うのではなく、「繁栄を神に感謝します。私は流れの中にいて、すべてが愛です」と断言するのは、非常に賢いやり方です。領収書を否定的なエネルギーを解放する機会として認識し、その理解が得られたことに感謝するとき、私たちは古いパターンを破ります。『奇跡のコース』は、「すべては、あなた自身の最善の利益のためにあります」と述べています。

ほとんどの人にとって、古いパターンを破るには時間がかかります。私たちが郵便受けまで歩いて、「ああ、ありがとう！なんて素晴らしい！」と素直に思える境地に至るまでには、数ヶ月分の請求書が必要かもしれません。私たちはおそらく「ふりをする」ことから始めなければなりません、すぐに現実として体得できるでしょう。

ラルフ・ウォルド・エマーソン（※Ralph Waldo Emerson、アメリカの思想家・哲学者）は、「なるためには、すでになったかのように振る舞いなさい」と言いました。お金の不足についての否定的に考えることをやめると、変化が現れ始めます。ゆっくりと、思考と現実化の因果関係に気づきます。そして、いつの日か「偶然」に、繁栄が私たちの生活に流れ込むのです。昇給するか、懸賞を獲得するか、マチルダ叔母が死んで私たちに小さな財産を残してくれます。私たちは「ああ、神は私の祈りに答えてくれなかった。マチルダ叔母さん。どうしてこんなことに…」と嘆くかも知れません。しかし、恩人が誰であるかに気づくべきです。ときどき、それが神であることを忘れます。

信念は関係を良くも悪くもする

Beliefs Create Good/Bad Relationships

何かに対して感情的に執着すれば、それは私たちの人生に引き寄せられます。領収書もそうですし、人間関係にもあてはまります。「私は今まで恋愛がうまくいったことはありません。神さま、私にふさわしい人と出会わせてください」と言うとき、誰が現れるか知っていますか？ 私たちが常に選択するエラーのステレオタイプです。私たちは今一度、選択のチャンスを与えられるのです。信頼できない51番目のステレオタイプは、これまでに会った50番目、49番目、48番目とまったく同じです。宇宙は、私たちが毎回選択している人を見せてくれるだけです。これに対処するには、優先順位を変えてこう言いましょう。「申し訳ありませんが、もう一度あなたを選ぶ気はありません。私は、これまでに何度もあなたのような人を選んできたのです。私はもうしません。私の話を聞いてくれる人、私と一緒にワークしてくれる人、私の人生に合う人を選びます。その価値が私にはあります」。

心理セラピーを受けたり、正直な自己観察をすると、私たちは自分の母親や父親に似たパートナーを選択する傾向があると気づくことがあります。それを知るのは、私たちが決して親たちや育った環境の犠牲者ではなく、別の選択をすることが出来る存在だと知るためです。宇宙に助けを求めて祈ると、私たちの選択がどこで間違ったかを示してくれます。そして意識的な選択を始めると、正しい人が奇跡的に現れるのです。

求めてきたことが人生に現れないなら、これまで自分がいかに望まないものを作ってきたかを理解するチャンスです。私たちは、自分の望むものを作り出すために優先順位を変えることができます。人生のあらゆる瞬間は、楽しくないものを生み出すパターンを変えるチャンスです。それは本当に神聖な瞬間です。私たちは、すべてに原因と結果の関係を見つけるようになります。

人生を振り返ると、自分が何を祈り、何を生み出したかがわかります。宇宙にリクエストを送ってから、24時間は注意深く見守る必要があります。私たちは、もはや人生を偶然として見る

ことはできません。私たちが神と交わしたすべての会話の直後に、一連の兆候が人生に現れます。これらの兆候は些細な出来事として現れるので、見過ごされてしまいがちです。しかし、それこそがまさに、私たちの日常の現実を作り出す思考パターンなのです。自分が何を作り出しているかを知るためには、人生の偶然を宇宙からのダイレクトなメッセージとして見る必要があります。

対等の存在として神と対話する

Talk To God As An Equal

宇宙とコミュニケーションをするときに、あなたが臆病だったり、自分に価値がないと思うなら、対話の価値を下げてしまいます。神と話すときは、少し断定的である方がよいでしょう。神は気分を害するような自我は持たないことを忘れないでください。神は原則です。神は揺るぎない宇宙の法則です。あなたが祈るときは、神がその祈りに答えるためにどれくらいの期間が必要かを伝えてください。たとえば、「私がこれを手にしていない理由を3日以内に知りたい」と伝えます。それから3日間は、注意深く見守ります。

たとえば、あなたの叔父さんが病院で昏睡状態にあり、あなたが彼の状態を非常に心配しているなら、サインを求めてください。「私の叔父は元気になるのでしょうか、それとも彼はこれ以上生きることはできないのでしょうか？ 24時間以内に私に知らせてください」。万が一、サインを見逃した場合も、宇宙のせいではありません。宇宙の法則は、あなたが尋ねればサインを送ると述べています。暗闇の中をさまよわず、宇宙からのフィードバックを要求してください。毎日、常に神と対話することは、すべての宇宙の子どもが生まれ持つ権利です。自分の人生にシンクロシティと偶然と奇妙な出来事を望んでいるなら、それを宇宙に伝えてください。「私は、奇妙な出来事が何も起こらない日を、1日たりとも過ごしたくありません。宇宙に偶然なんてないと、常に感じていたいのです」。

私は自分の祈りに、「苦勞せずに学びたい」と付け加えます。これは不正行為のように聞こえますが、私はそうは思いません。人生のルールを作るのは自分ですから、私は苦勞せずに学びたいのです。

創造のプロセスを観察する

Observing Our Creative Process

過去24時間、あなたはどんなことを考えていましたか？ 人生を不思議に思うことはありましたか？ 私たちは、問題、ジレンマ、ドラマ、何がどれほど酷い状況かを考えることをやめ、かわりに自分が体験したいことに注目する必要があります。思考は現実になるからです。これほど簡単な理屈ありません。

間違っただけのものを作り出すことを恐れていると、自分が思い通りに自分の人生を作り出せると信じることをためらいます。それは論理的です。これまでに不快感や苦勞を何千回も生み出して来たので、怖気づいてしまうのです。しかし、以前、何かを正そうとしたとき、アーススクールがどのように機能したか思い出してください。その頃の私たちは、創造を支配する宇宙の法則など知りもせず、そこにいる人や状況を変えようとしていました。今や私たちは、そのようなアプローチは、遅かれ早かれ不快感を生み出す運命にあると知っています。そこにいる人や状況を変える唯一の方法は、自分の心の中で何が起きているかを認識することです。私たちは、創造の力を実験し始めます。私たちは、絶対に変更できない状況などないことを知っています。この宇宙のどんなものも、石に刻まれていません。「意識を変えれば、世界が変わる」のが、宇宙の法則です。このシステムは完璧なのです。それは愛に支配され、人生は何度でも改訂が可能です。奇跡の源は、マインドの変化です。バーニー・シーゲル（※Bernie Siegel、米作家。元小児科医。病氣治癒と感情について研究）は、エイズであれ、深刻ながんであれ、今までに回復した人が一人もない病氣は存在しないと指摘しました。

創造のテクニック

Techniques For Creation

人生にもたらしたいと願うものを、あなたはどのように見つけますか？ 必ずしも簡単なことではありません。ほとんどの人は、欲しいものを知っていると思いながら、結局はうまくいかな

かいパターンを何度も繰り返しています。結局は人生から取り除いてしまう人物を引き寄せたことがある人は、どれほどいるのでしょうか？

私は「黄色いノートパッドのエクササイズ」をお勧めします。リーガルサイズの黄色のノートパッド（※アメリカでもっとも一般的なレポート用紙。何でも代用可）と、太字の黒色マジックペンを手に入れてください。きちんと太い文字が書けるかよく確認してください。臆病風が忍び込ませず、極めて大胆になるためです。さてこのパッドに、あなたが愛し、楽しみ、好ましく思い、望み、賞賛し、さもなければ温かくポジティブな感情を得られるものを、すべてを書き出してください。何も省略しないでください。少なくとも25ページ分は記入しないと、十分試したとは言えません。

真実のリストを作成するのは簡単ではありません。私たちはあまり多くを望まないように社会からプログラムされています。ですから、頭に浮かぶ考えを紙に書き出すときに、あまり「有効でない」アイテムを取り除く傾向があるのです。ここでは遠慮せず、全部書き出してください！

正直なリストを作る際にもう一点、気をつけたいのは、「あるべき」、「すべき」項目を含まないようにすることです。その考えは、あなたの母親または父親が、あなたの心のデータバンクにインプットしたことで、あなた自身のアイデアではありません。覚えておいてください。「すべき」などというものは、ないのです！

パッドに書かれたすべてのアイテムをよく吟味してください。「これは私の望みですか？」、「これは私のリストに載せますか？」、「それとも、私と同じ性別の人が一般的に望むべきだと教えられたものですか？」、「本当に私自身の欲望ですか？」。このようなリストには、何を書くのが適切でしょうか？ そのルールは、あなたが作ります。すべてはあなたの選択であり、決定なのです。たとえば個人的な環境、生活したい場所、やりたいこと、時間の過ごし方、人からどのように扱われたいかなど、あなたの好みに応じて答えは変わります。トム・T・ホール（※Tom T. Hall米カントリー歌手）が歌った「アイ・ラブ（私の好きなもの）」という数年前の人気曲を覚えていますか？

私のリストのほんの一部をご紹介します： 私は外がよく見える窓、裸足のつま先に触れる草、冷たいマグカップのビール、そして蝶が大好きです。私は人々とぶっとんだ話をするの

が大好きです。映画「フィールド・オブ・ドリームス」、砂漠をドライブすること、エンジェル
フードケーキ（※卵白を使ったふわふわのスポンジケーキ）が好きです。それから「新しい物理学」、シンプ
ルな生活、女の子、そしてメキシコ料理が大好きです。お金が表す自由、瞑想、沈黙、そして妻
が大好きです。私は飛行機を飛ばすこと、花、他人への敬意、無限のビジョン、そして人生が大
好きです。私は調和、笑い、優雅なディナーが大好きで、惑星が癒されるのを見るのが好きです
。私は誰かが「理解した」ときの、その目を見るのが大好きです。私は抱擁、スローな生活、川
、山が大好きです。私は心の平和、ベルベットの感触、メイクラブ、コンピューターが好きで、
そしてあなたを愛しています。

このリストには、2つの機能があります。1つ目は、あなたが人生の選択をする手助けをする
ことです。リストを注意深く見れば、あなた自身について多くを学ぶでしょう。現在の仕事には
、リストの項目の多くが含まれていますか？現在の人間関係は、あなたのリストの特徴を含み、
それを補強していますか？リストに書かれた項目を網羅するなら、どのような仕事や人間関係を
想像できますか？

黄色いパッドの2つ目の機能は、自分に代わって宇宙の法則を実行することです。あなたが思
考することは、現実化するのです。リストをバスルームミラーまたは冷蔵庫のドアに貼りましょ
う（またはコピーして、複数の場所に置くのもいいです）。自分が愛するものを思い出す頻度が
高いほど、あなたの人生に愛は迅速に現れます！

思考の積極的な活用が実際に機能するのを見ると、私たちは人生のすべてを良いものにしな
ければならないと考えます。「さて、今日は良い肝臓を作ろう」と言って、肝臓に光を送ります
。もちろんそれはうまくいきますが、明日は胃、その次は膵臓になるでしょう。一度に一か所に
限定すると、精神的に疲れます。そして、豊かさの話になれば、こう嘆くのです。「ああ、私は
家と車と食べ物を賄う十分なお金を稼がなければなりません。人生にお金流れ込むところを視
覚化しなくては！」。そのようなことをしていると、完全に疲れます。

宇宙があなたの味方であることを実感してください。父はあなたが尋ねる前に、あなたが何
を必要としているかを知っています。あなたに王国を与えることは、彼の喜びです。それを獲得
したり、作成するのはあなた次第ではありません。イエスが示唆したようにするのです。

「あなたの目を、まっすぐに神に向けてください」。そうすれば、宇宙が残りの作業を行います。ここで言う「神」とは、「良いもの」、「愛するもの」を書いた黄色いパッドのリストを意味します。

意識が現実になると確実に知るために、あなたは特定の事物、状況、または癒しのプロセスを経験したいと思うかもしれません。信じるために証明が必要だと考える人がほとんどです。新しい車を視覚化し、それが実際にやって来れば、創造の法則が働いている絶対的な証拠が得られます。しかし、ティースプーンやハーシーのチョコバーや、ちょっとした家具で試したいとは思わないですね。きりがありませんし、退屈になるでしょう。人生のフロウに流され、波に乗るだけの方が楽しいです。

個人のブロックをはずす

Removing Personal Blocks

最近では、自己啓発は大きなビジネスです。多くの人々が、セルフイメージと生活水準を、ある程度自分でコントロールしていることを知っています。それは素晴らしいことです。水瓶座のエネルギーが効果を発揮する前の時代は、このような人はほぼ存在しませんでした。水瓶座の時代に移行するにつれ、グループ意識の進化が加速しています。

人類の意識を進化させる「パターンメーカー」である人々は、この惑星の大多数集団よりも、少々先を行く必要があります。この集団は、自分が自分の人生をコントロールできるという考えを理解しようとしています。しかし、彼らにとって人生は、経済、政治家、仕事、家族、そして環境に依存するものです。そう考えるように、訓練されてきたのです。このグループの人たちに、ブロックは自分の内部にあると認識させるために、その見つけ方や操作法を教える心理学があります。これは、もっとも進化した10年生と11年生に非常に効果的です。一方、12年生とドロップインは、ブロックを扱う作業とは何の関係もありません。ブロックを通じて作業することは、カルマの借金を支払うことにもよく似ています。それは、悟りの道を進む上で一定の効果はあ

りますが、痛みも多く、進みも遅いです。自己流の方法でブロックを処理するのは、どのマスターティーチャーも推奨しませんでした。

『奇跡のコース』は、すべての分析は自我のものであると言います。分析は、神との分離を信じる人たちが行う一面的な修正作業であることを意味します。分離の思考では、ワンネスを見つけることができません。ブロックがあることに気づいたら、無着と降伏という東洋思想の素晴らしい教えを適用しましょう。取り除くサポートを受け入れると、宇宙に伝えるのです。

自分で「修正」しようと思わないでください。それは古い方法であり、かなりの苦痛を引き起こす上に、時間もかかります。私たちの唯一の責任は、問題をできるだけ具体的に特定することです。「私はこの領収書を恐れています。その感情がどこから来たのかはわかりません

が、恐れているのです」。そして、宇宙に目を向け、助けを求めてください。答えを祈り、観察してください。宇宙からの返事を見守るのです。自分で答えを見つける責任があると感じると、そこに遅延と不快感が生じます。宇宙は友好的です。私たちは一人であるわけでも、スピリットから離れているわけでもありません。問題を解決するのは私たちの仕事ではありません。『奇跡のコース』では、すべての修正は聖霊に属すると述べています。これはたとえば、ハリーおじさんの飲酒問題の責任がスピリットにあるということではありません。ブロックや恐れを修正するのは、スピリットの仕事であることを意味します。私たちの仕事は、注意深くサインを見守り、神の声に耳を傾けることです。

カウンセリングの経歴を持つ人にとっては、あまりに素朴で単純だと感じるかも知れません。ある意味ではそうです。個人が恐怖やブロックを受け入れたからと言って、それが桃やクリームになるわけではありません。ブロックは、「処理」する必要があるのです。ただし処理を実行するためには、簡単な方法と難しい方法があります。

知性と訓練に頼ることでブロックを乗り越えられると信じて、自我のつまづきを経験します。能力のあるカウンセラーは、知識があるだけでなく、非常に直感的です。私たちは、本質的にブロックがどこから来るのか、何が恐怖を生み出しているのかについて、知識だけでは突き止められないのです（究極的には、すべての恐怖は私たちが神から切り離されているという信念から生じます）。自分の過去を振り返ると、そこには「間違っただけ」の権威者や、「不正」な虐待を見つけることができます。しかし、その間違いや不正は、過去世のドラマを象徴するシンボルであ

り、通常、そこを超えた意識にアクセスすることはできません（そのドラマが幻想だったことは言うまでもありません）。

傷ついている人に向かって、それは幻想だったと言うことはできません。心理学志向の世代は、「本当の知識」を持っている自分に満足します。心理学は、私たちがお互いを癒す（修復する）ことを許可します。しかし、究極の真実は、何も壊れていないので、何も修理する必要がないということです。必要なのは、受け入れることです。私たちは、お互いそして自分を、キリストの子であり、神の子として受け入れる必要があるのです。たとえば、奇妙な痛みや病気を抱えた人を扱った本やテレビ番組が沢山あります。催眠術によって前世退行し、痛みの原因を発見すると、問題が消えます。催眠術師は患者を診断せず、医学的なアドバイスは一切しません。彼はただ、クライアントの話に耳を傾けたのです。そして、癒しが起きました。私たちが恐怖を取り除く方法を見つけると、そこにいくつの前世が関係しているかに関わらず、恐怖は消えます。恐怖は、神の宇宙の具体的な現実ではありません。恐怖は、誤った信念です。当事者にとって真実のように見えることを否定しませんが、それは、アーノルド・シュワルツェネッガーが映画で死ぬのを見たときに感じた恐怖と同じです。まるで本物のように思えるだけです。

真実を言えば、私たちは何も知らないのです。客観的な現実というものはありません。知性に価値を見出す人にとって、それは受け入れ難いでしょう。しかし、知性が私たちに授けるのは賢さであって、智慧ではないのです。

マスターの教えの真実に気づくと、私たちの中で智慧が目覚めます。神の王国に入るためには、私たちは小さな子どもになる必要があります。悪に手向わないでください。「私の父の王国には、あなたが知らない多くの大邸宅があります」。自分の立場を正当化したり、「知識」を擁護したりするのではなく、真実を示してくれるよう宇宙に継続的に求めましょう。

個人がブロックや恐怖を正直に認め、それを宇宙に引き渡すと、その人が繁栄を祈ったときと同じプロセスが起こります。宇宙は、そのブロックがどこから来たかを知っています。そのブロックを作成した、そもそもの信念体系の誤りを取り除くために、もっとも適切な方法を知っているのです。私たちの知性を邪魔にならないようにすれば、宇宙は私たちに洞察を与え、内なる平和をもたらすために自由に使えるツールを提供してくれます。たとえば、誰かが「偶然」、ヒ

ントを言うかもしれません。奇妙な「偶然」によって、たまたま良い本を手に入れるかもしれません。「事故」と「偶然の一致」は、宇宙が使用する強力なツールです。それは人間が使う通常の方法よりも、はるかに便利です。「偶然の一致」とは、スピリットの別名なのです。

何を作るべきか

What Should I Create?

水瓶座のエネルギーにシフトするにつれ、思考を生んでから現実になるまでの時間は、劇的に短縮されています。とは言え、まだそれでも十分長いので、原因と結果の関係を注意深く観察する必要があります。たとえば「黄色、黄色、黄色…」と考えて一日の半分を過ごす人もいれば、「青、青、青…」と考えて一日の半分を過ごす人もいます。人生に緑が現れると、彼らは動転して「これは私の求めたものではありません！ 私は緑を求めなかった！」と言います。しかし、振り返ってみると、黄色と青を要求したことを覚えているのです。私たちは、この現実の世界で物事がどのように成り立つかを理解する必要があります。

私たちの未来や地球との契約を見通すことができるエネルギーに、創造の力を一任するのは賢い考えかも知れません。私たちのために創造に携わって欲しいと頼むのです。「求めよ、さらば与えられん」という言葉にもあるように、宇宙の法則は、私たちが頼まない限り、人生に足を踏み入れることはできません。それは聖書にも、ただし書きのように書かれています。実際、宇宙はそのように機能するのです。私たちはそれぞれが全能の存在であるため、求めているものは何一つ受け取ることはできません。

何を求めればよいかわからないとき、自分がいかに束縛されているかに気づきます。明日、世界がどうなるか見当がつかないのに、どうして何かを求めることができるでしょう。明日、どの方向へ進むかが見えなければ、壁にぶつかるより他はありません。人類は進歩のある段階で、「あなたの意志がなされますように」と言い、すべてをスピリットに委ねるように教えられています。その言葉の目的は、私たちを自我から解放することです。

ブロックを解放しているときに、自我を機能させるのは望ましくありません。自我は、自分自身が神から切り離れていると信じる私たちの意識の側面です。それは常に、私たちを迷わせます。自我が正しい・間違っている、良い・悪いという問題ではなく、単に不完全な情報から機能しているのです。自我は、五感から受け取る情報のみを処理し、知識に基づいて意思決定をします。新聞や本に書かれた内容や、私たちの過去の経験を再利用しているだけなのです。目の前のことに決断をする上では、本当にばかげた方法です。しかし、そうすべきだと固く信じているのは、私たちが神から分離していると考えからです。単なる五感に基づいて決定を下す状態から、一つ上のレベルに移行するための教育ツールとして、「あなたの意志がなされますように」という言葉があります。それは、この宇宙に私たちの自我よりも大きなデータバンクにアクセスするエネルギーや知性があると認める言葉なのです。

地球にやって来たすべてのマスターティーチャーは、私たちが意識的に自分の人生をコントロールする状態に至るまで、自分よりも大きなビジョンを持つ何かに委任状を与えるよう言いました。私たちは一人で行動しているわけではありません。私たちは、この宇宙に存在する目に見えない王国やすべての領域と協力するチームの一員です。そのチームは、スピリットまたは聖霊と呼ばれます。

質問に対する答えを知る必要がないと、私たちは何度見て来たでしょうか？ 私たちは単にこう言えばいいのです。「スピリット、私はこれが欲しいです。私はその変化の準備ができています」。それが実際に人生に現れると、私たちは自我でコントロールするかわりに、宇宙の法則とワークしていることを知ります。私たちは自分が具体的に何を望んでいるかは知らなくても、平和、幸福、繁栄を人生に望み、わくわくするような気分でいたいと思っています。一般的な概念を求めたら、詳細は神に任せてください！

スピリットとのコミュニケーション

Communicating With "Spirit"

「チャネリング」またはサイキックな感覚によるコミュニケーションは可能であり、正常です。亡くなった愛する人と話したいと思ったら、座ってリラックスし、内なる感覚を使って、ぜ

ひ有意義なコミュニケーションをとってください。アフターライフの存在について、一対一で確認する機会は貴重な体験です。

けれども、ここで一つ注意すべき点があります。聖霊（ホーリースピリット）とのコミュニケーションと、一般的なスピリットと話すことには違いがあります。見えない領域と口頭または筆記でコミュニケーションするテクニックを発見すると、人々は自分が唯一絶対神の「神」とやり取りしていると思込みます。亡くなった存在がみな、賢いわけではないことを覚えておいてください。彼らが生前まぬけであったなら、高い確率で死んだ後もまぬけです。向こう側に渡ったからと言って、智慧や理解のレベル、スピリチュアリティが変わることはないのです。

この惑星をさまよう目に見えない存在は、四次元の現実において、過去と未来を少々見ることができます。しかし、その他の点では、肉体を持っていたときと同様です。スピリットとの言語的コミュニケーションは、必ずしも必要ではありません。五次元、六次元、七次元の現実において機能する存在につながると、自我はそれほど実体を持たず、過去と現在と未来が同じ瞬間にあるのが普通の状態です。しかし、これらの高次元的存在は「神」ではありません。そこでの時間は線形ではなく、領域と関係しています。

ふと急に頭に言葉が浮かんできたり、ペンやウイジャボードを使って未来がわかると、「ああ、これは神様だ」と、だまされることがあります。神ではなく、単に肉体を持たない存在です。あなたが「死ぬ」と、あなたもそれができるようになります。賢い人は、目に見えないエネルギーをテレパシーで感知し、自分が対話したい相手かどうかを確認します。人間の姿を持つ誰かがアドバイスを与えようとしている場合、私たちは彼らの特徴を素早く理解することができます。通常、私たちは誰かと5分も話せば、その人ともっと話したいか、それとも「ここから出て行け！」と言いたいかがわかります。ペールの向こう側の存在とのコミュニケーションも、まったく同じです。相手がどちらかといえば賢明で、期待した通りの相手なら、さらに会話を続け、いくつかヒントを聞きたいと思うかも知れません。

そのようなコミュニケーションをする代理人の言葉に力を与えることは、自分の自由意志を手放すことを意味しません。聖霊は、感情、サイン、シンクロニシティを通じて語りかけます。聖霊からは、常に平和を感じます。ちょうどプレッシャーから解放されたような感覚です。私たちが受け取るコミュニケーションのうち、複雑なものは自我から来ています。たぶん、非常に良

い自我ですが、それでも自我です。やるべきことのリストを含むスピリットからのメッセージも、自我のメッセージです。もしくは、古い友人かも知れませんが、「神」からのメッセージではありません。神にはリストがないのです。神は存在し、実行しないからです。「急いで」、「時間がありません」と伝えるスピリットのメッセージは、自我から来ています。神は時間と空間の領域の外で機能する存在であり、彼の意志で時間と空間を再編成します。良い奇跡のために遅すぎることは決してありません。誰かがあなたを急かすとき、そこに平和は感じないでしょう。神の声はいつも穏やかです。

向こう側のヘルパーたちと信頼を築いた後、私たちはこんなことを言います。「どうしてそうなったのかはわかりませんが、適切な人、適切な車、適切な仕事、適切なイベントが適切なタイミングで現れました」。私たちは、人生がなぜ機能しているのかを深く考えることなく、純粋な至福の中で生きることができます。私たちの仕事は、邪魔にならないようにして、より高いビジョンを持つエネルギーに詳細を任せることです。詳細を制御しようとするたびに、混乱の地獄を一つ作ります。ジレンマに対する解決策は、無数にあります。それがどのように現れ、どこから来るのか、そもそも可能であるかすら考えることなく、私たちは最高の解決策を求めることができます。助けを求めるためには特定の方法に従う必要があると人々が思い込んでいるのは、いつも驚きます。ろうそくや十字架や、その他のツールを並べた場所に行く必要があると考える人もいます。彼らは宇宙が100%非言語コミュニケーションで、私たちの意図を読み取れることを忘れていています。宇宙が物理的に私たちの言葉を聞いたり、行動を観察することはありません。私たちの心を読むのです。

もしあなたが、見えない領域に人生のガイダンスを求める準備があるなら、宇宙でもっとも強力な祈りをあなたにシェアしましょう。私はマタイ、マルコ、ルカ、ヨハネの各福音書を確認し、それが主の祈りを超える力を持つと述べる許可を得ました。これはかつて宇宙で聞いた中でもっとも効果的な祈りであり、宇宙のエネルギーによって否定できないものです。常にあなたの援助のために、例外なく、すべての王国の力を結集します。さあ、祈りの言葉を捧げる準備はできていますか？ それはたった一言です。「助けて！！！」。

現実を支配するシンプルなルールを理解すると、あなたは無限にパワフルになります。そして、自分の望む条件に従って現実を創造することができるようになるのです。私たちは地球とグ

ループで契約を結んでいるので、その方法を学ぶ必要があります。その契約では、今後50年以内に、この地球上に1000万人の自己実現した存在が現れることになっています。1000万のテレパシーエネルギーが、この現実平面のすべての存在の意識に浸透すると、水瓶座の時代のために集まった人たちは全員卒業します。一人の落伍者も出たくありません！

あなたが自立したパワフルな存在となり、この生涯で自分の中にキリストを見ることを選択するならば、あなたは学びのために地球にやって来た何億もの生徒たちの卒業を保証するでしょう。とにかく、私たちにはやるべきことがたくさんあるのです。幸いなことに、宇宙の力は私たちとともにあり、望むままに願いを叶えることができます。また、目に見えない世界からも、途方もない助けが差し出されています。エデンの園に花が咲き乱れるのを常に想像してください。二度と悪に手向かわないでください。抵抗するものを作り出すことを忘れないでください。愛、愛、愛。そしてすべてはうまくいきます。

第3章

最優先指令

およびその他の宇宙的概念

THE PRIME DIRECTIVE and other Cosmic Concepts

独裁政権が崩壊し、アースデーの人気が高まり、人々が人間関係についてオープンに話し合うこの時代に、惑星の変化と目覚めは偶然ではありません。カレンダーが水瓶座の時代が変わったから起きているわけではありません。それが起きるのは、あなたのような存在が肉体を手に入れ、この惑星を取り巻くテレパシーのエネルギープールに加わっているからです。ご説明しましょう。

宇宙における孤立主義

Cosmic Isolationism

アーススクールのシステムは、クローズドです。つまり集合意識に関する限り、私たちは他の銀河から隔離されています。たとえば、私立の学校なら、独自の教育目標と独自の理事会があり、特定のタイプの生徒を募集します。私たちのアーススクールもそうです。一般的に学校というものに関して、市民が教育委員会を選出することはできても、教師や校長を直接選ぶことはできません。自分で生徒に教えたい場合は、教職に応募し、履歴書を提出する必要があります。アーススクールも同じです。

地球を支援するには、最優先指令を尊重する必要があります。みなさんはおそらく、スタートレックシリーズの最優先指令（※惑星独自の進化のプロセスを尊重し、宇宙船の干渉を禁止する）を覚えているでしょう。この宇宙では、どれほど悟った存在であっても、自分たちが参加しないシステムに、外部から変更を加えることは許可されていません。クローズドシステムの外から意識を変えることは不可能です。

最優先指令は、部外者が不慣れなシステムに干渉するのを防ぎます。助けたいなら、そこに参加することが前提なのです。マスターたちが、私たちの現実に転生することを選ぶのは、それが理由に他なりません。ブッダやサイババが宇宙の玉座に座ったまま人類に幸福と善意を命じることができれば、彼らはそうするでしょう。それが許されないのは、システムを作った人たちの自由意志に反するからです。ですから、彼らは肉体に転生し、時々地球に立ち寄ります。地球のエネルギーに参加する人たちは、彼らの宇宙的家族を代表して、現実を変える手助けをします。

マスターは、すべてのマインドは一つであり、すべてのハートも一つであると知っています。マスターは、私たち全員が、同じ「テレパシープール」のエネルギーに住んでいると理解しているのです。精神のおよび感情的な平和を達成した転生者は、マスターであろうとなかろうと、グループ意識に平和を浸透させます。私たちが平和で愛情深く、喜びに満ちて生きることを学ぶとき、それを地球上の他のすべての存在が利用できるようにしています。これまでのすべてのマスターティーチャーたちも、そのようにしました。彼らの意識を、集合が利用できるようにするのは、その他に、彼らは少々魔法を実践します。彼らは水の上を歩き、死者をよみがえらせます。注目を集めるには、「私もその方法を学びたい」と人々に思わせるのが有効だと知っているのです。

地球をシステムの外から変えることができないならば、誰がこの惑星を癒すのでしょうか？変化は、現在地球上に住む人から始めなければなりません。けれども、毎日古いパターンに従って生きる人には、変化は望めないでしょう。社会に認められた制限の枠内で生活する人々は、平和と喜びと自由を三次元にもたらすことはできません。彼らはそのようなものが存在することすら知らないでしょう！彼らは目に見えない存在や、並行宇宙があることを知りません。

マスターになることは、より深い理解に至るために、現実世界のプログラミングを手放すことです。この現実を、内面と外面の両方から平和に向かわせることができるのは、それに気づく人々です。悟りを開いた人がわざわざ肉体を持つのは、それが理由です。モーツァルト、ミケランジェロ、アインシュタイン、彼らがここに来たのもそのためです。そして、あなたがここにいる理由でもあります。

アーススクールの転校生

Earth School Drop-Ins

この宇宙の誰もが、アーススクールを成長の場として経由するわけではありません。歴史上、この惑星が重要な段階を迎え、助けを必要とするときだけやって来る人もいます。これらの人々は、実際には12年生としての資格は持ちません。「ドロップイン（飛び入り参加）」のようなものです。地球を取り巻くエネルギーが非常に重たくなると、彼らはやって来ます。「どうやら彼らは再び立ち往生しているようです。地球に降りてみましょう。もう一度、肉体に入り、テレパシープールにエネルギーを注入してみます！」と、飛び入り参加してくれるのです。

近年、かなりの数の魂が、転校生としてやって来ています。私たちの多くは、ここに滞在する間に、通りを歩きながらガムを噛む程度のシンプルなことすら、十分に習得できないのです。ましてや、過去世を思い出すなど、もってのほかです。私たちの中には成功する方法や、協調という概念をまったく持たない人もいます。世界でもっとも成功した人物とは、地球での転生を多く経験している人です。カルマによって何度も何度も地球に戻って来るのは、彼らがこの場所で「やり方」を見つけ、世俗的なルールのすべてを知っているからでもあります。彼らは地球上

でもっともうらやましい人たちはです。地球での「やり方」に非常に熟達しているのです。けれども、まだ天国に入る準備はできていません。

一方、スピリチュアルティーチャー（12年生とドロップイン）に転生した人々は、かつて地球を歩いたすべてのアセンデッドマスターたちと手をつなぎ、一歩ずつ前に進む準備ができています。

自分を過小評価しないで

Heaviness Does Not Negate Our Value

ここに転生していると、あらゆる物事が非常に重くて混乱することがあります。だからと言って、私たちが光ではないという意味ではありません。私たちはしばしば、自分を過小評価する傾向があります。「私は誰でしょう？私は自分の人生をうまく生きることすらできません！どうすればこの惑星でウェイショウワーになることができますか？」。自分を低く見る傾向は、この惑星で非常に長いことグループ意識を支配してきた抑圧と混乱の一部です。そのような意味のない思考を、やめる準備ができています。

私たちがここに来たのは、使命があるからです。転生する前、私たち一人ひとりが輝いていました。すべてのチャクラは開き、バランスが取れていました。私たちのハートセンターが開いているのは、愛を注ぐためだと思っていました。「私たちはそこに行って、愛、思いやり、平和、善意で彼らを満たします。それによって、惑星は変容するでしょう」。確かにそう考えたのですが、肉体に入った途端、忘れてしまいます。そして、この惑星のテレパシープールを灰緑色の水たまりに変えた原因である、怒り、恐怖、罪悪感、疑念、不安に襲われました。それは汚水層であり、チャクラを大きく開いて入ると、あらゆるごみがただちに流入します。この惑星に到着したばかりの私たちは、システムがどのように機能するかを理解していませんでしたから、ほとんどの人はその厄介なものすべて（または一部）を自分のものだと思い込んでしまいました。「私は十分スピリチュアルではないので、バランスを保つことができません。まだ罪悪感を抱えています。私は悪い人間なのです」。

実際は、ごみは私たちのものではありません。そもそも、作ってさえいないのです。到着したとき、ドア（チャクラ）を閉めるのを忘れただけです。スイミングプールに入ると濡れるように、テレパシープールに入ると平均的な意識に没入するのです。

高度に進化した存在は、地球に来ると燃え尽きてしまうケースがよくあります。彼らは三歳、四歳、または五歳までに、この場所があまりに酷いことを知って、元居た場所に戻ってしまうのです。「私をここに送るときに、どうして体の取扱説明書をくれなかったの？ どうして教えてくれなかったの？ どうすればいいかわからない」。

しかし、私たちはここにいる間、少々の学習に取り組むこともできます。地球は宇宙でもっとも効率のよい学校です。イエスでさえ、ティーチャーモードに切り替わる前に、追加のクラスをいくつか受けました。授業を取るにあたって、事前に解答マニュアルをもらうのは不公平です。マニュアルの1ページ目に「あなたが見るものは何もリアルではありません」と書かれていたら、幻想だと気づきます。ただし、それを読んだとしても、地球にやって来た時点で誰もが忘れてしまうのですが。しかし、すでにその時期は終わりました。現実をコントロールする方法を思い出すときです。

平均的な意識

Average Consciousness

12年生とドロップインは、意識の汚水層を片付ける準備ができています。ただ存在するだけでは上手く行かないと思うなら、平均的なグループ意識がどのようなものであるかを学びましょう。テレビの電源をオンにするだけです。テレビは視聴率を獲得するために、もっとも平均的な意識のレベルに合わせる必要があります。それは平均的な意識についての、完璧なバロメーターなのです。ドラマ、殺人、夕方のニュース。あなたは今のレベルのまま存在するだけで、地球の救世主になれると感じるでしょう。あなたは世界のために役立つ洞察を、たくさん持っています。あなたの脳は、人々が理解する周波数でエネルギーと思考パターンを伝える送信機です。私たちが持

つすべての高尚な考えは、惑星の上昇に貢献します。あなたの存在が有用なことは保障されていますから、適度な快適さと集中力で仕事を達成してください。

快適さのレベルは、家の大きさとは関係ありません。この転生において、私たちの快適さのレベルは、自分の意識レベルを認識する能力に正比例します。それは関係ないように思えるかも知れませんが、私たちは、この学校の後輩から見れば、先生にあたる存在であることを認めなければなりません。さまざまなクラスを調査してみると、私たちは、比較的自分自身に忠実であることがわかります。そして、直観的な智慧をシェアしてもらいたいと願う、圧倒的な数の人間がいることにも気づきます。

スピリチュアルな概念を、好まない人もいます。スピリチュアルは世間知らずだと言って、私たちの現実認識を過小評価します。そのように批判された場合でも、それを信じるかどうかを選ぶのは常に自分です。批評家たちは、自身の恐れと不確実性から声を上げます。私たちは、彼らの言葉が彼ら自身の不安を反映していることを知っています。目覚めた存在であれば、誰かが間違っているときに、大きな光を送ります。悟った存在は攻撃せず、防御もしません。状況に反応しているつもりで、恐れを表明しているという事実は、彼らがまだ生徒としてアーススクールで学ぶ必要があることを示します。彼らは、かつて無条件の愛を経験したことを、まだ思い出せていないのです。

人類の大多数は、直接私たちの生徒ではありません。しかし、マスターティーチャーは、私たち全員のために来てくれましたし、私たちも、損失、悲劇、闘争を信じる人たちを含む、あらゆる人々を助けていますが、必ずしも直接やり取りするわけではありません。どのような形式の教育にも、トリクルダウン効果があります。あなたが誰かを教え、彼らがその次の生徒を教えます。メッセージは、最終的にこの惑星に転生したすべての個人が共有するようになります。現時点の学年では、スピリチュアルな真実のシンプルさを理解しない人もいます。そのような人たちに、あなたが直接話すことはできないのです。

ある一人の女性がイエスのところに来て、こう言いました。「マスター、あなたの教えを私に与えてください」。彼は答えました。「お待ちなさい。私はあなたのためにここに来たのではありません。私はイスラエルの子どもたちのために来ました」。私たちは、ときどきイエスを思いや

りがないと感じます。彼は「宇宙の法則に敬意を払う、もっとも悟った探究者のためにやって来ました」とは言いませんでしたが、当たらずとも遠からずです。マスターの中で、宗教や悟りのムーブメントを始めるためにここに来る人は誰一人いません。私たちもまた、誰とコミュニケーションし、誰に言葉を伝えるべきなのかを選ぶ必要があります。

サポートグループの重要性

The Importance of Support Groups

現在、地球上にはティーチャーの教えを求める人々が多くいます。今日のティーチャーたちは、イエスがそうだったように、弟子たちと知識や理解をシェアする機会に恵まれています。しかし現在、地球上には大勢の目覚めた人々がいるので、私たちは当時よりはるかに楽な時間を過ごしています。学ぶためのサポートグループは、どこにでも見つかります。これまで地球にやって来たすべてのマスターティーチャーは、サポートグループを持っていました。このテレパシープールに参加する人の心が大きく開かれたときに、何ができるかを彼らは知っていました。誰も一人きりでは、水の上を歩いたり、死者を復活させたりすることはできません。多大なサポートがなければ、それは不可能なのです。

イエスは肉体に入る前に、ヒエラルキーたちと少し話し合いました。彼らはイエスに言いました。「君はそこに行くべきだ。魚座の時代が来るたびに、アーススクールの卒業生はボランティアとして転生し、スピリチュアルな教えを伝えている。そうやって10年生、11年生のみんなを12年生に引き上げるんだよ。12年生は、水瓶座の時代が終わる前に卒業するには、何が学べるか学ぶことができる」。そして、イエスはついにベツレヘムに生まれることに同意しました。これには2つの理由があります。まず、彼はマスターシップトレーニングを続けるために地球に入る必要がありました（大学院の仕事を少し行いました）。それから、人類が彼を必要としたのです。この惑星の未来を思い描くために。

彼が自分のサポートグループを見つけるのは、簡単ではありませんでした。彼は仕事のために神聖な空間を作ってくれる12人を、懸命に探さねばなりませんでした。ようやく見つけ出し、

契約を結ぶと、彼らは言いました。「密度に疲れたときに中に入ることができる、ふんわりしたピンク光のドームを用意してくれるなら、私は参加します」。そこで12人の弟子とエッセネ派コミュニティの200~300人のメンバーが彼のサポートグループに志願し、神聖な空間を作りました。

グループ意識に没入すると、誰もが、いつでも、地球上のあらゆる人間と同じくらい誤って暴君になる可能性がありますから、できるだけ光に近づく必要があります。ただオープンに心を開いていると、影響を受けやすくなります。キリストのエネルギーに覆われ、可能な限り守られていたイエスでさえも、群衆の中で長時間過ごすことはしませんでした。聖書を読めば、彼が何度も引きこもり、山の頂上でエネルギーを充電したことがわかります。彼ほど進化した存在でさえも、テレパシープールに没入したままではいられなかったのです。私たちなら尚更です。

イエスは「私の名前の下に二人以上が集まれば、そこにグッドバイブスができます」とは言いませんでしたが、すべてのライトワーカーは、グループとして集い、支え合い、お互いのオーラフィールドに守られて暮らす必要があるのです。

修正すべきか否か、それが問題だ

To Fix Or Not To Fix, That Is The Question

私たちの中には、地球上のウェイショウワーとしての役割に混乱する人がいます。地球上のすべての人を救わなければならないという責任感にとらわれてしまうのです。しかし、私たちは「救う」かわりに、一緒に過ごし、話を聞く必要があります。家族や友人、特に子どもや親など本当に愛している相手なら、たとえ「彼らのため」と思っても、修正しないでください。身の回りの人を修正しようと思うのは、自我のつまづきであり、やがて大きな苦痛を生み出します。誰でも直せると考えるのは、単純に判断の誤りです。あるエンティティが別のエンティティを修正することが可能であるなら、神または神の代弁者が、これまでにあなたや私を修正したでしょう。そのようなことは起こり得ません。

不快な行動をする人を制御しなければならないと信じる人がいます。アーススクールの目的がわからないと、他人の行動をコントロールする必要性を感じるのです。人々の意識を変えることは、私たち自身ではなく宇宙の仕事だとなかなか理解されません。神はパワフルで愛情深い存在であり、すべてのものがあるがままで大丈夫なのです。

個人やグループの行動を一方向的に修正する試みがこれまでに成功したことがないのは、たった一つの単純な理由です。意識が現実を作るという宇宙の法則があるからです。私たちの意識に平和がなければ、平和な家庭を築くことはできません。多くの人は家族のあやまちを修正しようとし、自分に混乱をもたらします。

そもそも、間違いを指摘したところで、それが修正されることはありません。認識されるのみです。他人の振る舞いを正すように教えたマスターティーチャーは、かつて一人もいません。かわりに、お互いのために祈ることを教えました。『奇跡のコース』は、修正は聖霊に属すると述べています。私たちが誰かの間違いを認識した場合、修正が必要なのは私たちの認識であって、相手ではないと述べています。誰かの心に気づいたら、彼らに光を送ってください。うまくいけば、私たちは二度とそれらを修正しないよう学ぶことができます。

寓話

Parables

メシアになるのは、大変な仕事です。教育と治癒のために外に出かけると、問題を抱えている人々が、そもそも問題を引き起こした信念体系を変えることには興味がないことがわかります。彼らは自分の人生に奇跡を望んでいるか、他の人を自分の期待通りに修正して欲しいだけなのです。

地球上で、マスターティーチャーに宇宙の法則を教わる準備ができているのは、ほんの一握りしかいません。マスターは、宇宙について彼らの理解をシェアする方法がないと知っていました。だからこそ、真実を語るかわりに物語を作り上げたのでしょう。宗教では、それを寓話（たとえ話）と呼びます。寓話とは、文字通りそれが真実ではないことを意味します。

私たちが正直さにこだわるのは奇妙なものです。イエスは決して真実を語ることにこだわりませんでした。「天国とは〇〇のようである」と、彼は何度言ったでしょう。彼は地球に来て、「今、人々は、宇宙927Jにおける並行現実Zの平面上で、七次元の現象論的な出来事を見ている」などと言うことはありませんでした。三次元の時空に無数に存在する現実を理解するための基準はありません。しかし、私たちは少々役に立つ何かを言うことができます。

異なる次元を想像するにはどうすればいいでしょうか？たとえば、二次元の現実を想像してみましょう。そこで人々が学校に通っていると想像してください。長さとは幅は理解できますが、奥行きという概念はありません。二次元の現実とは、タマネギの皮よりも薄い平面上で起こっています。今、あなたが三次元（おそらくタマネギ皮の次元では天国と呼ばれる次元）から、二次元の平面に光を送ると想像してください。彼らの「救世主」として、あなたは三次元の現実を説明しようとしています。彼らは図形は描けますが、ボリュームのある立方体を想像することができません。三次元という概念を想像することすらできないのです。

次に、四次元の存在が地球にやって来て、彼の現実について説明するとしましょう。彼は、たとえば私たちが今朝起きて、車に乗って通勤し、オフィスに着き、そして昼食を食べたときのことを思い出すように言います。四次元の存在は説明します。「すべての時間は同時なので、それらすべてのことを同じ瞬間に行くと想像してください」。私たちには難しいタスクです。人間は余分な次元について、ほとんど理解できません。したがって、四次元の存在を神のように考える傾向があります。そう呼ぶことで、理解できないものを把握できると思うからです。二次元の住人から見れば、私たちも「神」です。

三次元では、時間を直線で認識します。32ページの次に33ページがあり、今日の翌日は明日です。四次元では時間は円のようにあり、そこに暮らす存在は、円周ををどちらの方向にも進むことができます。好きな時点で自由に乗り降りできるので、来週や来年という概念もありません。時間とは単純な線形ではないため、彼らは今すぐ1812年に転生することも、今世のふりだしに戻ることもできます。

五次元では、時間とは円ではなく点のようであり、すべては同時です。実際に、神の視点から見れば、時間も空間もありません。それはアーススクールのために作られた概念です。すべて

のマスターティーチャーは、これらのコンセプトを試し、マインドのボーダーを拡げるために役立てました。あらゆるマスターが、時間の概念や感覚について役に立つ知識を教えています。私たちが楽しむ（崇拜する）秘教的な本は、梯子をさらに一段上にのぼらせるために誰かが作った物語です。これらの本は、非常に役に立ちます。漠然とした真実につながるものだからです。

ニューエイジコミュニティで語られてきたもっとも不条理な話の一つは、生まれ変わりの物語です。それは完全なフィクションです。転生という概念を理解すると、本当に何かを理解したような気がするのです。「そうです、私たちは生まれ、死に、そして再び生まれるのです」。そのような転生は連続した線形時間を前提としていますが、実際、私たちは死ぬ瞬間、その枠組の外側に出ます。それは生まれ変わりという概念にも、大いに影響を与えます。私たちは、この人生を終えたあと、どの時点で別の人生に入るのでしょうか？ 肉体を離れた時点と、別の肉体に入る時点が少々ずれて、地球上に同じ魂が同時に2つの肉体で存在することはあるのでしょうか？ 現在、そのようなことも多く起きているようです。未来の人生のすべてを生きてから、過去に戻ることはあると思いますか？ ええ、線形時間の外にいるときは、何でも起こります。

生まれ変わりという概念を「正しく」理解するより大切なのは、人生は続くと知ることです。そこには始まりもなく、終わりもありません。とてもうまく機能しているのです。私たちは、線形時間のシステムの中に永遠に存在します。詳しいことはわからなくても、この考えはとても役立ちます。時代が変われば、別の解釈が出て来るかも知れません。

比喩としての聖書

The Bible as Metaphor

私の考えでは、イエスは人生の3つの段階を経て、生命の継続性を証明しました。最初の段階は「はっきり言っておきます、それは…」という教育的なものでした。私たちはそのようにパワフルな説教ができるようになりたいと願いますが、イエスはうまくいきませんでした。目覚めとは内なる体験であり、その体験なしに福音を伝えることは出来ないのです。それで彼は説教をあ

きらめました。2番目の段階は、行動で示す段階でした。「私の言葉を信じないなら、何かして見せましょう。私は死者を蘇らせます。そうすれば彼らもわかるはずです。私が歩き回り、愛の力を示せば、すべての人が聖人になります」。しかし、それもうまくいきませんでした。そして、イエスは最後の段階に入りました。「まだ人々は、生命が永遠だとは信じてないようです。では、私は彼らに肉体的なデモンストレーションをします。クロスを持ってきてください。釘はありますか?」。十字架と釘がなければ、復活はありません。復活がなければ、生命の永遠性を示す証拠にはなりません。しかし実際のところ、その方法でも限られた成功しか収めませんでした。なぜなら生命の永遠性を受け入れたのは、それを信じた人だけだったからです。

聖書は、非常に多くのレイヤーを含む興味深い物語です。スピリチュアルな教えを集めた指導書のほとんどがそうであるように、たとえば、ある章では7年生に話しかけ、別の章では11年生に対応します。言葉は、人によって全く違う意味を持ちます。ですからそれを読むときには、誰に話しかけているかを知る必要があります。旧約聖書のほぼすべては、キャンプファイヤーの周りで語られた物語です。これらの物語は、誰かが書き留めるまで、代々口伝で受け継がれていました。たとえ話に実質的な真実を探そうとすると、いつまで経っても見つけることはできません。一方、その話を伝えた意図を探すなら、いつでもそこにあります。

キリスト教の宗教的な教えと、スピリチュアルを結びつけて考えるのが困難な人のために、聖書の言葉を解釈する方法はいくつかあります。私がお勧めするのは、エメット・フォックス Emmet Foxの書いた『山上の説教と十戒 The Sermon on the Mount and The Ten Commandments』です。

マスターティーチャーの主な役割は、テレパシープールに意識を浸透させることでした。彼らは最優先指令を尊重し、自らの智慧を地球の人々とシェアするために、わざわざ肉体に転生したのです。彼らの話を聞きたい人がいれば、わかるまで無限の忍耐をもって何度も話をしましたが、彼らが伝道者になることはありませんでした。彼らは、宗教や教会を始めることはなかったのです。ただ自由になりたい人々に、自らの話を語って聞かせました。独断的で罪悪感を植え付ける場所に進化しなかった教会は、かつてありません。しかし、ユニティ教会、サイエンス・オブ・マインド、ディヴァイン・サイエンス、クリスチャンサイエンスなど、いくつかのニューエイジの教会では、神が彼らの内なる教師を見つけるとは教えず、参加者に自らの内なるガ

イダンスに従う自由を提供していますが、それでもまだ、そこには人間の解釈がもたらすフィルターがかかります。

私のアドバイスは常に、スピリチュアリティをもたらした人々のオリジナルの話に戻ります。なぜならそれこそが、歪曲を含まない唯一の物語だからです。まさに、力の源です。元の教えには、いくつかの有用な内容が含まれていました。彼らは弁護士ではなく、権威者ですらありませんでした！ ユニティ教会を設立したチャールズ・フィルモア Charles Filmoreは、形而上学的な聖書解釈を書き上げ、ほとんど理解されなかった本にわかりやすい理解を与えました。彼らは、伝統的な解釈とは違う別の考えを提案したのです。彼が教える主への呼びかけは、こうです。「私たちは法を求めます。宇宙の法則が人生に現れますように」。

「罪」の本来の意味は、神の怒りとは何の関係もありません。それはアーチェリー用語で「的を逃す」ことを意味します。「まあいいや。もう一度やり直そう」ということです。罪を犯すとは、行きたくない場所に向かうことです。同様に悔い改めは、そこから向き直り、反対方向に進むことを示唆します。現在の瞬間にしていることが自分を幸せにしないなら、別のルートに進むでしょう。罪にその他の意味はなく、天国や地獄、気分を害した神々とは何の関係もなかったのです。神は私たちが何をすべきかを気にかけません。それを気にかけるのは、おそらく親たちだったかも知れません。宇宙は私たちが完全なものと見ています。偏見もジャッジメントもなく、罰も課しません。宇宙は私たちが間違いを犯したことがないと知っているのです。

サイキックワークを始めて、私が最初に受け取ったメッセージは、『奇跡のコース』または聖書を気楽に暖炉に投げ込めるようになるまで、その内容を十分理解したとは言えないというものでした。何かを聖別したり、台座に上げるのは、私たちと同等ではないと宣言するに等しいです。台座に乗ることを願うアセンデッドマスターやアバター、大天使は一人もいません。彼らはむしろ共にビールを飲み、ピザを食べ、真のコミュニケーションの機会を歓迎します。私たちは自分自身の価値観を調べ、自分がサイババまたはクリシュナムルティに等しいと宣言する意思があるかどうかを見る必要があります。彼らは、自分たちが私たちと違うとは思っていません。彼らは私たちとは別のゲームをしているかもしれません。けれども、それは優劣の順位とは何の関係もないのです。

十戒

The Ten Commandments

神は玉座にあり、私たちとは切り離されていると信じ、すべてのマインド、ハート、魂は一つだと理解しない場合、従うべき一連のルールがあった方がわかりやすいです。キリスト教徒とユダヤ人はしばしば十戒を究極のルールだと考えますが、それは宇宙の法則をよく理解していないからです。十戒を授かった男モーセは、誰でしたか？彼はシステムをコントロールすることに夢中な9年生、または10年生でしたか？それとも絶対的なものとの内なるつながりを持つ存在だったのでしょうか？私は彼が他人の妻と寝たり、人を殺したりしないように言われる必要がある種類の人物だったとは思いません。彼はいくつかの前世で人を殺したかもしれませんが、日常としてそれをするつもりはなかったでしょう。そうであれば、彼はなぜそのようなルールを受け取ったのでしょうか？

モーセは、自分の理解度に即した真実を受け取りました。宇宙は常に、私たちの理解のレベルに適した方法で、真実を明らかにします。ある人が受け取った洞察を、別の人が文字通りに適用することは難しいのです。

モーセは山の頂上に行きました。聖書では、瞑想に入ったことを意味します。それから彼は、このような声を聞きました。「モーセ、私の友人モーセ、モーセ、私の息子よ、私は真実の法をあなたに話します。あなたは殺すことはできません。生命は永遠であり、誰も本当の意味で死ぬことはなく、この宇宙では殺すことは不可能です。盗むこともできません。姦淫とは、自分とは別の存在から愛を受け取る試みです。自分と別のものはなく、自分の外側に愛は存在しません」。モーセが聞いたのは、宇宙には正しいことも悪いこともないので、不適切な行為はあり得ないということでした。神は愛であり、愛は判断しません。十戒とは、人を自由にすることを意図した宇宙の法則の声明であり、罪悪感に従属させるためのものではありません。神は私たちが間違いを犯したことはなく、間違いを犯すことはできないと知っているからです。

モーセが仲間のもとに戻り、「みんな聞いてくれ、私は神から、本当にあるべき姿について、素晴らしいことを聞きました！」と言ったとき、彼らはその真意を理解することができません

でした。そこにいたのは、宇宙とは友好的であり、神は愛であり、誰にも罪がないと理解できない人々だったのです。そして人々は、彼の聞いた言葉を一連のルールとして次世代に伝えました。カルマの法則をまだ理解していない2年生、3年生、4年生と話すときは、「ここにいる間にもっとも快適で楽しい人生を過ごしたいのであれば、人を撃つのはやめましょう。長い目で見れば、そのほうがあなたは幸せになります」と言うとう理解してくれます。罪悪感を課すために、それは罪であるとか、神の怒りについて話すことはしません。神は、彼らの行動を裁きません。裁くのは、私たちは自身です。

長い間、真のスピリチュアルな教えは、会衆を管理し、金庫をいっぱいにしたいと考える教会によって、あやまって解釈され、広められてきました。組織は最終的にスピリチュアルな教えを提供しなくなるところまで拡大します。教えが人間化されると、宇宙の力や智慧は私たちの内ではなく、私たちの外にあると教えます。神格化されたマスターは、本質的に役に立ちません。ドグマを破棄して、最初からやり直す必要があります。

拡大された視点

An Expanded Perspective

水瓶座の時代のはじめには、宇宙の法則を教えるためにブッダ、クリシュナ、キリストは転生しません。地球上にマスターの教えを理解できる個人がほとんどなかった時代には必要で、当時は上昇した存在が数人いれば、すべての探求者を教えるのに十分でした。アバターたちが地球を見捨てた時代はかつてなく、この場所には、常に少なくとも数人のアバターがいます。1年生から12年生の生徒は、自分が直接光に向かって行くことは考えられないかも知れませんが、それでも、彼らは同じように光に進む誰かに同期し、家路についています。水瓶座の時代には、地球で肉体を持つすべての魂が、隣の部屋ほど近い距離に、彼らを光に導いてくれるアバターを持つ必要があります。インドまで行く必要はありません。

少数の個人が一步踏み出して、世間のプログラミングを放棄し、純粹に機能する時がきました。言葉から、すべての宗教的意味合いを取り除いてください。純度とは、システムのシンプル

さと完璧さを理解することです。あなたは、ある面では個人の成長のために地球に来ましたが、最優先指令が肉体を持たずに、愛する人やクラスメートを支援することを禁止したためでもあります。さあ、制約から解放されなければなりません。

私は、スピリチュアルな親善大使として西洋にやって来た東洋のグル、ヨガナンダの物語が大好きです。彼はさまざまな場所から招待を受け、大勢の前で話しました。ある晩、彼は自分の生徒たちと共に、政府のメンバーが集まる外交カクテルパーティーに参加しました。ヨガナンダは生徒たちに純粋さについて多くのことを教えてきましたが、彼らの理解のレベルでは、それは禁欲や、伝統的に不純だとされている食物の禁忌を意味していました。ですから、パーティーでグルがマティーニを飲み、前菜を食べ、楽しい時間を過ごしているのを見て、生徒たちは激怒し、こう言いました。「あなたは偽善者です！ 純粋でなければならないと言ったくせに！ アルコールやジャンクフード、セックスは禁じられています。そのようなことはすべきではありません！」ヨガナンダは、暖炉のそばへ行くと、自分の手を火の中に入れ、こう言いました。「私にできることがあなたにもできると思うなら、ぜひやってみてください」

スピリチュアルな人生の目的は、自由になることです。私たちは、常に最善にフォーカスし、自分に加わる制限を取り除き続けます。仕事、野球、配偶者、サイキック現象など、思考プロセスを支配するものは何でもそうですが、私たちをスピリチュアルな成長に結びつけないものは喜びを遅らせます。どんな人間も、より高いレベルの現実から機能することによって、物理的次元の法則を超えられるのです。

私たちが宇宙の無限性、つまり私たちが潜在的に持つ無限性を見るのを助ける方法があります。私たちは「大きな全体像」に触れ、自分が三次元の現実をはるかに超えた何かの一部であることを感じたいと思っています。これまで目で見たり、耳で聞いたりしたこと以外の領域を認識したいと考えます。出会うすべてのものを、成長のツールとして使いたいと願っています。

「自分は物事を知っている」と思うときはいつでも、自分の道から逸れています。私たちが星を眺め、そこにあるかも知れない文明や、宇宙の機能について自問するとき、私たちは謙虚になります。その時、私たちは真の学びと理解の場に連れ戻されるのです。

教室を見回って、すべてが順調であることを確認しているアーススクールの校長を想像してみてください。彼は廊下の外で少し立ち止まって、各クラスの講義を聞いたり、使われている教科書をチェックしたり、生徒たちが規則正しく建設的に遊んでいるかを確認します。校長は、個別のレッスンの指導に関わることはありません。すべてやろうとすると、はるかに仕事量が多くなるため、かわりに教員や、看護師、体育教師、心理学者などを雇うのです。地球に光をもたらす存在であるあなたは、その校長に非常に似ています。経済、政治、軍事、人道の分野で多くのことが起こっていますが、そのすべてに参加すれば非常に忙しくなります。あなたの役割は、「大きな全体像」を見るだけです。地球を慈悲深い学校と見なし、愛のエネルギーを向けることによって、目に見えないレベルであなたの家族と協力します。本当にこれが惑星の進化を加速する唯一の効果的な方法なのです。意識が現実を生み出すからです。効果のない方法で変化を促進しようとしても、時間やエネルギーが足りません。マスターティーチャーが実践した方法が、もっとも効果的なのです。あなたが信じようと、信じまいと。

奉仕の道

The Path of Service

現実には、私たちが知るよりも多くの次元があります。4、5、6、7…25…100次元と、ずっと続きます。私たちはまだ、本当に高い位置にいる神を発見していません。しかし、ミステリースクールが教えるケルビム、セラフィム、ソーラーロゴス、父、息子、聖霊などは、本当にいます。彼らはみな、私たちを卒業させる最善を尽くしています。それから、スペースブラザーズのコミュニティがあります。私たちの銀河で楽しく暮らす50～60個の銀河文明による連合です。彼らのほとんどは、ここで他のグループの役に立つことを望んでいますが、私たちとの接触は、最優先指令によって制限されています。

この地球の目に見えない領域にいる何十億もの存在が、誰かの役に立ちたいと願っています。あらゆるレベルで、奉仕の道は悟りにつながるのです。現実的な意味において、物事を修正できる神は存在しません。長く白いあごひげを生やした老人が玉座から「あの人に雷を落として、

この人を助けましょう」などと言うことはありません。神とは、決してそのような存在ではないのです。

奉仕に携わる存在が数多くいます。天使とスピリットの王国の一部は、彼らの仕事を、人類が家路を見つけるための奉仕に捧げます。そのために彼らは、守護天使になります。私たちが助けを求めなければ、彼らは他のどこかに行きます。ご存知のように、宇宙には最優先指令がありますから、私たちが要請しない限り、介入はできないのです。私たちが彼らの助けを受け入れるたびに、彼らの成長は促進されます。ですから、彼らは気付いて欲しいのです。彼らはそこに座って「何かお願いはないですか？ そうしてもらわないと、私はここで100万年もの間、立ち往生することになります。ここから抜け出し、成長したいのです。これが私が神さまのために選んだ奉仕の道なのです！ 私があなたの人生に関わり、シンクロシティと魔法を起こし、毎日助けることができるよう、お願いしてもらえませんか？」

この機会に、他の王国の代表を呼び出す方法を考えてみてください。「食べもの王国の天使、この料理にどれだけの塩を足せばいいか教えてください」。確かにそのような領域もあります。私たちが彼らにお願いするほど、彼らはより速く成長します。けれども、私たちは彼らに助けを求めることを、とても恐れています。「ええと、神様、私はあなたに迷惑をかけたくありませんが、もし少しだけ時間があれば、私は...」と、言い訳を作ります。やがて、天使たちはこう言うでしょう。「あなたの言い方だと時間の無駄ですから、もっとはっきり言ってもらえませんか？」。

大したことではありません

It's All No Big Deal

人生のすべての出来事を隠喩や寓話だと考えるようになると、余分なドラマ要素を差し引くことができます。真実に近づくほど、深刻な問題は少なくなるのです。スピリチュアルヒエラルキーも、特別な存在ではなくなります。私たちの中には、転生前にそのメンバーだった人もいます。しかし地球にやって来て、ヒエラルキーの存在を「はじめて」知ると、私たちは巨大な台座

を用意して、彼らを祭り上げたくなるのです。「天になるように、地にもなる」が真実なら、ヒエラルキーや評議会の意味がわかります。ただの委員会です！スピリットもあなた同様、自分がお偉いさんの立場になるのが、あまり好きではありません。ヒエラルキーのメンバー募集がかかると、彼らはうずうずして「今回は彼の番です。彼を大天使に推薦します。私は前はやりましたから、今回は遠慮します」などと言います。

ヒエラルキーは、より一般的なものです。それを理解すると、自分と宇宙がいかにか平等かわかります。あるものが特別に重要だと信じることは、分断を生み出します。ヒエラルキーやスペースブラザーズは、他の誰もと同じように、自分のベストを尽くして、学校でうまくやろうとしているだけの存在です。宇宙の本当の性質を理解できれば、UFOは都市バスほどの面白みもないでしょう。

私たちが一つの人生を終えて、別の人生に入る前、どこにいますか？ 肉体を持って地上にいないければ、地球外生物と同じです。すべての人間は、地球外生命体なのです。私たちはみな、星々の生んだ子どもです。私たち一人ひとりが、複数の現実のレイヤーを経験しています。もし、誕生前の「地球外」だった頃の状態を、ほんの少しだけでも覚えておけば、あとから非常に役立ちます。私たちは莫大な資源と目に見えない友人・家族たちの力を自由に利用して、宇宙的な活動を行っています。世俗的な人なら、「私の古い友人はみな地位が高くてね」などと言うでしょう。

宇宙の法則は、いかなる進化の段階でも、自由意志の侵害を禁じます。集団のテレパシーグループに関わる人だけが、彼らが存在する現実を変える権利を持ちます。たとえ他の次元に何十億もの存在がいたとしても、私たちが選択しない限り、彼らは私たちに関わることはできません。私たちは、目に見えない世界にいる宇宙艦隊とライトワーカーたちを指揮し、彼らの光をこの惑星にもたらず許可を与える力を持つのです。

現在、非常に多くのことが起きていて、それはワクワクします。しかし、他の銀河や宇宙からの存在がここにいるという事実も、私たちが自分を癒さない限り、関係がないのです。目立つ場所に立ち、スペースブラザーズに好きなだけ手を振ることもできますが、彼らは私たちが内なる平和を獲得するまで待つでしょう。それが優先課題だからです。

ここにレッスンがあります。必須の課題です。医師は自分自身を癒します！自分の真実に向き合うこと。そして初めて、私たちは目に見えない友人と効率的にワークし、彼らの情報を伝え、あらゆる素晴らしいことを行えるようになります。マスターティーチャーは、「天の王国を求めなさい。そうすれば、すべてはあなたに与えられます」と言いました。しかし、私たちには人間ならではの特徴があります。他のすべてを先に知りたがるのです。真のスピリチュアルティーチャーは、人生に神の国を現実化するまで、他のすべてを無視するように教えてきました。それを発見することに夢中になっていると、私たちは王国を見逃してしまうからです。

地球は、どの瞬間も自分自身を完全に目覚めさせることに集中することを教える人々を必要としています。マスターティーチャーの言うことを本当によく理解していたら、一瞬で悟ることはないとわかります。しかし、彼らは私たちの人生のあらゆる面が、あらゆる方法で、毎日良くなることを約束しています。トンネルの終わりには、光が見えます。私たちは、まっすぐにそこに向かっていきます。私たちが成長するにつれ、グループ意識も牽引されます。私たちには救いの計画があり、一人ひとりが無限大に強力で、永遠に自由になるための道のりを歩いています。

第4章

救いの計画

THE PLAN OF SALVATION

悟りは、スピリチュアルの道を歩んでいる人たちにとって、非常に興味深い話題です。ブッダやクリシュナが直接教えるものだと考える人もいれば、キリストが降りてきて、私たちの額にキスをすると目覚めると信じる人もいます。しかし、マスターティーチャーや神は、悟りとは何の関係もありません。それは単に、私たちの視点を変えることだからです。

真の悟りが何であるかを知るには、私たちが本当は誰であるかに気づく必要があります。私たちの本来の姿と、この三次元で目にする「本人らしき」人物とは、まったく別の存在です。私たちの真の姿は（今までずっとそうでしたが）、神の側面です。私たち一人ひとりが、個別化した神として、神の持つすべての不変の特徴を備えています。私たちの本当の性質は、無限で、全知全能で、愛情に満ちた宇宙の創造主を説明するときに用いるすべての言葉によって表現することができます。

しかし、私たちは自分自身をそのように見ていません。私たちの限られた信念体系で見える周りの世界の特徴を自分に当てはめ、世界の本質を誤って認識しています。宇宙のビジョンではなく、私たちを育てた権威者たちの目で世界を見ているのです。

どうやら、2つの現実があるようです。1つ目は、神の意識の現れ、悟りを開いた存在が暮らす意識としての現実です。そしてもう1つは、私たちが住む苦勞の多い「現実」であり、人生の99%そこに集中しています。正統派・非正統派、どちらの流派のスピリチュアルな教えも、意識をある状態から別の状態へとシフトさせるには、悟った存在の力が必要だと信じています。実際は、そうではありません。

アーススクール卒業生の帰還

Graduates of Earth School Return

救いの計画はシンプルです。地球のパズルを少々理解した人が、興味のある人とその情報を共有するのです。そのため、この学校の卒業生は「登校日」に自主的にやって来る生徒がいます。彼らは、私たちが誰であり、私たちの本当の性質が何であるかについて、よい話をいくつか教えてくれます。その情報をどのように扱うかは、完全に私たち次第です。

卒業生たちは、宇宙の自然な状態は、喜び、至福、ノーストレス、ノープレッシャー、豊かさ、冒険、興奮、平和、愛だと語っています。自然の条件でなければ、これらの特性を永続的に維持することはできません。平和を維持するために常に頑張らなければならないのであれば、言葉が矛盾します。

一方、痛み、闘争、圧力、ストレス、悲劇、そして紛争は、宇宙における通常の状態ではないと彼らは話します。本当に不快な状態を維持するためには、流れに逆らって進まなければなりません。私たちは自分の信念が決して自分を幸せにしないにも関わらず、その信念を守り、流れに逆らっていると、彼らは教えてくれます。そうすることをやめるなら、宇宙の自然な流れに沿うことができると言います。自然な流れを生み出すのは、エネルギーにとって気持ちのよいことなのです。

私たちが通常、信じ続けているあやまりの一つは、私たちが別々の個人であるということです。「宇宙 v s 私」であり続けることを望まないなら、手放すべき信念だと彼らは言います。私たち一人ひとは、宇宙の一部です。いいえ、私たち一人ひとりが宇宙なのです。孤独のまま悟りを達成できる存在はいません。なぜなら真実は、「一人」であることは不可能だからです。

瞬間の悟り v s 進化的な悟り

Instantaneous vs. Evolutionary Enlightenment

この宇宙では何でも可能ですが、誰かがダマスカスへの道を歩いていて、突如やって来た光により真実が明らかにされたときに起こる瞬間的な悟り（※新約聖書の著者の一人であるパウロははじめはイエ

スの信徒を迫害していたが、ダマスカスへ向かう途中、イエス・キリストの声を聞き、回心したことが知られる)は、通常、1500万年ほど自分でワークしてきた場合にのみ起こります。目覚めは、決して瞬時には起こりません。これは進化のシステムだからです。

あなたが悟りを求めて東洋のグルを訪ねたら、ただ静かに座って、20年間、呼吸を観察しなさいと告げるでしょう。何かを学ぶ準備ができるのは、それからだと。西洋生まれの私たちは、グルに教わるには、あまりにもせっかちです。そうするくらいなら、むしろ瞬間の悟りを約束すると宣伝する週末集中セミナーのために500ドルを使った方がいいと思います。私たちは、自分が瞬時に目覚めるための必要条件を満たしていると信じたいのです。

さて、私たちの家路とは、鏡を見て、自分が自分であることに気づくだけの道のりです。私たちは誰もが神であり、創造のはじめからずっとそうなのです。進化のプロセスを進み、その真実を思い出せる場所に戻らなくてはなりません。

正直に言えば、私たちがスピリチュアルな追求を続けるためのモチベーションは、神を愛しているという事実とは、それほど関係ないかも知れません。実際には、ほとんどの人があまり気にならないと思います。それよりも、自分が楽になりたいだけです。人生の苦痛と闘争を終わらせたい、それが理由です。けれども、自分の動機について罪悪感を感じる必要はありません。「これはあまりスピリチュアルじゃないかな…」などと言う必要もないのです。そのような考え方は、システムが機能するために作られたものだからです。

宇宙は、常に人間の動機を理解しています。私たちがジャッジするのではなく、人間の性質を利用して、私たちが神に戻すために導くのです。宇宙は、私たちがあまり利他的でないことを知っていました。救いの計画は完全であるだけでなく、実に実用的です。誰かが自分の貧困を終わらせるため、または病気を治すために真実を学ぼうとするならば、その人は最終的に神となるでしょう。宇宙は、私たち自身の苦しみを終わらせる以上のことを、私たちに期待していません。そして、ある日、私たちは目覚め、何の制限も課されない自然状態にいた自分を思い出します。

人間の墮落

The Fall of Man

悟りを達成するのは、迷いを達成するのと同じプロセスです。私たちは皆、個別化した神の欠片として始まりました。その後、探検家として、「完璧」以外の状態がどのようなものであるかを試みます。制限の中で生きるのは、楽しくて興味深いものです。ちょうど迷路を楽しむのと似ています。覚えておかなければならないのは、その途中のどこかで、私たちは自発的に自分の信念や認識を制限する許可をしてしまうことです。誰かがそうしたのではなく、私たちがそうするので。自由意志は、決して侵害されません。私たちは無限の意識状態から、有限の状態へと移行するよう追いやられたわけではありません。自由意志は、決して侵害されないのです。私たちは、自分が何を信じるかの選択をする同じ力を使って、有限であることを選びました。悟りを取り戻すためです。何かの償いではありません。

この地球は、宇宙の探検家たちによって作られました。私たちはみな、冒険家です。人類の全歴史が新しい土地、新しい大陸、天の月と海の深さなどの探索によって作られたように、宇宙もまた同じです。この学校の創立者たちは、自分たちが作り出す現実のすべての領域を探索することを選び、想像した瞬間にそれは作られました。完全な状態から抜け出すには、一つしか方法がありません。それが聖書において、主に「墮落」と呼ばれる下降プロセスです。

無数の次元に住む無限の存在は、あるとき、こう言いました。「ここは退屈だな。100次元の世界に引っ越してみよう。ふむ、これは楽しいぞ。でもまた退屈してきた。光に戻ってみよう…。よし、次は1000次元を体験しよう。なかなかのチャレンジだ。うん、確かに素晴らしいのだが、そろそろ戻ろうかな..あれ、どうしたんだろう？ 来た道がわからなくなってしまった。窓はどこだ？ ドアはどこだ？ あれっ、閉じ込められてしまった！」

元の世界への帰り道を見つけるには、窓のシェードを上げて、十分な光を取り込む必要があります。「どこかにドアがあるはずだから、探してみよう！」。そして、以前知っていたことを、探し求めます。光の中にいる友人たちは、私たちを見てこう言います。「おーい、大丈夫か？ 家に帰るために救いの計画を立てよう！」。けれども、私たちは一向に道がわかりません。そこで、友人はこう言います。「大丈夫、私たちはあなたの自由意志を変えることはしません。苦し

みたければ、いくらでも放っておきます。でも準備ができれば、私たちはあなたを家に連れて行くために誰かをそこへ送ります。無理強いはしませんから、あなたが自分で選んでください！」

。

そして、帰り道につながるドアを示そうと誰かが降りてくるたびに、救世主の物語が作られました。私たちは彼らをメシアと呼びましたが、実のところ、ドアを示すために降りてきたのは、ただのハリーカスーでした。救いの計画とは、全く大それたものではありません。むしろ一般的な常識です。下がったシェードの内側で見えなくて困っている人たちに、シェードを開けて見せているに過ぎないのです。

司祭と預言者

The Priests and The Prophets

すべての占星術的時代の初めに、マスターたちは計画に従って地球に現れました。単純な真実を示すためです。真実とは、常にシンプルなものなのです。彼らはそれを古い言葉から、現代風の言葉に言い直し、新しい時代のガイドラインを示しました。教えが最初に語られたときは、単にスピリチュアルな常識論でした。ブッダであろうと、アブラハムであろうと、モハメッドであろうと、彼らはみな、現代にも通じるシンプルな事柄を述べたの過ぎないのです。時が経つにつれ、彼らは神格化され、生徒たちは、もはや彼らと関わるものがなくなりました。ティーチャーの神格化とともに、教えは変更されました。さらに時が経ち、スピリチュアルな教えには、それを伝える司祭の解釈や意見が含まれるようになり、ドグマ（※教義）に引き継がれます。

地球上には常に、司祭と預言者という2種類の教師がいます。預言者は、スピリットとの直感的なつながりを通じて、人々に素晴らしい洞察をもたらします。司祭は、預言者の言葉を受け取り、それを神聖にし、他の人に生き方を教えます。彼らはマスターを畏敬し、すべてのティーチャーを偶像化するように言います。彼らはイエスから神性を作り、ブッダから神を作ります。しかし、真のマスターは、いかなる台座に乗ることも決して望みませんでした。イエス自身、多くの時間を費やして伝えたのは「私はあなたの王ではない、私はあなたの兄弟です！」ということ

です。その後、司祭たちは、彼から神を作りました。スピリチュアルの勉強の中には、ヒエラルキー、ロゴス、天使の王国に大きな敬意を払うべきだと教えるものがあります。それを聖域または祭壇の上に掲げて崇拝するのです。しかし、私たちのガイダンスは神殿からではなく、私たちの内部から来ています。

献身的にスピリチュアルを学ぶ者にとって、司祭が必要な時代は終わりました。内なる声とは異なる、別の預言者の声を必要とする時代ももまた終わります。外からの声は、個人が自らのガイダンスとつながりを持たなかった時代には適していました。内的なビジョンを明確に持たなければ、教師が必要になります。「サイクルの周りにさらに1万回旅行するのがいやなら、この道に従いなさい」と言ってもらうために。

道、グル、奉仕

Paths, Gurus and Service

アーススクールの生徒にとって、直感が完全に発達していない場合には、家に帰る道のりが見えていると非常に役立ちます。しかし、それは、自分ではない他の誰かが家に帰るために必要とした「道」なので、そこから離れなければならない時が来ます。結局、私たちにとって唯一便利なのは、内なる声によって伝えられる「道」なのです。

念のため説明させてください。ここで話しているのは、他の誰かが正しい道を歩んでいるかどうかのジャッジメント（認識の誤り）ではありません。私たちは、他の人々が必要とするものではなく、私たち自身の喜びへ向かう個人的な旅路を促すものについて話しています。それは、自分で選べるのです。

私たちはトレーニング中のマスターとして、内側のガイダンスに自信を持つために、試行錯誤を繰り返します。内なる声をテストするのです。ときどき、私たちが神の声だと考えるのは、単なる自我の場合があります。誤解しやすいのです。けれども心配は要りません。何度でも試せばいいのです。必要があれば、外側の世界のグルや第一人者にアドバイスを受けることもできます。

私たちはグル、マスターティーチャー、さらには親への依存から自分自身を独立させようとしています。必要に応じて彼らとのつながりを保つこともできます。見方を変えればいいのです。彼らを台座に乗せて盲信を続けるかわりに、私たちの顧問としてメンタルカンファレンステーブルの席に着いてもらうのです。

ここで議論していることの多くは、意味論の問題です。私たちはティーチャーも教えも、自分の外にいると信じていました。私たちは自分の外にある智慧を求めることに慣れていました。それは問題ありません。宇宙は真実の教えを、私たちそれぞれの信念体系に合うように伝えているだけだからです。しかし、外側に見るものもまた、私たちの一部であると覚えておいてください。私たちが現実として見ているのは、私たちを映す鏡です。私たちはここで、求めている智慧とは私たち自身であるという事を思い出すためのトリックをしかけています。悟りとは、思い出すことなのです。

グルはさまざまな形態を帯びます。人間（その生死は問わない）、本、哲学または伝統などです。いずれにせよ、それぞれにふたつの側面があります。真実の側面と、人間によって歪みが加えられた側面です。あなたにとってのグルが誰であろうと、そのことを忘れないでください。たとえ、イエス、聖書、『奇跡のコース』、バガヴィッドギター、ネイティブアメリカン、自然、ミステリースクール、古代の智慧のマスター、あるいは現代の「チャネラー」の一人など、どのような教えであっても、あまり真剣に受け止め過ぎないでください。教祖の言葉や儀式を、自分の内面の洞察よりも重視するなら、あなたの旅路は長く、遅く、そしておそらくはストレスの多いものになるでしょう。「神聖な」ものは、何もありません。すべては、あるがままです。

人類がここまで進化しても、悟りに至る方法や教えが発明されていないのは面白いですね。それは、あなたが望み、見つけるものだからです。宇宙はあなたのために、本当の性質を思い出させる新しいトリックを思いつくでしょう。そして、自由意志に逆らうことなく、それを行います。

あなたが自分をスピリチュアルな道を歩む人と見なすか、そのような人たちを観察しているだけと見なすかはわかりませんが、人間として与えられた条件下で進化する道を探るのは、ティーチャートレーニングの必須コースです。探求者が自分の道で学ぶ最初の真実の一つは、私たち

がすべての人類とつながっているということです。それは、私たちの現実観を劇的に変化させます。このような理解を得ると、スピリチュアルを学ぶ生徒たちは、遅かれ早かれ、自分の目的意識を発達させるようになります。私たちの使命、私たちの道は、徐々に明らかになっていきますが、それは他の人々の役に立つことなのです。

ほぼ、すべての道のグルは、私たちがどのように奉仕するのが適切であるかを教えます。しかし、宇宙と私たち自身のつながりが紐解かれるにつれ、それぞれの人に独自の方法があるとわかります。一般的には、私たちが進化するほど、全員が同じ目的を持つことを認識するようになりますが、私たちのユニークさは、その実現の方法に現れます。ある人はコンピュータープログラマとして、別の人は郵便局員として行います。すべての目的は、文字通り、神とのワンネスを表現することであって、奉仕の形がまったく同じになることはありません。

時間と空間の旅の終わり近くで、目覚めた人類は、私たちが他の人とまったく似ていないことを発見します。私たちは、それぞれが別人です。意識の状態に関係なく、誰もが神の側面であり、一人ひとりが神のすべての属性と特性を持つのですが、その現れ方が異なるのです。目覚めた生徒のゴールは、人々や状況のあやまちを修正することから、神の原理である癒しと愛の力の生きた模範を示すことへと変わります。私たちが互いに切り離されているという感覚で生きる人は、何もかも自分のためにしようとするでしょう。しかし、意識的に生きると、宇宙はマインドも、ハートも、魂も一つであることを理解します。ここにおいて、自己に奉仕するということは、すべての存在に奉仕することです。私たちは人生のあらゆる素晴らしさを生きるに値するだけでなく、豊かさと完全なる健康と内なる平和が自然な状態であることを学ばなければなりません。私たちは持っていない贈り物を与えることはできないのです。

すべての道は、はじまりに終わります。すべての道は、「私は神と話します。私は神です！」という大胆さを持つときにはじまり、そして終わります。

道としての聖書

The Bible as a Path

聖書は、道として見ることができます。多くの人々が長い間、従った道です。それは、「目には目を」という、実にカルマ的な法則から始まります。それからモーセ（宇宙の法則を理解する人物の象徴）は、イスラエルの子どもたち（探究者）を荒野（ストレスの多い生活）から連れ出そうとします。何世代にもわたる戦争（知識人主導）を経て、素晴らしいマスターティーチャーが現れます。ティーチャーは、たとえ話を使って真実を述べます（それぞれが主観的な現実の文脈で解釈しなければなりません）。それから、ティーチャーの言葉について、弟子たちが教会に送る手紙の中で解釈する時代がやって来ます（新しく記憶された「真実」を、古く安定した制度や、私たちの習慣や信念の中に組み込み、調和させようとする内部プロセスを表します）。聖書は、その他のスピリチュアルなガイドブックとは違って、外部の出来事や哲学については何も語りません。それは、私たちの個人的な内部プロセスについての比喻です。私たちの外には何も存在しないのです。

聖書の最後に収められているのは、黙示録です。ここで、すべては直接、探求者に明らかにされます。新約聖書は、黙示録のあとに続きがありません。進化のこの時点に達すると、ただそこに「ある」以上の答えがないことがわかります。答えは、私たちの内部で明らかにされなければなりません。しかし、魂の進化はここで終わりません。終わるのは本だけです。

マスターの道のはじまりは、すべてのスピリチュアルな支えを解放し、厳密に内なる導きに従って自己実現を行うことから始まります。それは恐ろしい第一歩であり、「魂の闇夜」と呼ばれてきました。この段階での個人的な戦いを、イエスは次の言葉で表現しました。「わが神、わが神よ、どうしてわたしをお見捨てになったのですか」。

私たちが権威者や他のグルの知識に頼ることから、内なるガイダンスを選ぶ信頼のレベルに達すると、その時点ではっきりとは見えなくても、自立したパワフルな存在に向かっています。それはパラドックスです。なぜなら、あなたが誰からも何も離れていないことに気づくと、個人としての自分自身に力を感じるからです。

今こそ私たちは、個人的な経験の道を認め、尊重しましょう。実際には、現実とは主観的でユニークであり、救いの計画も人間の数と同じくらい多くあります。他の人が経験したのとまったく同じことは、誰も経験できません。あなたにできることは他の誰にもできず、あなたがなれ

る人物に誰もなれません。あなたは自分と調和しない道をたどることはできないのです。あなたが選択したものは何であれ、宇宙的な眼から見て大丈夫です。あなたの目標が何であれ、それはあなたを家に連れて帰ります。あなたが惑星を救いたいなら、あなたは自分自身を癒してしまうでしょう。自分を癒したいなら、地球を救うことになります。このシステムは完璧なのです。

西洋の道

The Western Path

人生をそのような一連のパラドックスとして捉えると、大きな全体像が見えてきます。西洋では、アバターは必要ありません。誰も信じないからです。サイババが私たちの職場にやって来て話をしても、おそらくあまり多くの人を惹きつけられないでしょう。西洋世界で教えたいなら、賢く聞こえる話が好きな西洋のマインドを理解しなければなりません。教えを授けるにあたっては、たくさんの本を読んで、多くの語彙を学ぶ必要があります。本当に賢い人物だと思わせることができるからです。実際には、私たちは本から教えを学ぶことはありません。本を通じて、自分たちの内部にすでにあるものを思い出しているだけです。もし、それが本当に新しい情報だったとしたら、理解するのに何万回の人生がかかるでしょう。

まったく知らない状態から始めて、1か月の読書でスピリチュアルの真実を学ぶことは不可能です。「新しい」アイデアを簡単に吸収できるのは、一時的にアクセスできなかった情報に再接続していることの絶対的な証明になります。理解とは、常に直感的なものです。言葉が人々に真実を理解させるならば、スピリチュアルな教えから、誰もが同じ理解を得るでしょう。しかし、二人としてまったく同じ意味を聞くことはありません。目覚めとは、100万年前、もしくは時間が始まる前に、すでに知っていたことを思い出すプロセスです。したがって、もう一つのパラドックスは、唯一の理解は私たちの内なる存在からやって来ますが、このテレパシープールに浸っている間、私たち全員が理解するためには、本やテープ、日没や音楽など、継続的なリマインダーが必要だということです。

『奇跡のコース』と呼ばれる道

The Path Called A Course in Miracles

この世界に何百万もある真実の言葉の一つに、『奇跡のコース』があります。知識とテクノロジーが王様だとプログラミングされた西洋の人々にとって、私たちの家路について書かれた本のうち、最高の近代的なガイドです。『奇跡のコース』は、私たちが歩みたいのは心の平和への道であり、他のどんなことも、癒しや幸福の達成を遅らせると教えます。私たちのマインドは、平和と幸福と喜びを求めるようにプログラムされていますが、結局は、支払いと借金とストレスをもたらす家や車を買ってしまいます。私たちは皆、望むものが手に入ると考えて、望まないものを求める傾向があります。常に幸福を求めても、見つからないのです。

『コース』は、私たちが追い求めていることは、決して私たちが満足させないと教えてくれます。三冊ある『コース』のすべてのメッセージは、次の言葉に要約できるでしょう。「毎日のあらゆる瞬間に、あなたの意志の力を使って平和を選択してください」。それができるようになれば、私たちは自由に家に帰れます。マスターティーチャーたちは、直接、神のもとへ行くようにと私たちに言います。通り過ぎたり、料金を支払ったりすることなく、ただ直接行けばいいと言います。しかし、私たちは損をしたくありません。賢いティーチャーがいるなら教わりたいと願います。神に直接行くには、あまりに一步が大きくなるので、かわりに宇宙意識をほんの少しだけ取り入れるのです。

『奇跡のコース』は、神学的な本ではありません。神学者たちは、言葉や神の意味を論じません。彼らは、スピリチュアリティへの左脳的アプローチをする大学を設立しました。人々は答えを見つけることなく永遠に議論できると、彼らは理解していないのです。いかなる議論や討論も、本質は同じです。自分は正しいと主張する人が、自分の主張で相手を納得させるか、他に正しいと思うことを見つけて、それを支持するかです。神学者は正しくあろうとします。そうではなく、宇宙意識の状態になることを求めましょう。言葉を使って、自分に価値があることを他人に証明しようとするのはやめましょう。私たちは正しいと同時に幸せになることはできないのです。愛のルールに従ってゲームをプレイすると選択するなら、成長と理解が生まれます。

『コース』は、世界で考えられていることと、まったく反対の考え方を私たちに用意します。アインシュタインはこう言いました。「問題はそれを生み出したのと同じ意識から解決することはできません」。私たちは本当に幸せになることを望むなら、自分の考えや信念を置き換えても構わないと思う必要があります。『コース』は率直です。もっとも適切な方法で、問題の核心に直行します。人生の分析的なアプローチにこだわる人にとって、これは難問です。新しいアプローチを採用するリスクを犯したくないからです。

分析的なマインドを持つ人で、『コース』をのページを一切怒ることなく目を通せる人は、なかなかいません。書かれていることが真実なら、自分が教わってきたことが無駄になってしまうと感じるからです。ワークブックの目次は、以下のようになっています。

- 私が見ているものは、何も意味を持ちません。
- 私は目にするものすべてに、自分に都合のいい意味を与えています。
- 私は目に見えるものが何も理解できません。
- これらの考えは、何も意味しません...。
- 私を怒らせるものは、私が起こっていると考えるものではありません。

その他のレッスンの見出しは、次のとおりです。

- 私は自分の最善の利益を認識していません。
- 私は物事が何のためにあるのか知りません。
- 私は私が目にする世界の犠牲者ではありません。
- 私は自分が見る世界を発明しました。
- 恐れることは何もありません。
- 私は奇跡を受け取る権利があります。
- 神が私に望むのは、完璧な幸福です。
- 私は無防備さは、私の安全を守ります。

西洋に生きる私たちにとって、世界とは基本的に自分に敵対するものであり、警戒し、注意力をもって行動する責任を持つよう教育を受けます。あらゆる状況を分析し、正しい行動方針を見つけるよう教わってきたのです。私たちは用心深く、人間関係に慎重です。政治に慎重です。

他の国々に対して慎重です。私たちは権力に飢えた人々に注意します。このような思考のトレーニングは、私たちが互いに切り離されているという西洋教育の前提が真実である場合に有効です。

歴史学や経済学の教授が上記の言葉を何と言うか、考えてみてください。対外用の軍事力を想定すれば、「私の無防備さは、私の安全を守ります」とは、まったく真実でないと言うでしょう。

「私が見ているものは、何の意味も持ちません」というのが真実だとしたら、教育はどうになるのでしょうか？ 株価や、イブニングニュースの恐ろしい写真でさえも意味がないとしたら？

カルマの輪から抜け出すには、思考プロセスを逆転させる必要があります。世界の思考とは、カルマ的思考だからです。彼らは必要に応じて、古いパターンを永遠に何度も繰り返し、強化します。『コース』から何かを得るとしたら、それは私たちが教わってきた判断を、一旦脇に置いてみることです（権威者は洗脳だと言うかも知れません）。これまで通りのやり方でうまくいかないなら、宇宙が私たちの側にいるという状況を信頼するリスクを取ってみませんか？

せっかくだから、もう少し『コース』からの言葉を紹介しましょう。

- あなたは正しくいたいですか、幸せになりたいですか。両方にはなれません。
- 分析は自我のものです。
- すべてはあなた自身の最善の利益のためです。
- 信頼はすべての問題を今すぐ解決します。

道としての幸福

Happiness as A Path

すべての道、すべての文化、すべての時代の、すべてのスピリチュアルな教えは、いつでもシンプルなもの一つにつながります。それは、幸せです。幸せは、すべての病気を治し、すべ

ての戦争を終わらせます。すべてを回復させるのです。『コース』は、幸福とは選択であると指摘します。大きな全体像を理解する人の中に、犠牲者はいません。しかし権威者にとっては五感で知覚するものだけが真実なので、被害も現実的であり、克服しない限り幸福は訪れないと考えます。しかし、そこに問題があります。私たちは、もっとも論理的な権威者を信じるか、マスターティーチャーを信じるか、選択する必要があります。二択です。部分的に妊娠することが出来ないように、部分的に悟ることも出来ません。人類が合理的な行いを通じて悟りを得るには、一体、どれほどの本を読まなければならないのでしょうか？

「幸せになるために、あと1つ何かを学んだり、あと1冊本を読むまでもなく、今すぐ幸せを選ぶ！」と、世界中の人が言ったとしたらどうでしょう？ 私たちは本当に一つの選択肢しか持っていません。権威者を信じてカルマの輪を握りしめるか、手放すかです。試してみてください。どこか一人になれる場所に行き、深呼吸して、「私はやめました」と叫びます。あなたは大きな安心感を味わうでしょう。少なくとも、友人の態度について分析を始めるまでは。幸福とは、私たちが自分の中で行う選択なのです。

なぜ誰もが、望むすべてのものを持っていないのですか？ なぜ私たちは、自分が望むものを手にしたいと願いながら、実現できずに人生を過ごすのですか？ そのようなやり方で成功した人は誰もいません。今日の地球上のほとんどの人は、自ら自分に課す制限が生涯の友人であるため、目覚めのプロセスを行う準備ができていません。彼らは、古いパターンと信念を手放すことに消極的です。愛すべき宇宙は、彼らに変化を拒否しているとわかると、同じことを最初からやり直させます。システムがどのように機能するかを理解しない人々はそれを悲劇と呼びますが、実際は悲劇的なことではありません。よくない状況から彼らを遠ざけ、もう一度チャンスを与える、愛と思いやりの表現なのです。

真の教えは常にシンプルで心を落ち着かせる

The True Teaching is Always Simple and Calming

多くの場合、私たちは、偉大なマスターやグルによる大いなる教えを一言たりとも聞き逃したくないと思っています。しかし、それらの言葉に意味を持たせるのをやめ、ハートのシンプルなメッセージだけを聞くようすると、彼らはみな同じことを言っていることに気づきます。6か月間、サイババの足元に座り続けても、彼は同じことを言うでしょう。「愛のままでいなさい」。人々ははるばるインドに行き、このアバターがバルコニーに出てくるのを何千人もの信者と一緒に座って待ち、何かメッセージを聞きたいと願います。彼が言うすべては、たった一つです。「愛のままでいなさい」。他の道のどこかに、もう一人のアバターであるメヘル・ババ（※ Mer Baba、20世紀初頭のゾロアスター教のグル）がいます。彼がこの惑星に転生したすべての時間において人々に伝えたのは、「幸せになりなさい」ということだけです。それが彼のメッセージのすべてです。スピリチュアリティは、シンプルなのです。複雑に感じる教えは、自我のものです。スピリットは、シンプルさの縮図です。

「私の内なる声が自我なのかスピリットなのか、どうやって見分けますか？」とよく聞かれます。自我は複雑さが大好きです。スピリットは、3次元の時空の領域外で機能します。スピリットの声は常に柔らかく、ゆったりとしていて、いかなるプレッシャーもありません。スピリットには線形の時間がないので、何かに遅れることはありません。したがって、取り返しのつかない状況もありません。スピリットは、「平和を感じ、心を鎮め、あなたが神であることを知ってください」と言います。

おめでとう！あなたは悟りの資格があります

Congratulations! You Qualify for Enlightenment

もし、あなたが過去1000万年間の自分の行動を見ることができれば、アーススクールを卒業するのに必要な学びはすでに修了しているとわかります。あなたはエジプトやギリシャで暮らし、魔女に生まれて魔術をたしなみました。これらは再びやり直すべき人生ではありません。もう一度学ぶのではなく、そこから学んだことを受け取り、適用して、今の自分に力を与えてください。ナイキのCMにありますね。「Just Do It!」です。

幸せになる前に、もう1冊本を読んだり、別のティーチャーの話を聞いたり、別のグルの足元に座る必要はありません。それは、進化のこの段階では喜びを遅らせるだけです。あなたが好きなら、難解な本を読み、インドに旅行してもいいでしょう。しかし、それがあなたの心に平安をもたらすとは信じないでください。そうではありません。最初に平和を選択したら、探索は人生というダンスの一部です。平和とは、私たちの外側に存在するものではありません。

宇宙はあなたの味方であり、あらゆる瞬間にあなたを目覚めさせ、あなたを幸せに導こうとたくらんでいることを忘れないでください。つまり、この瞬間も、あなたは目覚めについて学ぶために、もっとも理想的な状況にいるのです。現時点であなたがいる場所ほど、完璧な場所はありません。それが宇宙の法則です。あなたが今いる場所に留まるべきだという意見に耳を傾けてはいけません。あなたにとって完璧な場所が今から2秒先かどうかを決めるのも、あなた自身なのです。

サイババは、あなたに足元に来て座る必要があるとは言いません。それに今のところ、彼は予約が多すぎます。彼が必要とするのは、あなたが自分に忠実であることです。そして彼と同等の教師になれるよう、あなたのハートに基づいて生きることです。

今や私たちに残されているのは、目を覚ますことだけです！この瞬間にも、あなたがドアから出て、永遠に幸せになると宣言しましょう。人も教会も本も、あなたを変えることはできません。宇宙は、あなたをととても愛しているので、あなたが自分の外に答えを探しに行くたびに、欲求不満を見つけさせます。あなたはもはや、人間の土地にはいないのです。地球上にはあなたを生徒として迎えるグルが一人もいないので、後戻りはできません。けれども、彼らはみな、あなたを友達として迎えるでしょう。

救いの計画全体は、理解の上で私たちからほんの数ミリ先に行く人々によって教えられています。私たちは、自分と近い場所にいる人の声しか聞こえません。私たちの声を聞くのも、彼らだけです。これは肉体を持つ人、持たない人の両方に言えます。誰もが、自分に理解できるものだけを引き寄せるのです。非常に賢明な存在が、平均的な人の居間にやって来て話をしても役に立ちません。ジョー・ノーマル（※平均的な人を表す匿名）は、一体、何の話なのか理解できないでしょう。

支払うべき請求書や職場での問題に頭を悩ます人々は、その問題に詳しいティーチャーを必要とします。この世界では、互いの問題を助け合う必要があります。最高のドラッグカウンセラーは、元薬物中毒者です。アルコールクス・アノニマス（※アメリカの自助グループ）を始めたのも、元アルコール依存症者です。それがアーススクールの仕組みなのです。自分の問題を解決するために訓練を受けた人は、同じ問題を抱える人のために、素晴らしいリスナーやヒーラーになります。スピリチュアルを学ぶ生徒たちは、大量のごみを抱えてこの惑星に来て、なんとかそれを手放し、個人的な変革を遂げた人物をティーチャーとして信頼する傾向があります。

惑星の抱える問題が解決するかどうかは、今や個人次第です。「そのために、私は何をすればいいですか？ スケジュールは？ 私の課題を教えてください！」と尋ねる人もいるかも知れません。問題の真実はとてもシンプルなので、あなたの知性を傷つけるでしょう。あなたがことは、あなた自身を癒すことと、すべての瞬間に平和を選ぶことだけです。私たちはこの地球上で悟りを開いた存在であり、もはや悟りが何を意味するかについて疑問はありません。かつてそれは、巨大な謎でした。悟りを求めた私たちは、頭の周りから光を放ち、素晴らしい技を行うことができる人についての本を読みました。しかし、あなたが自分を癒していないなら、すべての魔法は意味がありません。

私たち一人ひとりが、申し分なく幸せになる人生を選んだら、地球はどうなりますか？ あなたの喜びがテレパシープールに注ぎ、グループ意識を通して、この惑星上のすべての分子に浸透することを知っていますか？ あなたはこの惑星のテレパシープールの一部なので、あなたの喜びはプールを伝わって、すべての人間のすべての細胞に浸透します。ここで楽しむ方法を学ぶと、ゲームは終了です。すべての瞬間に笑って遊ぶことができるとき、あなたは地球を卒業します。あとから振り返ると、誰かが話していた複雑なナンセンスのすべては本当に意味をなしていたのかと疑問に思います。あなたは永遠の残りの部分を、とても愉快地に過ごすでしょう。

あなたのすべての神性と、あなたの中に宿る光は、幸せであるための学びに直結しています。あなたの中に喜びを受け入れるのです。なぜなら喜びとは、学んだり獲得したりできるものではないからです。あなたは、それを自分のものにしなければなりません。

幸せは、個人の内面における決定です。喜びを感じるとき、それはあなたの力となり、非常に大規模な方法でグループ意識に変容をもたらします。救いとは、常に究極にシンプルなことで

した。あなたが笑ったり、遊んだり、ほろ酔いになったり、木に話しかけたり、ふざけたり、恋をしたり、夕日を見たり、バブルバスに入ったり、ボール遊びをしたりすると、他の何百万人も
の魂があなたのあとを追いかけてきます。まるでハメルンの笛吹のように大勢の星の子たちを引き連れて、あなたは彼らを家へ送り届けるでしょう。

第5章

喜びに従う：ライトワーカーとは誰でしょう

FOLLOW YOUR BLISS: Who are the "Light Workers"

現代の「ライトワーカー」と、今日地球上に転生している数十億の魂とを区別するものは何でしょうか？ 惑星移行チームのメンバーなら、グループ意識の標準を超えた宇宙の原理を、ある程度理解しています。日常生活の退屈さから離れ、より普遍的な視点に立つと、自分自身の機能と価値を明確にする側面が明らかになります。

私たちは通常、私たちが毎日出会う数十人、または数百人の人々のマインドを覗き見したりしないので、社会における平均的な意識レベルがどのようなものかはわかりません。私たちは、人々の精神的進化のレベルを、彼らの行動によって判断する傾向があります。具体的には、彼らの行動が私たちが快適にするか不快にするかによって、彼らを判断するのです。また、私たちの行動が人々にどう受け止められるかも、自分が正しいという感覚に貢献します。目覚めつつある地球にそれぞれの人が果たす役割について、世俗的な目で判断することはできないのです。

長年、私は「スピリチュアルに目覚めて」いながら苦勞した何百人もの人々と仕事をしていました。直感的なカウンセラーとして、私は彼らのマインドと心を調べました。私はまず、彼らの地球との転生契約をレビューします。私が常に発見したのは、その一人一人が、彼らが思う以上にはるかに高貴で、力があり、キリストのような存在であることでした。私は、一人一人の中に高尚な目的があることに気づきました。けれども、彼らから実際に口頭で話を聞くと、彼らが内部のビジョンを追い越すことができない無数の理由がありました。それらの理由は常に世俗的な制限であり、権威者と自分の相互作用から作られたものです。

意識のレベルとアーススクールの仕組みを詳しく知るほど、この惑星でライトワーカーになるために何が必要かがはっきりとわかるようになりました。ライトワーカーは、私たちの現実を支配する宇宙の法則の中で機能する必要があるのです。大事な理解は、以下のようなものです。

- 第一に、すべてのマインドはつながり、真のコミュニケーションはテレパシーで行われます。
- 第二に、各個人が選択した信念によって、その人の現実の全体像が作られます。
- 第三に、神は愛であり、神は非常にパワフルであり、すべてはあるがままで大丈夫です。そのように思えない場合、変える必要があるのは私たちの認識です。

これらのことを理解すると、私たちの果たす機能と価値を明確に定義できるようになります。

私のように、これまで何百人もの心を見て来た人は（この本を読んでいる人の典型だと思えますが）、より高いレベルの思いやりと、神の性質についてのより深い理解を持っています。あなたがその一人であることは、私が保証します。あなたは、誰に対しても無害でありたいという欲求を持っています。あなたは、美しく平和なものを愛します。あなたの心はこの惑星のすべての領域のすべての存在にテレパシーでつながっているのです、あなたが素晴らしい考え、癒しの考え、または幸せな考えを抱くたびに、あなたは地球上のすべての意識を高めます。そのようにして、あなたはこの惑星を癒しているのです。

あなたが日常のドラマに関わらず、かわりに平和と美しさに囲まれた自然の中で出かけることを選ぶとき、それは何かから逃亡することを意味しません。あなたは心の静けさと魂の落ち着きを理解したマスターティーチャーの教えに従っています。彼らは、誰の行動や言葉も、財政赤字や家族の確執を正すことはできないことを知っていました。けれども、平和に焦点を当てる一人の心がこの世界のベールに穴を開けると知っていました。その思いを通じて、目に見えないライトワーカーたちが、事故や偶然を装って働き、状況をより良く変えるでしょう。これこそが、私たちが地球と共有したい唯一の意識であり、私たちはあらゆる瞬間に平和の道を歩み、あらゆる瞬間に栄え、あらゆる瞬間に癒すことを選択しなければならないのです。

水瓶座の時代の黎明期を除いて、ライトワーカーが一斉に地球にやって来ることは、まずありません。彼らの役割は、宇宙の法則と調和してグループ意識を変えることです。変化を生み出すためには、この方法が唯一本当に効果的なのです。したがって、ライトワーカーの仕事とは、幸せになることを選択し、至福を守るというシンプルな作業になります。問題やジレンマを抱えない人生を本当に理解できる人は非常に少ないです。「常に平穏であるとは、どういう意味でしょうか？常に幸せでいるなんて、そんなことがありますか？すべての瞬間に至福を感じるべきだと言ってるのですか？」。私たちは至福を感じる許可を得ているだけでなく、あなたが今やりたいと思うことは何でも実行する義務があります。あなたが惑星を癒したいなら、自分を喜ばせるものを正確に実行しなければなりません。あなたはあなた自身であり、それ以外の誰でもありません。あなたの至福を追うことによってのみ創造性を解き放ち、地球と共有します。私たちはみな創造主であり、純粋な至福の模範でなければなりません。それだけが、惑星を至福で満たす唯一の方法だからです。

百合の花の咲く草原を考えてください

Consider the Lilies of the Field . .

もし、私たちがマスターティーチャーを信頼するなら、毎日音楽を聴き、花々と話すことを選ぶでしょう。その結果、私たちは繁栄し、癒され、他のすべての人間と完全に調和するようになるのです。本当にそれ以上のものは必要ないのですが、自我はそうではないと主張します。私たちが自滅しないためには、周りを操作し、制御し、防御活動に従事する必要があると固く信じているからです。自我は、自分が神であると信じることはできません。自我は、自分自身と地球の生き残りは、完全に別のものだと考えます。防御的または攻撃的になることで「実用的」な態度を保ちながら、「スピリチュアル」であろうとする人々は、2人の主人に仕えるのと同じです。それはあなたを混乱させ、大きなフラストレーションを生み出します。

私たちの住んでいるニューメキシコには、天然温泉がたくさんあります。この温泉水を癒しやりラックスのために利用しようと、世界中から多くの人が集まります。あるとき、私が温泉に

浸かっていると、別の人が入って来ました。私は瞑想から抜け出し、彼にどこから来たのかを聞きした。彼は「ニューヨークです」と答え、私が頻繁にその温泉に来るのかと尋ねました。私は「そうです」と答えました。当時、私は温泉からほんの数マイル下った場所に住んでいたのです。何度でも好きなだけ浸かりに来ることができたのです。それはとてもラッキーだと彼は言いました。けれども、私にとっては単に運がよかったのではなく、数年前に自分は本当にやりたいことをやり、本当に生きたいと思う場所で生きようと決心したのだと言うと、彼の全身はまるで硬直しました。彼は手で耳を覆い、「ああ、聞きたくない」と言いました。

マスター修行中の学生たちが、なぜ心の声に忠実にならず、至福に従わないかについて、宇宙に言い訳するのをやめるとき、彼らは瞬時にマスターになります。しかし、この惑星を取り巻くテレパシーのエネルギーのプールに深く没入すると、意図的にならずにマスターになるのは困難です。私たちには、まず最初に手放すべき多くのプログラミングと、古い価値観が備わっています。

人生の方向転換をしてスピリチュアルな生活を始めることができればいいのですが、アシラムに入ったからといって、古い価値観や罪悪感は消えません。至福に従うには、転職から始めるべきでもありません。私たちは、自分の内側から現実を作り出すのです。私たちの至福は、議論することではなく、優れた芸術作品を作成したり、病気を癒したりすることでもありません。至福を守りたいなら、人間関係を機能させ、宇宙のフロウを生活に取り入れることが必須です。地球外の神聖な存在が惑星を救う物語を読むのは楽しいですが、真実はそこに何もありません。

その答えは、私たちにとっては耳が痛いものです。なぜなら、すべての責任は自分自身にあるからです。私たちの責任とは、この瞬間に幸せになり、大きな全体像から物事を考え、地球にとって私たちが貴重であると信じることです。たいていの親や、人生の権威者たちは、あなたにそれを伝えていなかったでしょう。「あなたが大人になったら、キリストになるだろう」と言った人は、おそらく一人もいなかったに違いありません。むしろ彼らは、「どういう意味だ？地球の救世主になるのか？君はそれほど賢くない。ここに座って話を聞きなさい」と言うでしょう。あなたが何歳か、あなたの両親が何年前に亡くなったかは関係ありません。自由への道に乗り出しても、あなたはまだ彼らの批判に耳を傾けるからです。あなたの唯一の返事は「ごめんなさい

、ママ。私は神です。私は地球と人類を癒すことに同意したので、怒られている暇はありません」です。私たちは肉体に包まれている限り、権威者の言葉がいつも頭の片隅にあります。それはグループ意識に没頭していることと同じです。そこから抜け出すのは簡単ではありませんが、古い声の犠牲になる必要はありません。

親たちは至福の子どもを認めない

Parents Don't Authorize Blissful Offspring

私たちの親、仲間、そして人生の権威者たちは、彼らのベストを尽くしていました。彼らもアーススクールの生徒であり、アセンデッドマスターではなかったのです。この瞬間にも、私たちはマスターの教えだけに従い、幸せで平和な人生を送らなかった権威者の意見には従わないと決断することができます。私たちの社会が神と見なすのは、タイムマガジン、ニューズウィーク、スポーツイラストレイテッドなどの特集記事になるような人々です。残骸のような人生を生きている人物ですら、彼らが社会的に成功している限り、私たちは模倣したいと思います。私たちが憧れるロールモデルのほとんどは、実際の間人間関係が機能していない人物ばかりなのです。彼らは、お金や愛する人たちにもストレスを感じています。潰瘍、がん、心臓発作、またはその他のストレス性の病気で亡くなります。彼らは自分が間違った選択をしたとは滅多に思いません。自分でロールモデルを自由に選択できるとは、まず考えないでしょう。

親の存在は、誰にとっても難しい問題です。私はこれまでに行ったカウンセリングで、どのような親も、子どもにとって問題になるとわかりました。家族が機能不全であったか、両親のどちらか、または両方が厳格過ぎたというケースが多くあります。または恵まれない環境で育てられたり、あまりにも甘やかされ過ぎたり、もしくは父親がいなかったり、父親が子どもにプレッシャーを与え過ぎていたり、さまざまなケースがあります。これは何を意味するのでしょうか？地球は学校であり、ユートピアではありません。私たちは入学料を支払う前に、両親、クラス、レッスンを選びました。レッスンは選択制なので、それを信じるかどうかも選択にかかっています。

両親があなたのために選んだ人生を生きようとする、私たちは彼らとまったく同じようになります。世界とその機能についての彼らの考えは、客観性、絶対性、または神とは何の関係もありません。彼らが罪悪感を操作して私たちを支配したという事実は、彼らに反対するものではありません。無制限で拡張可能で表現力豊かになることが私たちの意図である一方、権威者たちは彼らの世代が知る唯一の方法で生きていたのです。彼らはそう生きるよう訓練されてきたからです。それが魚座時代のやり方でした。だからと言って、私たちが両親を愛さない、または彼らを軽視するという意味ではありません。私たちは自分自身に力を与えるべく、より愛あるルールを必要とする過渡期の世代というだけのことです。

私たちは前の世代から受け取ったプログラミングを停止し、注意深く様子を見なければなりません。私たちは文字通り、彼らが言ったことを、神の言葉（内なる導き、またはマスターティーチャーの言葉）を超えて実行するようにプログラムされてきたのです。古い世代の考えでは、親の意見に従わず、自分になりたいものになるのは、単なるわがままでした。私たちの中には、親の虚栄心を満たすために一生を過ごすことが期待されていた人もいます。しかし私たちは、自我が状況を上手くコントロールする試みとして、他人を利己的と呼ぶことを知っています。しかし、スピリチュアルな観点から眺めると、利己主義とは、自己を育み、祝福し、ケアをすることを意味します。

すべてのマインドはつながっているので、私たちと両親も一つだと理解する必要があります。誰にも、そしてすべてに浸透する神の意識はたった一つです。したがって、私たちが至福を守り、創造的で、自分に力を与え、幸せになるとき、私たちの両親だけでなく、世界中の人々に利益を配ることになります。

真の偉大さを達成し、地球に貢献したすべての個人は、プログラムやコントロールを拒否したことで、両親を怒らせました。イエスでさえも、そうでした。「どうしてラビと一緒に座るの？夕食の時間だと知らなかったの？」。彼は「お母さん、落ち着いて！私にはやることはありません」と答えるだけでした。それは事実の本質を表しているかも知れません。ゴッホのような人物でさえ、母親の言いつけに従って人生を過ごしたら、彼自身の芸術はなかったでしょう。地球にクリエイティブな貢献したすべての人物は、「ごめんなさい、ママ、パパ。私はルールを守りません。私は自分のやり方で生きますが、あなたたちをととても愛しています。私は、人がいかに自

由になれるかの見本になりたいのです」。ジョン・ランドルフ・プライス（※John Randolph Price、アメリカのスピリチュアル作家）は、恐れに支配されない人々を「スーパービーイング Superbeing」と呼びました。彼らは保険を買わず、シートベルトを着用せず、早朝に他の車がいなければ赤信号で止まりません。彼らは常にパターンを破り、他の人間が彼らに権力を行使することを決して許しません。自分の力を放棄するのは、自分の幸福を遅らせるだけです。力を取り戻し、犠牲者ではないと宣言するまで、自由になることはできません。

一方、親や権威者たちは、自分たちが犠牲者であると信じています。彼らは自分が信じる真の生き方を私たちに押し付けます。彼らの幸せは、経済、市場、仕事、そして家族によって影響を受けます。私たちは、そのような人生を送りたいと思わないのです。

ライトワーカーは、それでも喜びを選ぶ Light Workers Choose Joy In Spite of It All

アーススクールの生徒たちは、自分たちでレッスンのスケジュールを設定します。各レッスンを学ぶには、長い時間を必要とする人もいます。彼らにとって、この章の内容は理解しにくいでしょう。たとえば、多くの人々は、寛容さを学ぶために2000年の歳月をかけます。犠牲者にならないように学ぶには、ほとんどの人が、少なくとも一回の完全な占星術時代のサイクルである約26,000年を必要とします。

現代のマスター修行中の生徒は、地球との契約にそのような長い時間を設定しません。なぜなら私たちにとって、結局のところ、それは義務ではなく選択だからです。私たちは、自分が過去に受けたあらゆる被害について、考えるのを止めることができます。私たちは、自分の意志によって、犠牲者として得られる報酬を放棄し、かわりに「目をまっすぐに神に向ける」のです。

私たちの現実には、何かの犠牲者になる余地はありません。神が犠牲者になることを想像できますか？ イエスがこのように言うのを想像できますか？ 「お母さん、僕は水をワインにしたい

のです。でも今は大工の仕事があります。あの男に大金を借りてツールを購入したので、大工をやらなければならないのです。僕にはそんなことをする時間はないのです」。

イエスはあなたや私がいるのと同じテレパシープールに没入していたので、ときどきは、大がかりな探求をあきらめ、他の人と同じようにごく普通の人間になったほうがいいのではないかと考えることがありました。しかし、彼のサポートグループは彼がそうすることを許しませんでした。救世主になるよりも、大工になるほうがずっと簡単です。しかし、私たちは母親と父親、配偶者の期待を満たすために地球にやって来たのではありません。私たちは自分の可能性を実現するために、ここに来たのです。

地球上でのあなたの人生が1000年以上続いており、親愛なる友人とお酒を飲みながら、前回の転生について話しているところを想像してみてください。「そのとき、あなたは誰でしたか？」。友人は尋ねます。「ええと、すべての実体が神だから…」とあなたは答えます。「私たちはすべて本質的に同じです。最初に神しかいないので、肉体を持って、私たちはみな神の平等な側面なのです」。「うわー、そのような理解があれば、あなたは地球を変えたに違いありません！奇跡を行い、惑星の地軸をずらしたでしょう！」。友達は冗談交じりに感嘆します。「だめなの。私がそうすると、うちの主人が嫌がるのよ…」とあなたは答えます。ばかげていると思いませんか？

完全なコミットメントよりも、少ない努力で作業を進める多くの方法があります。権威者の報復に対する恐れや、経済的な事情から、私たちは時間と心の真実に妥協をします。しかし実際には、私たち一人ひとりが並外れた存在なのです。あなたと私とサナトクマラとの間に、全く違いはありません。なし。ゼロ。以上。違いがあるとすれば、彼は自分の至福に従うことを選んだ一方、私たちはしばしば、なぜ自分がそうできないかの言い訳を続けていることです。私たちが自分のルールに従ってゲームをプレイし、自分の現実を作成するには、権威者が提起したすべての信念を非常に注意深く選別する必要があります。

私たちのほとんどは、誰かに大丈夫だと言ってもらいたがっています。信じないでください。誰かに言われたから自分は大丈夫だと考えるなら、彼らに自分を打ちのめす力も与えてしまう

でしょう。彼らが自分と違う意見を表明すれば、私たちの心は荒廃します。誰かの許可を待っている限り、私たちが至福に従う日はやって来ません。やんごとない神々がリビングルームに降りて来て、卒業証書を渡し、私たちの手を握って「よくやった！」と言ってくれたら、便利ですが、それは起こりません。神は私たちの外側ではなく、内側にいるので、私たちのもとにやって来ることはできないのです。神とは私たちの存在の本質であり、私たちは地球の変容を行っている神々です。

自分自身に力を与える取り組みは、長らく地球が必要としてきたものです。それは惑星意識への素晴らしい贈り物です。あなたは大丈夫だと宇宙に伝えてください。あなた以外の誰もそうすることはできません。

自我の分離の恐怖

The Fear of the Separate Ego

なぜ中東の兵士は、銃を肩に抱えて死の戦場を見下ろしていたのでしょうか？ そうすべきだという教育を受けたからです。もし、人々が自分の至福に従うなら、世界には何人の兵士が残るのでしょうか？ 誰もが心の望みに従った場合、爆弾はいくつ投下されるのでしょうか？ 私たち全員が美味しいチョコレートパイを望むとき、争いは起きるのでしょうか？ 「私たち全員が至福を生きることができない」と言う人もいます。「そんなことをしたら、無政府状態になるか、多くの人が飢えてしまうのではないのでしょうか？」。はたして、マスターティーチャーがそのように言うのでしょうか？ それは怯える人の言葉に聞こえます。

自分自身が、あなたや私や神々から離れていると信じる人は、その状態を恐れます。恐怖の中で彼らは、社会に「権力」の使用を許可し、一連の規則が確立されることを要求します。彼らにとっての権力とは、他の人々に対する権力を意味します。制御されていない人々が完全に危険とまでは言わずとも、無政府主義者だと信じているのです。望ましいコントロールが働いている社会でさえも、人生とは支配者になることを目指して争うゲームです。より進んだ自我は、誰が権力を握るかという問題を解決するために、戦争ではなく、選挙を主張します。うまくいけば、国民の49%だけが自分たちの意見を実現できるでしょう。選挙は、わずかに文明化された形の戦

争にすぎません。どちらの方法でも、一方のグループが他方のグループにかわって決定を下します。

自分と他人が分離していないと感じる人は、どのように行動するでしょうか？ 分離していないなら、他人から身を守る必要はありません。紛争と、その反対概念である協力の利点について、彼らに説明する必要はありません。どちらもコインの裏表だからです。あらゆる創造物との一体性を認識している存在は、単に無害なだけでなく、エッセンスそのものであり、愛／思いやり／知恵です。

一体性を理解する人は、引き金を引かず、投票もしません。彼は自分の政治的意志を他の人に印象づけたいという望みはありません。そして誰の意志も彼の幸福に影響しないので、わざわざ保護してもらう必要もないと思っています。すべての魂と自分の関係を理解するまで、誰も本当の力を持つことは出来ません。自分を助けるものは、他のすべてを助けます。他人に危害を与えるものは、自分にも危害を与えます。そのような理解があれば、誰にも危害を加えることはできません。保護も必要ありません。セルフエンパワーメントは、存在の完全な状態です。犠牲者はいません。

分離された自我を信じる人々にとって、あるがままの存在とは非生産的で、怠惰で、寄生的です。経済的な必要から労働を強いられないなら、人々は受け取るだけで、決して与えないと信じています。彼らは、人間の本質は悪だと言います（悪evilは、逆から読むと、生きる liveです）。ある意味で、彼らは正しいです。人類が十分に目覚め、健康で繁栄し、幸せになると、人々は仕事を辞めます。楽しめないことは、すべてやめてしまうでしょう。人間の本質は神のソースの本質に由来しています。神／人の本質とは、創造です。神／人の本質とは、探求です。神／人は、全知全能です。目覚めた人は、人生で仕事をすることを拒否します。かわりに、彼は創造します。彼は愛し、ダンスをします。そして、宇宙の法則を完全に認識します。神の子どもは、自分が何をするか選択するのです。不足のために労働を強いられる神の子はいません。繁栄は労働力ではなく、意識によって生み出されるものです。この宇宙の自然の状態を忘れましたか？

制限するには、より多くのエネルギーが必要

It Takes More Energy to Create Limitation Than Any Other Condition

私たちは、現時点で傷つけられたり殺されたりしていなければ、人生は上々だと信じるようにプログラムされています。人生は一生懸命働き、ベストを尽くすことが大事だと言われます。私たちは、数人の友人がいて、衣食住が足りているなら、それ以上、人生に期待する権利はないと考えます。しかし、そのようなことは、どのマスターティーチャーも教えていません。彼らは、ニルヴァーナのような奇妙な状態について話していました！私たちは、社会から自分が不完全だとプログラムされて育ちます。しかし真実は、私たちは星からやって来る小さな光であり、その星とは神です。私たちは、宇宙に永続する自然な状態で存在します。至福を抑圧し続けるには、多くの潰瘍や心臓発作、少々のがんなど、多大な努力が必要になります。

なぜアーススクールの生徒たちは、存在の自然な状態を経験しないのですか？ 無限の力とは神の属性の一つであり、信じられないかもしれませんが、私たち一人ひとりが無限に制限を生み出す力も持っています。神であることは、楽ではないのです。あらゆる資源とエネルギーを集め、自分は単に一介の人間であり、無力で弱い存在に過ぎないという幻想を生み出しているのですから。それこそ、信じ込むには作りごと過ぎる話です。このアーススクールの外にいる存在のほとんどは、地球での生活について聞くエピソードを理解することができません。宇宙にいる他の存在にとって、ごく自然な理解を得ることなく、どうやって社会が存在し続けているのか、疑問に感じるのです。あなたがゼータレティクルの住民に、自分自身になることについて質問しても、彼らはその意味を理解すらしません。

気づきと悟りへの唯一の障害は、自分の力を認めず、自分自身にならないという私たち自身の決意です。この地球と政府、経済、家族が私たちを支配すると信じ続けていると、実際にそうなります。私たちは神であり、私たちの言葉は真実だからです。私たちは、今この場所で自分の力を発揮することが出来ます。イエス・キリストは、わざわざクリスマスに生まれる必要はありませんでした。けれども、2000年前の人々が彼を必要としたのです。しかし現代では、私たちが必要です。本当の悟りの時代の始まりであり、私たちは心の至福と喜びに従うしかありません。

セルフエンパワーメントは正常です

Self Empowerment is Normal

セルフエンパワーメント（自分の力に満ちた状態）は、正常です。複数の宇宙に広がる何千兆もの存在は、この状態が自然であり、他に存在する方法はないと考えます。しかし、古風なアーススクールでは、その住民は自分の力を発揮するのに、誰かに許可を求める必要性を感じます。

どうして許可を求めるのかわかりますか？ 正しさや間違いという概念を信じ、間違える可能性を信じているからです。けれども、マスターティーチャーは「あなたは神だ」と言いましたよね。ブッダも言いましたし、モハメッドと老子と孔子とアブラハムも言いました。神は、あやまちを犯すことができないのです。

私たちの誰もが人生で純粋な至福の瞬間を経験しています。しかし、幸せが消えてしまうことを恐れるあまり、至福が見えなくなってしまいました。子どもの頃、私たちが夢中になっておもちゃで遊んでいると、すべてが素晴らしく感じたものですが、つい就寝時間を過ぎてしまうと、そのエクスタシーの真っ最中に、こう言われました。「ほら、ベッドに行きなさい。いつまでも遊んでいるつもりなの？」。そして私たちは、人生が本当に良くなり始めた瞬間に、周りを見回すようになります。そのようにして、自分が望むものと恐れを結びつけてしまうのです。この地球で時間の枠を越えた永遠を感じる経験があると、そのあとに、決まってこんなセリフがってきます。「いい加減にきなさい！ 自分が誰だと思っているの？ 遊んでばかりでいいと思っているの？」。あまりに楽しいことには必ず終わりが来ると私たちが恐れてしまうのは、そのような経験のためです。そのままでは、私たちは永遠にエクスタシーに生きることができなくなってしまいます。私たちは、自分を犠牲した人の犠牲者ではないことを忘れないでください。彼らを教師として選んだのは私たちであり、だからこそ、彼らから力を取り戻すこともできるのです。そして、私たちは自由になります。

この地球上に、常に純粋な至福の中で生き、誰にも遠慮をしない人がどれほど存在するでしょうか？たとえば、アインシュタインや、レンブラントがそうでしょう。他にも何人かいて、それでもおそらく、数十、数百、数千人です。この地球上に住む50億ほどの人々から、自立した力を持ち、自然な状態で生きている人々を省いたら、残りは何人くらいになると思いますか？ざっと50億ほどです。数千という数字など、バケツの中の一滴ですらありません。

水瓶座時代の夜明けが始まると、いくつかのエキサイティングなことが起こります。クリエイティブな意識が、新しい形の芸術、新しい哲学、新しい科学を通じて自己表現をくり広げます。それは、以前は過激派で異端だった、ごく少数のライトワーカーから始まりました。占星術の観点から見ると、水瓶座の時代のエネルギーは、近代の夜明けとともに惑星に流れ出しました。人類のどのような側面も、移行をまぬがれることはできません。

新しい表現形式は、芸術、科学、哲学、宗教の分野に現れました。そして預言者が登場し、より良い生き方について教えます。レオナルド・ダヴィンチ、ラルフ・ウォルド・エマーソン、トーマス・エジソン、カント、クインビー（※Phineas P. Quinby、アメリカのスピリチュアリスト）は、そのためにここに来ました。彼らは最優先指令を理解し、この地球上の生命が進化的かつ過渡的なプロセスにいることを認識していました。これらの個人は、停滞した教義のために生きることはありませんでした。彼らが特別なのは、意識的に生きたいという願望と、人から教えられたこと以上に自らの内面を信頼する意欲でした。

大きな全体像を思い出しながら、毎日のあらゆる瞬間を経験しましょう。私たちは賢く注意深くなり、古いパターンや習慣に従うのではなく、常に意識的に生きることを学びます。意識的に生きるとは、自分が何を理解し、何を理解していないかを把握することです。バランスが必要な時には自分を中心に戻し、力を取り戻すための直感を持つことです。意識的に生きるには、ときには「私はよく知らないので、テープを聴くか、本を読むか、夕日を見る方がいい」と言えるようにならないといけません。それは、私たちが行きたい場所にもっとも適切な方法で向かう唯一の方法です。この惑星は、自分の人生の責任を受け入れ、犠牲者になることを拒否する人々にとって素晴らしい場所です。アーススクールは、至福が何かを自分で定義し、それに従うことが

できる生徒にとって、文字通り、エデンの園になります。マスター修行中の学生と、その他の人々を区別するものは何でしょうか？人々が「お金が必要だから仕事を辞められない」と言っている間、アーススクールの大学生は「自分が気持ちよくないことは、やらない」と宣言します。気分が悪いことを続けている場合も、それが選択制であることを認識してください。互換性のない状態にすることを選択した場合、それも選択です。

犠牲者でいるために、私たちはどのような言い訳をするでしょうか。何を望むかは、完全に自由です。犠牲者になることを選ぶなら、少なくとも意識的にそうするべきです。「今日、私は犠牲者になることを選択します。素晴らしい気分ではありませんが、自分のためにもなるので、あえて嫌いな仕事に戻ります」。または、「今日の午後、被害者になります。気が進みませんが、何某さんの家に行きます。彼らのことは好きではありませんが、彼らの気持ちを傷つけないので、あえて犠牲者になります。でも私には、それを実行する力がある」。

本当に意識的に生きるなら、わざわざ恐ろしく不快に感じるような方法で行動を変える必要はありません。自分が何を創造しているのかに注意し、盲目的に作り出すパターンに気をつけましょう。私たちは、あらゆる瞬間に意識することを選択します。選択を認識するようになると、生活が変化し始めます。そして数日のうちに、犠牲者の役割から、よりストレスのない役割にシフトする方法を、いくつか発見するでしょう。

自分には選択の余地がないと言って自分をだまそうとすると、さらに苦しくなります。至福を感じない状況を我慢して受け入れるなら、来年も同じです。ついに「やめた！」と言う瞬間まで、それは続くのです。グルは、無着と降伏について語ります。それが自由への唯一の道なのです。

自分が従っているのは、同調圧力や従来の方法か、それとも内面のガイダンスか、よく見極めてください。私たちは、新しい生活様式に従うのは崖から飛び降りるようなものだと考え、かなり長い間、社会の方法に従っていることがよくあります。それでも大丈夫です。多少時間はかかりますが、意識的にやっていたら大丈夫なのです。「はい、私は古いパターンに従うことを選択しました。私の現在の認識では、その方が快適だと感じるからです」。やがて自分を振り返り

、「ああ、私は一体なんでこんなことを続けていたのだろう…」と言いながら、次に進む時が来ます。

毎日を意識的に生きていると、あまり気分をよくしないことも多く発見します。それは素晴らしいことです！痛みは、自由への鍵だからです。私たちは自分の痛みを知ることで、自分が耐えられないものを見つけ出します。存在を認識しない限り、手放すこともできません。認識し、維持するための言い訳を捨てると、完全な自由に一步近づきます。盲人が盲人を導くような魚座の時代を振り返ると、地球には自らの内なるガイダンスを通じて直接神とつながる人物が、絶望的なまでに必要なのだとはっきりとわかります。

私たちは単に身の回りに反応するのではなく、意思の力を使って、あらゆる瞬間に平和を選ぶことができます。つまり、車のタイヤがパンクした場合、「私は最高のものだけに値するので、これは全世界で最高のパンクタイヤであるに違いない！」と言う選択肢があるということです。それは私たちにすべての力を取り戻し、被害の感覚を消し去ります。パンクタイヤの機能は、人を不幸にするのはタイヤ自体ではないと示すことです。しかし、自我は抗議し、分析結果を提示します。「タイヤがパンクしたら、あなたは約束に遅刻しますから、腹が立ち、不幸になります」。私たちは、その理論に加担しないと宣言する自由もあります。神の宇宙において、何かが遅れることがあるのでしょうか？何かが無駄に故障するのでしょうか？そうではなく、目的地には当初の予定と違う時間に到着することが意図されていたため、何らかの魔法が発生したのです。見事なものです！

私たちが何を念頭において創造するにせよ、人生に起きるすべてが魔法を生み出すと期待してください。

私たちは恐怖を古いパターンに固執する言い訳に使いますが、今この瞬間の恐怖を経験しているのではなく、現在の瞬間に罪悪感を経験する人もいません。つまり、罪悪感や恐れは過去の反射であり、恐れとは未来に向けられたものです。したがって、今に焦点を当てれば、そのような感情を経験することはありません。恐れや罪悪感があると、人間は本来の性質が見えなくなってしまう。

サイキックな記憶とビジョン

Psychic Memory and Vision

私の知人の一人には、精神遅滞を宣言された子どもがいて、現実とのつながりをすぐに遮断してしまうという理由で、障害者向けの特別学校に通っていました。彼には、幼い子どもによくあるように、目に見えない友人が多くいました。そして年々、その友人たちと親密に遊ぶようになりました。友人たちは、彼に小さな贈り物を持ってくることさえありました。けれども、彼の家族にとっては、奇妙な経験でした。かかりつけの医者は言いました。「そうですね、アレックスがときどき別の世界に行ってしまうのは、精神遅滞のせいです」。今日、彼は博士号を3つ取得しており、今でもサイキックワークをしています。彼は警察署のために体外離脱をして、行方不明になった子どもを見つけます。自分の親を喜ばせようとする人は沢山いますが、彼こそが普通の生き方なのです。

私たちは、生まれる前の記憶を持っています。これらの記憶は、ときどき、潜在意識から顕在意識に溢れてきます。あなたがマジカルセブンの左から4番目の領域の星系37-Zから来た場合、どうなるでしょうか？ 以前の人生のように今回の人生を生きようとする、どうなるでしょうか？ かつて生きていた時の感情を、すべて失くしている人はいません。すべての存在は、完全にテレパシー的で、オープンで正直です。しかし、そのような機能を使おうとすると、私たちは他人とは違うと見られ、仲間のグループ、家族、教師らによって、頭と肩を叩かれます。

地球にいと、従うことを学ばなければなりません。私たちは生存のために、自分の機能をシャットダウンします。「わかりました。私が知っていることや見たものについて、誰にも話しません。罰として部屋に閉じ込められる一日を過ごしたくないので、自分の意見は取り消し、普通の人間のように振る舞います」。私たちの何人がそのようなことをしてきたのでしょうか？ それ

から20年、30年、40年後に誰かがやって来て、「あなたが知っていることを教えてください」と言います。私たちは「あなたは私を叩かないのですね。でも、今ではすっかり宇宙のことは忘れてしまいました」と言うのです。

私は、自分が子どもの頃の経験を思い出すことができます。いとこの家を訪ねて、木の妖精と鬼ごっこをしました。それから、小さな目に見えないノームと一緒に、ボール遊びをしました。彼は私よりずっと速く動きます。そうやって遊んでいると、いここに見つかりました。私は目に見えない存在と遊んでいたことを、非常に恥ずかしく感じました。その時、私は誓ったのです。こんな遊びは二度としないと。それから、数年前にサンタフェに引っ越すまで、一度も木の妖精を見ませんでした。ある日、何かの答えを得るのに大変苦労していた私は、お気に入りの瞑想スポットに向かいました。それは、静かな谷を見渡すことができる場所です。車の中でリラックスするために座席をリクライニングしようとしたそのとき、フロントガラスの向こうに、何百人もの小さな人々を見ました。妖精たちは、周りを囲むあらゆる木々からやって来ました。「彼を元気づけなくちゃ！彼を迎えに行こう！」と口々に言うので、私は思わず、「やめて！やめて！」と叫びました。彼らのくすぐりには我慢できなかったのです。けれども、40年ぶりに遊びに来てくれたことは、とても嬉しかったです。私たちは、他の次元の特別な友達とそのような瞬間に立ち会うことも選択できます。

あなたが本当に好きなことをしていたときのことを、思い出せますか？人形と遊んだり、絵を描いたり、泥遊びしたり。それは、永遠の中にいるような感覚です。自分以外の世界が消えてしまったようにも感じます。そのような瞬間は、あなたがこの人生で達成することのプレビューでした。私たちは自分が選択した方法で現実を創造するので、その状態で永遠に生きることもオプションとして選択できます。あなたは冒険、探検、またはおなかが痛くなるほど大笑いする時間を作り出すことができます。あなたは、あなたのバージョンの至福を生きることができるのです。

ドラマはおなじみ（安全）、祝福は未知（恐怖）

Drama is Familiar (Safe) Bliss Is the Unknown (Fearful)

覚えておきたいのは、完璧は退屈ではないということです。ニルヴァーナはエキサイティングではないという間違っただけの信念のため、私たちはときどきトラップにはまります。少々刺激的なもめごとを起こしたくなるのです。意識的に生きていると、感情のドラマが何であるかを知ることができます。職場でドラマが発生した場合、それが存在しないかのように立ち去りますか？ それとも、すべての詳細を得るためにそこに向かって行きますか？ ドラマに関わっているとき、私たちはどのように光と連絡を取り合うことができるのでしょうか？

『奇跡のコース』は、平和を選ぶことを教えてくれます。誰かがあなたの顔面を殴ろうとしているときでも、あなたは平和を選びますか？ 銀行があなたの家を差し押さえようとしているとき、あなたはそこからドラマを作り出しますか？ または「まあ、それは単なる家ですから…」と言えるのでしょうか？ 笑い話のようですが、実際には、単なる選択なのです。私たちのほとんどは、家を取り上げる誰かがやって来たら、緊張し、動転するでしょう。自分の体と反応を制御するのが自分であることを忘れてしまいます。私たちは、人生のどのような瞬間でも、感情的になるのは自分の選択です。けれども、犠牲者がいない平和を選択する選択肢もあります。

私たちのほとんどは、まだすべてのドラマを手放す決意ができません。「それは私がバスケットボールシーズンの残りをあきらめなければならないことを意味するのですか？」。あきらめなければならないという意味ではありません。しかし、自由になることを望むなら、自分の見方を変える必要があるのです。試合のコートに、勝者や敗者が生まれることはありません。そこには、限定的な古い価値観を見る個人がいるだけです。さて、バスケットボールは、素晴らしいたとえ話です。アスリートの視点から見れば、これまで以上にジャンプしたり、速く動くことができれば、限界を超える進歩を遂げられます。私たちは自分の視点で、自分が神と一緒に遊ぶのを目撃したいと思っています。コートにいる選手たちの唯一の目的は、個人の成長です。少なくとも、そのように見ることができるまで、私たちは自分が作った壁に閉じ込められたままです。

至福に従い、人生の権威者たちにもはや従う必要がないと信じるようになると、自分がすべてを台無しにしてしまったと感じる期間があります。それをあなたに真っ先に伝えるのは、家族や友人です。彼らは、私たちがいかに非現実的であるかを説明し、仕事を辞めたり、配偶者をほ

ったらかしにすることはよろしくないと教えてくれます。それは私たちが恐れを手放すための過渡期ですが、短い調整期間の後、驚くべきことが起こります。古いルールに従ってゲームをプレイするのをやめても、失うものは何もないと知るので。ここで私たちは真実の味を知ります。永遠に闘争を終わらせることは、可能なのです。

信頼、再び

"Trust", There's That Word Again

目覚めた魂は、成長の段階のある時点で、宇宙を完全に信頼することを決意します。少しずつ宇宙意識を獲得するのは、あまりにもイライラするのです。うまくいけば、私たち全員がこの生涯で勇気を出して崖からダイブすることを決意するでしょう。そのステップは、最終的にはいつか取られなければなりません。幸いなことに、宇宙は非常に慈悲深く、いつも私たちの味方です。移行期間は楽しくあるべきです。宇宙はとても愛に溢れているので、何らかの方法で私たちに限界を破らせようとします。私たちは常に簡単な方法を選択する機会があります。仕事を辞めたり、生活を変えたい衝動に駆られた時に、それは起こっています。必ずしもそうする必要はありませんが、そうすることで、時間がより充実することがわかっているような場合です。

マインドにある考えは、外の世界に現れます。客観的に自分を観察すると、反復的な思考にどのような結果が待ち受けているかが分かります。私たちが仕事について不満を言っていて、「仕事に行きたくない」と言えば、宇宙は私たちが仕事に行く必要がないようにしてくれます。病気になるか、解雇されるか、オフィスが焼けるでしょう。賢明なのは「仕事に行きたくない」という考えを、「もっと良いことが私の前にやって来る」という考えに変えることです。宇宙は私たちの思考の質を判断しません。無条件に現実化するだけなのです。

そのような宇宙の微調整があっても、人々の典型的な反応は、「ああ、でも私はやめられない！ お金が無くなる！ 何も食べられない！ 何もすることがない！ たとえ20年間苦しんでいても、この仕事をしなければ、住む家がなくなってしまう！」。たとえ家を無くすことを脅威に感じ

ても、抵抗しないでください。「さようなら、家。あなたは良い家でしたが、私は自由への道を進みます」と言うだけです。抵抗すれば、さらに苦しみが生まれます。すべては、単なるレッスンです。あなたの家や財産が危険にさらされている場合でも、こう言いましょう。「神よ、それはあなたのものです。私はそれを必要とせず、何が起こるか気にしません」。あなたが本気で思えば、明日までにすべてがうまくいくでしょう。気にすることを選択すれば、明日までに事態は悪化します。

「あなたたちは、私の前に他の神を持たない」という言葉があります。宇宙の法則は、私たちが意識を向けるものを物理平面に生み出します。それが私たちの神だからです。心の平和と幸福が家によってもたらされると信じるなら、家が私たちの神になってしまいます。悲惨さをもたらすお粗末な神です。私たちが自分で現実を創造するなら、どうして悲惨な経験をするのでしょうか？宇宙は友好的で、より良いものがかわりにやって来ると信じないからです。書類作業を伴う嫌な作業をしない人は破産すると、社会は教えます。歳入庁がドアに南京錠をかけるのを、ウィリー・ネルソン（※Willy Nelson、アメリカのカントリー歌手）が見守っているのを見たことがありますか。彼は言います。「何年も前、私はとても自由であり、気分が良かったのを覚えています」。そんなことは起こりません。覚えておくべきなのは、執着を手放すという教えです。あなたが自発的に解放するものは何であれ、痛みとしては経験されないということです。痛みを引き起こすのは、私たちが「必要とする」ものにしがみつくとときです。奈落の底に飛び込むとき、私たちはすべてを解放します。喪失の恐れがなければ、痛みもありません。私たちは神が私たちの面倒を見て、行きたい場所へ連れて行ってくれると信じています。

途中で障害が発生する可能性があるのと、事前に知っておくのは役立ちます。ときどき、一部しか完了していないのに、すべてをリリースしたとすることがあります。あなたの車は、私のときと同じように数回盗まれるかもしれません。私たちは、ブロックがもたらす痛みを非常に恐れているので、事前保障を欲しがります。「OK、スピリット。お金が手に入るならジャンプします」と言えば、世間は「それは間違いです。最初に努力することで、お金が手に入ります」と答えます。最初にお金を得てしまったら、あなたは何も学ばないでしょう。誰もが行うことができることでも、それができるという確たる証拠がないときにジャンプできるのは、マスターだけです。マスターシップとは、宇宙と調和して自分のすべてのニーズが満たされると信じることです。

励ましの言葉として、奇跡とは存在の自然な状態であると付け加えておきます。「奇跡が起こらないときは、何かがおかしいのです」と、『奇跡のコース』は述べています。

宇宙に修正させる

Letting the Universe Fix Our Limitations

私は何年も前に、アメリカン航空で働いていました。日々飛行機を楽しみ、幸せに過ごしていました。その頃の私は、形而上学的な話をあまり人と共有しないようにしていましたが、あるとき、エンジニアの友人が私のもとにやって来ました。彼はビジネスでのストレスを抱えていたようで、突然、こう言いました。「あなたは私が今まで出会った中でもっとも幸せな人間です。あなたのようになる方法を教えてくださいませんか?」。その3週間後、この男性は心臓発作を起こし、トリプルバイパス手術を受けることになりました。形は変われど、宇宙はすべての要求に完全に答えます。彼も、実際に幸せになる方法を学ぶことができました。と言うのも、彼が入院した病院には、心臓発作患者のためのライフスタイルをテーマにした学習プログラムがあったのです。それによれば、彼が「タイプA」(※心臓病専門医が定義する潜在的な危険因子を招きやすい性質。野心的でせっかちななど)に従事していること、そして再び同じ発作を経験したくないなら、より多くの時間を家族と一緒に過ごし、湖にでも行ってリラックスする必要があることを彼に教えました。数週間後、私が話しかけると、彼はこう言いました。「ここ何年も、これほどの幸せを感じたことはなかったよ」。

私は彼に頼まれたものの、彼を幸せにすることはできませんでした。すべての要求にこたえるのは、宇宙だからです。誰に要求が向けられたかは、問題ではありません。困難な状況に取り組んでいる人に対して、私たちにできる最善のことは、無条件の愛とサポートを送ることです。私たちに状況を修正することはできませんが、宇宙にならできます。誰のドラマにも私たちが同意しないのは、意識が現実をどのように生み出すかを理解しているからです。問題のある人に二度と妥協する必要はありません。これまでは問題志向の人と接するとき、私たちは社会が教えてくれたように、こう答えました。「それはつらい。旦那さんがトリプルバイパス手術を受けるな

んで、恐ろしい話だ。かわいそうに」。意識が現実を生み出すなら、悲劇と認定することは、さらなる悲劇を生み出します。失礼だと言われたとしても、彼らに役立つような意識と言葉に調整してください。一般的に人は、自分の話に同情してくれない人とは、長く話をしたくありません。ですから、彼らはあっと言う間にあなたの元を離れます。あなたはこう言います。「去ってくれてありがとう。私はあなたの問題を助け、真のサポートを提供できました」。別の考え方をする人もいます。「でも、そうすると友達がいなくなっちゃう！私が友達と話すのは、誰かの文句や愚痴など、悲劇ばかりだった」。それは正しいです。あなたが至福を守り、惑星を救いたいなら、そのような友達を解放しなければなりません。

実際、誰も失うことはないので、人生に否定的な考えを持つ人々を失うと心配するのは愚かです。同情が欲しくて電話をかけて来る人には、「ああ、でも私は相手の気持ちを傷つけない」と言いたくなります。彼らの気持ちを傷つけてください！彼らを愛しているなら、「私は、今あなたのための時間がない」と言ってください。彼らの気持ちを傷つけないという理由だけで、もう一回の転生を甘んじて受けますか？ ばかばかしいです！「ごめんなさい、でも何も悲惨なことはありません。私はドラマは信じません。そのようなものを自分の人生に受け入れることはできません。至福を追うのに忙しいのです」。

ドラマの終わりを受け入れる

We Can Accept the End of Drama

私たちはみな、ストレスの多い生活とトラウマ的な出来事を経験しています。私たちがスピリチュアルに成長しているなら、困難な時代は終わらなければならないという考えを手放す必要があります。一部の人は、物事が順調すぎると不安になります。「私が永遠にやりたいと思うことを、本当に何でもやっていいの？ 私はどうすればいいの？」。過去500回の転生で学び、訓練してきたことを確認してください。地球上の他の誰よりも、あなたに適している役割があります。クリエイティブで、人々に癒しを与え、あなたを満たす役割です。けれども、これはカルマの

訓練についての話です。これまで数千回の転生で繰り返してきたため、今では直感的な知識として現れます。世界に関することで変わらぬものはありません。

あなたが本当に得意なことは何でも直感的であるため、学習されません。まるでベートーベンのようです。練習はするでしょうが、音楽学校に通うメリットはないのです。私たちのカルマの専門知識は、多くの場合、親たちからは価値がないと判断される分野にあります。「あなたは医者になるべきです」。「でもパパ、僕はギター弾きたい!」。「無責任です。息子よ、あなたは医者になりなさい」。あなたがセゴビア（※20世紀スペインのクラシックギタリスト）の生まれ変わりであることが判明し、それでもギターを弾かせてもらえないなら、不幸になるでしょう。やるべきことは何でもしなければなりません。しかし、覚えておいてください。惑星の意識は急速に変化しているのです、至福を見つけるのも非常に簡単になります。

あなた独自の人生の道を発見するには、あなたの至福を感じながら、何日間も連続して練習することです。毎朝自問してみてください。「今日私が本当に幸せになりたいと思うことは何ですか?」。あなたの至福は、石板に刻まれ、順番に神から手渡されるようなものではありません。また、宇宙は人生を180度方向転換する指示を出すような至福マニュアルを送ってきません。あなたが今の家から引っ越して、別の都市に住まなければいけないようにもしません。突然、世界のすべてがあなたを神のしもべと認識する、そのようにも起こりません。あなたの至福は、こうすべきと考える生き方をすべて手放したときに見つかります。あなたの手元には、至福だけが残ります。

心に従うことは、ほとんどの人間にとって非常に危険なステップですが、その方法だけが自分のクリエイティブな才能を本当に表現します。私たちの教科書にアーティスト、発明家、ミュージシャンとして書かれている人たちは、すべて社会的不適合の反逆者でした。彼らは、彼らの父親が生計のために彼らに望んだことをするかわりに、自らの至福に従うことを選んだのです。

惑星を解放する唯一の方法は、自分の願いに従い、自分を解放することです。あなたの心の願いに耳を傾け、権威者と社会が教えてくれたことを却下してください。社会は医学の学位を取得しないと医師になることはできないと言いますが、それが本当なら、イエスは名を残さなかつ

たでしょう。厳密に言えば、彼には誰かを癒す資格がありませんでした。彼は、自分の至福を追っただけでした。

黄色いノートパッドを覚えていますか？ 時間をかけて、これまでにやりたかったことすべてをそこにリストアップしてください。1枚目の紙に、自分が幸せになると思うことを書き留めてください。書き出している途中に、あなたの合理的なマインドが口を挟み、なぜできないのかを説明しても構いません。すべての気まぐれを含めてください。「ええと、私はアーティストになりたいです」。たとえば、あなたの自我は「あなたに絵を描くことはできません！ 勉強もしてないし、アクリルと水彩の違いも分からない！」と言うでしょう。自我のコメントは2枚目の紙に記録します。

2枚目の紙には、あなたが至福を追うことが出来ないすべての理由がリストアップされます。親や教師たちから教えられた「べからず」と「すべき」が、頭に浮かぶでしょう。そのすべてを書き出してください。あなたがうんざりするまで、このリストを埋めてください。2枚目の紙を読むと、権威者たちが生きた悲惨な時代が思い出されるかも知れません。それから、2枚目の紙を燃やしましょう。あなたの手元には、至福だけが残されます。

至福を考えるようになったばかりの頃は、本当にそれを見つけたのか、それとも恐れに駆られて見つけた気になっているのか、疑問に思うことがよくあります。この違いを見極める方法は、非常に簡単です。自我に従うと、どんな状況でも非常に複雑に感じます。そんなときには一旦身を引いて、スローダウンし、深呼吸をして光を探しましょう。至福を見つけると、私たちは時間を超越します。あらゆるプレッシャーがオフになります。それはソーイング、木登り、皿洗い、コンピュータープログラムの作成など、あらゆる可能性があります。

地球上には、時間の枠組みを超えた瞬間を思い出せない人はいません。複雑さは、常に至福と矛盾します。私たちが続けてきたことは、放棄してしまうのはあまりにも重要であることを教えてくれます。必死に休みを取り、自分のための時間を作る必要があることを私たちは知っています。それは、宇宙への完全な信頼と信仰のみが必要だと言われた古いやり方とは、完全に逆です。自分の状況を見直してください。「私がいつもやりたかったことは〇〇で、それをやらない

言い訳は〇〇だった」と言ってください。宇宙がその方向に移動する方法をあなたに見せることを許可してください。あなたの創造性を花開かせましょう。あなたのインスピレーションにのみ、自分の人生を導かせましょう。そのとき、あなたは人類の進化にこれまでにないほどの貢献をするでしょう。

パターンメーカー: 自分のことをしてください!

Pattern Makers - Do Your Thing!

ピーター・ネロ (※Peter Nero、アメリカのジャズピアニスト) がタルサフィルハーモニー管弦楽団で弾いたピアノは、素晴らしかったです (私は友人からオーケストラ席のチケットをもらいました)。彼らが曲を始めて間もなく、ピーターは楽譜通りの演奏から逸脱してしまいました。彼は狂ったように即興を始めたのです。指揮者はそこに立ってニヤリとしながら、彼が楽譜に戻るのを待っていましたが、彼は素晴らしい音楽を演奏し続けました。そのメロディは、彼がこれまで演奏したことがないもので、彼自身、見たことも聞いたこともありませんでした。その間、観客はずっと彼を応援していました。ふと彼を見ると、ハートチャクラの後ろからたくさんの角が放射状に広がっていました。それは天に広がり、天の音楽のすべてが角に注がれ、彼の体を駆け巡っていました。彼はそれがどこから来ているのか知りませんし、考えようとすれば、その瞬間にプログラムは終わってしまったでしょう。私がじっと聞き入っていると、次の瞬間には、彼の自宅のトイレが水漏れしていることが分かりました。彼は気にするのでしょうか? 絶対に違います。彼は演奏しなければならないので、家にいてトイレを修理する時間などないのです。彼は流れの真ん中で、意識的に生き、心の願望に従っています。あなたの至福が来たら、あなたもそうしてください。

あなたなら、惑星にどのようなパターンを設定しますか? 他の人々に何をしてもらいたいですか? ほとんどの人は自分がやりたいことを自由にできるとは信じていませんが、あなたは理解しています。宇宙に関する限り、常に自分が誰であるかを心に留め、あなたが正常であると考えてください。宇宙は神聖な存在で溢れていて、何の制限も持たないことはシンプルな生き方です。万人の万人に対する闘争が自然な状態だと言われているのは、このアーススクールのみで

す。そう考える人たちの信念体系を揺るがす助けをするために、あなたはここにいます。闘争が終わってしまえば、楽しみしかありません。シンプルなことです。ブッダよりも簡単な人はいませんでした。彼はいつでも笑っていました。単に自分が楽しむだけで、他の人たちが悟りを得ることを可能にしたのです。

楽しむことは、あなたの仕事です。そうすれば解放されると、すべてのマスターティーチャーが説いてきました。あなたの人生のすべての活動の目的は、楽しむことです。それには、地球を救うことも含まれます。恍惚とする幸せを手に入れることができるのは、誰でしょう？ みんなです！ 私たち全員があなたとテレパシー的に同調しているので、気づいた人から始めれば、やがて全員に浸透します。楽しいことから、発明、目覚め、インスピレーション、癒しは生まれます。惑星はエネルギー的にとてもチャージされているので、光が上昇するのを止めることはできません！ それは、あなたが至福に従うことを決定したときにのみ起こります。自らを地球の救世主であると知り、自分の言動について誰かに許可を求めない人々は幸いです。そして、それこそが本当の姿です。

第6章

KARMA

カルマ

Groundhog Day

「グラウンドホッグデー」

映画「グラウンドホッグデイ（※邦題「恋はデ・ジャヴ」）を見たことがありますか？ ビル・マレーが演じる主人公フィル・コナーズは天気予報士としてテレビ局に勤めていましたが、ある時、「グラウンドホッグデー」というお祭りを取材するために、ペンシルバニア州ペンサスターニに派遣されます。そのような仕事は明らかに彼の尊厳を損ねるものでしたが、失職したくない彼は仕事を選ばませんでした。映画の中で、彼は不満をこぼし、自分のこだわり执着し、うめき、およそ被害者に望まれる役割を非常によく果たしています。とは言え、それはたった1日の仕事で、取材が終われば、彼は元の職務に戻るようになっていました。

しかし、翌朝、彼がアラームで目覚めると、昨日と同じベッドで寝ている自分を発見します。昨日に戻り、彼は最初から同じ光景を繰り返すことになりました。その一日だけでなく、何度も何度も、何千日も、まったく同じ条件と設定のまま、映画の中でフィル・コナーズは同じ日を繰り返しました。自分の人生は「まるでモグラの穴だ」というフィルの思いが、まったく現実になってしまったのです。彼は自殺を試みますが、目が覚めると、やはり同じベッドの上において、同じ時間にアラームで目覚めます。どんなに必死に頑張っても、死ぬことはできません。彼は同じ日に、同じ人物と、同じ遊びを繰り返し、何であれ逃げ場はありません。

この空想の物語は、カルマという、また別の空想のほぼ完璧な表現です。犠牲者はいないというより大きな現実に目を向けられない人たちは、フィルのように同じパターンを繰り返します。ヨギ・ベラ（※Yogi Berra、大リーグ・ニューヨークヤンキースの選手）の有名なセリフにこうあります。「またしてもデジャヴだ」。

やがてフィルは、その世界で自分の才能を伸ばす可能性を探り始めます。結局のところ、彼は無数の人生を送っているのです。彼はピアノの弾き方を学び、彫刻をし、フランスの詩やクイズ番組の解答を暗記します。一日一つのスキルを学んでいくことで、やがて彼は才能に満ち溢れた天才となりました。

最後に、彼のショーのプロデューサー、リタへの愛が、彼の人生を和らげます。彼女のそばにいられる喜びが、人生に意味を与えます。何万回も繰り返す毎日に、一日ごとに、ほんのわずかな量の愛を加えて行けば、新しい日の夜明けが訪れます。フィルは悟りを開いたり、宇宙意識に達しませんでした。彼は人生について異なる見方を得ることができたのです。

実のところ、状況の犠牲者は、本当の意味で犠牲者ではありません。自分の価値観によってもたらされる結果を経験しているだけなのです。状況に抵抗するのは無駄だとわかれば、その場所で愛を広げようと考えようになります。

誰もカルマの犠牲者ではありません。誰も過去の行いによって報復を受けることはありません。このことに気づかない人は、グラウンドホッグデーのような毎日を生きることになります。思考が未来を作るからです。

攻撃に対する防御をする、つまり脊髄反射のボタンが押される時、カルマという終わりのないゲームが始まり、それは永遠に続きます。防御は、繰り返しの攻撃を招くのです。それがカルマの法則です。攻撃と防御は、文字通り時間の終わりまで繰り返されます。いつ平和がもたらされるかは、相手の選択ではなく、自分の選択です。ゲームから離れるのは、自分の選択なのです。相手が許しに値するとか、そうするのが適切だからという理由で相手を許すのではありません。相手を許すのは、私が平和に値するからです。防御ではなく、自己愛を経験するに値します。

悟りと愛の意味を探求するようになると、私たちは許しという概念を理解し始めます。許しは、カルマの輪をほぼ瞬間的に終わらせます。

カルマの負債

Karmic Debts

カルマという概念は、非常に有用であるという点で、生まれ変わりに似ています。にもかかわらず、カルマについての一般的な理解は非常に漠然としています。秘教的な教えは、何千年もの間、カルマについて語ってきました。それは地球という学びの場について洞察を深めるとともに、私たちが進化するためのツールとなりました。マスターたちは、人生には始まりも終わりもないと言いますが、カルマの負債を支払う必要があると教えたことはありません。カルマの負債を支払うとは、私たちが何かを修正することを意味します。それは、いつかの転生で、何らかの間違いがあったという考えに基づいています。

秘教的な教えは、たとえば私たちが白血病の幼い子どもに会ったとき、その理由として考えられるような概念について語って来ました。西洋的な思考では、白血病のような「勝てない」状況と和解する方法はありません。考えられる唯一の結論は、それは神からの宣告であり、罰であるということです。生まれ変わりやカルマのような便利な物語のおかげで、人々に生命の継続性と宇宙の慈悲深さを信じるようになりました。

カルマ的な人生を生きるのは、もっと良い方法があると気付く前の状態です。私たち自身がこの選択をします（通常は出生前）。前もって決めておくのは、人間は人生で起きるすべての出来事や環境について、顕在意識レベルで賢い選択ができるほど進化していないと信じるからです。ですから、肉体の目で見ると、私たちはまるで宇宙の犠牲になっています。

カルマに縛られて生きている状態は、進化のもっとも低い形態であり、魂の学びにおいてももっとも基本的な段階です。聖書のたとえ話で言えば、カルマとは「目には目を」という規律の下で生きる個人を表します。そのような人たちにとっては、自分のいる環境だけが現実であり、痛みや苦難を我慢することに意味があると信じていました。彼らが考える神とは（もし彼らが神を信じるとしたら）、彼らの行動に不満を持つ、嫉妬深く支配的な独裁者でしょう。いけにえの祭壇を定期的に要求する神です。彼らにとって、物理的感覚を通じたイメージからなる現実以外に、現実という概念はありませんでした。カルマの法則は、そのように内的感覚を完全に閉じてしまった人にとっては、唯一可能な成長の道です。

聖書の最後の書物にたどり着くと、進化した存在が登場し、カルマのレッスンのかわりに恵みと啓示を与えます。彼らは、私たちが目覚めを促進する経験を自ら求めたことを理解します。ここでの目的は、被害者の道から理解の道へとシフトすることです。

嬉しくないレッスンが巡って来るたびに、私たちには2つのオプションが与えられます。カルマの負債を払うために苦勞するか、苦勞せずに必要な学びだけを得るかです。聖パウロは、これを恵みと呼びました。

カルマとは眠っている人、大きな全体像という考えを持たない人や、特に他人とのつながりを信じない人のためにあります。そのような人たちが真実を学べる機会は、誰かを殺そうとして、自分を傷つけてしまったのは、いつかの犯罪の報いだと考えるような時だからです。あらゆるマスターたちは、黄金律というものを教えました。私たちは自分にするように他人になすことを学べば、カルマは悲劇をもたらしません。

すべてのカルマのレッスンは、それが薬物中毒、貧困、病気、または虐待的な関係であろうと、最終的には私たちに完璧な幸せを教えることが目的です。このシステムは非常に完璧にできているので、私たちはレッスンを通じて、必要な理解を深めることができます。

魂の成長は、この3次元のアーススクールから、6次元、10次元、または100次元の美しい領域に進化するために必要です。成長に終わりはないとしても、これ以上の痛みが欲しくないのは間違いありません。外部（痛み、カルマ）から動機づけられるのではなく、内的な動機（ビジョン、宇宙意識）へシフトしたいです。

痛みではなく、悟りから理解が得られたらどうなると思いますか？ 宇宙に「残念ですが、あなたは400年間のドラマに満ちた人生にサインアップしたので、簡単な方法に切り替えることはできません」と言われたいですか？ それとも「これで修了です。あなたは卒業します」と言われたいですか？ あなたがレッスンの目的や内容に積極的に目を向けるなら、痛みや格闘を終わらせることができるのです。

カルマの学習は、古いプログラミングに反応する人にものみ可能です。カルマは、脊髄反射のボタンを押してしまう人にものみ発動します。争いに直面して平和を選択する場合、カルマのレッ

スンに伴う痛みを回避します。私たちの社会に生きる人のほとんどは、自分の人生に現れる問題を決して認めません。そのように育っているのです。アルコール依存や破産、盗癖、自尊心の低さなど、問題の多い人は社会ではあまり尊敬されないからです。しかしスピリチュアルを学ぶ生徒たちは、誰もが問題を抱えていると知っています。またはパトリア・サン（※Patricia Sun、アメリカのスピリチュアルティーチャー）が言ったように、「あなたのゴミはあなたのチケット」なのです。

スピリチュアルを学ぶ生徒たちは、チャレンジを楽しみます。課題（レッスン）は、痛みからの解放へ向かうチケットです。それは私たちを解放する唯一のチケットなのです。レッスンと成長は受けて立っても、痛みは避けたいものです。それが問題です。成長は要求されても、必ずしも痛みが要求される必要はありません。レッスンや成長を避けなさいと語ったマスターはいません。彼らは、私たちのかわりに何かを行ってはくれません。代理の悟りというものはないからです。彼らは、旅路を楽しむことを学びなさいと言いました。悟りとは、とても個人的で、時空を超える楽しい冒険なのです。

カルマと恐れと罪悪感

Karma Equals Fear Equals Guilt Equals Karma

地球上のほとんどの人々は、人生が一連の教訓であることを知りません。彼らは、そのような価値観を受け入れない選択をしています。この惑星で人々が完全に眠っていたら、支配者たちには都合がいいでしょうね。彼らは私たちの体には価値があり、傷つけられないようにする必要があると言うでしょう。「ライオンと遊ばないでください。彼らはあなたを殺します！危ないですから、崖から飛び降りないで！」。進化のその時点では、恐怖という要素は必要でした。そうでなければ、何かを学ぶのに十分なほどアーススクールに留まることはできなかつたでしょう。そして、アーススクールの3年生4年生は、恐れを持たずに存在することはできません。私たちは何千回もの転生で、恐れは有益だという条件の下で育ちます。そしてある日、誰かがやって来て、こう言うのです。「あなたはもう12年生ですから、私たちがこれまで教えたことはすべて忘れてください」。「どういう意味ですか？ 私の恐怖は、無意識の深い部分にプログラムされているので、どうすれば解放できるかわかりません！！」

水瓶座の時代は、恐怖の解放を教えます。カルマを恐怖と罪悪感の動機として眺める時が来ました。カルマは11年生にとって有効な教育ツールですが、今や水瓶座の時代に入ります。新しい生き方のパターンメーカーたちは、カルマの解放を人々に教えるために、まず自ら解放されることを願うでしょう。私たちは、生きた模範になるべきです。

私のカルマの道

My Cause Is My Karmic Path

あなたの人生で、思いやりに関する問題は何でしたか？ 癌撲滅に力を尽くす人もいれば、熱帯雨林の破壊を防ぐために立ち上がる人もいます。誰もが同じことに反対しないのは、なぜでしょうか？ 酸性雨よりもオゾンホールのほうが有害ですか？ どうして戦争を終わらせたいと願う人と、飢餓を終わらせたい、もしくはホームレスに住居を提供したいと願う人がいるのでしょうか？ あまり気づかれませんが、私たちが千年または一万年前にやっていたことが、現在の私たちにも現れているのかも知れません。悲劇的な問題を解決したいという燃えるような願いがあるなら、かつての人生でその悲劇の加害者であった手がかりです。潜在意識レベルで、私たちは前回犯した残虐行為に対する罪悪感を和らげています。カルマは100パーセント罪悪感に基づきます。罪悪感とは、問題の種なのです。つまり、以前の自分が作った現実に没頭しているということです。母なる地球を保護する必要があると感じる場合、数千年前、私たちは彼女を破壊した側でした。カルマは本当にシンプルです。かつて私たちが大量のすすを振りまいた実業家だったら、今、環境学者になり、地球温暖化を懸念しているでしょう。フェミニスト活動家をしている人なら、かつて女性を虐待したり、制限した男性だったのでしょうか。現在の動機は、常に過去の虐待に直接関連しています。

このシステムと教えは非常に完璧であるため、自分自身でワークするしかありません。他の誰も修正できないのです。私たちが自分の内面に目を向けなければ、残虐行為は外の世界に存在するように見えます。問題を癒したいのは、それによって自分自身が癒されるからです。これはアーススクールに組み込まれた魔法です。私たちは鏡の中の自分を通じてしか、良い、悪い、正しい、間違っているという判断ができません。

肉体にいる間に知覚するものは、すべてパラドックスです。私たちが不可侵の自由意志を持つことは事実ですが、ほとんどの人はその意志を使って、アーススクールとの鉄の契約を結びます。ですから、私たちの経験は運命づけられているように見えるのです。確かにそう見えるのは正解なのですが、実際には魂のレベルで自分が決めたことで、カルマの重荷として課されたものではありません。私たちが人生で重いカルマの問題を抱えていたら、それは解決することを期待して自分で設定したドラマです。前回の転生で犯した「間違い」を許せるように仕向けているのです。現在の敵を許すことは、過去の自分を許すことです。

ほとんどの人は、地球上のすべての悲劇に対して責任を取る準備ができていません。なぜなら、悲劇とは現実のものであり、責任を取ったら大変なことになると信じているからです。しかし真実は、神は愛なりです。神は悲劇を許しません。その考えを理解するには、今までとは違った認識が必要です。

罪人からヒーラーへ

Shifting Our Past From "I'm Guilty" to "I'm a Healer"

あるとき、私のワークショップで地球のあり方について話したとき、幻想の悲劇について差し掛かると、一人の女性が泣き出しました。彼女はその考えを受け入れることができなかったのです。彼女をよく見ると、かつてアウシュヴィッツのナチス強制収容所で殺されていたことがわかりました。そこで言いようのない恐怖を経験した彼女は、神は間違いが起きることを許可し、ときどきは決して許されない犯罪も起きるという信念を植え付けられていたのです。それから私は彼女の過去に、日本での原爆投下の光景も見ました。

カルマの道に忠実にな人たちは、前回、仲間を殺害したか、名誉を傷つけています。神はジャッジしませんが、彼らは自分をジャッジしているのです。「被害に遭うために戻ってきたら、十分な罪の償いになるだろう。そうすれば私も良心に背かず、自分を許せます」。そのような人たちは、大挙してやって来ます。彼らはガス室に送られたり、核を落とされたりして、惑星から一掃されました。彼らは本当に殺されたのでしょうか？ もちろん、そうではありません。

多くの人が同時に死ぬとき、向こう側の世界では素晴らしい集まりがあります。彼らはアストラル界に巨大な会場を借りて、リベンジ計画を立てるのです。第二次世界大戦の犠牲者は、自分がボランティアに志願したことを忘れ、ともに集まり不平を言ったり、愚痴をこぼしたりしました。数千人が海上で論争し、立ち上がってこう言うのです。「私たちは何をするのか知っています。何百万年もやってきたことを、今回もやるだけです。第二次大戦で私たちは犠牲者の経験をしましたから、次は加害者になりましょう。アメリカに転生するのです。彼らは世界でもっとも強力な軍隊を持っています。入隊試験を受けて、それを乗っ取りましょう。そうすれば、嫌いな人全員に仕返しができます！」

この話筋に通っていると感じるのは、これが通常のカルマのやり方だからです。また別の人が立ち上がり、マイクに近づいてこう言います。「ちょっと待ってください。グループとして転生するのはいいとして、軍国主義者ではなく、平和主義者になるのはどうですか？ フラワーチルドレンになって、あらゆるものにスマイリーフェイスと虹を描き、銃口に花を飾りましょう！ その方法なら、何千年期も続いたパターンを壊し、少しの間は平和を維持できるかも知れません」。軍国主義者と平和主義者の論争は一年間ほど続きましたが、最終的に、かなりの人数が平和を試すことに同意しました。「オーケー。私たちはそこに行って、戦いを拒否します。彼らは私たちに脅迫したり、操作したりするでしょうね。それがこの惑星のやり方です。戦わなければ逮捕されますから、そうしたら刑務所に行くか、カナダにでも行きましょう」。

そして多くの魂が同時に転生し、スマイリーフェイスや虹や花を思い描きました。彼らは意識のテレパシープールでつながり、惑星に平和の意識を浸透させました。それによって、次の百万年の間、平和が勝ち、核戦争がなくなることが絶対的に保障されたのです。このグループは、歴史上、他のどのグループよりも多く、惑星が魚座の時代のカस्पを越え、水瓶座の時代へ移行することを保証しました。レムリアやアトランティスのように、沈没や没落がない時代です。私がこの話をワークショップでしたとき、ある女性が涙を流しました。彼女は数ヶ月間自殺することを考えていましたが、ふと、すべてが大丈夫だとわかったと言いました。視点を変えることで、それまで悲劇を信じきっていた状態から、第三次世界大戦を防ぐために転生してきたと気づいたそうです。彼女は、自分が救世主であることを認識しました。私たち全員がそうであるように。

罪とは閉ざされた視界

Guilt Is Limited Vision

私たちが解放しようとしている罪悪感を、どこで身につけたのか考えてみましょう。自分が嫌っている性格的な特徴や習慣は、実はカルマの歴史のどこかで、私たち自身を助けています。過去を振り返ると、罪悪感にまつわることは、今まで経験した中で最高の成長経験となっていることがわかります。それがあつたおかげで、あなたは意識を変えることができたのです。私たちがこれまでに行ったどのような行為も不適切ではなかったと、実感できる方法を探しましょう。なにしろ、神はそのようなことが起きるのを許さないのです。愛である神は、罪が正当化されるシステムを許しません。人が間違いを犯すということはないのです。愛以外の何も存在しないのに、どうして正しい・間違っているということがあるのでしょうか？ 私たちは愛を選ぶか、一見、愛に見えない愛を選ぶしかないのです。

理論的には、これは真実だとわかります。しかし、現実とはあまりにかけ離れています。「これは、私一人の問題ではないのです！ 私はその人を傷つけました。確かに不適切だったのです」。その人がきちんと授業料を払わず、今世で自分が課したレッスンを思い出すために、あなたによってひどい目に合わされるというイベントを時間割に組み入れていないなら、それはその通りです。反対に、もしあなたが、紛争、不一致、議論を、かつて起きたのと同じパターンで経験しなかった場合、あなたはもっとも効果的に成長できる方法を却下したことになります。あなたも相手も最終的にはこの学校を卒業しますが、そのためには問題を起こす相手が必要だったのです。

私たちが互いの名誉を棄損し、殺し合ったあとに、何が起こるか知っていますか？ 私たち全員が死んだあと、キャストパーティーをするのです！ 「いや～、最悪に良い演技でしたね」。「私はあなたを本当によく殺しましたよね」。「まったく感心しました。ビールのおかわりはどうですか？」

小学校では、先生に書き方の練習をやらされて泣いている子どもがよくいます。私たちは、その子どもに同情を感じても、彼がやらされていることの意味を理解しているので、そこに介入しようとは思いません。それは、私たちがここで学びを得る方法とよく似ています。人生ゲームと同じです。怒りをぶつけ合ったり、動揺したり、対立したりしていたのは、あなたにとっての先生です。

私たちに他人のカルマを奪う力があっても（ないのですが）、実際にはしないでしょ。誰かの痛みや困難を癒すかわりに、恣意的に消去してしまうなら、今世が終わってから彼らが何と云うか知っていますか？「あなたは、なんてことをしてくれたの！ 私はもう少しで卒業でした。最終試験の受験料も払って準備していたのに、あなたはそれを台無しにしたのです！」成長と教育と学習について、アーススクールのシステムは、あるがままで完璧です。

真実を言えば、すべてのカルマの負債は、より良い理解のために神がくれたチャンスに過ぎません。私たちは、自分の子どもが宿題を持って帰っていながら、外に出て遊びたいと言えば、ここぞとばかりに意地悪な親になって、断固ノーと言うでしょう。「だめ！ 座って、最初にやるべきことをやりなさい！」と言います。なぜなら、そこで学ぶ知識が、その子のためにどのような意味を持つかわかっているからです。魂のレベルでは、誰かが「過去に自分がした行いを許すために、その経験が必要だ」と言うとき、「いいえ、私は1000万年後もあなたが罪悪感に苦しむのを見たい」という答えが返って来ると思いませんか？ 私たちには、他の人のカルマを修正する必要はありませんから、そうしたいという気持ちを解放しなければなりません。

特に、私たちの配偶者、または親たち、子どもたちがなど、非常に近い関係の場合、彼らは自分が何をするようになるか、アーススクール入学時点で知っていました。彼らに変えられる問題を指摘したからといって、彼らを修正することはできないのです。

修正ではなく癒す

Healing Instead of Fixing

私たちにとって近い存在がカルマの結果を経験しているのを見ると、私たちの心に葛藤が生まれます。修正できないことはわかっています。誰かを修正するということは、痛みを感じないように、傷つけないようにすることです。それによって、私たちの気が楽になるからです。けれども、学びは彼らのためにあるのです。ヒーラーになるために、私たちは彼らの理解を促す手助けができます。苦しむことなく経験するための理解です。けれども、直接彼らに理解を与えることができるのは、宇宙のみです。

私たちは原因や結果をジャッジせず、純粋な愛と光の神聖な空間を保つことで、宇宙を支援することができます。そのようにして、カルマから人々を助けることができます。

身体、習慣、嗜好、すべてはカルマ

Bodies, Habits, Likes and Dislikes - All Karmic

私がタルサのユニティ教会の牧師だったとき、会衆のある女性が私に彼女の娘に紹介し、喫煙をやめるべきだと諭してもらえないかと頼みました。そこで私は彼女と話し、喫煙をやめないなら死んでしまうと言いました。その娘は離婚したばかりで、子どもを失い、他のいくつかのトラウマ的な出来事を耐えていました。彼女が唯一ストレスを解消できるのは、タバコの煙を吸ったり吐いたりすることだけだったのです。それは彼女にとっての瞑想でした。生き残りたいなら、その深呼吸を続けなさいと私は言いました。他人の習慣や行動に対して自我が行うすべての判断には、誤りがあります。

私が見たところ、身体の約30パーセントは喫煙からまったく影響を受けていませんでした。それは何の危害も加えていなかったのです。これは私たちの価値観が、いかに身体を条件づけるかという問題を示しています。条件付けの90%は、カルマによるものです。私たちはサイキックビジョンで見ると、習慣の背後に何があるかを知ることができません。喫煙は、アメリカ先住

民にとって神聖な儀式でした。もし、あなたが喫煙を聖なる行為にしたいなら、タバコのパックを両手で挟み、深呼吸をして、「私は私の体の栄養と癒しのために、神聖なタバコを祝福し、エネルギーを与えます」と言ってください。あなたには、それをする力があります。チョコレートでもワインでもタバコでも、同じことができます。あなたの完全な健康と幸福のために祝福されていないタバコを吸わないでください。タバコは、あなたを元気づけ、ダイナミックに生きるのを助けます。そうでなければ、あなたの人生から消えているでしょう。

私たちは、自分の力の大きさを見なければなりません。習慣や中毒、カルマの犠牲者ではないのです。抵抗をやめ、悪を見ることを拒否する時、瞬く間にどんなものも変容させる力が私たちにはあります。奇跡的な創造物でなかったタバコはありません。あなたは、種をタバコの葉に変えることはできますか？ それは奇跡のように思えます。

視点を変えることで、すべてを光の中で見ることができます。自分の力を得るには、人生で自分と自分の創造物のすべてに責任を負う必要があります。これはポジティブなことにも、ネガティブなことにも当てはまります。宇宙が偶然それらを生み出したと信じるなら、私たちは罠にはめられた被害者の役割に陥ります。そうではなく、私たちはすべてを認識しなければならないのです。痛みも、美しさも、私たちが作り出したものです。私たちの人生は、誤って作成されたものではありません。私たちは最初から許されています。自由になるためには、人生のあらゆる出来事に責任を持つだけでは十分ではありません。罪悪感も解き放たなければならないのです。私たちはレクチャーを聞き、心理学と自己啓発の本を読み、セラピーに行きますが、彼らが言うのは、私たちが何か正しくないことをしたということです。しかし、これを読んでいる私たちは、絶対に信じません。私たちは大切なこと一つ忘れてしています。罪悪感から自由になる上で知っておくべきなのは、時間は線形ではないということです。カルマは追いかけてきません。

罪悪感とは知覚のエラー

Guilt Requires Errors In Perception

罪悪感とは、線形時間の概念なしには存在できません。罪悪感とは地球の大きなモチベーションであり、ティーチャーですが、実際には単なる時間の誤用です。罪悪感とは、やったことは変え

られないと言います。それが本当なら、マスターティーチャーたちは許しを教えなかったでしょう。全ての時間が同時的でない限り、許されることはないと言っても差し支えはないでしょう。私たちが間違ったと思ったことは、決して起こらなかったのです。ほとんどのセラピストは、ここまで深く話をしません。彼らは、誰かが罪悪感を処理するためには非常に役立ちますが、彼らのセオリーは真実とは合致しません。多くは、自分の罪悪感を整理し、コントロールする方法を教えるものです。そうすれば、元のまま有用で生産的な生活に戻れると。

ほとんどのセラピストは、私たちがやったことを本当にやったと信じています。その考え方では、問題を解決しません。過去が本当に過去のものなら、ラザロは洞窟から出てこなかったでしょう（※イエスの使徒ラザロは、イエスの復活に際し、埋葬された洞穴から復活した）。時間が線形であれば、過去に起きたどのようなことも癒すことはできません。私たちは永遠に罪悪感を抱いたまま、許しは無意味な呪文です。

人生で確かに存在するのは、現在の瞬間だけです。愛を、現在の中にある昔の状況に投げかけるなら、すべての罪悪感は除去されます。その瞬間に、私たちは文字通り、過去と未来を作り直すのです。

サイキックビジョンで見ると、イエスの多くの転生は完璧だったことがわかります。彼は何も悪いことをしたことがないのです。彼は決して誰かを傷つけたり、間違いを犯したりしませんでした。しかし、イエスは、それらの人生を生きていたとき、怒りを持っていたと私に話しました。彼は人々を虐待し、殺害さえしたことがあると。どうしてそのようなことがありえるのでしょうか？多くの生涯を終えたあと、彼は現在から愛の目で見ること、すべての現実を再構築したのです。彼は過去の「あやまち」をすべて完全に癒したので、もはや宇宙の記録帳にも残っていません。

私たちの意識は、時間と空間という制限を超えます。したがって、私たちは過去の転生の経験を、私たちが選択する方法で書き換えられるのです。ブッダやイエスのような「完璧」な存在が、文字通り歴史上に存在するのはそのためです。あなたや私、そしてクラスメートの全員が、最終的には「完璧」になります。私たちがより大きな全体像を見るようになれば、決して間違いを犯していないことがわかるのです。

カルマなしで生きよう

Living Non-Karmically Takes Practice

何ら努力をせず真実を理解し、人生に適応する能力のある人は、今までも、これからもいないでしょう。道端で誰かに近寄って、「ほら、システムはこのように機能します」と見せたところで、「すごい！これで私は自由になりました。私はマスターです。私は水の上を歩き、死者を復活させ、空中を浮遊することができます！」と答える人はいないでしょう。そのようなことが起きないのは、潜在意識のプログラミングの深さのためです。

マディソンアベニュー（※アメリカの広告業界を指す隠語。広告看板が多いことで知られるニューヨークのストリート）より意識を変える方法を理解している人は、誰もいません。彼らは結果を優先します。人々から望む反応を得られなければ、即、廃業です。ビールのコマーシャルをやったからと言って、人々がビールを買い続けることはないと言っています。広告とは、間隔を空けた繰り返しのプロセスです。そのような方法を使うと、スピリチュアルな考えを含む潜在意識の信念を変えることができるのです。

平均的な個人でさえ、何度も真実を思い出すチャンスがあれば、レッスンを理解するまでに10回の転生も必要ありません。「わかりました！私は再びそのドラマに戻る必要はありません！」。それで卒業です。大きな全体像を見ると、私たちは自分の力を感じ、地球が私たちに設けたトラップから抜け出すことができます。今のところは、互いに親切にしましょう。トラップに陥ったときは、それを認めましょう。古いパターンで行動していたときは、それを認めましょう。その感覚は楽しいものではありませんが、それでも前回よりもはるかに素早く自分のエラーに気づけたことは、喜ばしいことです。

私たちは、悟りに向けて前進しています。何かにつまづくたびに、自分の古いパターンによりスピーディに気づけるようになります。最終的には、起こる前に気づくでしょう。その上で、トラップにはまらないという選択をするのです。私たちが意識的に生きることを思い出すたび、

惑星地球のグループ意識は、ひと目盛り上昇します。そうすることで、次回、誰もがもっと上手にできるようになります。実際、そのようにして、百匹目のサルは生まれるのです。自分の行う選択を明確に認識できる人が増えれば、私たちはみな、瞬間的な悟りを経験するでしょう。

インスタントカルマに気を付けて！

Watch Out! Here Comes Instant Karma

カルマは愛です。なぜなら、素早く悟りを得たいという個人の要望を叶えるからです。地球上のごく普通の時代には、カルマについて人々を理解させるのは困難です。目には目を、歯には歯をというルールは、最初の目が今世にあり、第二の目が時間線の異なる別の転生にあるような場合、自分に結びつけて考えるのは難しいのです。彼らは人々を殺し、うまく切り抜けようと逃げ回ったかも知れません。まさか次回は、自分で自分を殺すために地球に戻って来るとは思わなかったでしょう。この惑星を取り巻くエネルギーはとても濃く、物事が私たちに戻って来るまでに、数回の転生が必要なこともあります。執行猶予期間のようなものです。

インスタントカルマ（※カルマが来世以降に持ち越されず、瞬時に自分に返ってくること）が生まれる時代に、野蛮人の平均的な意識を解放したら、人類はほんの一瞬で一掃されてしまうでしょう。今や、ベールは持ち上がり、私たちはより愛情のある空間に来ています。時間のギャップは小さくなり、スクールティーチャーたちも、かつてより具体的な方法を教えるようになっています。カルマとは行いではなく、思考に由来します。あなたが放った思考や感情は、これまでのように長い期間をかけず、数分、数時間、数日以内にあなたの元に戻って来ます。原因と結果の関係を見るチャンスが、今までよりずっと多くなります。

カルマは良い教師ですが、もっと簡単な方法があります

Karmic Lessons Are Good Teachers But There's An Easier Way

カルマの輪を降りる唯一の方法があります。それは、あらゆる瞬間に幸せになると選択することです。そうすることで、すべてのカルマを根絶します。過去に発生したと思われる事実罪悪感を感じるなら、マインドは間違いを抱えています。その間違いを解消すべく、あなたは転生のサイクルをもう一回繰り返り、その途中で出会った人と同じ間違いをし、カルマの負債をもう一つ増やします。その終わらない輪から降りることを考えるとき、私たちは古いテクニックを探そう傾向があります。私たちは、自分を振り返りながらこう言います。「私は借金をすべてを支払わなければなりません（レッスンをすべて学ばなければいけません）。そうすれば自由になれます！」。しかし、それは終わりのないプロセスです。アインシュタインが言ったように、「問題は、それを作成したのと同じ意識には解決できない」のです。過去を修正する方法や、エラーを修正する方法を探しても、それは決してうまくいきません。イエスはあやまちを見ないようにと言いました。むしろ「あなたの目を、まっすぐに神に向けてください」。

今世で起きるドラマをすべて甘んじて受けるために、私たちは過去の人生で自分がしたことを考えます。それは興味深く、ときには役に立つゲームですが、カルマのゲームに過ぎません。私たちがカルマの輪から解放されるには、自分はすでに自由だと宣言する必要があります！自分の苦しみのために誰かを責めたり、または人々を修正したり、分離の考えに基づくカルマのゲームを始めるなら、物事は非常に素早く悪化するでしょう。「やめた！やめた！」と叫ぶときまで、それは続きます。ストップボタンを押せば、ゲームは終了です。

インスタントカルマが近づいています、それは水瓶座の時代には、普通のことです。不満を解放していない人たちにとって、新しい時代に生きることは困難に感じるでしょう。愛に満ちた考えだけを選ぶ人には、地球が天国になります。テレパシープールの中に放ったものは、自分の唯一の現実として返って来るのです。

第7章

ヒーリング

Healing

これは、『カルマのない時代：No Time for Karma』の第7章です。

代替ヒーリングについて書かれています。

西洋文明では、私たちが「間違っただけ」をしたかも知れない、または望ましいとは言えない状況を作り出したかも知れないと認めるのは、非常に不名誉だと考えられています。そのために、私たちは、自分の現実を作ることに人々と話し合うことが困難になります。何かにつけて、罪悪感が課されているように感じるのです。

人生のすべての経験を私たち自身が作ったのは事実ですが、宇宙的な眼で見れば、私たちは間違いを犯したことがないだけでなく、尽きぬ理解を深めるために刺激的でワクワクする旅をしているだけです。とは言え、現在の私たちは、数千年または数百万年前よりも、自分の進路を多少なりとも変えたいと思っています。

人が健康上またはその他の危機の真っ只中にあるとき、通常、宇宙的な視点について考えることはないでしょう。問題がどのようにして今ここに現れたのかなど、知りたくありません。どの人生でエラーを犯したかは気にならず、ただ、目の前の問題を解消したいだけです。実際、それは健全であり、状況の修正を可能にする見方でもあります。

マスターティーチャーたちは、自分の問題を分析しなさいとは教えませんでした。彼らは直接解決策に行くことを好みました。解決策には、問題やその原因を念頭に置くのではなく、私たちの存在の真実を念頭に置くことが含まれます。存在の自然な状態に反する状況を作り出し、それを維持するには、常に努力が必要であることを忘れないでください。つまり、不自然な状況を維持するためには、嫌悪感を常に再確認する必要があります。問題、または問題の原因への執着を解放すると（すべての原因は、自分の外側ではなく、頭の中にあります）、結果として、癒しが起きます。それが自然のやり方です。

この惑星には、マインドの力を向けることで解決できないものは何もありません。企業、組織、関係、および身体も、宇宙の法則が支配します。つまりそれらのものは、マスターたちが明

らかにした宇宙の原理を当てはめることで癒すことが可能です。社会の規則に従って物事を行おうとすると、私たちは壁にぶつかります。宇宙の法則を呼び覚まし、問題を解決することを選択すると、そこから先に進むことができます。

あなたが健康問題を抱えているなら、自分自身に自然の存在状態を体験することを許可していません。私たちの身体のすべての部分は、特別な注意を払う必要もなく、完全に機能するように設計されています。身体がそのように機能していないときに考えられる唯一の理由は、私たちが生命の力を窮屈に歪めていることです。それは自然な流れを遮断します。私たちの社会では、自分自身を収縮させる多くの機会があります。緊張とストレスを感じることを自分に許すと、現実のすべては、静脈の血流から人間関係、お金と個人的な自由に至るまで、制限を経験します。

病気の原因

The Cause of Dis-ease

病気には、明確な原因がいくつかあります。原因が何であれ、それは魂の成長の機会と見なすことができます。ざっくり説明すれば、体、マインド、または出来事に不調を抱える理由は、たった2つです。それは意識的な選択によるか、もしくは信念体系の誤りによって引き起こされます。

まず、意識的な選択について説明しましょう。これは、転生前の選択によって作られたもので、カルマ的なコミットメントとしての「条件」と同じで、人生で選択の余地のない特徴として現れます。つまり、身体、肌の色と同様、身体的および精神的なハンディキャップなどは、意識的なカルマの選択です。肉体を持つ以前、私たちは自分のガイダンスカウンセラーと話し、生涯を通じてハンディキャップを克服することで、もっとも適切な魂の成長がもたらされるよう設計したかも知れません。制限を克服することは、魂の成長の旅路においては普遍的な課題であり、誰もが常に直面していると言えますが、アーススクールの生徒の中には身体的障害、もしくは遺伝的欠陥を自分のリマインダーとして選ぶ魂がいます。このような問題は、少なくとも私たちの

五感レベルの観点から見れば、人生で滅多に「癒される」ことはありません。しかし、彼らが物理的次元を離れたあとの様子を調査すると、非障害者の仲間たちよりも、魂の面ではるかに進歩していることがわかりました。このシステムは、ある意味、非常に便利なのです。ハンディキャップは悲劇ではありません。それは、通常、アーススクールでの教育課程を早く修了することを望む魂によってなされた、賢明な選択なのです。

精神遅滞や自閉症もカルマの選択です。彼らも生まれる前に、優れた教育ツールを意識的に使うと選択したのです。これらのハンディキャップは、先に挙げた2つの病気の理由のいずれかに該当する場合があります。まず、前回の転生が非常にトラウマ的なものだった場合、意識的な選択の結果として、強烈な否定の感情が現れ、自閉症、つまり「明かりはついているが誰も家がない」ようになる可能性があります。自閉症児の過去の転生をスピリチュアルに調べると、耐え難いトラウマが判明することはよくあるのです。あるケースでは、子どもがトラウマをできるだけ正確に再現した劇を見ることを余儀なくされたとき、感情的な反応が生まれ、それからすぐに愛やセラピーにも反応を示すようになり、最終的には通常の生活に戻りました。

精神遅滞はまた、知性の気晴らしに邪魔をされないための驚くほど簡単な方法にもなります。カルマ的に言えば、精神遅滞した個人は、魂のレベルでは知性に夢中になっているのです。それは、知識や情報を過度に重視する知性のパターンを破り、愛と育みにフォーカスする方法です。繰り返しになりますが、このシステムは非常に便利なのです。

今日、地球上でもっとも賢明な存在の中には、私たちが精神遅延と呼ぶタイプの人たちがいます。それは知性のトラップを回避するための素晴らしい方法であり、愛と思いやりだけに集中する素晴らしい経験なのです。彼らは教育システムやウォール街に気を取られることはありません。精神遅滞は、身体障害と同じく、カルマの収支を非常にスピーディに調整します。過去の転生で、あまりにもマインドに寄り過ぎたと思った場合は、精神障害という選択をすることで、うまくバランスを取ることができます。

統合失調症も、精神遅滞と同様、私たちの五感的な判断では不幸だと思われがちですが、スピリチュアル的には非常に悟った状態です。

病気になる一般的な原因のもう一つは、私たちがこの人生で身に着けた信念体系の誤りに関係しています。人間はお互いに切り離された状態で、自分が他の誰かや外的条件の犠牲者だと信じる時、私たちはしばしば、その問題に非常に多くのエネルギーを向けてしまいます。誰かのお尻の痛みによって、自分が痔になったと信じるようなものです。宇宙の法則は、マインドの中にある思考が外の世界に現れると述べています。その概念を理解すると、誰かに承認を与えたり、相手が正しくて自分が間違っていると認めたりすることは、許しとは何の関係もないことわかります。許しとは、誰かが私たちにやったこと（そのようなことは宇宙では不可能）に対する怒りと恨みを解放し、健康を大切にすると宣言することです。ルイズ・ヘイ（※アメリカのセルフヘルプ作家。スピリチュアル系も扱う出版社ヘイハウスの創設者として有名）の『ヒール・ユア・ボディ』のような本は、思考と身体の状態との関係を理解するのに非常に役立ちます。

ここで、遺伝と社会的条件付けについて見ていきましょう。遺伝とは、客観的な現実ではありません。両親の持つ病気に罹らない人は沢山います。したがって、科学的な観点からは、親の遺伝子が子孫の健康状態を保証するものではないことがわかります。しかし、信念の強化は、私たちの物理的現実に影響を与えます。親や家族の予測、期待、恐れを、その子どもも同じように発達させます。そのようなことが続いた場合にどうなるかを理解していなければ、いざ、子どもが親の病気にかかると、心にも体にも、壊滅的な影響を与える可能性があります。マインドの中の思考に感情が伴うとき、物理的な現実を作り出されます。

病気はまた、私たちの感情的なニーズを満たし、報酬を得るための方法にもなります。私の祖父が亡くなったあと、祖母は孤独にかられて病気になりました。そのおかげで、孫たちはグラミー賞授賞式が放映される夜になると、気分がすぐれない彼女の家で過ごす役割を与えられました。私たちの社会は、病気に対して素早く報酬を与えます。病気の子どもたちは、学校に行かず、家にいます。良いご褒美です。

高齢者は、この報酬システムを利用して愛を得ることがあります。幼児を抱えるワーキングマザーに、ある老人ホームがチャイルドケアを提供したところ、居住者ははるかに健康になったそうです。

病気に対する恐怖や病気がもたらす影響を考えることにとらわれると、問題の解決策ではなく、問題そのものに注意を向け続けてしまいます。そのようなときに恐怖に対応する方法は、起こり得る最悪の事態を含むファンタジーを作成することです。死とは、単なるブギーマンです（※子どもたちが信じている伝説上の幽霊、または怪物）。想像の中で、私たちは死に至る病気のシナリオを作ることができます。瞑想をすると、亡くなった人と再会したり、自分が死ぬ間際や、光に還る旅路を観察できます。そのとき、あなたはこう言うでしょう。「ああ、死ぬのはそれほど悪いことではないかも知れない」。私たちの抵抗感がなくなれば、死によって脅かされることもはるかに少なくなります。

現在、慢性的な病気や病気を経験している場合、それを克服しないとどうなるか自分自身に問うべきです。残りの人生をずっと関節炎とともに暮らさなければならなかったら、どうしますか？ 運動選手の夢をあきらめて、歌を追求する必要があるかも知れません。けれども、よいニュースがあります。人間は常に代替案を見つけることができるのです。病気が私たちの生活の中に残すのは、恐怖だけです。病気や人間関係にまつわる恐怖を完全に解放すると、あらゆる原因が消え、奇跡的な癒しが生まれます。しかし実際には、それはまったく奇跡的ではありません。私たちは考えを変えるだけですが、自分の視点を変えるとき、人生そのものの眺めが変わるのです。

慢性疾患や生命が脅かされている場合は、心と体を変える本を読んでください。本は地元の書店ですぐに入手できます。カール・サイモントン O. Carl Simonton、ラリー・ドーシー Larry D ossey、バーニー・シーゲル Bernie Siegel、ディーパック・チョプラ Deepak Chopra、ノーマン・シェリー Norman Sheally（そして、その他すべての医師）などの著者は、あなたの人生を永遠に変えることができます。

死についての言葉

A Word About Death

死は避けられません。遅かれ早かれ、誰もがこの現実の平面を去ります。死は、私たちの社会では他のどんな話題よりも、否定的に受け止められます。人生に関するあらゆる領域で、私たちは問題に対処するための教育を提供します。しかし死の領域に関しては、否定な見方が社会的に普及しているだけでなく、そのような見方を期待されています。死を否定的に受け取らない場合、それらは通常、虚無的であるか、「個人の意見」だと見なされます。地球上のライトワーカーである私たちの仕事の一つは、死と呼ばれる移行のプロセスから、恐怖のベールを取り除くことです。

現代の科学者たちは、死について壮大な研究をいくつか行ってきました。エリザベス・キューブラー・ロス Elizabeth Kubler-Ross、レイモンド・ムーディ Raymond Moody、ケネス・リング Kenneth Ring、その他、数十人の医師が、臨死体験と呼ばれる経験をした何千人もの情報を集めてきました。蘇生する前に、一旦、医学的に死んだ人たちの経験は、どれも類似点があり、それは転生を記憶する人間の経験とも似ています。私たち一人ひとりには、人生でさまざまにユニークな経験がありますが、そこには多くの共通点もあります。空を飛べない肉体を持ち、人間関係を作ることなどは、生き物にとって共通の経験です。そして、死に際して、愛、受容、光、平和、喜びの圧倒的な感覚があるという証言も、私たちの身体に指やつま先があるのと同じくらい一般的です。どの宗教に属していたとしても、死の体験自体は、その宗教とはほとんど関係がありません。それは死と呼ばれる光の体験で、味わった人は二度と死を恐れなくなります。彼らはそれを楽しみにすら思うようになります。すべての人間が彼らのメッセージを理解すれば、病気に対する人類の抵抗の90%が消えます。抵抗するものは持続し、抵抗しなければ持続もしません。

私は母の死のベッドに立ち合ったとき、自分がより大きな現実に同期することを許可しました。それから、彼女に罪悪感なしに去る許可を与えました。誰かが死に近づいているとき、これはとても役立ちます。私は彼女に、父は大丈夫であり、旅立つ彼女に取り残されてしまうと腹を立てないだろうと言いました。そして、そこにて、彼女や彼女の父親、その他、先に向こう側に行った友人たちを受信するのを待っていました。私は彼女の身に起きることに、本当に興奮していたのです。やがて、彼女は恐れることなく去りました。翌日の午後、夕食の準備ができたとき、私は父に「まず瞑想しましょう」と言いました。こんなことは、今まで言ったことはありません。

せんでした。彼は頑固な不可知論者だったのです。しかし、彼は落ち着いた様子で、私の提案に賛成しました。リラクゼーションのために、10から1までカウントダウンをしていると、彼はお気に入りの冒とく的な感嘆詞、「聖なるピンクのヒキガエル預言者！」（※”Holy pink toad prophet!”、オーマイゴッドの別バージョン）と叫びました。瞑想が終わると、彼は急に立ち上がり、こう言いました。「彼女が話した、彼女が話した、彼女はこういったんだ。”私はここでとても幸せよ、ダーリン！”」。以来、父は自分の死を恐れることもなくなりました。

父の死が急速に近づいていたとき、彼は一連の夢を見ましたが、その内容を決して私や兄弟姉妹には言いませんでした。彼に聞けば、こう言ったでしょう。「それが本当なら、素晴らし過ぎる」。死とは、癒しです。

さて、ここで私がオクラホマ州立大学の教師であった1986年に書いたニュースレターの一部を紹介したいと思います。

昨年11月、私はタルサの仲間と、テキサス州デントンから来た友人グループと一緒に、ミズーリ州グリーンウッドフォレストのセミナーに行きました。それは私にとってエネルギーが再活性化される経験でした。当時、私は自分の視点を高める必要があったのです。グリーンウッドフォレストは、ケン・キャリー（※Ken Carey、アメリカのスピリチュアルティーチャー。スターシード本で有名）によるプロジェクトです。その森は広く、ケンの絶え間ない努力によって、紙パルプになることから救われた1000エーカーの宇宙の平和です。ケンは、『スターシード・トランスミッション』、『ビジョン』、『テラ・クリスタ』など、何冊かの本を書いています。そこで彼とパートナーのシェリーは、セミナーを主催しています。この経験は、新しい時代のエネルギーを作り出す次のステップとして素晴らしいものでした。宇宙意識がますます顕在化し、目覚めた者たちがクローゼットから出てくるのを見るのは壮大でした。

グリーンウッドフォレストでの時間について話したかったのは、二つの理由があります。一つには、アールとマージがそこにいたということです。二人の非常に賢明な地球

人です。アールは約10～12年ほど前にがんにかかりました。それ以降の人生は、彼が過ごした多くの転生の中でも、もっとも驚くべき素晴らしい時間になりました。

地球上で、私たちがマスターの道を習得する上で、唯一の本当の進化は、痛み、または十分な量の不快感がある場合にのみ起きるようです。それがこの学校のやり方であり、私たちは地球行きの飛行機に乗る前に知っていました。そのやり方があるからこそ、魂の成長を迅速に行うことができる宇宙で唯一の学校なのです。確かに、学習過程は地獄のように遅い時もありますが、それは宇宙における魂の急速な成長という見方を否定するものではありません。

アールの話に戻しましょう。アールは故郷でワークショップの週末を過ごしたあと、自分の窮状に関するチャネリング情報が知りたくて、一年ほど前に私のもとに来ました。彼のために得た情報は、少なくとも私にとっては興奮するものでした。なぜなら、それはアールの人生の目的を示し、コミットメントがあれば、人間の魂がいかに大きな進化を遂げるかを示していたからです。受け取るのに1時間以上かかった内容を要約しましょう。まず、アールのマインドがどのように機能するかを調べ、ヒーリングを阻害するものがないかを確認しました。彼は本や教師にあたって、マインドコントロールについて勉強しました。彼の医師は心弛緩薬（MDMA）を処方し、アールは病気を寛解させましたが、寛解期が終わるとほとんど進展がなく、痛みが戻るたびに、彼は自分の思考をコントロールしなくてはなりませんでした。アールは、彼の決意と探求心を通じて、この一年間で、三回分の転生で行われるはずの仕事量を達成したことがわかりました。彼は、がんを「永久に」抑制していないにせよ、マインドこそが現実のマスターであるという理解を常に持っていました。アールは、いかなる病気を経験する必要もない人物でした。わざわざ病気になったのは、彼自身が学び、成長することを意識的に選択したからであり、当初の計画よりも数年長く肉体に留まりながら、三回分の転生に匹敵するスピリチュアルな仕事をしたのです。アールは三週間前に亡くなりました。がんだと思いますか？いいえ、彼の心臓は、彼がここを去りたいという願望を表明したあとで、自然に止まったのです。彼は日曜日に家族と一緒に過ごし、全員から同意をもらおうと、火曜日に去りました。

次の金曜日と土曜日に、妻のマージとその息子と私、そして友人たちは、アールと話しました。この美しいストーリーの後半は、意識的に死ぬということについてです。

目覚めた人間に、死の過程の素晴らしさを言葉で伝えることは不可能です。アールは何度も私たちに「意識的に死ぬように人々に伝えてください」と求めました。ですから、ここで伝えています。移行プロセスに関する資料はたくさんありますが、アールによれば、それはこれから起こることを事前に知るには十分なほど正確だと言いました。移行プロセスに入るときは、意識し、目覚めているようにと彼は言いました。そして、向こう側に達するには、遅れる人や無意識の人もありますが、だいたいは時間がかかるものであると。サイキックな気づきにより、向こう側の世界を下見しておけば、実際の瞬間にも意識的に目覚めることができますから、貴重な体験の瞬間を見逃しません。「もちろん比喩的に言えば、私は全速力で走りながら壁にぶつかったようなものだけだね」と、アールは笑いました。

アールの物語の中で、非常に重要なのはマージです。彼らは一緒にいることで、死への恐れを取り除いたからです。私たちが意識的な存在である場合、恐れにしがみつくのはまったく正当化されません。彼らは、ある人が別の人を助けることで、簡単にレベルを変える方法についても話しました。火曜日にアールが病院に行ったのは、彼よりもマージのためだったと思います。病院のベッドの横で、マージは彼に話しかけました。彼女の心は、彼と一緒にベールを超え、彼女は彼の目となり、彼を感じるかも知れないあらゆる不安を察知し、落ち着かせました。彼女はそこにいた彼の友人たちに、彼女が見た色や、平和の感覚について話し、彼の手を握りました。看護師が胸部に聴診器を当て、臨終を告げたとき、マージは振り返って、「ついにやったわ！あなたは、いにやったのよ！」と叫びました。部屋に入ってきたばかりの病院の牧師は、この未亡人が、どうしてチームの大勝を祝う高校のチアリーダーのように振る舞っているのか、さっぱりわからないようでした。しかし、アールとマージの二人にとっては、ごく自然なことだったのでした。

アール、私は残された人類とともに、あなたがなした人類への貢献に心から感謝します。おかげさまで、これからの地球はもう少し美しくなるでしょう。

私たちの惑星地球の展望は、間違いなく壮大で、息をのむほど楽しくスリリングで、概して素晴らしいものになります。メンタルレベルに目を向けると、そこにはすでに未来のひな型があり、水瓶座の時代の不思議を感じます。それは、愛の時代です。しかし、そのひな型が「現実」になるまでに、私たちにはやるべきことがたくさんあります。移行の守り手となるボランティアチームの一員であるあなたには、2つの仕事を抱えていました。最初の仕事は、ここにいることでした。あなたは意識とオーラのエネルギーによって、惑星地球のグループ意識に多大な貢献をしてきました。あなたは愛と平和を広め、戦争や汚染、その他の恐怖や憎悪による惑星消滅がないことを確実にするレベルまで引き上げましたね。今や、最初の作業を完了させ、あなたは次の作業に移ります。今後20年間に私たちが乗り越えるべきことは、たくさんあります。向こう側へ渡った今も、あなたは惑星の賢者です。まだ理解に至らない人たちが快適に過ごせるよう、あなたは安定した理解者でいなければなりません。そして何よりも、あなたには教える必要があります。この素晴らしい新時代のはじまりにここにいることを選択した人は、賢い教師がいると保証されなければ、決して来なかったでしょう。現在、新入生は大忙しです。あなたは、あなたの理解の全範囲を彼らが利用できるようにしなければなりません。表現方法を変更する必要はありません。ただ、これから新入生がますます増えると覚悟しててください。自分で新入生だと気づいていない場合もあります。大胆に、あなた自身を分け与えてください。あなたは、新しいプラネットアースの創設者です。

死を恐れることは、神を恐れることです。宇宙は友好的ではなく、私たちの味方でもないと信じるのと同じです。私たちがこの学校でライトワーカーになるのであれば、生命の無限の連続性に関する直感的な真実を、仲間と共有しなければなりません。死とは、人類の史上最大の恐怖ですが、地上に真の平和が築かれる前の、単なる幻影に過ぎないのです。

密なテレパシープールでの癒し

Healing In a Dense Telepathic Pool

どのような方法を用いようと、癒しの技とは、神が何かをすることではありません。そうではなく、私たちがドアを開くことを学ぶのです。これまでの時代は、地球に住む誰かが物理法則に逆らったり、物体を浮揚、または顕現させたり、悪性腫瘍を即座に溶解させたりすることは、不可能ではないにしても、常に困難でした。密度に没入しながら、そのようなことを行うのは、非常に困難なのです。密度とは、恐怖、疑い、怒りなどで構成される思考エネルギーのテレパシープールにつけられた別名です。密度に浸りながら、死者を蘇らせる力を発揮するのは、身体を濡らすことなく大西洋を泳いで横断するのと同様、もはや手品の世界です。けれども、現在何千人もの魂が十分に悟りを開き、より喜びに満ちた環境に進むべく、アーススクールを卒業する準備ができています。彼らは、「ヒーラー」になるほど密度の世界をマスターする必要性もありません。

水瓶座の時代のエネルギーがより強力になるにつれ、地球上の人々の意識は上昇しています。現在は、過去のどの時代よりも、人にも環境にも優しくありたいと望む魂が転生する割合が高くなりました。したがって、テレパシープールの思考にも、恐れや防御の度合いは低く、密度の重さはずいぶん軽くなっています。密度が軽くなるほど、私たちは宇宙の通常意識である愛に触れやすくなります。その傾向は、時間が経つにつれて進みますから、先月や昨年と比べて、私たちはますます「奇跡」を実行する可能性が高くなっています。今や「ベール」は薄いのです。

密度における変化のため、10年、15年、または20年前に有効だったヒーリングは、今では効果を発揮しない可能性があります。うまくいかないのは、必ずしもあなたのせいではありません。かつて、何かを顕現させようとしたり、誰かを癒そうとしたりして、それがうまくいかない場合、自分が十分スピリチュアルではないからだと責める傾向がありました。しかし、実際に問題となっていたのは、あなたではなく、世界の密度でした。今日の意識レベルで再び同じことを試みれば、きっと成功するでしょう。今や私たちは個人的に進化し、より緊密にテレパシーでつながり合うようになっています。

癒しの力を練習する時が来ました。惑星遷移チームの私たちは、ソースと深いつながりを持つグループですから、ドラマチックなヒーリングを行うことができます。何より大切なのは、奇跡を行うのは難しいという信念を手放すことです。私たちはこの社会で、難しい癒しと簡単な癒しがあるかのようにプログラミングされています。しかし、それは古い価値判断の残骸に過ぎません。あなたの価値観の中に、自分には行えないと判断を下した事柄があるだけです。たとえば、夜、家に帰って瞑想すれば、職場の人々の頭痛を取り除き、調和をもたらすことができるとあなたが信じていたとしても、がんの治療が得意だとは思わないでしょう。それはあなたができないのではなく、がんは他の病気よりも治癒が難しいと信じているからです。しかし、その考えは真実とは違います。すべての癒しは、平等な変化です。今すぐ戻って、これまで出来なかったことを再度やってみると、あなたは自分の力を発見し、独自のヒーリングを見つけるでしょう。

癒しと自我

Healing and the Ego

癒しの領域には、エゴの気晴らしになりそうなことがたくさんあります。修正と治癒には、大きな違いがあります。エゴはこう言います。「あなたのそのばかげた病気を、私に見せて欲しくありません。絶望的な気分になります」。一方、癒しはこう伝えます。「あなたはキリストです！ あなたのくだらない考えは役に立ちません。病気とは真実ではなく、必ずしも存在する必要はないと知っていますか？」。そのようにして、イエスは人々を癒しました。彼は決して「ああ、これは難しいぞ！」などと言いませんでした。彼はすべての人間の中にキリストを見ました。そして、個人の完全な変容のために必要なのはそれだけです。イエスは、「まず最初に、あなたが5歳だった頃のことや、お母さんとどんな関係だったかを見てみましょう」などと言ったことはありません。それらは関係ないと知っていたからです。彼が尋ねたのは、ただ一つ、次のようなことでした。「私がこれを行うことができると、あなたは信じますか？」。もし彼らが「はい、マスター、私は信じます」と答えたら、それですべてが終わります。一部に伝えられる話では、イエスが試みたヒーリングの半分以上はうまく機能しなかったとされています。人々が彼の提

供するものを受け取りたくない場合、イエスでさえも、その意志に違反することはできなかったのです。

病気でいる必要性が、自由になる必要性よりも高い場合、病気を維持できます。私たちは意識的に生き、社会に存在する報酬システムを認識しなければなりません。真実を言えば、不治の病などというものはありません。マスターティーチャーたちはみな、完璧な健康を達成するためのもっとも便利な方法を教えてきました。彼ら全員がこの地球上で、テレパシー的なつながりを介して私たちに変更できないものは何も存在しないと、まさに満場一致で同意しています。

癒しとカルマ

Healing and Karma

ワークショップでよく聞かれる質問は、「誰かを癒すと、自分のカルマに干渉しないのですか？もし彼らが病気を学びの道具として選んだのなら、それを取り除くのは悪いことではないでしょうか？」というものです。答えはいくつかのレイヤーに別れます。まず、いかなる高位の神でも、誰かのカルマに干渉することはできません。カルマは選択です。それは自由意志の表現の一つです。カルマに違反することはできません。そこに不正はなく、被害者もいません。愛情のこもった意図の犠牲になるのは不可能です。それから、関わる二人の人間は決して切り離されていません。癒し手と、癒される患者という区別はないのです。すべてのマインドは一つで、すべてのハートは一つだからです。ワンネスが癒すのです。分離からはストレスが生まれます。全体から分離しているのは、通常の状態ではないのです。三次元の時間と空間はホログラムであり、悲劇だろうと、牧歌的な美しさだろうと、現実のこの平面上で私たちは何も見ません。鏡の中の自分を癒すわけではありません。何を癒すと思いますか？私たちの認識のみです。

あなたが誰かにヒーリングを提供し、相手がかそれを受け入れるなら、その人はカルマをバイパスする準備がすでにできていたということです。時間を節約するために他人を助ける人は、救世主と呼ばれます。

癒し、愛、許しにまつわるすべての捧げ物は役に立ちます。愛に危害はありません。誰かが発したすべてのポジティブな考えや感情は、テレパシープールのバイブレーションレベルを上昇させます。テレパシープールを癒すことは、そこにつながるすべて、地球、人間、そして宇宙を癒すことです。

特定の状況に関わるべきかどうか、どうすればわかりますか？ 私たちが目にするものはすべて鏡なので、この世界で私たちの注意を引くものすべては、私たちの注意を向けてもらいたがっている自分自身の側面です。私たちの目を引く不快なものはすべて、私たちに誤った信念を解放させ、神の視点で見ることを促しています。それが癒しとなるからです。インドに行って、空腹に苦しむ人や、虐待された子どもたち、または通りで事故が起こっているのを目にするなら、それは理由があって現れたと言えます。私たちは、真実において機能する必要があります。悲劇を信じることは、真実とは一致しません。子どもが虐待を受けるのは悪いことだというイメージを持つと、別の子どもも同じ扱いを受けます。そのような状況を認識した時、間違いを正す方法をマスターたちは教えてくれました。「あなたがたのために、互いに祈りなさい」。

アーススクールのカリキュラムに自発的に参加したすべての魂は、ある程度の痛み、闘争、不安、恐れ、疑い、そして罪悪感を抱くためにサインアップしました。例外はありません。地球に入ってくる人は誰でも、感情的、心理的、肉体的に虐待された子どもです。パトリシア・サンの言葉が好きです。「地球上で大人に育てられた人は、いまだかつていません」。不正を探しているなら、目を開けてください。あなたが最初に目にする人は、ここで虐待を受けている個人の完璧な例です。彼らは、前回、肉体を離れハイヤーセルフとつながった時、その無限の智慧において、次の転生で何をすべきか知っていました。2歳のときに残忍な暴力で死ぬか、それとも95歳のときに「自然な」原因で死ぬかは問題ではありません。それは真実とは何の関係もありません。しかし、成長のどの時点であれ、彼らがあなたの意識にのぼるなら、それはあなたが、彼らの役に立てる可能性があるということです。

癒しは時間を節約する

Healing Saves Time

『奇跡のコース』は、悲劇は存在しないと教えます。何か悲劇があるように見えたなら、それは「時間の遅れ」だと言います。宇宙の中で密度の濃い領域に旅立つ前に、私たちは神の心を持ち、神のように考えていました。私たちは、痛みはなく、存在する可能性もと知っていました。このアーススクールを修了し、再び自然な状態に戻ると、私たちはまた神のように考えます。かつて痛みがない場所にいたと、私たちは本能的に知っています。そこには貧困もなく、神ではない考えも存在しません。魂が悲劇を信じなければならぬ唯一の機会、時間旅行中に起こります。痛みを経験していると感じる唯一の機会、彼らが時間の遅れにとらわれているときなのです。

誰かを人生の危機から助けることは、彼らから見えなくなったいる、神であるという記憶をともに分け合うことです。あなたがヒーリングを提供する場合、時間が短縮されるだけで、レッスン自体が回避されることはありません。テレパシーを通じて送られる洞察や理解は、癒しをもたらします。自力ですべての経験を修了した場合と、まったく同じ洞察や理解をもたらすのです。そのように、癒しは時間を節約します。

痛みとは成長であり、魂が癒しを求めているサイン

Pain Is Growth. Pain Is the Soul's Request For Healing

私たちは、誰かの成長の機会を奪うことに興味はありませんが（そもそも不可能です）、彼らの学習を助けたいと願っています。したがって、私たちの機能は、救うことから、手助けをすることに移ります。助けは、常に意識のレベルで作用します。腕が骨折しているときに、腕を固定することに効果がないと言っているのではありません。福木を使用せずに腕を癒すための十分

な意識があると思うなら、ぜひそうしてみてください！ イエスはおそらく副木やギブスを使ったことはなかったでしょうが、自分の能力のレベルは理解していました。

頭痛を治癒するプロセスを理解していないなら、アスピリンを服用することは十分意識的です。どちらも不快感の解消が目的だからです。誰かの身に異変が起きていることに気づいたら、最初にするのは医者に連れて行くのが実質的です。医師は身体レベルのみの治療を扱い、本当に何を癒すかわかっていないしてもです。従来の医学は、時間の節約に貢献します。それによって、卒業までに必要な転生の数も減らすことができます。素晴らしい贈り物なのです。

ある危機的状況において私たちにわかる唯一のことは、間違えることはないと知りながら、そこに介入し、先に進むことです。その行動が自我（または恐怖、絶望など）に動機づけられる場合、カルマの揺り戻しが少々発生するかも知れませんが、害はありません。行動することで、痛みと苦しみが和らぐと信じるなら、私たちは先へ進むことができます。しかし、痛みとは悪いものである、間違っている、または不公平であるとジャッジしたくなる誘惑に負けないでください。私たちの有用性は、思考のポジティブさに比例します。あなたが誰かをジャッジするなら、虐待を受けた子どもや虐待者に光と愛を送ることはできません。私たちはガイダンスにおいて助けを求めるべきです。必要なのは愛と平和であり、ジャッジメントではありません。私たちは、虐待者を罰することに興味はありません。興味があるのは、癒しです。瞑想や同様の儀式を行う人なら、客観的になることに慣れていると思います。子ども、両親、ソーシャルワーカーを取り巻く愛のエネルギーを視覚化してください。その力は、ベルリンの壁すら崩壊させます。何か不思議なことが起こるのです。宇宙の法則に従って介入すれば、その子の道は緩和されるでしょう。1週間後に確認すると、親が治療に行くことを決めたとか、温かく愛情のある叔母がオハイオ州からやって来るとか、その他の「奇跡」が起こっているかも知れません。

誰かが人生で困難を経験しているとき、私たちはヒーリングをサポートすることができます。家に帰って、まぶしい白色の光を放つスピリチュアルな懐中電灯を取り出し、彼らを光に浸します。彼らのために真実を見てください。たとえ明らかであっても、私たちは「あなたが考え方を変えるべきです！」などと言う必要はありません。事故で車が壊されたばかりの人に近づいて、「この状況はあなたが作ったのです！」と言っても、特に役に立たないでしょう。すべてのマ

スターティーチャーが私たちに伝えた方法を利用する方が、はるかに賢明です。テレパシーを使い、自我の防御を迂回してください。

「大きな全体像」を思い出す

Remember the Bigger Picture

この次元に何かを現実化するには、二つの方法しかありません。魂のレベルでは、学ぶべきレッスンを現実化させます。意識のレベルでは、思考や感情の反映を現実化させます。しかし、問題を引き起こした人に、その現実化プロセスを説明する必要はありません。転んで膝を擦りむいた3歳の子どもにするように、彼を愛し、ハグし、抱きしめるだけです。歩道が膝よりも硬いのはなぜか、あるいは神とは善か悪かを説明する責任は私たちにはあると思いますか？むしろ、子ども温かいミルクとクッキーがあった方が嬉しいでしょうし、それに少々あやしてもらいたいと思うでしょう。そうすれば、すっかり気分がよくなって、また遊びに出かけます。

私たちの唯一の責任は、マインドの力を向けてヒーリングを提供し、邪魔にならないようにすることです。問題を見つけた場合、その原因と解決策について考えるかも知れませんが、たいていその考えは間違っています。正確な評価を行うには、個人のカルマの歴史全体と、カルマの将来を知る必要があるのです。身体の中にいる間は、普通、そのような見方はしません。私たちは単にその人をマインドに呼び出し、あなたの役に立つことが私たちの望みであると述べます。すると、ガイダンスは何をすべきか手がかりをくれます。たとえば、「ハーモニー」や「強さ」のような短い言葉が頭に浮かぶかもしれません。よくわからなかったら、ただ純粋な白い光を送ることを選択してください。光は存在の自然な状態を促進するエネルギーです。

私たちは他の人に提供する癒しについて、何も期待すべきではありません。それが起きるタイミングは、決して私たちにまかされていません。私たちは祈りを捧げた直後に、振り向いて「うまくいったか？ うまくいったか？ もう一度電話した方がいい。もう気分がよくなったか聞いてみよう」と尋ねる傾向があります。治癒は相手の受容性に依存しているので、そのように考えていれば確実に失望します。しかし、助けになりたいという私たちの欲求は、決して無駄になりま

せん。この宇宙では、相手が受け入れない治癒を与えることは不可能なのです。うまくいかなかったと思うなら、それは私たちが自分の力を頼り、神の慈悲深い力を信じないからです。神はすべての祈りが叶えられると見ています。場合によっては、治癒に対する肯定的な感想をもらっても、役に立ちません。それが実際に機能した場合は、驚きでマインドが吹き飛ぶかも知れません。自分がヒーラーにふさわしいとは信じない場合でも、宇宙は私たちのコミットメントに逆らいません。しかし、たいていの場合、ポジティブな感想をもらえば、自分がヒーラーであるという決心を強めます。宇宙にポジティブなフィードバックを求めることもできます。そうやって私たちは、自信を育てることができるのです。

癒しとサイキック能力

Healing and Psychic Ability

あなたがドロップイン、または高度に進化したアーススクールの12年生であれば、非常に発達したサイキック能力を持っています。サイキック能力を、直感的な機能、瞑想または祈りと呼ぼうと、それは問題ではありません。情報収集や治癒にサイキックツールを使用しないことは、人生を乗り切るために片目、片耳、片足しか必要ないと決めつけるようなものです。無限の存在としての役割を果たすことはできません。

私たちは誰もが、それぞれ異なる方法で直感的な情報を受け取っています。決まったルールはありません。視覚化する人もいれば、直感的に知る人もいます。また、ある人は共感者であり、文字通り全身ですべてを感じます。無限の知性にアクセスする手段を持たないまま地球に放り出される人は、誰一人としていません。私たちは、独自のチューニング方法を持っています。スピリットと見つけるために週72時間の蓮華座が必要だと書かれた本は、12年生用ではありません。宇宙とのつながりが確かであれば、あとは問題ないのです。多くの人が、運転中やハイキング

中にひらめきと洞察を得ます。空想は、単に古い思考パターンを再生するだけでなければ、素晴らしい瞑想です。私たちの多くは子どもの頃に「空想をやめる」ように言われましたが、空想は決して時間の無駄ではありません。インスピレーションを受け取る素晴らしい方法です。有効活用し、空想を通じて新しい音楽、芸術、発明を受け取るよう頼むことができます。あるいは、通勤の途中に別次元の世界を見せてもらうこともできます。

私たちはサイキックな目と耳を、いつでもどこでも活性化できます。わざわざ瞑想用の椅子に座る必要はありません。食料品店（あなたの助けを必要とする人に出くわす可能性が高い場所）にいる間、耳を傾ける選択をするかも知れません。私たちが感じるものは何でも、特にそれが瞬間的なら、何らかの良い情報になっています。それは、あなたの呼び声への答えです。十分能力があると宇宙が確認しない限り、直感での奉仕を要求されることはありません。歴史を通じて優れた直感を持つ人は、預言者として知られてきました。司祭と預言者はあらゆる文明において互いに対立してきました。司祭は預言者によってもたらされた言葉を反響させるだけでした。司祭は王のために働き、養われていたのです。一方、預言者たちは、常に未来へのビジョンと夢を持っていました。彼らは王たちにはできないことができました。これから現れる出来事について語ることです。王たちは自分が無力だと見なされることを好まないの、預言者を追放したり、処刑したりしました。

今、これを読んでいる私たちはみな、他の転生で預言者であったので、そこに加わるのをためらっています。私たちは、火傷をしないよう炎から身をかわすように、潜在意識の中に恐れを抱えているのです。1990年代は、過去のいくつかの転生よりも、はるかに安全です。私たちは、心地よくサイキックな仕事をするための時間と場所を選ぶことができます。今回の転生でもビジョンについて誰かに話すと馬鹿にされるかもしれませんが、身の危険にさらされることはないでしょう。

神聖な場所

Sacred Place

私たちの中には、神聖な場所で癒しの技を行えば、はるかに効果があると信じる人もいます。したがって、私たちは地球上のすべてのエネルギーヴォルテックスの場所を探すのに非常に忙しくなります。実際は、自宅のリビングルームに神聖な場所を作成する方が簡単かつ有益です。子どもが「ひどく」振る舞い、部屋の隅で反省することを命じられると、その場所は彼にとって否定的なエネルギーのヴォルテックスになります。一方、私たちが非常にクリエイティブになっているときに、たとえばピアノを弾けば、その場所がポジティブなエネルギーのヴォルテックスになります。エジプトのピラミッドは、リビングルームのソファや浴槽と同じくらい神聖です。人間はどこにしようとエネルギーを変えることができる特性を持っています。マインドの力と感情を組み合わせると、特定の気分を作り出すことができます。世界中に独特の気分があります。最後にいたのが誰で、何のエネルギーかによって、場所のエネルギーは変わります。

妻のアンと私は、ニューメキシコに住んでいますが、それは私たちにとって非常に神聖に感じる土地です。ネイティブアメリカンインディアンにとっても、神聖な土地でした。土地のエネルギーを見ると、何世紀にも渡って人々が楽しんできた場所だと感じます。あまり多くの殺戮は起きていないようです。ある土地が特別であると知る上で、それは最大の手掛かりになります。ニューメキシコで今戦争が起きれば、そのエネルギーに更新されますから、もはや神聖とは感じなくなるでしょう。私たちの家は、宇宙船を地球の中心へ呼ぶためのヴォルテックスだと言われるフォーコーナーズから比較的近い場所にあります。宇宙船にとっては都合がいい場所なのだと思います。米国軍隊にはどうやら発見されていないので、彼らは平和に飛び回ることができます。何かが神聖であるかどうかは、それについて私たちが抱くエネルギーに完全に依存しています。

時間と空間の限られた概念は、エネルギーに関する限り適用されません。私たちは（癒すために）エネルギーの性質を変えることができます。特定のジュエリーに不快感を覚えるなら、それは私たちが知らない歴史を持つ可能性があります。瞑想している間それを手に持って、スピリチュアルな光を当ててください。それは文字通り、分子構造を再配置し、オブジェクトのエネルギーを上昇させます。あなたのバイブレーションを吸収すれば、素晴らしいお守りになるでしょう。

小さなジュエリーのエネルギーを変えることと、ミズーリ州全体を変えることには、違いはありません。宇宙は、「ちょっと待ってください！ 2平方マイル（※約5平方キロメートル）までしか扱えません！」とは言いません。宇宙は違いを知りませんし、まったく気にしません。あなたは、オフィスビル、食料品店、モール、または郵便局のエネルギーも変えることができます。マインドの力に制限はありません。

サイキック・カウンセリング

Psychic Counseling

治癒には、慎みと謙虚さへの意欲が必要です。肉体に備わる五感は、地球との魂の契約が何であるかを私たちに決して明らかにしません。私たちは、誰かの不快感を理解するために、物理的な判断を迂回して、サイキックな感覚を使わなければなりません。

サイキックカウンセラーは、魂のレベルで誰かに同期するたびに、宇宙の愛を感じ、理解を深めます。人々は、五感が優勢になり、人生に間違いが起きたと信じるときにのみ、カウンセリングを必要とします。人類のヘルパーとしての私たちの仕事は、地球と彼らの契約を調べ、彼らが登録したクラスを確認し、レッスンを簡単にする方法を示すことです。実のところ、私たちはみな、サイキックカウンセリングを実践しているので、大きな全体像にアクセスすれば、誰でも便利な解決法が豊富に見つかります。しかし、社会や家族には受け入れられない考え方ですから、私たちの多くはサイキックな能力を抑えつけてしまいます。ですから、再度、能力を表面化させると、文字通り酔っぱらったように、調子に乗ってしまうことがあります。それは非常に自由で解放的なものですが、少々謙虚なほうがいいでしょう。直感的な能力に目覚めている人々は、ときどき、人々のニーズを対して、自我に基づくジャッジをすることがあるからです。そして、大きな全体像とつながると、何が自分を修正してくれるのかはじめてわかるようになります。すべての修正は聖霊に属していると、『奇跡のコース』は言います。

サイキックな洞察

Some Psychic Insights

あるワークショップで、女性が話しかけました。彼女は施設に入っていた麻薬患者のように見えました。「私は統合失調症で、過去3年間は入院を繰り返しています」と語りました。私は、人々が自分の問題について話すときには、常に注意深く見守ります。なぜなら、彼らが話す誤った幻想は、あまり役に立たないからです。私は彼らの魂の契約に同期して、真実を探します。私がそうしている間、彼女は「あなたは私をどうすることもできず、何の答えもないと知っています。けれども、私はあなたに話しかけるのに非常に勇気が要りました。どうしてでしょうか？」。

そして私は、彼女から信じられないようなイメージを受け取りました。私たちの多くは、2〜3個、または10個の化身を同時に生きていますが、私はこの女性が地球上で同時に8つの肉体に住んでいるのを見ました。そして、彼女は、たまたま地球上の平均的な人よりもサイキックだったので、いつでも別の自分に同期することができました。私たちは、ある意味、誰もが統合失調症なのですが、それに気づくほどサイキックではありません。彼女は最大限の成長を望んでいたため、一度に一つの人生で満足するには生き急ぎ過ぎていました。けれども、その状態は最終的には莫大な量の智慧をもたらすだろうと言うと、彼女は、現時点での先が見えないのは非常に不安だと答えました。そこで私は彼女が約3年後には落ち着き、人類に思いやりを教えるようになるだろうと言うと、彼女はとても喜びました。

統合失調症には多くの原因が考えられますが、それをサイキックな病気と考えた場合、決して不治ではありません。魂は、無数の方法で自分自身を分割します。転生するとき、私たちの誰も全体的な自己を持ち込みません。男性や女性、知性など、ちょっとした仕事が必要な側面を取り入れています。互いに調和していないように見える魂の2つの側面を同時に取り入れた場合、統合失調症と呼ばれることがあります。あなたは座って統合失調症患者と心の中で会話し、彼らがなぜそのように来たのか、そして彼らの役に立つために何があなたにできるかを尋ねることができます。彼らが不快な方法で自分を分割していることに気づいた場合は、1日10分でいいですから

、彼らの存在のすべての部分に調和をイメージしてください。やがてその調和が見えるようになります。

従来の治療に必要な時間を劇的に削減（または削除）するには、感情的な治癒への多くのアプローチがあります。これがあなたにとって関心のある分野であるなら、ジェラルド・ジャンポルスキー（※Gerald Jampolsky、アメリカの医師。癒しについての本を多く書いた）、クリス・グリスコム（※Chris Griscom、心理的な遺伝を扱ったヒーラー）またはサンドラ・インガーマン（※Sandra Ingerman、シャーマンヒーラー）の本をいくつか読むことをお勧めします。

20年前、私は友人とともにシルバメソッドを受講しました。彼には当時82歳の母親がいました。医者が言うには、人類は老化に逆らうことはできないので、たとえ希望がなくても快適に過ごしていれば、先祖がえりをして自分を3歳児だと信じていても問題はないのだそうです。そのような訳ですから、シルバメソッドは私の友人にとって新鮮で、実用的だったのでしょう。彼はとても元気になったのです。彼はお気に入りの瞑想椅子に座り、1日10分、母親と心を通じて話し合うようにしました。彼は母親のイメージを呼び出し、「ママ、あなたはより強く、より健康で、より賢くなっています。あなたはブリッジ（※トランプゲームの一種）をするのが好きだったの覚えていますか？」。それから23日後、彼女は精神的な能力を完全に制御し、再びブリッジで遊ぶようになりました。通常なら30日以上かかるような変化を「1日10分」で起こすプロセスを私は他に知りません。

メンタルハサミを使って、正常に機能しなくなった体の部分を切り取ることができる素晴らしいヒーラーを知っています。彼女は「ああ、これはもう機能していないようです」と言いながら、チョキ、チョキ、チョキとカットしていきます。それから彼女はメンタル引き出しから新しい臓器を取り出し、小さなテープや接着剤を使って彼女のメンタル手術を行います。そうすると、素晴らしい変化がしばしば起こります。宇宙は人の役に立ちたいというあなたの意図を読み取るので、あなたが思いつく方法はなんであれうまく機能するでしょう。楽しんでください。あなたが神のためのチャンネルになりたいのであれば、サイキックヒーリングに失敗することはありません。

バーニー・シーゲルは、彼の著書『奇跡的治療とはなにか』の中で、マインドが持つ癒しの力について素晴らしいエピソードを語っています。何年も昏睡状態にあった女性の話です。彼がこの「無意識の」女性と話し、親としての責任からの解放されることに同意を与えると、それから数分以内に彼女は亡くなりました。彼は、麻酔下にあった患者と話したエピソードについても語っています。麻酔は催眠術とよく似ています。「無意識」の人へ提案をすると、身体は出血を止め、脈拍数と血圧を変更し、横ばいになった心電図が元に戻ることでさえあるのだそうです。マインドは、常に耳を傾けています。否定的な発言や落胆させる発言は、いかなる患者の耳元でも決して言うべきではありません。確かに、眠っている患者にポジティブなアファメーションを聞かせると、治療プロセスを劇的に加速させることができます。

時には、末期疾患や依存症など、伝統的に長期的な解決策しか確率されていない症状があります。これらの症状のエネルギーを見ると、グループ意識のテレパシープールは絶望感で満たされています。しかし、その状況も、現在急速に変化しています。ハードコアな麻薬中毒者とのみ連携するシルバメソッドのインストラクターがいますが、教室で40時間のトレーニングを終えると、元中毒者は禁断症状なしで自由に歩くことが出来るようになります。彼らは完全に若返り、生産的な人間になります。もし私たちが何らかの依存症を持っているなら、それは私たちの生活における古いカルマのパターンの名残です。カルマのパターンは、ハードワークによってではなく、信念体系（意識）を変えることによって変更されます。

食事を祝福する

Blessing Food

私たちは、食べる前に祝福するように言われています。意識が私たちの食事を変えるからです。私たちの手からエネルギーを食べ物に向けると、文字通り化学物質の構成が変わります。クッキープレートの側面に手を置いて、手にかかる光とエネルギーを視覚化し、そのエネルギーが神の本質であると認識した場合、クッキーはもっとも健康的な食品になります。

シルバメソッドの卒業生は、誰にでもできる簡単な実験をします。似たような見た目のトマトを二つ購入し、そのうちの一つを皿に載せて邪魔にならない場所に数週間置き、もう一つを自宅の瞑想スポットに置きます。いつもやるように瞑想をしたら、次に、両手の間にトマトを置き、片方の手からもう一方の手へと愛と光が流れるのをイメージし、そのまま10分間過ごします。このトマトを皿に置き、わかるように目印を付けたら、数週間置いておきます。1つは腐敗し、もう1つは脱水しますが、まだ食べられると思います。わかりますか？ マスターたちは、防腐剤についても知っていました。しかし彼らの「防腐剤」は体に優しく、体を癒すものなのです。

私たちが個人として必要とする食品は、栄養の本には載っていないかも知れません。私たちの身体は、それぞれカルマ的に調整されています。これまでの転生を通じて細胞が記憶した情報に条件づけられているのです。私たちの肉体は、物理的な道具以上のものです。それらは以前の転生の記憶が、物理的な領域に現れたものです。これは臨床的にも証明されています。多重人格を持ち、特定の食品に不耐性を示す人々は、それぞれの性格でアレルギーが変わることがあります。体をコントロールするのは信念体系です。どの食生活があなたのために働くかを決定するのは、あなたの細胞の記憶です。それは、栄養士や摂食障害、あるいはダイエット愛好家が言うことは、何の関係もありません。地球上でもっとも長生きした人々が暮らした文明では平均寿命が100年を超えますが、彼らは非常に野蛮なものを食べます。サトウキビを食べて生きる人たちもいます。いずれの場合にも共通なのは、彼らのライフスタイルには、ストレスの心配がないことです。

第8章

人間関係

Relationship

人間関係は、私たちにとって典型的なレッスンです。あなたがすべての生命との関係を理解していれば、この学習コースのすべてを理解したも同然です。地球がこれまでにあなたに教えようとしたすべては、自我から機能すること（分離しているという信念）と、ワンネスの違いについてです。人間関係は、アーススクールの卒業前に地球上で習得する最後のレッスンになります。

魚座の時代の終わりが近づくにつれ、人間関係はますます重要になってきていることがわかります。そのテーマについて書かれた本は数多くあります。水瓶座の時代が実際に始まる前に、困難で苦痛な関係を完成させなければならないからです。性の平等を認識し、広めることは、水

瓶座の時代が始まる前に必要なレッスンです。私たちが惑星遷移という大きなショーを続けたいなら、そうした問題が私たち全員の中ですでに解決したと宇宙が認識する必要があります。そのために何ができるでしょうか？

宇宙に存在する唯一の関係は、「すべては一つである」ということです。分離についての信念を解放し、一体性について知るレッスンは、さまざまな形で人生に現れます。あなたが植物学者なら、各細胞は全体として体を作るだけでなく、それ自体が生命であると気づくまで、何年もの間、研究を重ねるかも知れません。その経験を通じて、彼女は宇宙意識がいかにかを変えて現れるかの不思議に触れます。あなたが天文学者なら、宇宙のあらゆる部分は、秩序化され、相互に接続され、生きており、すべて同じものから作られているという究極の答えを見つけるかも知れません。それは知性であり、神だと。あなたが宇宙飛行士なら、母なる地球を見下ろし、この惑星は国や国境によって分断されているのではなく、全体でマインドと魂を持つガイアという生命体だと知るでしょう。私たちが人生のどのような領域に時間とエネルギーと費やそうと、そこで学ぶ究極のレッスンは、世界や宇宙の一体性、ワンネスです。

すべての関係は等しく神聖で、同時に挑戦的です。学びを受け入れる準備が出来ているなら、知る必要があるすべての答えが与えられます。すべての質問に対する答えは、すべての創造物と一体性を認識することにあります。したがって、人間関係は、この地球上での一体性を教える最高の教師になるのです。『奇跡のコース』が言うように、「すべての人間関係は、愛のレッスンです」。

真の意味での一体性の獲得は、物理的な面での達成よりも優先されます。探検家として私たちが、そもそもこの次元に引き付けたのは、その明白な独自性と、分離性でした。したがって一体性とは、卒業して他の学校のシステムに移行して、はじめて自然に得られる理解でもあります。この惑星において、地球上のすべての人間が自分であると言えるほど進化することは滅多にありません。けれども、一体感はあり得るという知的概念を理解し、それが本当だと感じ始める程度には進化します。

目覚めとは、非常に特異なプロセスです。私たちはそれぞれ自分の至福に従うことで、神との再統一を果たします。弟子の中に、イエスと一緒に十字架に行った人が誰一人いなかったのは、神との一体感を得るそのプロセスがイエス自身のものであり、そして人類のためだったからです。繰り返しになりますが、これは逆説です。なぜなら、私たちが一人で内面の仕事を続けていると、私たちは地球上のすべての個人と一体になります。今まで気づかなかった彼らとの絆を体験するのです。

個人的な責任

Personal Responsibility

私たちの機能は、関係を修正することではなく、関係を変革することです。私たちは自分とワークし、他の人に要求しません。新しいルールで人間関係のゲームをプレイし始めると、変化が起こります。新しいルールは「昨日起こったことは関係ない」という宣言から始まります。昨日どのように行動したかを知っているので、その人が明日どのように行動するかを知っていると考えるなら、現実が変わらないと主張するのと同じです。人が死んで生まれ変わる必要があるのは、そうでなければ他人に対する見方を変化させないからです。私たちがパートナーを見るとき、それは他人を見ているのではありません。私たちは鏡を見ています。私たちが自分の見方を変えれば、関係が変わります。犠牲者はいません。虐待者もいません。そこにあるのは鏡だけです。

あなたが自分の古いパターンを繰り返すのを拒否するとき、攻撃または防御をやめるとき、正しくあるよりも幸せでいることを選ぶとき、あなたの現実が変わります。そこではじめて、人間関係が変化するのです。私たちが宇宙の法則に忠実ならば、人間関係を続けるか解消するかに関して、自我に基づく決定は必要はありません。法則が働くことで、答えは自然にもたらされるからです。変化するか、解消するかです。私たちが一つの間人間関係から学ぶべきレッスンを学ばないと、宇宙は常に私たちを次の体験へと進ませます。

人間関係の治癒を恐れる人がいます。なぜならその関係が癒されれば、関係を終わらせる言い訳がなくなるからです。彼らは関係が上手く行かなかったことを誰かのせいにするのが好きなのです。

実際、肉体に転生する前、私たちは多くの個人と契約を結び、一緒に古いカルマの問題を解決するか、またはその関係を通じて自分に力をもたらす方法を学ぶ計画を立てます。ときどき、一生のパートナーとして契約した人ではないという強い直感的な洞察を感じることは、実際に正しいです。次の契約に進むために言い訳をする必要はありません。

アーススクールを卒業するために、私たちはすべての関係を癒す必要があります。ただし、これが幻想だということを忘れないでください！私が癒しているのは、他の誰かではありません。私が癒しているのは、人間関係ではありません。私が癒しているのは、私自身です！この生涯を終えるときに、いずれかの関係の治癒を完了させなかった場合、次回の転生でも、同じ人々と関係を持つことを選択するでしょう。そうなったら面倒です。他人と自分の関係を癒すのは、彼らがそれに値するからではなく、私がそれに値するからです。

過去の人間関係を、面と向かって癒す必要はありません。古い関係のパートナーが亡くなっているか、遠い外国に住んでいるかどうかは関係ありません。そのことについて誰かに「話を聞いてもらう」ことが最大の治癒になることもありますが、それが唯一の方法ではありません。とにかく治癒はあなた自身のためです。人間関係の癒しは、あなたが瞑想用の椅子に座っている間にも行うことができます。頭の中イメージを使って、癒したい相手と「話す」ことを試みてください。許しを求め、理解を提供してください。過去の日々からやって来るすべての怒りは、愛を求める叫び声であることを忘れないでください。

セルフヒーリング

Self Healing

私たちが解放しようとしている幻想に、私たちが愛する誰かを失う可能性があるという信念があります。ここにいる私たち全員が、宇宙の魂のそれぞれ別の側面である場合、どうすれば誰かを失うことができるのでしょうか？機能しない関係を維持するのは、分離の感覚を維持したい自我の言い訳です。バランスの取れない関係に留まらなくてはならない理由は、絶対にありません。ストイシズム、または「スピリチュアルな強さ」に価値があるという教えもありますが、私たちは嫌なことにしがみつ়く傾向があることを考慮に入れてください。「私は想像できる最悪の状況に身を置き、耐え抜くことで、自分がマスターであることを証明するのです」などと言います。マスターティーチャーは、人生を困難にする必要があると言ったことはありません。困難を耐え忍ぶのはカルマの道です。解放は、容易さと変革をもたらします。

そもそも、私たちが人間関係を築くのは、相手に価値を見出すからです。ですから、ある程度のゴミは我慢しないと、元々あった価値を失うと考えがちです。人間関係とは、一方通行で働く作用ではありません。それは一体感の発見です。鏡で遊ぶゲームです。自分自身を癒すことです。ですから、私たちは相手に不誠実に向き合ったり、考えや感情を隠したりすれば、分離に従事することになります。ある程度、進化が進んだ状態で分離を信じるふりをするのは、一種の自己否定です。癒すべきは他の誰でもなく、自分であると考えてください。

本当に癒されたいと思わない人は、アーススクールに入学しないでしょう。私たちが犠牲者の感覚を味わうのは、自我が一体性への復帰を遅らせようとする一つの方法に過ぎません。自我は分離の状態を生きており、生存本能として、治癒を遅らせる必要があります。一体性の中では、自分の価値が消えてしまうと思うからです。パートナーに正直になることは、相手を傷つけると考えるかも知れません。正直になるには、優しさと、思いやりが必要です。そのような感情に基づく表現は、癒しにつながります。他の人の感情を傷つけないように過ごす人々は、一生のほとんどを無駄にします。あなたは、カルマがどのように機能するかを知っていますよね。同じカップルが次の生涯、その次の生涯も一緒になり、彼らが互いに否定し合うことがなくなるまで、それは続きます。

ここで覚えておきたいことがあります。自我はずるいのです。それは「正直さ」に偽装して、相手を攻撃します。癒しの動機なしに誰かを傷つけたり、相手を苛立たせる何かを言ったりすることは、正直であることとは違います。単に「正直」であろうとして、過去の性的経験のすべてをパートナーに披露する必要はありません。

『奇跡のコース』では、悟りとは私たちが人生で経験する中で、もっとも恐ろしい感覚だと述べています。人間関係における正直さは完璧な例です。最初は危険だけでなく、恐ろしいほどです。自我は、正直さと攻撃を混同しがちです。けれども、私たちは永遠に否定にとどまることはできません。いつか自分に忠実になるときが来ます。この生涯でなければ、それはいつになるのでしょうか？ なぜ今ではないのでしょうか？

私たちは、他の50億の魂と一緒に、すべての生徒に人間関係のワークを強いる、スパルタ学習で有名な惑星に投げ込まれています。ほとんどの人は気にしませんが、あなたと私は意識的にそのワークに取り組みたいと思っています。つまり、私たちは自分の成長に何が役立ち、何が役立たないかを意識的に見極めたいと思っています。意識的に生きるようになると、すべての人間関係における責任は、短い期間で、できる限りバランスよく、平和で喜びに満ちたものになります。

私たちは自分自身について嫌いなことのすべてを、他の人への不満にすり替えます。そのようにして鏡は作用します。誰かが子どもに服を着せたり、運転したり、食べたり、何かを扱う方法が気に入らない場合、それは自分の中に評価していない未開の領域があることを示します。

この問題を解決するために、セルフヘルプの本を読み、思考のパターンを理解することができます。しかし、それだけではありません。私たちの人間関係は、この生涯だけに由来していません。私たちの人生には、カルマではない重要な関係は一つもないのです。つまり、私たちが抱えている問題のほぼ100%は、他の現実起因しています。今世は来世であり、そして愛に正直になることを拒否してしまった前回の転生の繰り返しです。子ども時代の両親との関係を見直すこともできますが、問題は現在の人生で再描写（現実化）しているので、当時の行動と感情を調べることがすべての答えにつながるとは限りません。

幸いなことに、水瓶座のエネルギーが私たちの惑星に浸透するにつれて、社会全体がカウンセリングと感情の問題に、ある程度の理解を持つようになりました。偏見を持たずに話を聞いてくれるカウンセラーを見つけると、それだけで驚くべき結果を生み出します。経験豊富なセラピストは、従来のカウンセリングと直感的な洞察を合わせ、個人の「過去世での感情の歴史」を紐解きます。その結果、数回のセッションで素晴らしい治癒がもたらされます。

「従来通りでない」セラピーが人間関係の問題を解決すると感じた場合、便利な方法がいくつも利用できます。根本的な原因にたどり着くことができる方法です。今世におけるすべての人間関係と問題は、数百万年前から繰り返されているという事実を考慮に入れる必要があります。そのようなテクニックには、過去世退行、リバーシング（※生まれ直し）と呼ばれるテクニック、サンドラ・インガーマンが「ソウルリトリバル」と呼ぶシャーマンの儀式、インサイト（※Insight、大規模なグループセミナーを行う自己啓発グループ）、パトリシア・サンのワークショップなどがあります。

直感的なプロセスを通じて得られるカルマの洞察は、そもそも、なぜ私たちがここに存在するのについて十分な情報を提供してくれます。あるいは、それによって、自分の置かれた状況が決して「不当」ではないことがわかるのです。多くの場合、自分が誰かの犠牲になったのではなく、自分を癒したり、自分を許したりすることを目的とした宇宙の「セットアップ」に参加していたことがわかります。これはマインドを和らげ、怒りと恨みを解放し、許すための十分な理由を与えてくれます。

自分自身を探究する手段として、治癒のために「従来通りではない」方法を選択した場合、自我はつい言い訳をしたくなります。「この手のものが本当に必要なのは私ではない。スーカ、ボブか、サリーだ。彼らにはおすすめたが、自分はどうかな?」。しかし、私たちがここにいるのは、他の人々に万能薬を吹き付けるためではなく、自分自身を癒すためだということを忘れないでください。ただし、自分を癒す際にも、「セラピー中毒」や「退行中毒」に陥らないよう注意することです。

自分の人生に責任を持つなら、自分の問題にも責任を持たなくてはなりません。あなたと私は岩だらけの道を旅して、混乱を生み出す罪悪感に圧倒されたり、否認に陥ったり、「辺り一面に」非難を投影したりすることなく、きわめて前向きな発言をすることができる境地にまでたどり着きました。私たちは、誰かを非難することに意味はなく、間違いもないと理解しつつあります。カルマで結ばれた仲間たちは、私たちに鏡像を投げ返しているだけです。私たちの役割は、自分の利益のために、受け取った鏡像を見ながら、自分を癒すことです。それを知っていれば、パートナーを「修正」しようとする試みを回避し、承認と理解を提供できます。

力を手渡す

Giving Power Away

私たちの幸せが他人の行動に拠ってもたらされると信じるなら、私たちはひどく失望するでしょう。この惑星には、あなたや私を幸せにしてくれる人間は、自分以外にいないからです。それができる人物がいれば、私たちは彼らの奴隷になるでしょう。私たちはいつでも自分に幸福を引き出す力を与えています。人間関係は、学習体験です。私たちの目標は、自分自身と調和のとれた、愛情のある関係を築くことです。

「あなたは私をととても幸せにします」と、「あなたの前にいると、私は自分をととても幸せに感じます」の違いは何ですか？ 最初のステートメントは完全に私たちの力を放棄しています！相手を常に自分の望み通りにすることは不可能なので、やがて心は荒れるでしょう。それでも、相性のいい人たちとともに、自分を幸せ（安全）にする方法を習得すれば、私たちはまっすぐ家路に向かいます。

人間関係に正直であること

Being True To Ourselves In Relationships

パートナーに問題がある場合、それを指摘することは、たいして役に立ちませんが、彼らをキリストとして眺めることは、私たちにとって非常に有益です。この地球上の誰もが生徒であり、誰もが自分が知る限りのベストを尽くしています。何らかの悩みを抱えているなら、唯一の問題は自分自身の物事の見方であり、見方を変えることで、問題も解消します。

しかし、相手と自分に正直でいるために、このように考えることも出来ます。「私と一緒に遊びたいと言ってもらえるのは嬉しいです。あなたは遊んでいるときは、楽しい人です。けれども、議論がしたいのであれば、別の人を探してください。私は他のことをしたいのです。私は、あなたを失うことはないと思っています。もしかしたら、来世まで二度とあなたに会うことはないかもしれませんが、私は自分の責任しか負えないので、今はとにかく手放します」。

愛する人への懸念

Concern for Loved Ones

愛とは、何かについて心配することだというシステムを、神が設定すると思いますか？ 社会は、私たちが大切に思う人々を心配に思うよう私たちを訓練してきました。マインドの中の思考が私たちの明日を生み出すなら、心配は、終わりのない心配を生み出します。それは愛に溢れているようには思えません。かわりにこう言ってください。「申し訳ありませんが、私のボキャブラリーに心配という言葉はありません。私はあなたに光を送ります、私はあなたのために祈ります、そして、あなたを祝福します。けれども、私はあなたや他の誰かを心配しません。あなたは

私の責任ではありません。あなたは私の友人ですが、あなたは私のものではないからです。あなたは神のものです」。

配偶者、恋人、子ども、親、上司、従業員、食料品店の店員などは、私たちの責任ではありません。それはパラドックスの一つです。あなたは私であり、私はあなたですが、あなたの仕事は私の仕事ではありません。地球上でより良いウェイショウワー（※道を示す人）になるために理解すべきなのは、私たちは自分以外の人間を変えることができないということです。

ソウルメイト

Soul Mates

ニューエイジのコミュニティでは最近、ソウルメイトやツインソウルが話題です。自分のソウルメイトに会いたいと願う人は多くいます。しかし、理想的なソウルメイトというものは存在しません。自分の外の世界に、完全に相性ぴったりな独立したエンティティは存在しないからです。いるとしたら、自分だけです。

私たちは、魂の伴侶とは無関係に自分の現実を作ります。自分の考える完璧さを求めるなら、黄色いノートパッドの上に関係を築かなければなりません。私たちのソウルメイトはすべて独立した個人であり、彼ら自身の経験に基づいた現実を作り出しています。それは、私たちが一つの魂だったときから始まり、今やお互いに自分の人生に取り組んでいます。もはや二人の現実が完全にマッチするはずがないのです。ミスター・ライト、またはミス・ライトを探し続ければ、人生に失望するだけです。

別の話をしましょう。ソウルメイトについての話です。はじめに神がいました。聖書の中に真実を述べた部分があるとすれば、その箇所がそうです。それから神は「私は孤独だ」と言いました。真実を話す試みは、この時点で終わりですが、気にせず続けましょう。神は言いました。「私は自分と経験を共有するために、自分の別の側面を作ります」。そして、神はアメーバにな

りました。そのアメーバが分割されると、二つのアメーバになり、やがて60億もの別個のエンティティが存在するまで分裂を続けました。

この物語に従うと、すべての個別化された存在は、ペアでしかのぼることができます。2つの別々のエンティティが分割される前の1つだった場合、それらは魂の伴侶になります。彼らが個別化する以前の状態は、オーバーソウルと呼ぶことができます。しかし、これは時間が線形である、または線形であったと仮定する素晴らしいファンタジーに過ぎません。（実際、この話には多くの欠陥があります）。真実があるとするなら、ある時点で、私たちの誰もが他のすべての人の一部であったということです。したがって、創世神話のあるレベルにまで遡ると、誰もがソウルメイトになります。

しかし、話をもっと簡単にすれば、それはあなたが快適で、温かさに満ち、絆を感じられる人についてです。魂を超えて、あなたがどこから来たのか、どのレベルから転生したのかはまったく関係ありません。誰かがあなたの仲間になった場合、あなたは彼らへの愛（または愛と憎しみ）を感じるでしょう。砂浜で一緒に遊んだことがあれば、親しみを感じるでしょう。また、アーススクール以外での転生経験からも、馴染みのある顔を認識します。私は誰かとの過去の経験を思い出すことを「時間旅行のデート」と呼んでいます。一緒に過去世と呼ぶことも出来ます。過去の人生は、地球上である必要はありません。実際には、すべての転生の中で、この地球上での人生はごく一部です。

実際、ソウルメイトの中には、あなたが認識できなかつたり、一緒に空間にいることも耐えられないような人もいます。線形時間の中で、あなたはさまざまな経験をし、矛盾した信念体系を獲得してきたからです。そのような場合、ソウルメイトやツインソウル、またはオーバーソウルの親戚には興味がないかも知れません。かつて遊んだ時間や空間に関係なく、仲間を探します。そのような場合に見つかるのは、あなたの信念、価値観、制限があなたに最も似ている（心地よい）傾向がある人です。とても楽しいです。

ほとんどの人にとって、ソウルメイトとの出会いは、完璧な仲間を作るのではなく、見つける試みです。私たちは、人間関係を含むすべての現実を創造します。私たちがここにいるのは、

自分を幸せにする力をオーバースウルに明け渡すためではありません。自分の足で立ち上がり、幸せになるためです。黄色いパッドを取り出して、パートナーに望むことと望まないことをすべて書き留めましょう。そして、望まないものは受け入れを拒否し、望むものを引き寄せましょう。そうすることで、自分自身に忠実になります。自分の考えを明確にしてください。自分の創造物を明確にするために、品質と属性を記録することを忘れないでください。ただし、身体的特徴（背が高い、暗い、ハンサムなど）のは、神との一体性を妨げるだけです。それよりも、相性、敬意、面白さ、サポート、そして私たちの人生の仕事の完璧なパートナーなどの資質に興味を持ってください。

セクシュアリティ

Sexuality

エンティティが男性性と女性性のエネルギーを持っているのは、宇宙広しと言えども、この惑星のみです。自分自身を半分に分け、「この人生では女性になりますが、来世では男性になるのでちょうどバランスがいいです」などと考える存在は、他のどの場所にもいません。アーススクールは二元性を通して教える学校であり、ここで生徒たちは、一体性を感じるために、反対の側面を調和させることを学びます。セクシュアリティは、便利な学習ツールなのです。それは三次元においては、外見と同様に、本質とは無関係でありながら非常に重要な要素です。セクシュアリティは、他のすべての事柄と同じく、正しい・間違っているという判断はありません。自分のレッスンがあるのみです。

私たちはここでバランスをとるために努力していて、それはエネルギーセンターの調整を含みます。7つの主要なチャクラです。いずれかを無視すると全体のバランスが崩れ、満たされず、楽しめません。自分が非常にスピリチュアルだと考える一部の人は、ソーラープレクサスチから上のチャクラだけを使います。「私にベースチャクラがあるかって？ まさか！ そんなものは、ずっと前に超越しましたよ。わかりますか？」。私たちはすべてのチャクラを認め、祝福し、そ

の神聖さを宣言しなければなりません。それは、私たちがセクシュアリティ（二極性）を表現し、自分とパートナーの間には一つの魂しかないことを認識しなければならないのと同じです。このレッスンは極めて重要です。問題なのは、学びながら快適さを保つ方法です。

惑星のテレパシープールに広がる自我の価値観に、性の問題にまつわる問題が2つあります。1つ目は、セックスは「悪いことだ」という思い込みです。2つ目は、「誰かを愛しているなら、私のことは愛していない」という考え方です。最初のものは、男性性／女性性の罪悪感にまつわる根源的な価値観です。2つ目は、嫉妬の根っこになります。まだ自我のプログラミングを信じている生徒たち（つまり私たち全員）は、罪悪感と嫉妬が人間関係だけでなく、あらゆる障害になることに気づきます。嫉妬深い人々は「あなたの目をまっすぐに、神に向ける」のは難しいと感じます。

新しい時代のパターンメーカー（つまりあなたと私）には、これらの誤解を修正する必要はありません。私たちの仕事は、マインドとハートにワンネスの真実を保ち、無条件の愛のエネルギーを放射することでテレパシープールの密度を和らげ、やがて「男女間の戦争」を終わらせることです。

ある時点で、進化の途上にある存在は、絶対的に、情熱的に、みんなと恋に落ちます。地球上でこれらの感情を、どのように処理しますか？ 慎重に、非常に慎重に扱わなければなりません。私たちの仕事は、アーススクールの生徒の役に立つことであり、彼らの行く道を不必要な障害で妨げることはありません。地球上のすべての魂と、性的な表現としての愛を交わす必要ありません。だからと言って、愛する人と「愛し合う」時間を失うことはありません。私たちは、そこにいるすべての魂を愛する無限の時間を持っています（そして彼らは、私たちの内面のすべての側面です）。

私たちには物理的次元の外側に存在する潜在意識の記憶がありますが、意識的にはそれを覚えていません。肉体を持つ以前、私たちは分離を信じていませんでした。通常の地球外存である私たちは、親しみのある人を見たときに、魂を融合させました（肉体を持たない存在にとってのメイクラブです）。映画「コクーン」で、プール室の周りを照らしているライトを覚えています

か？ 二つのキャラクターが一つのライトになりました。私たちは地球上で暮らしていても、日常的にそれを行っています。

最終的に私たちは一つに融合するのです。しかし、今のところはきちんと把握できない概念なので、まずは一つのつながりから始めて、次々につなげていくのがいいでしょう。親しく感じる人の魂に溶け込んだ感覚を思い出せば、地球上でも同じ傾向があることを理解できます。ここでは肉体の制限がありますから、魂に直接飛び込むことができませんが、私たちは彼らのベッドに飛び込みます。宇宙的な視点、つまり私たちが地球に来る前に持っていた視点からは、肉体とは本人ですら所有することは出来ず、嫉妬の必要もなく、善悪もありません。実際、これまでもずっと善悪はなかったのです。誰も間違いを犯したことはありません。とは言え、地球上では感情を行動にする前に、ガイダンスに確認するのが賢明です。

時々、自分ではない魂に非常に強く惹かれ、ガイダンスに確認するのを忘れてしまうことがあります。しかし、それは「悪い」ことではありません。また、ガイダンスに確認した上で、実際にイレギュラーな相手と官能的な満足感を味わうこともあります。しかし、ほとんどの場合、肉包丁を持ったパートナーに追いかけて回されることになりますから、実質的な行動を選択しましょう。

関係が上手くいかなかったり、複雑に感じるとき、それは私たちが答えを探すために頭を使い過ぎていることを意味します。すぐに否定的な影響が現れ始めます。マインドの中の思考が、現実になります。したがって、複雑な状況や、嬉しくない状況に巻き込まれた場合は、一旦、身を引いて、平和でいることを選択してください。それから、あらゆる問題を解決するのと同じ方法で光を送ります。セクシュアリティの表現であっても、間違いはあり得ません。これは冷蔵庫に書いておいてください！ 最終的には、すべてが素晴らしく機能し、私たちはすべての人を愛するようになります。それが神の性質だからです。そこに至るまで、人間関係でリリースすべき古いパターンがいくつかあります。

怒りと葛藤

Anger and Conflict

『奇跡のコース』は、私たちの感情には愛と恐怖の2種類しかないと明確に述べています。したがって、私たちが愛を感じないものは、損害を受ける可能性があるという恐れの結果です。私たちが誰かに怒りを感じる時、それは彼らに支配されている、または打ち負かされることを恐れている可能性があります。自分の人生を自分でコントロールすることはできないと考えている証拠です。怒りは、いつもこう言います。「あなたは間違っています。正しいのは私です。あなたの不適切な行動が私に損害を与えているので、私は怒っているのです」。怒りをこれ以上増やしたくない場合は、こう言う必要があります。「私は自分の現実を完璧に作り出しているので、気分が悪い場合も自分の選択によります。他の誰かを変えようとするかわりに、私は自分で解決策を探すことができます」。

自分の考えに注意するのは、争いごとの際に役立ちます。他の人間があなたの感情のボタンを押すのを許可する場合、私たちはボタンを守る必要があるものだと信じています。宇宙の法則は、マインドの中の思考が私たちの現実になると述べています。怒りに駆られて間違ったイメージを保持している場合、明日また、人生の中に同じ葛藤を見るでしょう。同様に、昨日（または前世）の怒りを引きずっているなら、今、私たちが怒らせているものは、実際はかつての怒りが再現されているだけです。『奇跡のコース』は「私を怒らせるものは、私が怒っていると考えるものではありません」と言っています。

私たちが神と一体であることを忘れると、自我は恐れに溺れてしまいます。他人に否定的な感情を投影することによって自分を保護し、自ら責任を負わなくて済むようにします。一方、宇宙的な視点から機能することは、保護される必要のない無限のソースとのつながりを認識することです。

『奇跡のコース』には、関係が対立しているときに覚えておくと便利なアイデアが書かれています。まず、すべての怒りは愛の呼びかけです。これは、他の人からの攻撃も、実際には私たちに危害を加えようとしていないことを示しています。彼らはただ愛されたいだけなのです。それから『コース』は、「あなたは正しくありたいですか、それとも幸せでいたいですか？」と尋ねます。両方になることはできません。

地球上で何百万年もの間、何百万もの人々が、互いに論争を続けています。今のところ、その論争に勝った人はいません。なぜ人々は、このような無駄なエンターテインメントに従事するのでしょうか？自我には選択肢がないからです。もし私たちが互いに完全に切り離されているなら、争うことは生き残るための正しい方法に違いありません。分離をあきらめた存在だけが、正しさをあきらめることができます。私たちの社会は正しさを究極の価値と見なします。正しさを達成するのは宇宙的に不可能であるという事実はさておいても、それは最終的に誰も幸せにしません。他の人々の間違いを修正することによって、対立を修正できないからです。繰り返す紛争のパターンを終わらせる唯一の方法は、参加を拒否することです。

攻撃を停止して平和を選択すると、予測可能な一連のイベントが起こります。まず最初に、私たちが対応している人が、非常に腹を立てます。なぜなら彼らは、コントロールを失ったと感じるからです。彼らのセキュリティシステムは、私たちの反応をきちんと整理し、理解することで成り立っています。私たちが伝統的なルールを破り、防御や攻撃を放棄し、平和を選択すると、彼らの信念体系は粉々に崩れてしまうのです。彼らは、私たちが真面目に取り組んでいないと非難します。彼らは私たちが怒らせるべく、あらゆるボタンをつつきます。「あなたのやり方はフェアじゃない。最後まで戦いなさいよ。ただ逃げているだけだ」。それは「私にはあなたが必要です」と言っているようなものです。共依存の本を何冊か読むまでもなく、その状態を乗り越えることはできます。彼らが私たちのすべてのボタンを押したにもかかわらず、私たちが何の反応も見せなければ、彼らは建物から飛び降りると言うでしょう。しかし、彼らはそうしません。もし実際にそうするなら、それは彼らにとって別の場所に行くときです。人は死ぬのではなく、ただ前に進むだけです。

彼らは問題にこだわり続け、私たちは気が触れたと言いつらすかもしれません。それでも私たちが平和を維持するならば、最終的に彼らの怒りは消えます。最終的には驚きの目を向けるでしょう。それから、彼らは平和の学び手になります。それが彼らの契約なのです。私たちを制限、またはコントロールしようとするすべての人は、私たちの教師であり、場合によっては私たちの生徒になるためにアーススクールにサインアップしました。彼らは、古いパターンから抜け出し、自由になって、自信を持つ方法を知りたいと思っています。「平和を維持する方法を教えてください」と言うにはプライドが高すぎるかも知れませんが、彼らは確実にあなたを見ています。愛はいつもうまくいくのです。

あなたが働いているなら、愛のルールに従う意思を試す良いテストになります。職場には多くの潜在的な対立があり、私たちが仕事で「間違っただ」ことをすれば、失うものもたくさんあります。上司のやり方の通りにしなければ、収入、評判、そして友人までも失う可能性があります。聖書の素晴らしい物語の一つに、獅子の洞窟に投げ込まれたダニエル（※旧約聖書『ダニエル書』の主人公）の話があります。上手く行かない人たちと、どう付き合うかについて教えてくれます。ダニエルは獅子と一緒に巣穴に入れられることを、前もって知っていたので、前の晩に祈りを行いました。彼は意識が現実を生み出すことや、自分が王の犠牲者ではないことを知っていました。彼は瞑想し、彼が望んだ結果を視覚化しました。事前に作業を行う方が、当日慌ててやるよりも簡単です。

翌日、ダニエルが洞窟に入れられると、彼は腰を下ろし、ライオンに背を向けました（信じられないほど重要な比喻です）。彼はただ座って、問題にとらわれることはありませんでした。彼は前の晩にイメージワークをしていたので、ライオンを気にすることなく、他の場所に自由に注意を向けることができました。ライオンは、ダニエルがガードを下げたのを見ると、彼を攻撃せず、横になって寝てしまいました。ダニエルのやり方は、私たちが脅かすあらゆる人や状況に適応させることができます。『奇跡のコース』は、私たちの安全は無防備さにあると述べています。

敵対者を見つけた場合は、修正が必要なのは、あなたの認識です。知覚が困難を生み出しているなら、知覚はそれを癒すこともできます。ピンクのペンキの缶を想像して、スピリチュアル

なブラシで、その柔らかくて愛らしい色を敵を塗りたくり、マインドの眼で、かわいいスパンコールでもデコレーションしてみてください。他にも楽しいシンボルは、自由に使用できます。イメージの中で、仲良く一緒に遊びましょう。次回、その人に会うとき、愉快的イメージワークを思い出すでしょう。すべての怒りは、愛の呼びかけです。あなたは対立のかわりに愛を申し出たのです。

すべての関係には終わりがある

All Relationships End

私たちの社会で、死と同様、ネガティブに考えられているもう一つのトピックは、人間関係の終焉です。社会は、愛と必要性の違いを混同しているため、関係が終わったときに感情的なトラウマを感じるのが適切だと教えます。自分以外の誰かが、自分の幸福に、たとえ部分的にでも責任を負うと私たちは信じているので、関係が終われば、大きな痛みとなります。私たちが力を与えたものが、私たちを捨てたからです。

共依存と感情的トラウマは、社会で学ぶものです。それはこの宇宙には必要なく、存在の自然な状態ではありません。間違っただけで教わったことは、より愛情のこもったやり方で学び直すことができます。地球上の光のティーチャーたちは、自分のすべての人間関係を、『奇跡のコース』が言うところの「聖なる関係」に再構築する任務を担っています。彼らは必要性に基づかない人間関係に参加することを決定します。私たちが互いに分離し、無力な存在であるという前提に立つとき、互いの必要性を満たす関係を築きます。他人の存在を楽しむことにのみ基づいた関係は、パートナーが去ったときにライフスタイルを再編成させますが、そこでトラウマは作り出しません。私たちは、単に人生の次の冒険に進むだけです。

自分自身の関係を変容させると、私たちはグループ意識を再教育し始めます。外側の人たちに教え、助言する場合でも、自分が関係を楽しむだけの場合でも、効果は同じです。私たちの理解と喜びは、テレパシープールを通じ、アーススクールのすべての生徒に伝わります。

子どもと親

Children and Parents

カヒル・ギブラン（※Kahlil Gibran、イランの詩人）が言ったように、「私たちの子どもは、私たちの子どもではありません」。彼らは、神の子どもです。せいぜい、しばらくの間、貸し出されているに過ぎません。この宇宙には何十万もの学校システムがありますが、私たちのアーススクールは、入学するために誰かの体を借りなければいけない唯一の学校です。他のすべてのシステムでは、参加者はただ現れ、バスから降りるように跡形もなく消えます。私たちは数多くの転生を通じて、自分の体は自分のものであると信じるように訓練されていますから、自分の体から出てくるものも、自分のものだと思ってしまうがちです。しかし、そうではありません。考えてみれば、奇妙な話です。自分とは別の個体から自分が登場するなんて、まるでSF映画です。それがどれほど変なのかは、地球人にはわかりにくいです。

自分の人生の隙間を、子どもたちによって埋めるなら、やがて痛みは避けられません。成長に伴うすべての移行は、子どもから親への攻撃と感じられます。ましてや家を離れれば、見捨てられたように感じるでしょう。私たちの社会では、子どもが死ぬときに、カルマの契約や出産前の合意があることを考えません。しかし、私たちの役割は、それを説明することではなく、単に彼らを愛することです。愛はすべての傷を癒します。

魂レベルでは、両親は、自分たちが古いパターンを破るために最適なように、子どもを選びます。そのルールに例外はありません。親たちは、私たちが彼らの古い罪悪感のゲームに参加しないことを、潜在意識レベルでは最初から理解しています。彼らはこう考えます。「私の子どもは、私の頑固なこだわりを許さないと確信しています。私は、今こそ古い考えを変え、カルマの作業時間を節約したいのです」。両親に愛を示すには、自分自身に忠実である必要があります。しかし、私たちが彼らの顔色をうかがうなら、ある日、誰かが彼らのパターンを破るまで、同じ混乱に続けるでしょう。

この惑星にやって来るすべての魂は、転生する時代と自分の道を選択します。1990年代以降に生まれた人は、主に水瓶座のエネルギーの中で成人期を経験します。これらの魂たちは、実は卒業に必要な仕事のほとんどをすでに完了しています。思いやりの心が十分育っていない人は、通常、水瓶座の時代には転生しません。酒場での乱闘に積極的に参加したいのであれば、今の時代を選ばないでしょう。

現在、地球に転生している子どもたちは、地球の移行に大きな役割を果たしています。彼らの中で、乳児の頃に出生前の記憶に意識的につながっていない子どもは、一人もいません。ジェラルド・ジャンポルスキーは、二人目の子どもを授かった若いカップルの話を語っています。生まれたばかりの新生児を、3歳になったばかりの娘に会わせた瞬間から、彼女はしきりに自分の弟である赤ちゃんと二人きりになりたがりました。両親は、彼女が赤ん坊を傷つけるのではないかと心配しましたが、最終的にインターホンで様子を確認できるようにした上で、幼い姉弟を二人きりにしました。すると、スピーカーを通じて、3歳の姉がベビーベッドの弟に近づき、こう言うのを聞いたそうです。「赤ちゃん、神について教えてくださいませんか。私はもう忘れ始めてる…」。

子どもたちは、本当に驚くべき方法で、私たちに輝かせようとしています。彼らは、古い世代の共依存的な道徳をはるかに超えて、スピリチュアルな道徳を直感的に理解します。親が子を育てるという古いパターンは、もはや適用されません。今日生まれた子どもは、コントロールされる必要がないのです。私たちは彼らに、熱いストーブに触らないようにと、地球上で役立つ知識を教えることができますが、道徳については、彼らは私たちの教えを受け入れないでしょう。

私たちの古風な認識には興味がないのです。彼らは12歳になるまでに、私たちの世代が学んだ以上のことを知っています。

親が子に対して責任を負うという古い考えも、もはや通用しません。純粹無垢で、無力に見えますが、彼らは世間知らずではありません。地球上のあらゆる大人と同じほど、何百万年もの個人的な経験をしています。子どもたちは、両親も賢く選んでいます。

そもそも、私たちは他の人間に対して責任を負いません。他の人間を修正したり、希望どおりの形にすることはできません。水瓶座時代の親たちが子どもに対して持つ数少ない義務は、彼らを愛し、食べ物・衣服・住居を提供し、邪魔にならないことです。彼らは彼ら自身をととても愛しているので、私たちによってコントロールされることはないでしょう。

言葉を教えるのは、制限を教えることでもあります。私たちの話す言葉には、出生前の感覚を表す用語はないからです。特に幼い子どもであれば、別の世界についてのすべてを覚えていて、テレパシーでコミュニケーションを取っていますが、私たちはそれに気付きません。彼らは言葉を覚える前に、家族みんなの感情を含め、家で起こっているすべての出来事に影響を受けます。制限と恐れについてのプログラミング、または愛と善良さの学びは、子宮の中から始まっています。

そのような直感的な能力を持っている子どもたちは、学校での評価はお粗末なものになると予想できます。私たちの学校システムは、クローンを作るように設計されています。知性、権力、競争、分離への依存を多く教え、真の理解については教えません。しかし、新しい子どもたちはそのような教育を容認しません。現行の学校のシステムは、完全に変更する必要があります。教育と愛は、別のテーマではありません。変化が起こるまで、私たちの子どもたちは現行の教育システムに収まりきらないことを知ってください。退屈な権威者が講義している間、彼らは同じ場所に50分間座り続けることはできません。彼らはかわりに行動、色、活力、暖かさ、そして感情を求めます。新しい学校では、芸術、音楽、思いやり、直感は、「正しい」答えを学ぶための教科科目になるでしょう。

子どもたちは何も知らないわけでも、馬鹿でもありません。彼らは、アーススクールやその他のシステムに数千万年もの間住んでいます。肉体の取り扱いを除けば、あらゆる点で成熟していますし、賢明です。彼らは、古い世代よりもはるかに優れた自己認識を持っています。私たちは彼らを愛情深く、敬意をもって扱う必要があります。人間の相互作用と思いやりと調和に関して、彼らが私たちの教師であると認めれば、素晴らしい関係を築くことができます。私たちの子ども、姪、甥、孫たちは、私たちが新しいルールに従ってゲームをプレイする限り、智慧の源なのです。

宇宙的な関係

Cosmic Relationship

人間関係を習得すると、すべてを習得したも同然です。愛していると思う人々に力を与えるのを止めるとき、人生のあらゆる領域で自分の力を取り戻します。関係を癒すとは非常にシンプルに聞こえますが、これまで長い期間に渡るプログラミングの解放に取り組むので、非常に難しいレッスンですから、よく注意する必要があります。自分に正直になるのは、人間関係をうまく機能させる秘訣です。注意し、見守り、祈りましょう。

私たちが宇宙意識の状態にある誰かと関係を持ったら、何が起きると思いますか？ 実際は何も起きないので、説明が難しくなります。さて、私たちはパートナーと完全に宇宙的であるとは言えないかもしれませんが、「その状態になるには、すでにそうなったかのように行動する」というラルフ・ワルド・エマーソンのアドバイスに従いましょう。私たちは伝統的に、言葉によるコミュニケーションを使用して分離の状態を強化してきましたから、何も不満がない（分離がない）状態を言葉で説明するのは難しいものです。自らのソースである神と、その大きな全体像を忘れないことを選択します。古いパターンを繰り返すことで、同じ問題を何度も作成しません。クリーンなマインドは、クリーンな人間関係を作り出します。

この惑星で話されてる話題のほとんどは、問題、困難、間違い、不正義などであり、それは自我のお気に入りのトピックです。しかし、誰もが否定的な言葉を話すことを拒否した場合、沈黙は通常の状態になります。

沈黙と悟りの間には、明確な関係があります。すべてのグルは沈黙を教えることから弟子の訓練を始めました。すべてのマスターティーチャーは、口頭ではなくテレパシーで仲間とコミュニケーションをとります。文明としての私たちが攻撃と防御のグループ実験を終えたとき、私たちはもはや言葉を使わなくなるでしょう。思考形態や精神的なイメージを共有することは、コミュニケーションのより適切な方法です。しかし、他人に自分の考えや感情を見られるのを恐れている限り、私たちは分離を生み出す言葉を使います。これについて、パトリシア・サンは良い提案をしています。「今この瞬間から、あなたが出会う誰もが、あなたのマインドを読むことができると考えてください」。すべての人間関係の問題は、恐怖心が要求する欺瞞の結果です。テレパシーのある人間には、人間関係の問題はありません。

人間関係を癒すことは、自分自身を癒すことです。私たちが至福に満ちて、平和であることを学ぶとき、私たちがスピリチュアルなつながりを持つ人々に、膨大な量の癒しが起こります。私たちは、制限、操作、怒り、恐れ、罪悪感に苦しむ状態が、完全に狂気であることを知っています。一体感は一では成し遂げられないという真実を覚えています。私たちには人間関係が必要です。

私たちが大胆に正直になるリスクを負うなら、サポートツールも役立ちます。インスピレーションを与える本、ティーチャーの話が入ったカセットテープ、セラピストの電話番号などを用意し、まったく新しい方法で関係を築いてください。あなたが気づく前に、あなたは地球上のすべての人と調和した関係を持つでしょう。そして、彼らはあなたを教師と呼び、快適な空間を共有するでしょう。

未来予報

Forecast

水瓶座のエネルギー

Aquarian Energy Interfaces Eternity

私たちの意識のあり方は、2つあります。アーススクールの意識と、宇宙意識です。アーススクールは中級の学校で、教員は欲求不満や未来を当てにすることの無力さについて教えてくれます。地球にある通常の学校と同じで、楽しいですが大変です。宇宙意識は、宇宙における通常の

状態です。それは、エキサイティングで無制限、光に満ちています。実際、この状態はあまりに快適なので、アーススクールの意識で考えられる形容詞をはるかに超えています。

アーススクールでは、卒業式も含め、最高学年のカリキュラム用に充てられているのは、西暦2000年から西暦5000年の間です。これは新しいことではありません。前回の水瓶座時代も、まったく同じ目的に使われました。史実としての記録は残されていませんが、神話の中にはかなり正確に保存されています。水瓶座の時代は、エデンの園の時代です。ビジョンのない人生から、素晴らしい展望に満ちた人生をつなぐ架け橋です。今後、二千年くらいの期間をかけて、地球はますますエデンの園に近づき、やがては天国のようになります。それが終わると、再びヘビが庭に現れ、善悪の知識（二極性）で人類を誘惑するでしょう。

ロバート・モンロー（※Robert Monroe、アメリカの超心理学者）は、著書『魂の体外旅行』の中で、西暦3000年の地球の姿について書いています。それは私自身が見たものと非常によく似ていました。ロバートは、体外離脱で時空を超えて旅をし、この惑星にアスファルト舗装が一切なく、緑豊かな熱帯の美しさだけがあるのを見ました。そして、人々は車のかわりに、体外離脱で通勤するのです。

地球上には、占星術時代と呼ばれるサイクルがあり、約26,000年でひと巡りします。サイクルがひと巡りするごとに、存在のあり方が大きく変化します。そのサイクルは意図的なものであり、偶然ではありません。この惑星は学校なのです。ここでは永久的に留年することはなく、もっとも学習が遅い生徒でさえ、いずれ卒業する時が来ます。

アーススクールでは、学びの効率を良くするため、特別な3つの制限が課せられます。時間、空間、二極性です。しかし、これら3つの制限は、すでに解放されつつあるという反駁できない証拠があります。現在、私たち（社会）は、さまざまなレベルで分断とジャッジメント（二極性）という価値観を克服しようとしています。私たちのテクノロジーは、距離に対する限定的な信念（空間）を克服しつつあります。ほんの数十年前まで、大陸を横断するためには、屋根付きの馬車で何か月もかかり、月は緑色のチーズでした。私たちの技術は過去を保存し、瞬間的なコミュニケーションは世界中で常識になっています（時間）。世界の目覚めはカタツムリのスピー

ドで起こっていると考えるかもしれませんが、歴史的に見れば、恐ろしいほどの速度で起きています。

終末論的予測について

Predictions of Apocalyptic Cataclysms

実際、目覚めに関して、アーススクールは予定よりも早く進んでいます。通常、水瓶座の時代の前には、強力な魚座のエネルギーが現われます。つまり、「力」を使用して大衆を制圧しようとする人々が現れるのです。レーザー兵器の誤用によるアトランティスの沈没や「ノアの洪水」などの大変動は、この学校を卒業し、闘争を放棄する準備が出来ていない人が、より混沌とした時代の到来を待つために貯蔵タンクに移動した方法でした。

「ノアの洪水」を経験した人々は、地球をほぼ無人にした大規模な破壊と惑星的被害の記憶を潜在意識に持っています。現在、何百万もの地球市民が、愛する人々の生命のために、核兵器、地球温暖化、水質汚染、そして破壊的な偏見に対して戦っています。これは偶然ではありません。前回は起きたのです。瞬く間に、地球の人口の約90%が休暇に入りました。

再び、私たちは水瓶座の時代の入り口に到着しました。惑星地球で次に何が起こるかを創造するのは、私たちのグループ意識次第です。魚座から水瓶座のエネルギーへ移行するにあたって、それを支援（または妨害する）さまざまなレベルの予測が実現しつつあります。ノストラダムスやエドガー・ケイシーのような素晴らしい予言者の言葉が、今後やって来る変化に関して引用されています。しかし、未来は、現在のマインドがそれを作成するまでは決して現実ではなく、予想できるのは確率のみであり、不確かなのです。人類は自由意志を持ち、未来と過去をいつでも再創造することができます。そして、多くの人がおわかりのように、すでに私たちは意識を変化させています。

1970年代初頭に書かれたエドガー・ケイシーの本を読むと、カリフォルニアは1976年頃に海に沈むだろうと書かれています。大きな変化は、ホピ族やその他、比較的、神に近い伝統によっても予想されていますが、私が今後数年間に起きると見たものは含まれていません。

私が受け取る洞察は非言語的であるので、私はそこから物語を作ります。数百年前、一枚のファックスが、宇宙のこの象限の、すべてのステーションのヒエラルキー（教育委員会）の元に送られました。ファックスは、新しい水瓶座の時代が始まろうとしていたので、地球上にヘルパーが必要になったことを知らせるものでした。最優先指令は、実際に地球に関与（肉体を持って地球に転生）せずに介入されることを防ぐため、肉体を持って地球に転生し、住民による破壊から地球を守る意義があると考える人々の参加が必要でした。

そして、惑星を救うために多くの魂が転生しました。彼らのタスクは悪の力を克服したり、住民に少しでも良い方法を強いるのではなく、テレパシープールに無害で平和な意識を注入することでした。このことは一旦、肉体を持つと意識から抜け落ちてしましますが、出生前、これらのボランティアはすっかり理解していたのです。現実を作るそもそもの源は、力ではなく意識だと。

ヒエラルキーは、当初、おそらく1万もの魂が来れば十分だろうと考えていました。それでも、前回の10倍の数字です。しかし、チェックイン時が来ると（事前登録は不要）、はるかに多くの宇宙的存在が続々と到着しました。彼らは愛と平和の存在で、すでにアーススクールを卒業しているか、別の小学校を出ていたので、本来ならわざわざ登録する必要はなかったのです。けれども、数えきれないほどの魂が、あなたと私、そして母なる地球への愛から、この惑星に生まれました。これほど大量の転生は前例がなく、予測されてもいませんでした。

人間が、自分の命を仲間のために差し出す以上の愛はありません。何百万もの魂が、必要とあれば死ぬ準備をして、地球にやって来ました。ここでみんなと一緒に過ごし、彼らのバイブレーションをグループ意識に注入するためです。あなたもその一人です。特にあなたが「僕は一体、ここで何をしているんだ？」という疑問を持ったことがある、その可能性は大です。これらの平和を愛する存在の到着は、かつての「洪水」の繰り返しを防ぎました。それはケイシーやノス

トラダムスが見た「未来」から、創造的な意識においてシフトを生み出したのです。特に何百万人も仲間がいるときには、たった一人の人が違いを生みます。

ある意味では、このシステムへの無害な意識の流入は、すでに明確な成功を収めています。核戦争はありません（いくつかの脅威はこれからもあるでしょう）。カリフォルニアはまだ存在し、本土と地続きです（地震があっても、まだつながっています）。環境汚染は、居住可能な土地面積を著しく減らしていません。そして地球温暖化によって、マンハッタンまたは日本は沈没していません。しかし、いくつかの地球温暖化は、地表の広大な地域をマイアミビーチの楽園に変えるでしょう。

覚えておきたいこと

Keep it in Perspective

変化は相対的なものであり、集合の予測は個人にとって意味がありません。ここで少々考慮に入れておくと役立つことがあります。

記録された歴史全体を通じて、この惑星では政治的および社会的に抑圧、制限、ある階級の人々が従順であることを強られるのは標準の状態でした。その状態は、まだ世界の人口の大多数のために存在しています。この状態は「間違っただけ」のものではないと、私たちは理解しています。それは、カルマの教えが機能する方法だからです。

今日、地球で起きていることの政治的な先例を探そうとしても、何も見つからないでしょう。トーマス・ジェファソン（※合衆国第3代大統領）は、すべての人間が生命、自由、そして幸福を追求する権利を持っていると宣言したことで異端扱いされ、王（独裁者）を裏切ったことで絞首刑にされる危険を冒しました。これほど過激な信念に基づいて、大勢の人々が国家を作った前例はありません。この国の女性は、多くの西側諸国に先駆けて参政権を獲得しましたが、それも先例のないことでした。今や、西側世界のさまざまな組織や団体が平等を支持しています。

今日、水瓶座の時代への過渡期が近づくにつれ、かつてない変化が続いているだけでなく、規範そのものが変わってきました。ベルリンの壁、ソビエト連邦、ポーランド、ルーマニア、天安門事件はすべて、「時代は変わる」ことを示しています。水瓶座の時代は、どの占星術時代とも違います。それはまさしく、新しい時代（ニューエイジ）なのです。

水瓶座のエネルギーの特徴

Characteristics of Aquarian Energy

水瓶座の時代は、「何も隠すことができない」時代です。秘密は、もはや政府や大企業の土台を作りません。通信システムが、あらゆる国と企業で起きていることをすべての人に見せる時代です。クローゼットの中に隠し事ができないのです。なぜなら、人々も後ろに隠れることを拒否するだけでなく、私たちの道徳的判断は思いやりと理解の中で溶解するからです。水瓶座のエネルギーは、電話、ラジオ、テレビ、衛星コミュニケーション、飛行機、ロケット、宇宙旅行、その他宇宙のすべての人々がひとつになる技術をもたらし、水瓶座時代には、空間または距離は、具体性が低くなります。私たちは空間を克服します。距離による制限もありません。

水瓶座のエネルギーがもたらすテープレコーダー、ビデオレコーダー、映画は、過去を保存し、過去が過去ではないと証明する助けをします。水瓶座の時代には、時間の制限を克服するのです。実際には、すべての時間は同時的ですが、私たちは、すぐにこのことを垣間見るでしょう。

カルマは常に、すべての人々がひとつであることを教えてきました。人種、階級、または性における加害者は、次の人生で被害者になります。さて、カルマのレッスンはもはや終わろうとしています。ゆっくりではありますが、実際に劣った人間などというものは存在しないという真に到達しつつあります。水瓶座のエネルギーは、すべては個別化された神の側面という一体性をもたらし、

宇宙文明連合

The Federation of Space Civilizations

新しい時代の意識への移行を理解するには、外宇宙からの訪問者や、肉体を持たない存在とのコミュニケーションを探究するのもよいでしょう。「スペースブラザーズ」との「チャネリング」を読み解くにあたって、理解しておかなければならないことがいくつかあります。まず1つめのポイントは、「チャンネル」のマインドを通じ、サードパーティ（またはテープレコーダー）によって記録された「ソース」から受け取ったすべての情報は、あくまで伝達文であるということです。

私は過去20年に渡って、チャネリング情報（自分のものも含む）を研究してきましたが、向こう側から無傷で伝わるメッセージは決してないと信じています。メッセージには常に、チャネラーの独自の信念体系が入るのです。恐れに満ちたマインドは、多かれ少なかれ、恐れに満ちたメッセージを受け取ります。覚えておきたいのは、サイキック能力と個人の智慧は、必ずしも相互補完しないということです。

考慮すべき2つ目のポイントは、誰もが賢い存在をチャンネルするとは限らないということです。機能不全の文明から来た存在をチャンネルするほうが、しっかりグラウンディングした天使をチャンネルするより簡単だと感じる人もいます。「チャネリングされた」情報を吟味するときに、覚えておいて欲しいことがあります。正直な人は「私を信じて」とは言わず、賢い人は「自分が何について話しているか知っている」とは言いません。また、チャンネルされた声が「私はあなたを長いこと待っていました」と言うのは、そこに罪悪感が関与していることを示し、「急がなければなりません」と言うのは、線形時間の概念に従うときに生じる被害を信じる言葉です。

ちなみに、私は一度、チャネリング中に情報のソースに質問したことがあります。「天使とスペースブラザーズの違いは何ですか?」。答えはこうでした。「関わる分野の違いがあるだけで、すべてはスピリットです」

他次元の現実や地球外文明、天使の王国のような他の領域について、私は自分で得た情報に偏る傾向があります。それは一人ひとりが自分の直感的なつながりとガイダンスに最高の信用を置くべきだという信念があるからです。他の人のバージョンの現実、あなたの現実とマッチしないかもしれませんが、そうする必要もありません。この本の中で述べられている洞察も、私にとって正しいと感じるものに過ぎません。私が現実をどのように眺めているかを示しています。

地球外のエンティティと交わした何百回ものテレパシー会話の中で、私は恐怖に動機付けられたメッセージを受け取ったことはありません。時間が足りないとか、急ぐ必要があると言われたことは一度もありません。

それどころか、良い奇跡のために遅すぎることはないと話します。指定された期間内に、特定の目的を持つタスクを私たちが達成しなかった場合、何か悪いことが起こると言われたことはありません。ライトワーカーは「スピリチュアルの破壊者」を暴いたり、神の王国の城壁を守るべきだと言われたこともありません。かわりに、「すべてそのまま大丈夫」などのメッセージを受け取ります。他の次元で行われている素晴らしいお祝いを見せてもらったこともあります。私たち地球の人々が、素晴らしい進歩を遂げていたからです。

60以上の独立した文明が「連合」に参加していると言われたことがあります。連合の目的は、必要な文明を支援することです。私たち地球人も、まもなく連合からの支援を受けるでしょう。なぜなら、ここには多くの連合のメンバーが転生しているからです。そのような地球人たちは、助けを求めることで、技術と環境浄化の分野における私たちの学習曲線が短縮したことを直感的に認識します。私は、あるマザーシップの乗務員から、こう言われたことがあります。彼らは地球の人々から要請があった場合、20分以内に大気中の汚染物質をろ過して取り除く能力があるのだと。しかしご存知のように、最優先指令がありますから、彼らは私たちが求めるまで援助の手を出さないのです。

ここに、私が書いたニュースレターの抜粋を引用したいと思います。1990年11月のものです。

私は、ここパラダイス（※ニューメキシコ州パラダイスヒルズ）の真ん中に座っています。山に新雪があり、満月が白い砂漠にかかっているニューメキシコの北部です。私は不思議に思います。「私たちは、ここ地球で何をやっているのでしょうか？ これは間違いですか？ 選択の余地がなく、多くの被害者がいるように見える人生を生きるためですか？ 私たちは本当に、老化した肉体、未熟な行動、物質的な所有の欠如、またはサダムフセインの犠牲者なのですか？ それとも、答えが雪が知っていますか？ 静けさと安らぎの中に神を見いだすのでしょうか？」。神？ 平和？ 事実か空想か？ 真実か幻想か？ 知性はとても偏屈で、答えを見つけるのにイライラします。カウチポテトや、月曜の夜の少しのサッカーのほうが、まだ満足感があります。

すると、ジェイクが現れ、「明日はスウェットロッジをします。火を起こす木を集めるのを手伝ってくれませんか？ そうすれば日没から始められます。また私たちの神殿を建てましょう」と言いました。私たちはスピリチュアルな仲間として力を合わせ、木を積み上げて侵入する光を遮断し、ロッジを密閉しました。ダラスカウボーイの試合を見るよりも、良い気分転換です。それから、儀式が始まります。変性意識は、知性の無力さを際立たせます。「私たちに話しかけてください、大いなる道の祖父よ。私たちに話しかけてください、地球の祖母よ」。そして、物事が起こり始めます。理性的な人には奇妙な感覚がありますが、私たちそうではありません。岩は炎で赤く輝き、スピリットの王国の言葉で話し始めます。「うわー、顔が見えましたか？」。そして岩の中に光が現れます。「白い光だ」。私が言うと、「緑が見える」とアンは言いました。スピリットたちからの反応のように、ドラムが鳴っています。

最初のラウンドが終了すると、大いなる意志の戦士であり、私たちの消防署長であるデールは、熱せられて輝く岩をさらに多く運び、意識を変える小さなロッジを蒸し暑くしました。彼は真っ赤になった石を運びながら、「パクストン」と私の名前を呼びました。「ここに何かがある。家の向こうです！ 光の輪が回っています。どうすればいい？」。宇宙空間に漂っているような気配のキャシーが、返事をしました。「そのまま岩を運んでください、デール」。彼はそうしました。

私たちを助け、地球の癒しを祝ってくれる友達からのメッセージが頭に浮かびます。彼らはもう一度私たちに知らせました。私たちは一人ではなく、神の宇宙ではすべてがよいものであり、私たちが見るよりはるかに多くの生命があると。「物事を、あまり真剣に受け止めないでください」と彼らは言います。「あなたたちは、1000年前にも起きた問題を覚えていないのです。今回も同じことでしょう。ヒーラー、ライトベアラー、ウェイショウワーになるには、あなたは笑い、踊り、遊ぶ必要があります。それが、今、地球が必要としていることです」。

滝のような汗を流しながらロッジの外に出て、私たちは冷たい月明かりの中に溶け込みました。リフレッシュして、スピリットがリニューアルしたようです。人が現実に触れたとき、ドラマを幻想だと見るのは簡単でした。少なくともしばらくの間は。しかし、ドラマが再び現実になり始めたら、勝てない状況を神よりも大きくしてしまわないように、よく警戒してください、愛する人たち。それから、ジェイクが現れ、「スウェットロッジは明日もやります」と言いました。

セルフエンパワーメントとは、目に映る物事をありのままに見る能力です。セルフエンパワーメントは、神の視点に留まることです。セルフエンパワーメントとは、この三次元の教室は現実のほんの一部であり、心の内側を覗き込めば誰もが自分の力にアクセスできると知ることです。セルフエンパワーメントは、永遠の闘争の終わりを意味しません。セルフエンパワーメントとは、自由、喜び、そして、繁栄を意味します。セルフエンパワーメントは明確であり、自我（エゴ）には何もできず、ワークするのは内なる父だと、無限の視点から知ることです。セルフエンパワーメントは、人間にとって必須です。

なぜ惑星的なマインドは、過激な変化をそれほど恐れているのでしょうか？ ガリレオが望遠鏡を発明した時、当時の主要な科学者たちは、ガラス板が対象物を近くに持ってくることは出来ないと誰もが知っているにもかかわらず、覗き見ることを拒みました。新しい現実の見方につながる劇的な発見はしばしば、「途方もない」、「ナンセンス」、「異端」という批判にさらされます。変化を恐れるなら、もっと深く隠れる必要があるでしょう。なぜなら「スペースブラザーズ」は、ここにいるからです。そして、地球外の友人がクローゼットから出て来るほど、惑星の全体像を過激に変えるものは何もありません。

地球外生物の存在は、私たちにとって驚きではありません。私たちが肉体に転生しない間、どこに住んでいるか知っていますか？ 地球上にいないければ、地上外の住人です。移行期間中に、この惑星を訪れる多くの文明があります。銀河全体、三次元と四次元のあらゆる全体が、私たちが成し遂げる進化に大きな関心を持っています。

米国政府、および他のいくつかの政府は、SETI（※Search for Extra-Terrestrial Intelligence）と呼ばれるプロジェクトに資金を提供しています。地球外生命体を探索し、その存在を検証するプロジェクトです。このようなプロジェクトを、政府はやりたがりません。彼らは古い確立されたメソッドによって探索を行います。ガリレオが示したように、古い思考は新しいブレークスルーを作らないのです。政府の電波望遠鏡は、ラジオを使わない文明を検出することは出来ません。

現実を直感的に知覚することと、科学的に認識することの間には、ジレンマがあります。直感的な証拠は科学的ではなく、直感ほとんどの科学コミュニティで根拠を保持しません。そして、科学的調査は、新しいパラダイムを生む可能性のある「感知の範囲」を拡大してきました。

世界の政府と一般の科学者のコミュニティには、地球外の人々と定期的にテレパシー通信を行っている人々が何千人もいることを認識しています。私はこれらのコミュニケーションを非常に興味深いと感じます。

余談ですが、ここに素晴らしい本を紹介しましょう。科学と直感という二つの立場を和解させるための信頼できる試みです。『内的宇宙と外的宇宙を探検する Exploring Inner and Outer Space』という本で、元宇宙飛行士で、物理学者の者、ブライアン・オリアリー（※ Brian O'Leary）によって書かれています。私は、彼の努力を称賛します。なぜなら私自身も、エンジニアでありながら「直感的な機能者」であるという、綱渡りを経験したからです。「連合」のメンバーではない文明も、地球を訪れています。彼らはよく報道されています。センセーショナルリズムは魚座時代のカルマ的な特徴的であり、テレビやタブロイド誌がお金を稼ぐ手段です。「リトルグレイ」や、その他のよく知られたおなじみの存在は、実際に存在します。しかし、彼らは目覚めている魂には、ほとんど興味がありません。目覚めた魂の心は、明確です。目覚めた魂は、その目をまっすぐに神に向けます。目覚めた魂は、自発的にドラマを放棄します。そうすることによってのみ、カルマの輪から自分を自由にできるからです。

すべての魂は、アーススクールと契約を結んでいます。これはもっとも便宜的な目覚めにつながります。眠っている人は、純粋にカルマに流され、人生には「事故」、「犠牲」、そして「脈絡のないランダムなイベント」が発生します。これらの人々は戦争、自動車事故、UFO拉致にもサインアップしています。しかし、目覚めた人々は、可能な限り最高な形の光と愛を得ます。目覚めた人々は、まるで世間の目からは「守られて」いるように見えます。彼らには苦痛や苦勞がなく、ただ、内面のガイダンスに従うことを選んだからです。

テクノロジー

Technology

また、別の機会には、地球外の友人とのコミュニケーションで、このようなメッセージを受け取りました。「あなたたちはテクノロジーの利点について懐疑的です。なぜなら、テクノロジーを汚染と関連付けるからです。テクノロジーを軽蔑している人もいます。あなたたちは人生をさまざまな側面に切り分け、テクノロジーをある箱に入れ、家族を別の箱に入れ、あなたの仕事を別の箱に入れ、各カテゴリを判断します。これはスピリチュアル、これは必要悪、これは良いなどと。私たちは人生をそのように見ていません。私たちにとってすべては愛です。そうでなけ

れば、自分たちの経験に含めないでしょう。私たちにとって、テクノロジーと愛は一つであって同じものです。テクノロジーは汚染されず、愛は嫉妬しません。汚染を経験するには、汚染された意識が必要です。意識が現実を生み出します。グループ意識が変わるとき、あなたたちの世界から汚染はなくなり、私たちをお茶に誘うこともできるでしょう。シャローム」。

権力とコントロールが王である魚座の時代に、すべての優れた技術的進歩は、政府または大企業のものでなければならないと私たちは考えます。研究を進め、プロトタイプを構築するには多額の費用がかかるからです。資金なくして、進歩なし。そのような時代は、もうありません。

次の200年間は、NASAではなくスピリットからやって来るすべての素晴らしいアイデアや洞察の贈り物をもたらすために、何百万ものエンティティが地球に転生するでしょう。現在、多くのガレージショップやホームオフィスが使っているコンピューターは、30年前にIBMが持っていたもの以上の性能を持つという事実があります。個人発明家も復活を遂げるでしょう。

10代の頃、私はトーマス・エジソンの孫娘の家を訪れました。私はこの目でエジソンの実験室や書架、家具を眺め、彼についての話を聞きたかったのです。エジソンは素晴らしいアイデアを受け取る方法を知っていたようでした。彼はミステリースクールの生徒であり、瞑想家でもありました。トーマスは問題への答えを探するとき、木製のベンチに横たわり、腕を伸ばして鋼球を握りました。彼はマインドが睡眠と覚醒の間にあるとき、答えに至る可能性があるを知っていました。彼はその状態に入って、答えを聞いたり、見たりできるまで、限りなく眠りに近い状態になりました。そこで実際に眠りに落ちたなら、彼は握ったボールを落とし、目が覚めるという仕組みです。彼の発明のほとんどは、意識の狭間への出入り口を通じてスピリットから彼に渡されました。私たちに新しいものを与えることはスピリットにとって喜びです。私たちはそれらを獲得したり、購入する必要はありません。

目覚めた人が多くなれば、人類に利益をもたらすための驚異的な新技術をもたらすことに祝福を感じる人も増えるでしょう。

テレパシーコミュニケーション

Telepathic Communication

20年前、私はシルバメソッドというマインドリーディングコースを受講しました。ご存知でない方は、怪しげなものだと考えるかもしれませんが、それは他の人のマインドをコントロール

することとは何の関係もありません。私たち自身のマインドの有用性を学ぶことです。このクラスでは、マインドを使って体をコントロールすることを学びます。痛みをコントロールし、記憶力を改善し、依存症を解消し、IQを向上させるのです。それから、地球に存在するさまざまな王国（ミネラル、植物、動物たち）とテレパシーでコミュニケーションすることを学びます。40時間のマインドトレーニングで、人々は過去、未来、そして現実の他の次元へと心の旅ができるようになります。面白いのは、コースが修了して、自分がサイキックになったと感じない人には、受講料を無条件で全額返金するシステムです。私はクラスを7回受けましたが、誰も返金を頼むのを見たことはありません。

シルバのインストラクターの一人が、「態度が悪く、トラブルメーカー」であるという理由で学校を退学になったある学生を教えました。クラスが始まる前と後に行ったパーソナリティーテストで、その生徒は驚くべき改善を示しました。生徒が学んだことは三本指のテクニックと呼ばれるもので、これにより、テレパシーコミュニケーションをトリガーします。試験中、生徒が質問に対する答えを思い出せなかった場合、このテクニックを使って教師のマインドに答えは何かを尋ねることができます。ある教師はAの評価を取る生徒の数があまりに多いので、そのテクニックを使うそぶりが見つかった生徒は不合格にするとしたほどです。

マインドに制限はありません。肉体と同じような制限があると考える時代は、もう終わりました。それは無限です。水瓶座の時代は、テレパシーコミュニケーションに重点を置いています。それは探求し、知り、作り出すためのマインドの力をもたらします。

水瓶座時代の教育

Education in the Aquarian Age

誰もが、過去または現在の地球上の生活について、一週間程度のトレーニングで、どんな任情報（知識）も引き出せるようになるなら（それができるとホセ・シルバは証明しましたが）、水瓶座の時代の学校は、現在とはまるで違う形になるでしょう。そこでは魂の成長と拡大（その反対概念である繰り返し）、健全な全体としてのスピリット、そして、信じられないかもしれませんが、幸福で満たされた生き方について学ぶことになります。

魚座的教育システムは、教育のかわりにラベル付けを教えています。システムから肯定的な評価をもらう学生は、創造的、幸せ、無制限状態についての思想家ではありません。川、国、化学元素、または身体の一部など、もっとも多く多くのラベルを覚えることができる学生が報酬を手

します。子どもたちが、答えを求めて他の次元を探求するための訓練をしません。クイズ番組で大金を稼ぐための教育をします。

魚座的教育システムは、教育の博士号を持つ人たちによって考案されています。それは、別の誰かに教育博士号を与えるための永久機関です。私がオクラホマ州で教職に就いていた頃、教育学の博士号を取得しようと検討したことがあります。教えることが好きだからです。私は純情にも、マインドがどのように学び、人にいかに知識を伝えれば、興味を呼び起こすかについて学べば、もっとよく教えられると思ったのです。新しい知識を呼び覚まし、過去の知識と置き換えるような型破りな方法があると思ったのですが、そのようなものは教育学のカリキュラムの中にはありませんでした。

教育学の博士課程の学生は、単にラベル付けプロセスを教えられています。彼らは、教育に関する有名な本を書いた人の名前を覚えます。先例に学び、学校を管理することを学びます。彼らは線形思想家に報酬を与え、空間的で包括的な思想家を避けます。魚座の時代には、すべての存在は切り離されているので、生き残るために、かなり実用的な競争を教えます（成功できるのは、ごくわずかな適者のみであると教えます）。魚座的な学校のほとんどは、成績をつけて良い生徒と悪い生徒を生み出しています。それぞれの生徒に自分のベストを尽くすことを教えるのと、競争を教えるのには、大きな違いがあります。最初の方法では全員が勝者であり、二番目の方法では敗者、または内向的な生徒を作り出します。すべての存在はひとつであるという理解に基づいたシステムでは、あなたの最善の利益は私の最善の利益であり、神がすべての供給源であることや、協力について教えます。水瓶座の学校では、成績をつけ、勝者と敗者の分離を作り出す教育をしません。生徒一人ひとりが自分のユニークな卓越性の分野で優れているので、嫉妬もありません。

現在、転生している水瓶座時代の子どもたちは、学校が彼らのニーズを反映するよう働きかけています。すべての魂は彼らの誕生の瞬間と、学校への入学の時間を選びました。彼らは占星術的にも環境的にも、事前に影響するものを知っています。彼らが何を学び、何を教えるためにここに来たのかを知っているのです。

社会にとって有用で生産的で自立した市民の定義は、誰もが自分の重荷を自分で背負い、税金を支払い、人に迷惑をかけてはならないという分離の信念をサポートしています。水瓶座のエネルギーにシフトすると、現在の教育の目的、つまり有用で生産的な市民を育成することは無意

味になります。水瓶座の時代には、教育において重要視されることが変わるのであります。智慧の探究、ボディとスピリットの統一、そして自由と喜びについての学びが必須の教育課題になります。シーア・アレクサンダー *Thea Alexander* が書いた『2150 AD』という小説には、未来の生活の側面が書かれていますが、学校にはテレパシークラスができることになっています。とても楽しく、洞察に満ちた内容です。

今から50年ほどの間に、学校はその構造とカリキュラムを大きく変えていき、スピリットとのつながりを忘れなかった生徒にも対応できるようになるでしょう。カリキュラムは、大きな全体像に関連するひとつのカテゴリだけになり、今後何百年、何千年もの間、人々の理解と幸福の水準を上昇させるものになります。そして、逆説的に、困難な時代に備えようとせず、人生は現在の瞬間の連続だと教えるようになるでしょう。

教育の変革は、社会でもっとも保護されている他のシステムと同様、古い方法の転覆や拒絶を通じてもたらずことはできません。参加しないことで、力を奪うのです。ホームスクーリングは、ウォルドルフ、モンテッソーリ、アンスクールなどのオルタナティブな教育とともに、急速に人気になるでしょう。

次の世紀の最初の数十年が進むにつれて、私たちが学習と呼ぶものにもっとも顕著な変化を生み出すのは、テレパシートレーニングの紹介です。地球上に住むことを選んだ人にとって読み書きは価値があり、言葉自体が使われなくなるまでには300年か400年かかるかも知れませんが、そうやってはじめて、人間は本当の意味で理解し合い、コミュニケーションするようになります。

経済

Economics

先見の明のある経済学者が見るまでもなく、私たちは単一の世界経済へと移行しています。すでに私たちには、うまく機能しているいくつかの形式の国際通貨があります。マスターカード、VISA、アメリカンエクスプレスは、ほぼすべての製品を、ほぼすべての国で買うことができます。

す。銀行のATMカードでさえ、今や世界中で機能します。しかし、世界単一経済への以降は、必ずしもスムーズなプロセスではありません。

私が見る限りで、おそらく「注目を集める」ことが経済構造の中に入ってきます。宇宙は人々を愛しているので、自分の仕事のポートフォリオよりも、家族にずっと大きな価値を置く人をかなり明確にするでしょう。商品やサービスを直接提供するのではなく、紙をシャッフルして取引することでお金を稼ぐ人々は、紙を失います。

悟りの前に、モノを追求することは間違っていないですが、究極的には私たちが幸福に達するのを遅らせます。この逆説的な問題は、多くのスピリチュアルな生徒を困惑させます。私たちは繁栄すること（宇宙の自然な状態に至ること）を要求されているのに、物質的な獲得をゴールに設定すると、真の繁栄が遅れるのです。私たちは、人間のやり方ではなく、神のやり方でそれをする必要があります。繁栄とは、単にお金を意味するのではなく、物質的、精神的、そして感情的に満たされた包括的な豊かさの状態です。繁栄は贈り物であり、神の子どものための自然な遺産です。しかし、それを手にするにあたって、信念体系の浄化が必要です。イエスは「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい、そうすれば、これらのものはみな与えられます」と言いました。彼はお金を除いた他のすべてとは言いませんでした。実際、その他のすべてを得るには、最初に悟りの国を求めなければならないのです。

したがって、さまざまな国の経済は横ばいになるか、同等になっていくでしょう。地球上の平均的な生活水準は、北米やヨーロッパの住民よりやや少ない程度になります。最終的には（100年ほどで）世界の経済はもはや貪欲に基づくことをやめ、大いに繁栄するでしょう。短期的な状況では、経済的な苦難はときどき散在しているようです。それは宇宙が人々に優先順位を再評価させる方法なのです。家族、友人、愛、スピリチュアルな自己の価値をお金より優先させ、順位を決めさせるためです。宇宙は何百万もの人々を、何百万年もカルマの輪に乗せることから救います。経済的な苦難も、宇宙の愛が仕事をしている結果です。

世界的な経済活動の平均化は、裕福な国が飢えた人々のために「犠牲」になることで、もたらされるでしょう。2025年までに、飢饉は完全に一掃されます。水瓶座の時代がもたらすコミュニケーションや輸送の分野の技術革新は、すべての国の問題を無視できないほど「現実的」にし

ます。同じ時期に、世界の終わりがやって来たと感じる人たちがいる一方で、繁栄し、楽しんでいる人たちがいます。反資本主義的になることで、他者への真の奉仕を行う人たちがいます。ヒーラー、カウンセラー、小規模農家、家具作家、芸術家、大工、職人など、真の奉仕者たちにとって、いずれ苦勞はなくなるでしょう。

大きな全体像を思い描き、ドラマに身を投じなかった人にとっても人生は楽になります。そのような人々は、人生に疑問を抱く多くの人々に、自らの見解をシェアするのに忙しくなるでしょう。人々は口々に尋ねます。「なぜこれが私に起こっているのですか?」。覚えておいてください。あなたがドラマを信じるなら、そのドラマは永遠に続きます。私たちの目を、ただまっすぐ神に向けるなら、内なる平和がもたらされます。私たちは、かつてイエスが行ったような癒しの技を行います。それは、以前よりも大きな癒しになります。私たちはヒーラーになるか、ドラマ評論家になるかを選べますが、両方になることは出来ません。

ヒーリング Healing

すでに進行中ですが、これからヒーリングという職業／技術において、エキサイティングで劇的、そして驚異的な変化が起こります。病気や健康と感情の関係を認めるようになるのです。人々が体を、タイヤを交換したり、新しいベルトを付け替えたりすることで修理できる機械と見なすことはありません。あと数年もすれば、医者、ニューエイジセラピスト、カウンセラー、リラクゼーションのスペシャリスト全員が対等に見なされるようになるでしょう。製薬会社によるロビー活動は、議会とアメリカ医師会によって死を宣告されます。ヒーリングのためのマインドセットは裁判所での争いによって作られるのではなく、古い思考の医者通いから、他の方法（アンダーグラウンドなものさえ）に移る人たちが急激に増えることからもたらされます。幸いにも、今では「新しい思考」の医師が多数いて、患者が自分自身の治療に参加することを奨励しています。

自立した個人は「医師の命令」を受け入れません。彼らは自ら意思決定をし、自分の治療法を選びます。自立した個人は、セカンドオピニオンのみならず、サード、フォースを取り入れる

ことも恐れませんが、自立した個人は、オープンマインドな医師の意見を得つつ、マインドとボディの関係性における専門家であるカウンセラーやセラピストの意見も聞きます。彼らは自分にとって真実に響く治療法の組み合わせを選択することで、自分の健康に責任を持ちます。そして何よりも、彼らは常に至福を追い求め、そもそも病気の原因となる感情に長時間居座り続けることがありません。

政治 Politics

信じがたいと思いますが、あと40年もすれば、私たちが現在知るような形での政治は衰退し始めるでしょう。スピリチュアルな政府は、私たちが見慣れた政府とはほとんど似ていません。政治とは長い間、常に一部の人々が他の人々を統治することを意味してきました。ウェブスター辞典によれば、「統治する」とは、「統治権を行使すること、支配すること、コントロールすること」です。魚座の時代には、人々は制御され、刑務所や罰金で脅かされ、文明的な行動をさせられていました。人々は、集団的な力のために個人的な力を奪い、法律を作ったのです。

自立した善良な人々の時代には、警察は存在しません。権力も軍隊も不要になり、「神の軍隊」さえありません。世界政府のあり方は、スピリチュアルヒエラルキーに非常によく似るでしょう。スピリチュアルな政府には、特定の組織や構造（最上部がもっとも賢い）があり、そして「法則」が含まれます。政府のヒエラルキーには、法による強制の規定はありません。目覚めた人たちは、いつも賢い人たちの言うことを聞き、その方向に従うからです。もしシステムに反抗したい存在がいれば、そうするでしょう。それは有害だとは見なされません。目覚めたスピリチュアルな存在は、反抗的な存在に何かを課されたり、強制されることを許しません。そこには犠牲者もいないのです。

あなたの作る現実が、あなたの未来となる

Self Created Reality means Self Created Future

あなたが意識的に生き、すべての決定においてガイダンスを求めることを選ぶなら、シャングリラに住むでしょうと言えたら、どんなにいいだろうと思います。けれども、やはりそうではありません。

目覚めた魂は、目覚める決断をしたすべての人類の同胞のために、自分を提供する立場になる傾向があります。あなたたちがアシストするのは、闇から抜け出て光に入ろうとする人々であり、それはあなた自身が選択した学習／体験の道に非常によく似ています。あなたが自分の至福とガイダンスに従うとき、すべてがあなたのために集まります。あなたは喜びとわくわくする道を歩くだけでなく、あなたと同様の道を進んでいる人たちにとって、最大の奉仕をしている自分を発見するでしょう。喜びを放棄することで人類に奉仕すると考える人は、カルマの方法を信じているので、欲求不満の道を歩きます。また、奉仕を止めることで喜びを見つけることもできません。このシステムは完璧なので、ただ自分のガイダンス/至福に従うことで、自分自身と他人に最大限の奉仕をすることが可能になるのです。

あらゆる分野で、目覚める準備ができている個人がいます。軍隊、政府、ビジネス、建設業界、そして考えられるすべての職業に、ライトワーカーが必要とされています。スピリチュアルでない職業やキャリアというものは存在しません。あなたが本当に楽しんでいる仕事は、スピリチュアルな職業そのものです。真実から遠くにあるものはありません。狭い修道院よりも、広い「世界」の中にこそ、より多くのライトワーカーが必要になります。したがって、今後数年間で、あなたの道は役員室、あるいは戦場へと向かうかも知れません。もしくは修道院へと続いているかも知れません。いずれにせよ、間違いなどないのです、あなたは人生を変容させるための適切な場所に、適切なタイミングにいます。意識的に機能する（常に大きな全体像を思い出してください）ために重要な理解があります。どこにいても、何をしていても、あなたには痛みや苦勞が求められていないということです。全く逆です。幸福、健康、そして豊かさが必要なのです。自分が持たない贈り物を人類へに与えることはできません。

この惑星でのあらゆる闘争の時期に、影響を受けなかった人たちがいました。すべての不況の下で、繁栄した人たちがいました。すべての戦争において、平和を愛する人々は戦闘員に無視されました。すべての地震において、孤立した土地に「奇跡的に」手付かずの区画が残りました

。どんな未来の予測も、カルマを放棄した人にあてはまりません。犠牲者はいないので。ランダムなイベントもありません。あなたの意識は、あなたの現実を作り出します。

魚座的エネルギーの現状

Piscean Energy Still Predominates

今日、世界に見られるほどの協力、思いやり、分け合いがあっても、社会は魚座のエネルギーが依然として支配的です。至福とは、明らかに今日、もっとも一般的なマインドの状態ではありません。

ボランティアが地球のエネルギーフィールドに参加することを話し合ったとき、彼らはアトランティスで経験したような大惨事が緩和できれば、ミッション完了だと考えたでしょう。けれども、世の中は変わりました。彼らは、すでに主要な目的を達成しています。そして、新しい目標を設定しました（つまり残念ですが、あなたたちはまだホームに戻ることはできません）。彼らは言いました。「さあ、黄金時代を探しに行こう！ 全部やろう！」

新しい目標は衝撃的です。少なくとも古い基準ではばかっています。完全に達成不可能と見なす人もいるでしょう。それについてお話します。準備はいいですか？ 新しい目標とは、現在、アーススクール10年生、11年生、12年生に在籍するすべての生徒が、水瓶座の時代が終わる前に100パーセントの卒業を目指すことです。次の二千年が過ぎる前に、テレパシープール全体に理解と無条件の愛を拡げることなのです。争いに参加せず、痛みと闘争から解放されることを望んだ人たちは、永遠に卒業するでしょう！

これは、あなたと私にとって次のようなことを意味します。私たちは目覚めると、かつてもそうだったように、惑星を離れないように求められます。地球上にとどまり、支援し、共有し、愛し続けることを求められるのです。カルマ的な必要性はないにも関わらずです。カルマは楽しくないばかりか、痛いものだと、家族に見せなければなりません。痛みと苦勞を終わらせたいなら、毎日、どの瞬間にも新しい考え方と行動を取ることが求められると、仲間たちに示さなければ

ばなりません。可能な限りもっとも便利な方法で家に帰りたいなら、カルマのための時間はないことをクラスメートに教えなければならぬのです。

訳者あとがき

私がこの本の著者、パクストン・ロビーを知ったのは、YouTubeに残された短いインタビューだった。スピリチュアルの道にいと、自分が頭の中で考えていた、まさに同じことを、より洗練された言葉で語ってくれる人物や本に出会うことがある。私にとって、彼がそうだった。カルマやライトワーカーとは、宇宙の真理や喜びの中で生きる方法につけられたラベルであり、さまざまなバージョンの教えがある。しかし、本当に共鳴できるのは、きっと誰にとっても、ごくわずかだ。

今回、この本を翻訳しようと思った理由はいくつかある。ひとつには、ここ数年、インターネットの世界の変化を見るにつけ、ひとつの時代の終わりをつくづく感じたことだ。いずれ私たちが目にするものはすべて、有料か、広告か、ジャンクのいずれかになってしまうかも知れない。この短い翻訳書は、本当に有益な情報がなんでも無料だった時代へのお別れの歌であり、私を育ててくれたインターネット集合意識への恩返しにするしだ。

原題：NO TIME FOR KARMA（直訳すれば「カルマのための時間はない」）は、邦題用には『カルマのない時代』と訳した。カルマとは、長らく人々を束縛し、恐れと無力感を植え付ける言葉だったが、昔に比べれば、人生の選択肢はずっと自由になった。その意味で、私たちはまさしく『カルマのない時代』を生活している。

初出は1998年であり、ここに書かれた世界情勢に関する話題は、だいぶ古びている。またときどきは、あまりに「最優先指令」に忠誠で、今の読者にはどう受け止められるだろうかと思う点もあった。しかし、彼も言ったように、それは究極的には彼のための真実であり、私たちはそれぞれ、自分の宇宙の真実を、自分の言葉で編み直さなくてはならない。本書には、そのための土台となるような、基本的な考えや言葉が入っている。いつの時代も有効で、本当に大切なことは、いたってシンプルだ。だからこそ本書は、アーススクールの教科書として、きっと多くの人の役に立つと信じている。

いよいよ水瓶座の時代が到来すると言われて、はや半世紀以上。真実は、私たちはいつだって移行しているし、これからもそうし続けるだろう。移行とは、線形時間を移動することではなく、密度を変えることだ。そして悟りとは、パクストンの言葉を借りるなら、「あらゆるプレッシャーがオフになること」であり、それは抵抗のない無重力に近い状態だ。私たちを苦しめるためのカルマなんて、最初からない。視点を変えて一歩踏み出せば、愛と自由がいつでもそこにあったことづくだろう。

翻訳をするにあたって、著者や書籍の関係者に連絡を取りたいと思ったが、公開されている連絡先のアドレスがすでに機能していないこともあり、残念ながら叶わなかった。とは言え、彼が向こう側へ渡ってから、地球上の時間ではまだ2年しか経っていないので、どこかで挨拶する機会があると思っている。

生命に終わりはなく、何をすることも、失うこともない。すべてはつながって、一続きで、永遠だ。かつて何千回もそうしてきたように、今回もまた、新しい時代へ向かおう。微笑みと少々の謙虚さを携えて。エデンの園は、常に目の前だ。どんな言葉で神話を語ろうか。神の宇宙の子どもたちに栄あれ。

それから最後に、親愛なるアーススクールの仲間たち、先輩、後輩、そして先生へ。

いつも仲良くしてくれて、本当にありがとう。

テレパシープールを通じて、愛と光を送ります。

2020年11月11日

カリフォルニア州オークランドにて

カーター涼子

metaphysicstsushin.tokyo